

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第161集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第21集

天引狐崎遺跡Ⅰ

—甘楽パーキングエリア地内遺跡の調査—

旧石器時代編

1 9 9 4

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
日 本 道 路 公 団

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第161集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第21集

天引狐崎遺跡Ⅰ

—甘楽パーキングエリア地内遺跡の調査—

旧石器時代編

1 9 9 4

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
日 本 道 路 公 団



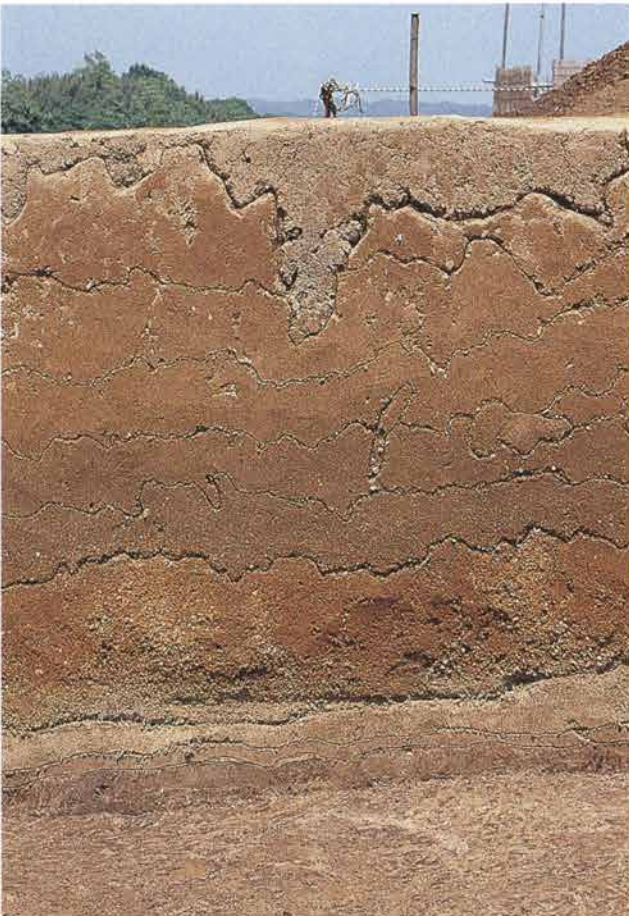
甘楽の谷を西方から望む（右手前下仁田インター、遠方は関東平野）



遺跡周辺の地形（後方は蛇行する鑄川と富岡市街地、東方から）



遺跡周辺の地形（北方から）



基本層序



I ブロック石器出土状況



石器出土状況



出土石器



接合資料 (GAn-1、Ch-1)



GAn-I 個体 A ~ E 接合資料



GAn-I 個体 F ~ I 接合資料

序

関越自動車道の藤岡ジャンクションより分岐して新潟県の上越市にぬける高速自動車道の上信越自動車道は平成5年3月に長野県佐久市までが開通しました。この上信越自動車道の建設に伴い、数多くの埋蔵文化財が発掘調査され、記録保存されました。

甘楽郡甘楽町天引に所在する旧石器時代から近世にかけての複合遺跡である天引狐崎遺跡もその一つであります。本遺跡は隣接する天引向原遺跡・白倉下原遺跡と共に西毛地域で初めて明らかとなったA T下層の旧石器時代の遺跡であり、また甘楽の谷において同時代の遺物が本格的に出土した遺跡です。その調査成果は、出土した石器群に多数の接合資料が確認され、また環状ブロック群を形成して出土したことから、A T下層の旧石器時代の石器製作技術及び集落研究を進める上で貴重な資料との評価を得ています。

この度、本遺跡の旧石器時代の遺構・遺物について、調査報告書を刊行しますが、発掘調査から報告書刊行に至るまで日本道路公団東京第2建設局、同高崎工事事務所、群馬県教育委員会、甘楽町教育委員会、地元関係者等には種々お世話になりました。報告書を上梓するに際し、これら関係者の皆様に衷心より感謝の意を表し、併せて本報告書が我が国の旧石器時代を解明するための資料として十分活用されることを願い序とします。

平成6年3月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

理事長 小寺弘之

例 言

- 1 本書は関越自動車道（上越線）建設工事に伴い事前調査された、「^{あまびきつねざき}天引狐崎遺跡」(事業名称原東遺跡)の発掘調査報告書である。本書は、天引狐崎遺跡の旧石器時代編である。
- 2 天引狐崎遺跡は群馬県甘楽郡甘楽町大字天引字狐崎地内に所在し、遺跡名は大字名と小字名を採用している。
- 3 本遺跡の発掘調査は、日本道路公団の委託を受けた群馬県教育委員会が財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団に委託して実施されたものである。
- 4 実際の発掘調査及び整理事業は、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団内に上越線地域埋蔵文化財調査を目的に設置された、関越自動車道上越線調査事務所（多野郡吉井町南陽台に所在）が担当した。
- 5 調査期間及び担当者

(1) 発掘調査

調査期間 平成2年3月1日～平成3年3月31日
調査担当者 原 雅信（平成2年度、主任調査研究員）
坂井 隆（ // 元・2年度、主任調査研究員）
木村 収（ // 元年度、調査研究員）
山口良寛（ // 元・2年度、調査研究員、現群馬県立渋川女子高等学校教諭）

(2) 整理調査 整理期間 平成4年4月1日～平成6年3月31日

整理担当者 関口博幸（調査研究員）

(3) 事 務 常務理事 邊見長雄（平成元～4年度）、中村英一

事務局長 松本浩一（平成元～3年度）、近藤 功

管理部長 田口紀雄（平成元・2年度）、佐藤 勉

調査研究部長 神保侑史

庶務課 課長 斎藤俊一

専門員 国定 均、笠原秀樹、主任 須田朋子、柳岡良弘、主事 船津
茂、高橋定義、非常勤嘱託員 松下 登、臨時職員 吉田恵子、並木綾
子、今井もと子、角田みづほ、松井美智代、塩浦ひろみ、内山佳子

関越自動車道上越線調査事務所所長 高橋一夫（平成元・2年度）

阿部千明（平成3年度）

吉田 肇

総括次長 片桐光一（平成元年度）、大沢友治（平成2・3年度）

次 長 徳江 紀（平成元・2年度）

課 長 鬼形芳夫（平成元・2年度）、依田治雄

庶務課 係長代理 宮川初太郎（平成元・2年度）、主任 国定 均（昭和63・平
成元年度）、笠原秀樹（平成2・3年度）、吉田有光、
臨時職員 山崎郁夫、神戸市四郎、松井留男、町田康子、
本城美樹、後閑玲子、田中智恵美、高田千恵、吉田登志子

6 報告書作成関係者

編 集 関口博幸

本文執筆 依田治雄（1-1）、関口博幸（1-1以外）

遺構写真 原 雅信、坂井 隆、木村 収、山口良寛

遺物写真 佐藤元彦（当事業団技師）

遺物観察 関口博幸

保存処理 関 邦一（当事業団技師）

整理補助 中野秀子、霜田恵子、関 正江、田中精子、小林恵美子、高柳哲子、
金子加代、大澤亜矢子

委託関係 【遺構測量・遺物写真実測】(株)シン航空、(株)技研 【航空写真】(株)シン航空、たつ
み写真スタジオ、(有)青高館 【遺構トレース】(株)測研

7 遺物分布図の作成に関しては、(株)システム提案の遺物情報システム「MERCH」を導入して迅速化を図った。

8 石器実測作業のうち、接合資料に関しては、(株)シン航空への委託による写真実測によって作業の迅速化を図った。

9 出土した遺物のうち、黒色安山岩製と黒曜石製の石器については、藁科哲男氏(京都大学原子炉実験所)に蛍光X線分析による原産地分析を御願ひした。分析結果については白倉下原遺跡、天引向原遺跡の分析結果と併せて『白倉下原・天引向原遺跡Ⅰ』のなかに付編として報告した。

10 出土遺物・図面に関しては、群馬県埋蔵文化財調査センターに一括して保管してある。なお、石器一覧表についてはフロッピーディスクに保存してある。

11 発掘調査及び報告書作成にあたり、下記の諸機関・諸氏に御教示・御協力をいただいた。記して謝意を表する次第である。(敬称略、五十音順)

安斎正人、安蒜政雄、井上慎也、角張淳一、小管将夫、佐藤宏之、沢田 敦、須藤隆司、大工原豊、堤隆、長崎潤一、藤波啓容、松藤和人、岩宿フォーラム実行委員会、甘楽町教育委員会、石器文化研究会

凡 例

- 1 図中の方位記号は、座標北を示す。(国家座標第IX系)
- 2 石器実測図の縮尺は、単独品 = $4/5 \cdot 1/2 \cdot 1/3$ 、接合資料 = $1/2 \cdot 1/3$ とした。
- 3 石器写真の縮尺は、 $1/2$ を基本に $1/3 \cdot 1/4 \cdot 1/5$ とした。
- 4 石材記号については、次のように示した。

GAn	— Glassy Andesite	— 黒色安山岩	An	— Andesite	— 安山岩
Ob	— Obsidian	— 黒曜石	Ch	— Chert	— チャート
Ms	— Mudstone	— 泥岩	Bs	— Basalt	— 変玄武岩
HMs	— Hard Mudstone	— 硬質泥岩	Sl	— Slate	— 粘板岩
BSh	— Black Shale	— 黒色頁岩	HSh	— Hard Shale	— 硬質頁岩・珪質頁岩
CS	— Cristalline Schist	— 結晶片岩			

なお、本書でいう硬質頁岩とは肉眼的に観察して明らかに東北地方産と考えられるものを扱い、それをイメージさせるために、あえて他の珪質頁岩とは分離して硬質頁岩と呼称した。なお、石材の記号は HSh で統一した。
- 5 石器実測図の番号の横に付してある小番号は出土したブロックを表す。
- 6 各石器分布図の縮尺は次の通りである。

ブロック別分布図 = $1/40 \cdot 1/60$ 、それ以外はその都度スケールを付した。
- 7 石器分布図に関しては、必要に応じて遺物分布のドット図を作成したが、シンボルマークは各挿図のなかに凡例を付した。
- 8 ブロック別石器分布図中に記した断面基準線は、いずれも海拔標高を表す。
- 9 ブロック別石器分布図中の石器実測図に付してある番号については、石器一覧表のNo.に対応する。
- 10 母岩別石器分布全体図及び個別石器分布全体図中のシンボルマークに関しては、それぞれ一回り大きいマークは石核であることを表している。
- 11 「二次加工のある剥片」については、挿図中及び石器一覧表のなかでレイアウトの関係上、「R剥片」とも表記している。

目 次

序	
例 言	
凡 例	
目 次	
挿図目次	
表 目 次	
図版目次	
抄 録	

第 1 章 発掘調査に至る経緯及び経過

第 1 節 発掘調査に至る経緯	3
第 2 節 調査の方法と経過	4
1 調査の方法	4
2 調査の経過	4

第 2 章 地理的・歴史的環境と遺跡の概要

第 1 節 地理的環境	5
第 2 節 歴史的環境と周辺遺跡	6
1 歴史的環境	6
2 周辺遺跡	6
第 3 節 基本層序	12

第 3 章 旧石器時代の遺構と遺物

第 1 節 概 要	15
第 2 節 石 器	17
第 3 節 接合資料と剥片生産工程	46

第4節	ブロック	70
1	第1ブロック群	70
2	第2ブロック群	72
第5節	器種別石器分布	88
第6節	母岩別資料の構成と分布・接合関係	93

第4章 まとめと考察

第1節	天引狐崎遺跡出土石器群の検討	113
	ブロック別石器組成図	119
	母岩別石器組成図	126
	石器一覧表	133
	報告書抄録	143
	写真図版	

挿 図 目 次

第 1 図	鍋川右岸段丘地形と旧石器時代遺跡の分布	8
第 2 図	遺跡の立地と周辺遺跡	10
第 3 図	石器出土地点	11
第 4 図	基本層序	12
第 5 図	天引狐崎遺跡全体図	14
第 6 図	出土石器	21
第 7 図	出土石器	22
第 8 図	出土石器	23
第 9 図	出土石器	24
第 10 図	出土石器	25
第 11 図	出土石器	26
第 12 図	出土石器	27
第 13 図	出土石器	28
第 14 図	出土石器	29
第 15 図	出土石器	30
第 16 図	出土石器	31
第 17 図	出土石器	32
第 18 図	出土石器	33
第 19 図	出土石器	34
第 20 図	出土石器	35
第 21 図	出土石器	36
第 22 図	出土石器	37
第 23 図	出土石器	38
第 24 図	出土石器	39
第 25 図	出土石器	40
第 26 図	出土石器	41
第 27 図	出土石器	42
第 28 図	出土石器	43
第 29 図	出土石器	44
第 30 図	旧河川出土の石器	45
第 31 図	接合資料	51
第 32 図	接合資料	52
第 33 図	接合資料	53
第 34 図	接合資料	54
第 35 図	接合資料	55
第 36 図	接合資料	56
第 37 図	接合資料	57
第 38 図	接合資料	58
第 39 図	接合資料	59
第 40 図	接合資料	60
第 41 図	接合資料	61
第 42 図	接合資料	62
第 43 図	接合資料	63
第 44 図	接合資料	64
第 45 図	接合資料	65
第 46 図	接合資料	66
第 47 図	接合資料	67
第 48 図	接合資料	68
第 49 図	接合資料	69
第 50 図	石器分布全体図	74
第 51 図	ブロック設定図	75
第 52 図	1 ブロック器種別石器分布図	76
第 53 図	1 ブロック母岩別石器分布図	77
第 54 図	2 ブロック器種別石器分布図	78
第 55 図	3 ブロック器種別石器分布図	78
第 56 図	2 ブロック母岩別石器分布図	79
第 57 図	3 ブロック母岩別石器分布図	79
第 58 図	4 ブロック器種別石器分布図	80
第 59 図	5 ブロック器種別石器分布図	80
第 60 図	4 ブロック母岩別石器分布図	81
第 61 図	5 ブロック母岩別石器分布図	81
第 62 図	6 ブロック器種別石器分布図	82
第 63 図	7 ブロック器種別石器分布図	82
第 64 図	6 ブロック母岩別石器分布図	83
第 65 図	7 ブロック母岩別石器分布図	83
第 66 図	8 ブロック器種別石器分布図	84
第 67 図	10 ブロック器種別石器分布図	84
第 68 図	8 ブロック母岩別石器分布図	85
第 69 図	10 ブロック母岩別石器分布図	85
第 70 図	9 ブロック器種別石器分布図	86
第 71 図	11 ブロック器種別石器分布図	86
第 72 図	9 ブロック母岩別石器分布図	87
第 73 図	11 ブロック母岩別石器分布図	87
第 74 図	器種別石器分布全体図	89
第 75 図	器種別石器分布全体図	90
第 76 図	器種別石器分布全体図	91
第 77 図	器種別石器分布全体図	92
第 78 図	接合関係全体図	98
第 79 図	母岩別石器分布全体図	99
第 80 図	GAn-1 個体別石器分布全体図	100
第 81 図	GAn-1 個体別石器分布全体図	101
第 82 図	GAn-1 個体別石器分布全体図	102
第 83 図	母岩別石器分布全体図	103
第 84 図	母岩別石器分布全体図	104
第 85 図	母岩別石器分布全体図	105
第 86 図	母岩別石器分布全体図	106
第 87 図	母岩別石器分布全体図	107
第 88 図	母岩別石器分布全体図	108
第 89 図	母岩別石器分布全体図	109
第 90 図	母岩別石器分布全体図	110
第 91 図	母岩別石器分布全体図	111
第 92 図	母岩別石器分布全体図	112
第 93 図	台形様石器と鋭利な縁辺部を有する小型剥片類	115
第 94 図	GAn-1 個体 F と生産された小型剥片類	115
第 95 図	ブロック別石器組成図(1)	119
第 96 図	ブロック別石器組成図(2)	120
第 97 図	ブロック別石器組成図(3)	121
第 98 図	ブロック別石器組成図(4)	122
第 99 図	ブロック別石器組成図(5)	123
第 100 図	ブロック別石器組成図(6)	124
第 101 図	ブロック別石器組成図(7)	125
第 102 図	母岩別石器組成図(1)	126
第 103 図	母岩別石器組成図(2)	127
第 104 図	母岩別石器組成図(3)	128
第 105 図	母岩別石器組成図(4)	129
第 106 図	母岩別石器組成図(5)	130
第 107 図	母岩別石器組成図(6)	131
第 108 図	母岩別石器組成図(7)	132

表 目 次

第1表	鑄川流域における周辺の旧石器時代遺跡……………	9	第8表	天引狐崎遺跡石器一覧表(5)……………	137
第2表	ブロック別器種別石器組成表……………	15	第9表	天引狐崎遺跡石器一覧表(6)……………	138
第3表	ブロック別母岩別石器組成表……………	16	第10表	天引狐崎遺跡石器一覧表(7)……………	139
第4表	天引狐崎遺跡石器一覧表(1)……………	133	第11表	天引狐崎遺跡石器一覧表(8)……………	140
第5表	天引狐崎遺跡石器一覧表(2)……………	134	第12表	天引狐崎遺跡石器一覧表(9)……………	141
第6表	天引狐崎遺跡石器一覧表(3)……………	135	第13表	天引狐崎遺跡跡一覧表(1)……………	141
第7表	天引狐崎遺跡石器一覧表(4)……………	136	第14表	天引狐崎遺跡跡一覧表(2)……………	142

写 真 目 次

P L 1	全景、調査風景	P L 18	石 器
P L 2	調査風景、基本層序	P L 19	接合資料
P L 3	石器出土状況	P L 20	接合資料
P L 4	石器出土状況	P L 21	接合資料
P L 5	石器出土状況	P L 22	接合資料
P L 6	石 器	P L 23	接合資料
P L 7	石 器	P L 24	接合資料
P L 8	石 器	P L 25	接合資料
P L 9	石 器	P L 26	接合資料
P L 10	石 器	P L 27	接合資料
P L 11	石 器	P L 28	接合資料
P L 12	石 器	P L 29	接合資料
P L 13	石 器	P L 30	接合資料
P L 14	石 器	P L 31	接合資料
P L 15	石 器	P L 32	接合資料
P L 16	石 器	P L 33	接合資料
P L 17	石 器	P L 34	接合資料

抄 録

1 遺跡の概略

本遺跡は、群馬県甘楽郡甘楽町大字天引に位置する。本遺跡の発掘調査は平成2年3月1日から開始され、平成3年3月31日をもって終了した。遺跡地は群馬県西部地域を東流する鎭川によって形成された河岸段丘面に立地する。この地域は「甘楽の谷」と一般にいわれ、群馬県下でも有数の遺跡地帯として名高い。本遺跡に隣接する地域にも各時代にわたる遺跡が多数存在し、その内容は徐々に明らかになってきている。

本遺跡は、旧石器、縄文、弥生、古墳、奈良、平安、中近世の遺構・遺物が検出された複合遺跡である。本書では、このうち旧石器時代の遺構・遺物に関して所収し、旧石器時代編として報告した。

当該時代に属する遺跡に関しては、西側に隣接する台地に天引向原遺跡と白倉下原遺跡が立地し、計5地点から石器が出土している。白倉下原遺跡A区とB区、天引向原遺跡A区の石器群では環状ブロック群を構成して検出された。本遺跡は、このような旧石器時代遺跡群のなかに残された一つの遺跡（地点）として位置づけられる。

2 遺構・遺物数量

	数 量	備 考
石 器	597	ナイフ形石器、台形様石器、スクレイパー、楔形石器、石核、剥片など。
礫	53	ブロックのなかから出土。被熱しているものは少ない。
ブロック	11	第1ブロック群と第2ブロック群とに分離。第1ブロック群は16m×15mの規模を持ち、7ヶ所のブロックで構成される環状ブロック群である。

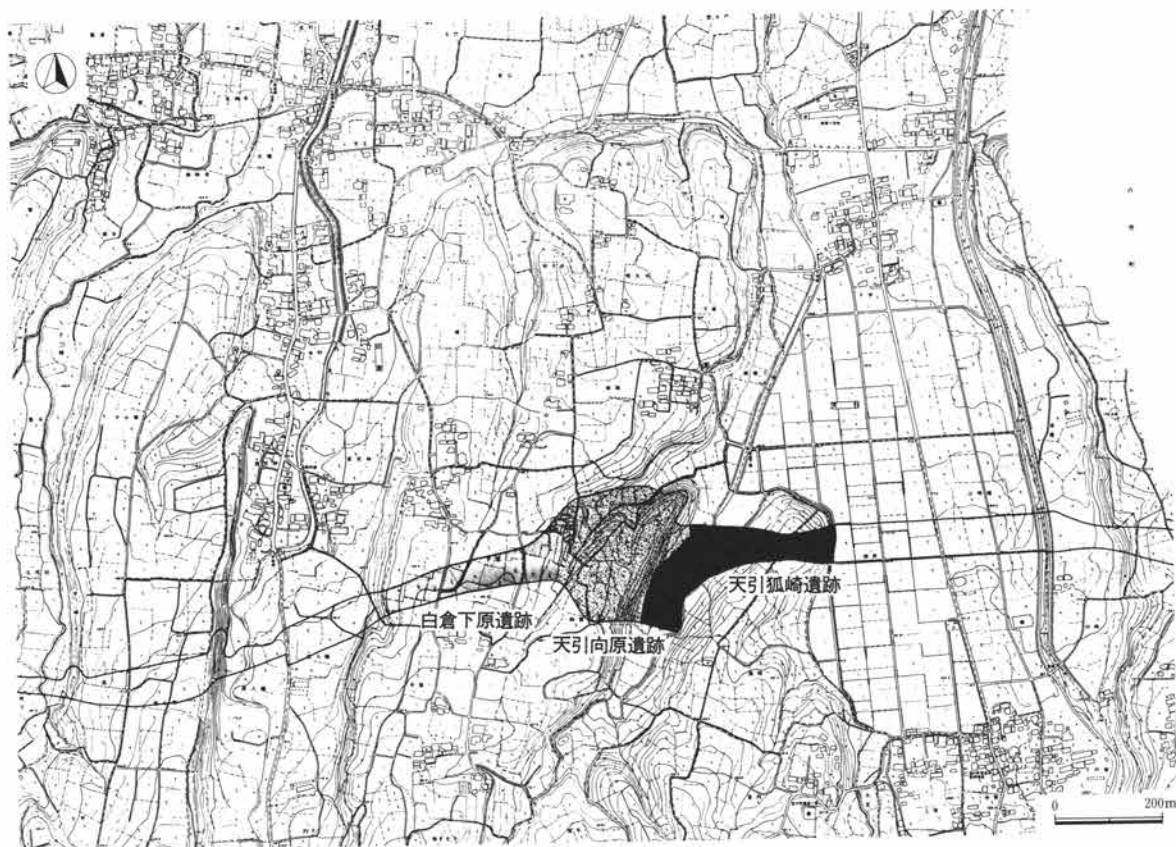
3 ま と め

天引狐崎遺跡は、これまで旧石器時代遺跡の分布が空白であった鎭川地域で検出された。今回調査された旧石器時代の遺構・遺物は、広域火山灰である始良Tn火山灰(AT)の下層から検出された。これは、石器群の時間的位置関係を求めるとき、全国レベルでの対比が可能となる点で重要であるし、環状ブロック群を構成して検出されたことは当該期の集落研究を進めていく上で重要な発見であった。

本報告書では、検出された石器群を分析した結果、次のような重要なデータを抽出し提供することができた。一つには、石器群に多数の接合資料が確認され、石器製作技術を研究していく上で良好なデータを提供できたこと、二つには、母岩別資料の分布とその接合関係を多数確認したことによって、環状ブロック群の構造を研究していく上で重要なデータを提供できたこと、である。

このように、天引狐崎遺跡は今後「甘楽の谷」という地域史的研究だけではなく、全国的に旧石器時代研究をさらに進めていく上で、重要な資料およびデータを提示することができた遺跡として期待される。

天引狐崎遺跡



第1章 発掘調査に至る経緯と経過

第1節 発掘調査に至る経緯

関越自動車道上越線（上信越自動車道）は首都圏と上信越地方とを結ぶ高速自動車国道として、日本道路公団によって建設される。起点を東京都練馬として新潟県上越市まで総延長280km（内練馬～藤岡間は関越自動車道新潟線と併用）である。平成5年3月27日開通した藤岡インター～佐久インター間は約69kmで、群馬県藤岡市（5.6km）、吉井町（6.3km）、甘楽町（4.3km）、富岡市（11.6km）、妙義町（2.5km）、松井田町（19.5km）、下仁田町（5.3km）、長野県佐久市（11.9km）の各市町を通過する。

群馬県藤岡市～長野県佐久市間の基本計画は昭和47年に策定され、同54年建設大臣により日本道路公団が施行命令を受けている。同56年群馬県藤岡市・吉井町・甘楽町・富岡市・下仁田町（東部）・松井田町（東部）、同57年松井田町（西部）・下仁田町（西部）・長野県佐久市までの路線が発表された。

関越自動車道上越線全体にかかる埋蔵文化財の取り扱い及び調査経過は次のとおりである。

昭和49年度 藤岡市～下仁田町間に存在する埋蔵文化財について、群馬県教育委員会は県企画部幹線交通課に対し文化財保護法の遵守、国・県・市町村の指定文化財をさけること、文化財に関係する事項は県教委文化財保護課と協議すること等の考え方を示した。

昭和55年度 県教委文化財保護課は路線通過地周辺の埋蔵文化財包蔵地の調査を行い、その結果は同年3月藤岡～松井田間、同年11月松井田～下仁田間について、「関越自動車道上越線関連公共事業調査報告書」として群馬県（企画部交通対策課）より報告された。

昭和59年度 建設工事の具体化に伴い、路線内の埋蔵文化財についてより具体的な調査の依頼が道路公団より県教育委員会にあり、県教委文化財保護課は包蔵地の詳細分布調査を行った。

昭和60年度 県教育委員会は分布調査の結果、包蔵地を濃い分布地・薄い分布地・試掘調査を必要とする地域に区分し、発掘調査必要面積を約100万㎡と想定し、55遺跡を認定した（後の試掘により52遺跡に変更）。

そして、埋蔵文化財発掘調査にかかる基本方針を次のように策定した。

- ・発掘調査終了年度を昭和65年度末（平成2年度末）とする。
- ・群馬県埋蔵文化財調査事業団を中核機関とし、対応できない部分に調査会方式を導入、関係市町村には進捗状況を考慮しながら協力を求める。
- ・事業団の出張所（上越線調査事務所）を開設し、整理作業も併せ行う。
- ・機関別対応面積は次のとおりとする。

埋文事業団 約76万㎡ 富岡市以東を受け持つ。面積は変動の可能性あり。

調査会 約22万㎡ 妙義町・下仁田町・松井田町。面積は変動の可能性あり。

なお、調査実施方法は次のとおりである。

日本道路公団東京第二建設局は群馬県教育委員会に調査の依頼を行い、年度毎に委託契約を締結する。県教育委員会はそれを受け、群馬県埋蔵文化財調査事業団及び、各遺跡調査会等に再委託のかたちで委託契約を締結し、調査を実施する。

昭和61年度 4月、埋文事業団上越線調査事務所を吉井町南陽台3-15-8に設置し、4班15人体制で発足し

第1章 発掘調査に至る経緯と経過

て調査を開始する。以後、6班22人体制(昭62)、9班36人体制(昭63)、12班45人体制(平元)、12班45人体制(平2)。平成2年度までに一部を残し発掘調査は終了した。

整理事業は昭和63年度より併行して実施していたが、平成3年度からは本部においても整理事業が始まり、現在2か所11班体制で実施している。調査事務所は平成5年度で事業を終了し、以後本部のみで実施され、平成8年度全事業終了予定である。

第2節 調査の方法と経過

1 グリッドの設定

天引狐崎遺跡は甘楽パーキングエリアと東方の本線部分が発掘調査範囲である。建設工用測量杭のS T A-150~153がほぼこれに該当する。この範囲内について、調査区南西端の国家座標 $X=26,700$ 、 $Y=-79,600$ を座標原点として、5m四方のグリッドを設定した。グリッドは南西コーナーの杭を基準にして、北方向及び東方向に1、2、3、、、と両方向とも算用数字で呼称した。なお、グリッドの設定、水準点の移動は(株)技研に委託した。

2 旧石器時代の調査方法

本事業団では、ローム台地上に立地する遺跡の場合、発掘調査事業は旧石器時代の試掘調査をもってすべての事業を終了させる方法をとっている。文化層、すなわち生活跡が確認できれば、本調査の面積、期間、方法を改めて関係機関と協議して旧石器時代遺跡の本調査を行うこととなっていた。本遺跡もこの方法に従って行うこととした。

天引狐崎遺跡は、調査対象地がパーキングエリア本体及び本線部分にあたり、このうち、本線部分が台地部に相当する。台地部は天引川と三途川によって形成された広大な低地部に突き出した舌状台地の先端部にあたり、西側に隣接する天引向原遺跡や白倉下原遺跡でも多数の石器群が検出されていたことから、特にA T下層で文化層が検出される可能性は大きいと判断された。

試掘調査は、文化層の数、位置、深度、範囲を確認するべく台地部全体に試掘坑を入れることとした。どこに石器群が分布し、逆にどこには分布がないのかを明確にし、遺跡全容を解明することを目的とした。

試掘方法は、台地頂上部では基本的に 2×3 mの試掘坑を4mもしくは5m間隔で設定し、ローム層上面から精査した。この間隔で調査すれば、まずブロックを見逃すことはないと判断したからである。発掘深度はA T層準より大体30cm程下層までとした。これよりも下層は礫層に移行することから文化層はないものと判断し、調査は行っていない。発掘用具にはジョレンやスコップ、撥鉄等を用いた。

試掘調査の結果、文化層はA T下層の1枚だけであることが判明した。本調査は、試掘調査によって確定した深度と面積をもとにして行った。文化層はA T下層だけであることが確定していたので、石器包含層の上に堆積するローム層はバックフォーで除去して調査の効率化を図った。

3 調査経過

天引狐崎遺跡の発掘調査は、事業名原東遺跡として平成2年3月1日から平成3年3月31日までの13ヶ月間にわたって実施された。このうち、旧石器時代の調査は縄文時代以降の遺構調査が終了した後、平成3年2・3月の2ヶ月間で試掘調査から本調査までを行った。

第2章 地理的・歴史的環境と遺跡の概要

第1節 地理的環境

天引狐崎遺跡は、群馬県南西部の富岡市街地の東方、甘楽郡甘楽町大字天引字狐崎地内に立地する。この遺跡は鑄川によって形成された上位と下位の二つの河岸段丘面のうち、高位の段丘面である上位段丘面に立地している。

鑄川は群馬・長野県境の八風山麓に源を発し、途中下仁田町本宿付近で、同じく群馬・長野県境の荒船山麓に源を発する市野萱川と合流した後、富岡市、甘楽町、吉井町、藤岡市の群馬県南西部地域を東に流れ下り、その後高崎市阿久津町付近で利根川の一支流である烏川へと合流する。鑄川が東流するこの地域一帯は、従来より「甘楽の谷」、あるいは「かぶら（鑄）の谷」と呼称される、歴史的に由緒ある地域である。「甘楽の谷」を上流に遡っていくと、内山峠を越えて長野県佐久市へと抜けることができ、古来から中部地方と関東地方とを結ぶ交通の要衝的機能を持った地域でもある。

鑄川右岸（南岸）一帯には上位段丘面と下位段丘面の二段の河岸段丘が形成されているが、特に富岡市東部から藤岡市にかけての中下流域では、特に上位段丘面の発達が著しい。逆に、左岸（北岸）では上位・下位とも河岸段丘の発達はほとんど見られない。こうした経緯については、右岸地域の地盤の隆起によって、鑄川の流路が次第に南から北へと移動したことに起因していると言われる。つまり、鑄川は最初に南側から上位段丘面を形成させて、その後下位段丘を形成させながら、流路を北へと次第に移動させた結果であると捉えられている。この流路移動自体は自然史的なタイムスケールのなかで現在でも進行中であり、今では下位段丘面を10m程浸食した河床を鑄川は流れている。

上位段丘面には、北西約40kmのところを聳える浅間山を給源とした、浅間室田軽石層(As-MP)をはじめとする複数の軽石層群と風化ローム層とが互層となって、2m程の厚さで堆積している。さらに、ローム層の下層には風化した暗褐色粘土層が堆積し、この上部には鹿児島湾を給源とする始良Tn火山灰(AT)が1~2cmの厚さで純層ないしブロック状に堆積している。このことから、遅くとも22,000年前頃には上位段丘面の形成が終了したことは確実で、さらに天引狐崎遺跡や隣接する白倉下原遺跡、天引向原遺跡の旧石器時代の石器群がAT下層から出土していることを考え併せれば、この年代をさらに遡ることは間違いのないであろう。

これに対して、下位段丘面にはほとんどの地域でローム層の堆積が見られないことから、上位段丘面にローム層が堆積している頃には、この面の何れかを鑄川が流れていたことが推測される。

天引狐崎遺跡が立地するのは上位段丘面で、南側地形は丘陵地帯が続いたのち、稲倉山や牛伏山をはじめとする標高1,200~1,500m程の山地が東西に連なってひかえている。この山地に源を発する雄川、白倉川、天引川、大沢川、矢田川、土合川などの中小河川が段丘面を開析しながら北流し、鑄川に直交するように合流している。さらに、これらの中小河川に注ぐ支谷が樹枝状に発達して、上位段丘面を東西に分断し、いくつもの舌状に延びる台地を形成している。このような台地の先端部あるいは縁辺部に旧石器時代遺跡は立地している。

天引狐崎遺跡は、大きく見ると東側を天引川、西側を三途川の中小河川によって大きく開析された上位段丘面に立地している。三途川を挟んで西側台地には天引向原遺跡が立地し、A区とC区の二つの調査区で旧

第2章 地理的・歴史的環境と遺跡の概要

石器時代の文化層が確認されている。さらに、小支谷を挟んで天引向原遺跡の西側台地には白倉下原遺跡が立地し、A・B・C区の三つの調査区から旧石器時代の文化層が確認されている。

これらの遺跡は各河川に注ぐ支谷によって分断され、遺跡の北側約1,000mのところには上位と下位の段丘面を画する比高差20m程の崖線が東西に走っている。

第2節 歴史的環境と周辺の遺跡

1 歴史的環境

「甘楽の谷」は、従来より群馬県でも有数の遺跡濃密地帯として著名である。なかでも、上位と下位の二つの河岸段丘面が形成されている簗川右岸には、各時代にわたって数多くの遺跡が残されている。例えば、縄文時代では大規模な環状列石が検出された田篠中原遺跡、弥生時代では多数の後期の住居跡が重複して検出された中高瀬観音山遺跡などが挙げられる。古墳時代については、三角縁神獣鏡が出土した富岡市北山茶臼山古墳や同北山茶臼山西古墳などの前期古墳、藤岡市七輿山古墳や白石稲荷山古墳、甘楽町笹森稲荷古墳などの大型前方後円墳、吉井町安坪古墳群や同神保古墳群、同多胡古墳群などの群集墳の存在は従来より著名である。また、奈良時代、和銅4年の「多胡郡」の建郡を記念して建立された、日本三古碑の一つである「多胡碑」も吉井町に存在する。このような遺跡濃密地帯をちょうど東西に貫くように関越自動車道上越線は通過することとなり、当然の結果として各時代にわたって文化層の複合する遺跡が多数調査されることとなった。特に、これまで不明な部分を多く残していた旧石器時代の様相については、今回の発掘調査によって多数の遺跡が調査されるとともに、多くの知見を得ることができた。

2 周辺遺跡

群馬県を俯瞰すると、ちょうど県土を東西に分断するかのように県中央部を利根川が途中、片品川、吾妻川、烏川、神流川などのいくつもの支流を集めながら南流している。この利根川を挟んだ西側には榛名山が、東側には赤城山が対峙するかのように県中央部に聳えている。

群馬県における旧石器時代の遺跡の分布状況をみると、利根川左岸（東岸）の赤城山南麓や西麓では、関越自動車道新潟線や上武国道、あるいはその他の大規模開発に伴う膨大な発掘調査量も起因して、旧石器時代遺跡は多数調査されている。代表的なところでは、径50m程の大規模な環状ブロック群が姿を現し、集落研究に格好の資料を提供した赤堀町下触牛伏遺跡をはじめ、同町堀下八幡、笠懸町和田、県内で初めて北方系細石刃石器群の良好なセットが出土した前橋市頭無、北橋村房谷戸、同村分郷八崎、赤城村勝保沢中ノ山、月夜野町後田などの研究上欠かすことのできない重要な遺跡が多数調査されている。

赤城西南麓地域のなかでも特に赤城山南麓地域は、故相沢忠洋によって精力的に踏査された地域で、考古学史上重要な位置を占める地域でもある。例えば、我国における旧石器時代遺跡をはじめて発見し、その文化の存在を立証した岩宿遺跡は東南麓の笠懸町に所在し、戦後の日本考古学史上に革命的な画期をもたらした遺跡としてあまりにも著名である。ほかにも新里村武井遺跡、藪塚町藪塚遺跡、伊勢崎市権現山遺跡、大間々町桐原遺跡、宮城村榊形遺跡など、旧石器時代研究初期に調査され、相沢の業績と共に研究史上に忘れられることのできない重要な遺跡が多数ある。

一方、利根川右岸（西岸）地域に視点を換えると、これまでの大規模開発の少なさもあって、発掘調査された遺跡は安中市古城遺跡、藤岡市北山遺跡、渋川市行幸田山遺跡などが挙げられるのみで、遺跡数は極め

て少ないのが現状であった。特に、鑄川流域では、藤岡市竹沼遺跡をはじめこれまでいくつかの遺跡で槍先形尖頭器などの旧石器時代に帰属すると考えられる石器が表面採集されていたが、発掘調査自体は藤岡市北山遺跡で行われたのみで、従来より「甘楽の谷」は旧石器時代遺跡の分布が極めて希薄な地域という印象が大勢を占めていたといえる。

しかし、今回この関越自動車道上越線建設に伴う発掘調査で、ここに報告する天引狐崎遺跡の他、多数の遺跡が調査されている。鑄川上流から、下仁田町下鎌田、富岡市野上塩之入、同下高瀬寺山、甘楽町白倉下原遺跡、天引向原遺跡、吉井町長根安坪、同神保富士塚、同多胡蛇黒、同矢田、同多比良追部野、同黒熊八幡、など多数の遺跡が調査され、旧石器時代においても「甘楽の谷」は遺跡が濃密に分布する地域であることが判明したのである。しかも、これらの遺跡立地のあり方から考えて、上位段丘面のいたるところに、いまだに多くの旧石器時代遺跡が残されていることは確実であろう。今後、上位段丘面を発掘調査すれば必ず何らかのかたちで遺跡、すなわち文化層が発見されるはずである。

また、これらの遺跡の石器群のほとんどがATよりも下層から出土していること、ATより上層から石器群が出土したのは長根安坪、神保富士塚、多胡蛇黒の3遺跡のみであることを考え併せると、特にAT下層で旧石器時代遺跡が発見される確率は極めて高いといえる。

次に、鑄川流域における縄文時代以降の歴史的環境について概略的にみている。

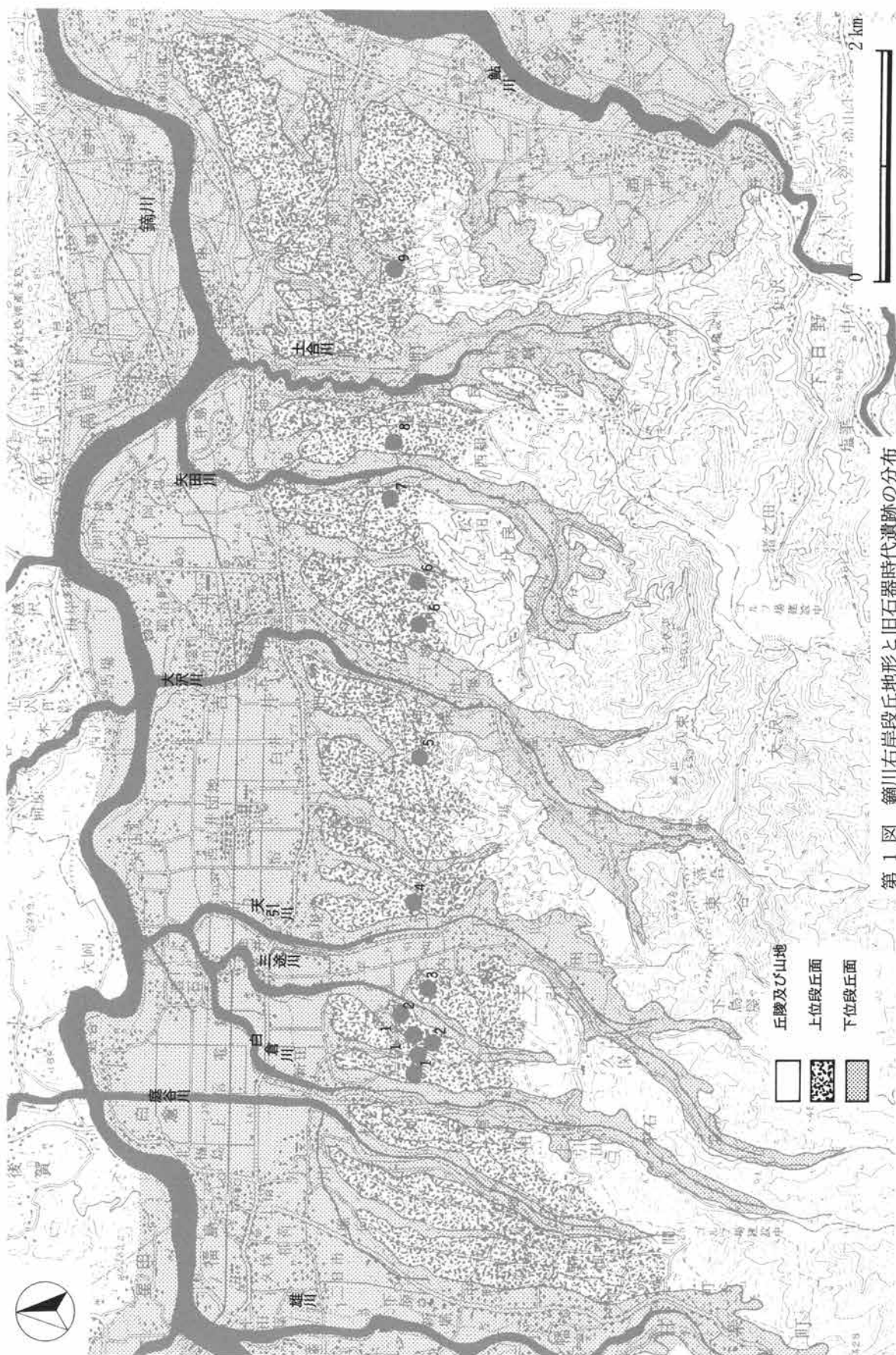
縄文時代については、草創期では、この時期に帰属すると考えられる槍先形尖頭器がいくつかの遺跡で出土している。しかし、原位置から出土しているものはない。早期では、内匠日向周地遺跡で押型文土器が出土しているが、遺構は下高瀬上之原遺跡で陥し穴状土坑が検出されている程度である。前期では、黒浜期の住居跡が南蛇井増光寺遺跡や内匠諏訪前遺跡で検出され、白倉下原遺跡でも多数の土坑が検出されている。中期では、田篠中原遺跡で大規模な環状列石や敷石住居跡などの配石遺構群が検出されている。後期では、白倉下原遺跡などで敷石住居跡や土坑などが多数検出されている。

弥生時代については、中期では、白倉下原遺跡や神保植松遺跡、神保富士塚遺跡で多数の土坑群が検出されている。しかし、住居跡は神保植松遺跡で1軒検出されたのみである。後期になると、遺跡は急激に増加し、多数の住居跡が確認されている。例えば、白倉下原遺跡では21軒、内匠日陰周地遺跡では13軒、下高瀬寺山遺跡では1軒が検出されている。さらに、中高瀬観音山遺跡では100軒を越える住居跡が検出され、南蛇井増光寺遺跡でも154軒が検出されており、大規模な拠点集落と考えられている。

古墳時代については、古墳群や集落が大規模に展開するようになる。前期では、北山茶白山古墳や北山茶白山古墳があり、前者からは三角縁神獣鏡、後者からは方格規矩鏡が出土している。中期では、白石稻荷山古墳や七興山古墳など大規模な古墳が下流域を中心に位置している。また、石田川式土器を伴う住居跡が天引向原遺跡や中高瀬観音山遺跡、下高瀬上之原遺跡、神保下條遺跡で検出され、特に天引向原遺跡や神保下條遺跡では住居跡から仿製珠文鏡が出土した点が注目される。後期では、各地で多数の古墳が古墳群を形成して構築されるようになる。また、どの遺跡でも住居跡は著しく増加し、集落は拡大していく。

奈良・平安時代については、古墳時代後期の集落から継続して営まれているようで、ほとんどの遺跡で多数の住居跡が検出されている。平安時代の住居跡の立地をみると、これまで台地平坦部に限定されていたのが、斜面部などにも営まれるようになることが窺える。

中近世については、中世では、白石大御堂遺跡で園池を伴う寺院跡が検出されている。また、塩之入城遺跡では山城跡が検出されている。近世では、内匠諏訪前遺跡で屋敷跡が検出され、神保下條遺跡や天引向原遺跡ではAs-A軽石で覆われた水田跡や畠跡が検出されている。



第1図 鶴川右岸段丘地形と旧石器時代遺跡の分布

第1表 鎭川流域における周辺の旧石器時代遺跡

No	遺跡名	所在地	出土層位	遺跡の概要	参考文献
1	天引狐崎	甘楽郡甘楽町大字天引	A T下層	本報告の遺跡。	10
2	しらくしもほら 白倉下原	甘楽郡甘楽町大字白倉	A T下層	A・B・C区の3地点から石器群を検出。A区からは台形様石器、ナイフ形石器、局部磨製石斧を含む403点の石器群が出土。石材は黒色安山岩主体。6ヶ所のブロックが環状ブロック群を構成。B区からは台形様石器、ナイフ形石器、局部磨製石斧を含む120点の石器群が出土。石材は黒曜石主体。4ヶ所のブロックが環状ブロック群を構成。	9・10
3	あまびきわかいほら 天引向原	甘楽郡甘楽町大字天引	A T下層	A・C区の2地点から石器群を検出。A区からはナイフ形石器、台形様石器を含む267点の石器群が出土。石材は黒色安山岩主体。13ヶ所のブロックが環状ブロック群を構成。	9・10
4	ながね あつげ 長根安坪	多野郡吉井町大字長根	ローム層	天引川を挟んで天引狐崎遺跡の東側の上位段丘上に立地。As-YP付近から黒曜石製の剥片、破片が10数点出土。	1
5	じんぼ ふじづか 神保富士塚	多野郡吉井町大字神保	ローム層	As-YP付近から黒曜石製の男女倉型彫器、槍先形尖頭器未製品が出土。	6
6	たごじやうろ 多胡蛇黒	多野郡吉井町大字多胡	ローム層 A T上層 A T下層	遺跡東端の矢田川を望む東台地で3枚の文化層を検出。As-MPの上層からは、ナイフ形石器、エンドスクレイパー、彫器を含む10数点の石器群、A T上層からは黒曜石製のナイフ形石器が1点、A T下層からは基部加工ナイフ形石器が1点それぞれ出土。遺跡西端の台地のA T下層でも2点石器が出土。	8
7	やた 矢田	多野郡吉井町大字矢田	A T下層	ブロック1ヶ所と礫群1ヶ所を検出。黒曜石製、黒色安山岩製の台形様石器を含む10数点の石器群が出土。	7
8	たいらおつべの 多比良追部野	多野郡吉井町大字多比良	A T下層	環状ブロック群を構成。台形様石器、ナイフ形石器を含む石材は黒曜石と黒色安山岩が多い。	3・10
9	くろくまはちまん 黒熊八幡	多野郡吉井町大字黒熊	A T下層	黒曜石製のスクレイパーと剥片の2点出土。	3
10	のがみしおのいり 野上塩之入	富岡市野上	ローム層	As-MP上層よりスクレイパーが1点出土。	5
11	しもたか せでんやま 下高瀬寺山	富岡市下高瀬	ローム層	黒曜石製細石刃核が1点出土。	2
12	きたやま 北山	藤岡市藤岡	ローム層	A T下層からは台形様石器を含む420点の石器が出土。	10・11・12
13	きたやま 北山B	藤岡市藤岡	ローム層 A T下層	ローム層からは槍先形尖頭器が出土。A T下層からも多量の石器群が出土。	4

註) 10～13については第1図中には表記されていない。

参考文献

- 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1989 『年報』8号 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1990 『年報』9号 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1991 『年報』10号 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1992 『年報』11号 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 新井 仁 1991 『野上塩之入遺跡・塩之入城遺跡』 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 小野和之 1993 『神保富士塚遺跡』 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 富田一仁 1993 『矢田遺跡IV』 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 中沢 悟 1993 『多胡蛇黒遺跡』 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 関口博幸 1993 『天引狐崎遺跡I』 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 関口博幸・桜井美枝・津島秀章 1993 「環状ブロック群が発見された群馬県内の遺跡」 第1回岩宿フォーラムシンポジウム『環状ブロック群』資料集 笠懸野岩宿文化資料館
- 志村 哲・大工原豊 1988 「藤岡北山遺跡」『群馬県史—資料編1—』群馬県
- 大工原豊 1990 「A T下位の石器群の遺跡構造と分析に関する一試論(1)」『旧石器考古学』41 旧石器文化談話会



第 2 図 遺跡の立地と周辺遺跡



第3図 石器出土地点

第3節 基本層序

天引狐崎遺跡は鍋川右岸の上位段丘面に立地している。上位段丘面では基本的に表土層(耕作土)、ローム層、粘土層、礫層の堆積が認められる。表土層中には、1783年(天明3年)に噴出した浅間A軽石(As-C)、1108年(天仁元年)に噴出した浅間B軽石(As-B)を含んでいる。本遺跡では、これらの軽石は純層での堆積は認められなかった。また、ローム層中には、同じく浅間山を給源とする浅間板鼻黄褐色軽石(As-YP)や浅間板鼻褐色軽石(As-BP)、浅間室田軽石(As-MP)などの軽石層と風化ローム層が互層となって堆積している。さらに、粘土層中には鹿児島島の始良カルデラを給源とし、22,000年前頃噴出したといわれる始良Tn火山灰(AT)が堆積している。

本遺跡から検出された石器群は粘土層(XII層)に包含され、ATの直下ぐらいから大体30cmほどの垂直幅をもって出土しており、ATにバックされた状態であった。石器群を包含する粘土層には小礫が含まれており、この下層には礫層が堆積していることから、鍋川が上位段丘面から離水して間もない頃に石器群が残されたと考えられる。

第I層 黒褐色土層(表土層) 耕作土である。攪拌された浅間A軽石を多く含んでいる。浅間A軽石は純層では認められないが、畝跡の畝間等では純層で堆積している。浅間B軽石は台地部では認められなかったが、台地西側の三途川低地部では堆積している部分があった。また、浅間C軽石の堆積はいずれの部分でも認められなかった。

第II層 暗褐色土層 漸移層で、遺構確認面である。縄文包含層でもある。

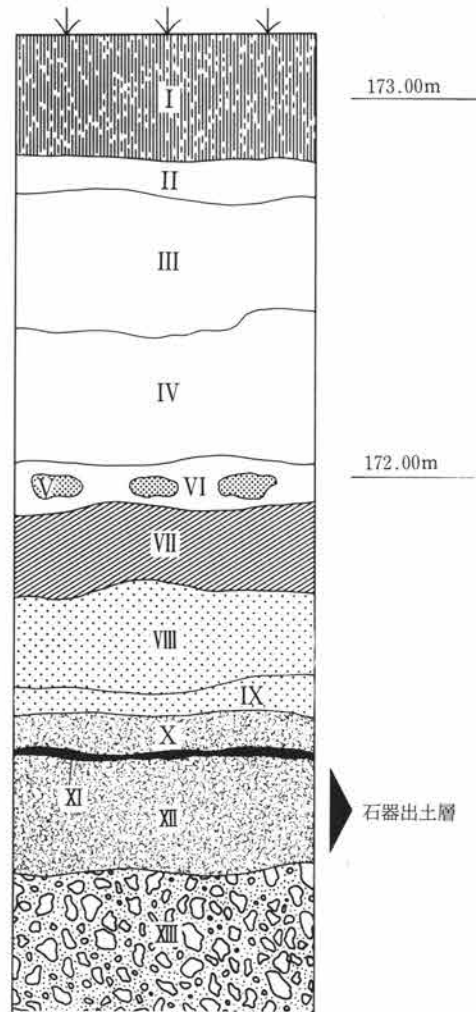
第III層 明黄褐色ローム層 堅く締まるローム層で、浅間板鼻黄褐色軽石(As-YP)を多く含む。場所によってはブロック状に堆積している。

第IV層 黄褐色ローム層 III層に比較してやや軟質で、粘性を持つ。また、色調もオレンジ色を帯びるローム層である。浅間白糸軽石(As-SP)の可能性のある白色の軽石を含む。

第V層 明黄褐色軽石層 明黄褐色を呈する浅間板鼻褐色軽石(As-BP)で、ブロック状に堆積している。堅く締まる。V層はブロック状に堆積するが、場所によっては純層で堆積することもある。

第VI層 黄褐色ローム層 浅間板鼻褐色軽石(As-BP)をブロック状に含む。

第VII層 暗褐色ローム層 粘性のあるローム層で、



第4図 基本層序

下半部ではAs—MPを少量含んでいる。締まりは弱く、場所によって炭化物を含むこともある。

第Ⅷ層 明赤褐色軽石層 明赤褐色を呈する浅間室田軽石(As—MP)の純層である。粒子は平均1～2cm程で、層厚は大体30cm程である。赤城山西南麓地域では浅間板鼻褐色軽石層群(As—BPグループ)として一括されるが、鍋川流域一帯をはじめとする群馬県西部地域では独立した軽石層として観察される。

第Ⅸ層 灰白色軽石層 Ⅷ層と同じAs—MPの純層であるが、粒子は細かい。水成作用によって色調が変化し、下半部では一部粘土化している。

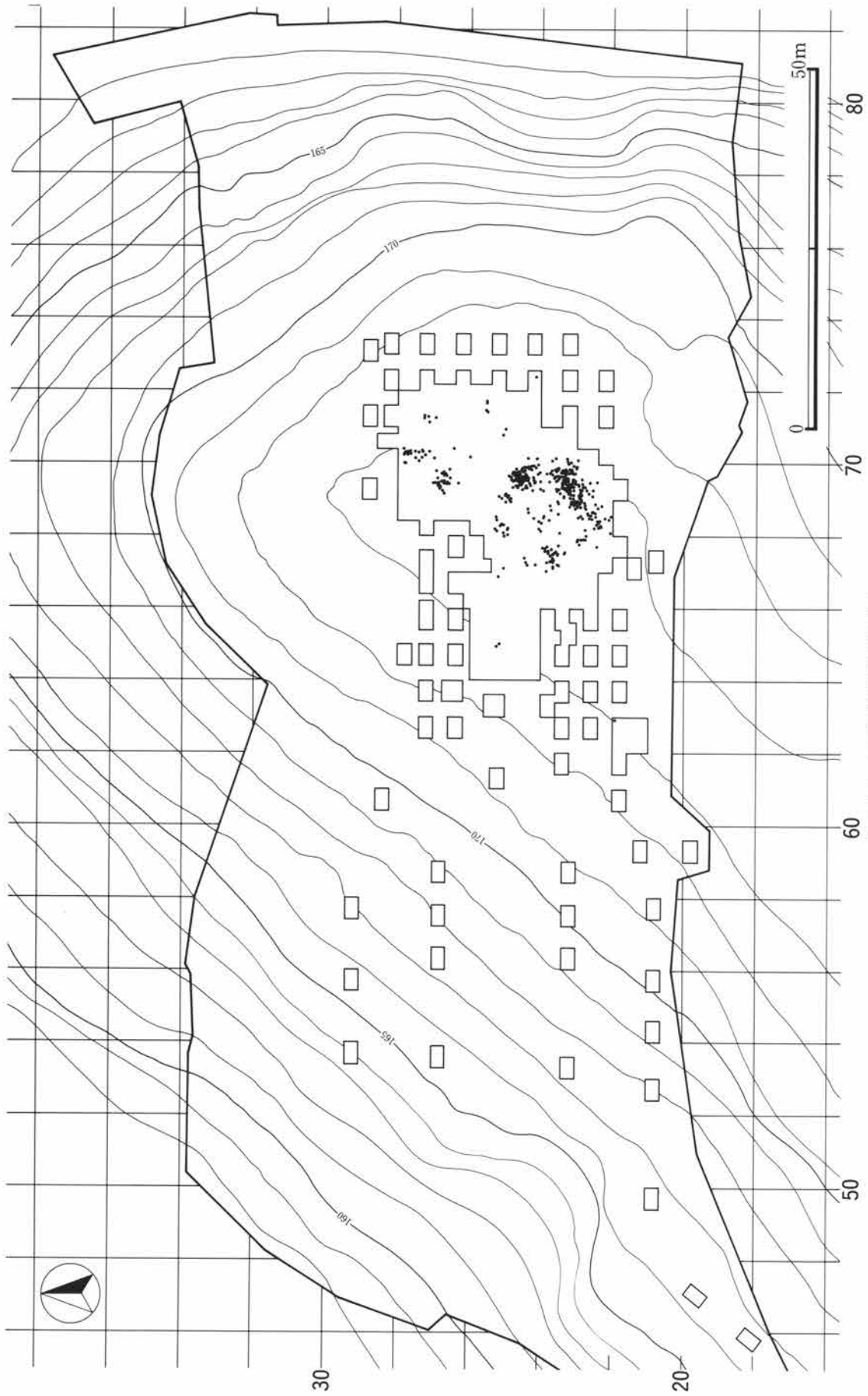
第Ⅹ層 暗褐色粘土層 堅く締まる粘土層で、色調もⅫ層と同様であるが、礫の混入は少ない。

第Ⅺ層 乳白色火山灰層 始良Tn火山灰(AT)の純層である。非常にきめ細かいガラス質の粒子である。層厚は1～2cm程で、場所によってはブロック状に堆積する。

第Ⅻ層 暗褐色粘土層 堅く締まる粘土層で、石器包含層である。平均2cm程の小礫を多く含む。場所によって、層厚0.5cm程の非常に堅く凝結した鉄分沈澱層が幾層か堆積し、こうした層を挟んで石器が出土することもあった。斜面部や降雨が連続すると本層で湧水する。層厚は平均30cmほどであるが場所によっては5cmほどで第Ⅼ層の礫層に移行することもあり、礫層上面から石器が出土する例も認められた。

第Ⅼ層 礫層 礫は比較的小型のものを主体とし、30cmを越えるような大型のものはほとんどみられない。礫種は結晶片岩とチャートを主体としている。

Ⅻ層以下は礫層と青灰色粘土層が互層となって厚く堆積している。



第5図 天引狐崎遺跡全体図

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

第1節 概 要

天引狐崎遺跡は東を天引川、西を三途川によって画された舌状台地部分と三途川によって形成された旧河川低地部分とによって構成される。低地部がパーキングエリア本体、台地部が東に接続する本線に相当する。低地部と台地頂上部との比高差は15mほどである。

三途川を挟んだ対岸西側の舌状台地には天引向原遺跡が立地し、A・C区と呼称する2地点のAT下層から石器群が出土している。このうち、A区では環状ブロック群を構成して石器群が検出されている。さらに、天引向原遺跡の西側台地には白倉下原遺跡が立地し、A・B・C区と呼称する3地点のAT下層から石器群が出土している。A・B区では環状ブロック群を構成して石器群が検出されている。このように本遺跡は旧石器時代遺跡、特にAT降灰以前の時期に営まれた遺跡が濃密に分布する地域のなかに立地しており、こうした遺跡群のなかの一つの遺跡（地点）として評価できる。

本遺跡の台地部分は、北側に向かって張り出す舌状台地先端部に位置しており、台地頂上部からは天引川と三途川によって形成された広大な低地部と、さらに遠く北方に鑄川によって形成された下位段丘面を見おろすことができ、眺望のよい立地環境を持っている。遺跡の立地環境としては最適条件を備えており、従来の経験的な見方から判断すれば、旧石器時代遺跡が残されている可能性は濃厚であった。

調査の結果、台地頂上部で平坦な部分を構成する(22～27-65～71)グリッドで石器の出土が認められた。

文化層は、層位的には石器の出土はAT下層に限定され、それよりも上層のローム層から全く石器の出土はなく、単一文化層の旧石器時代遺跡であることが確認された。

旧石器時代の調査面積は試掘調査面積を含めて1,300㎡に達した。

第2表 ブロック別器種別石器組成表

		ナイフ 形石器	台形様 石器	スクレ イパー	楔形 石器	R剥片	石核	剥片	碎片	敲石	砥石	台石	計	礫	合計
第1 ブ ロ ッ ク 群	1ブロック		7			6	15	178	129	2	1		338	13	351
	2ブロック		5			2	3	57	74	1			142	10	152
	3ブロック			1			1	2				1	5	5	10
	4ブロック							3					3	9	12
	5ブロック			3					15	6	2		26	6	32
	6ブロック	1		1					7				9		9
	7ブロック			2					6		1		9	5	14
	5ブロック周辺					1			1				2		2
小計	1	18	1	1	8	19	269	209	6	1	1	534	48	582	
第2 ブ ロ ッ ク 群	8ブロック					1		11	17				29	3	32
	9ブロック						3	6	7	1			17	2	19
	10ブロック					1		3	1				5		5
	11ブロック				1			3					4		4
	8ブロック周辺			2									2		2
	11ブロック周辺							1	1				2		2
小計		2		1	2	3	24	26	1			59	5	64	
ブロック外	1		3									4		4	
合計	2	20	4	2	10	22	293	235	7	1	1	597	53	650	

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

第3表 ブロック別母岩別石器組成表

		GAn-1	GAn-2	GAn-3	GAn-4	GAn-5	GAn-6	GAn-7	An-1	An-2	An-3	An-4	An-5	An-6	An-7	An-8	Ob-1	Ch-1	Ch-2	Ch-3	Ch-4	Ch-5	小計	
第1 ブ ロ ッ ク 群	1 ブロック	301		17		2		2			1		1	1	1			8	1	1				336
	2 ブロック	132		3			2	1										1	1		1			141
	3 ブロック								4															4
	4 ブロック						1																	1
	5 ブロック	20		1								1								2				24
	6 ブロック	3																		3			1	7
	7 ブロック	7								1														8
	5ブロック周辺	1																						1
小 計	464		21		2	3	3	4	1	1	1	1	1	1	1			9	7	1	1	1	522	
第2 ブ ロ ッ ク 群	8 ブロック	9	6		11			2																28
	9 ブロック	3	10		1		1									1								16
	10 ブロック																		4					4
	11 ブロック	2			2																			4
	8ブロック周辺																				1			1
	11ブロック周辺	1					1																	2
小 計	15	16		14		2	2								1			4	1				55	
ブ ロ ッ ク 外																		2						2
合 計	479	16	21	14	2	5	5	4	1	1	1	1	1	1	1	1	2	9	11	2	1	1	579	

		Ch-6	Ch-7	Ch-8	Ch-9	Ch-10	Ch-11	Ch-12	Ch-13	HSh-1	HSh-2	HSh-3	HSh-4	BSh-1	HMs-1	Ms-1	CS-1	小計	砥石	台石	礫	合計
第1 ブ ロ ッ ク 群	1 ブロック		1															337	1		13	351
	2 ブロック																	142			10	152
	3 ブロック																	4		1	5	10
	4 ブロック						1											3			9	12
	5 ブロック							1										26			6	32
	6 ブロック				1						1							9				9
	7 ブロック												1					9			5	14
	5ブロック周辺													1				2				2
小 計		1		1		1	1			1		1	1		1	1	1	532	1	1	48	582
第2 ブ ロ ッ ク 群	8 ブロック								1									29			3	32
	9 ブロック					1												17			2	19
	10 ブロック			1														5				5
	11 ブロック																	4				4
	8ブロック周辺	1																2				2
	11ブロック周辺																	2				2
小 計	1		1		1		1			1		1	1		1	1	1	59			5	64
ブ ロ ッ ク 外										1				1				4				4
合 計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	595	1	1	53	650

第2節 石 器

ナイフ形石器（第6図1・2）

1 黒色頁岩製の石刃を素材とする。ブランディングによる調整加工が左側縁と右側縁の先端部に施され、これによって打面は除去されている。背面は主要剥離面と同一加撃方向の3枚の剥離面で構成され、この素材が石刃技法によって生産された可能性が大きいことを示唆する。ブロック群から離れて（21-62）グリッドから単独で出土した。

2 硬質頁岩製の石刃を素材とする。ブランディングによる調整加工が右側縁全体と左側縁下半部に施され、これによって打面は完全に除去されている。背面は主要剥離面と同一加撃方向の2枚の剥離面で構成され、その稜線が側縁に平行して器体中央部に走るが、右側縁上部では調整加工が稜線まで及び取り除かれている。また、主要剥離面にはバルブの発達が見られないことから打点の位置が遠く、この素材石刃が比較的大型で、素材形状を修正していることが想起される。6ブロックからの出土であるが、他の石器とはやや離れて出土している。なお、この石材は色調等から判断して東北産のものである可能性が大きい。

台形様石器（第6図3～10、第7図11～22）

3 チャート製で、横長剥片を素材とする。平坦な調整加工が左側縁の背面と主要剥離面側に施される。調整加工は縁辺部に限られ、器体を広範囲に覆うことはない。打面は残置されている。

4 チャート製で、横長剥片を素材とする。調整加工は左側縁の基部と右側縁の全体に施される。前者は微細で、後者は素材打面を打面として平坦に施され、両者とも背面側に限定されている。後者については、厳密には主要剥離面との切り合い関係が一部判然としない部分があるものの、前者が主要剥離面を切ることから、素材剥離後に施されているものと考えられる。

5 チャート製で、横位に折断した幅広の縦長剥片を素材としている。左側縁では折断面を打面として、平坦な調整加工が背面と主要剥離面の両面に施され、右側縁では主要剥離面側に平坦な調整加工が施される。

6 チャート製で、横長剥片を素材とする。調整加工は右側縁の背面側と左側縁の背面と主要剥離面の両側に施される。いずれも平坦な調整加工である。

7 珪質頁岩製で、縦長剥片を素材とする。調整加工は左側縁主要剥離面側の下半部と右側縁基部に施され、前者は平坦で、後者は微細な調整加工である。左側縁上部から先端部にかけて微細剥離痕が認められる。

8 チャート製で、寸詰まりの横長剥片を素材とする。調整加工は右側縁と左側縁に施されるが、両者とも微細なものである。右側縁では背面側に先端から基部まで連続して認められ、左側縁では主要剥離面側の先端部と下半部に認められる。

9 黒色安山岩製で、横長剥片を素材とする。左側縁にやや粗く鋸歯状の調整加工が施される。打面はそのまま残置される。

10 黒色安山岩製で、折断した横長剥片を素材としている。右側縁には背面と主要剥離面の両方向からブランディングによる調整加工が施されている。左側縁は折断面が残置され、調整加工は加えられていない。

11 黒色安山岩製で、横長剥片を素材とする。調整加工は、右側縁では背面と主要剥離面に平坦に、左側縁では背面を打面として主要剥離面側にブランディングによってそれぞれ施されている。これによってプロポジションは切り出し形を呈している。

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

- 12 黒色安山岩製で、横長剥片を素材とする。右側縁中央部とこれに対向する左側縁中央部の背面側に平坦な調整加工が若干施され、これによってプロポーションを左右対称の尖頭形に仕上げている。
- 13 黒色安山岩製で、横長剥片を素材とする。調整加工は左右両側縁に施される。右側縁では折断した後この面を打面として平坦な調整加工が主要剥離面側に施され、左側縁では平坦な調整加工が背面側に施される。
- 14 黒色安山岩製で、左右両側縁を折断した横長剥片を素材としている。調整加工は折断した左側縁に若干施されるのみである。
- 15 黒色安山岩製で、比較的薄手で幅広の縦長剥片を素材とする。左右両側縁は折断され、調整加工は左側縁の折断面に若干施されるのみである。
- 16 黒色安山岩製で、比較的薄手の横長剥片を素材とする。右側縁は折断され、この折断面を打面として背面と主要剥離面に平坦な調整加工が若干施されている。
- 17 黒色安山岩製で、上半部を欠損する。素材は横長剥片で、調整加工は左右両側縁に施される。右側縁では折断面に調整加工を加えており、左側縁では背面と主要剥離面に平坦な調整加工を施している。
- 18 黒色安山岩製で、破片資料である。平坦な調整加工を一部残している。
- 19 黒色安山岩製で、横長剥片を素材とする。調整加工は左側縁の素材打面にブランディングによって施される。右側縁は折断されているが、調整加工は加えられていない。
- 20 黒色安山岩製で、半分に折断した横長剥片を素材としている。右側縁基部にやや粗い鋸歯状の調整加工が若干施されるのみである。左側縁は折断面が残置され、調整加工は加えられていない。
- 21 黒色安山岩製で、小型の寸詰まりの縦長剥片を素材とする。調整加工は右側縁の背面側に若干施されるのみである。
- 22 黒色安山岩製で、寸詰まりで幅広の横長剥片を素材としている。やや粗い鋸歯状の調整加工が左側縁に施される。

スクレイパー (第8図23・24、第9図25)

- 23 硬質頁岩製で、大型で厚手の石刃を素材とする。スクレイパーエッジは左側縁の主要剥離面側上半部に作出される。背面は自然面及び主要剥離面と同一加撃方向と180度加撃方向の異なる剥離面によって構成され、後者は母岩を分割した剥離面の可能性がある。打面は平坦な一枚の剥離面で構成される。右側縁と中央稜線には微細剥離痕が認められる。この石材は色調等から判断して東北産である可能性が大きい。
- 24 黒曜石製で、2点出土したが、接合後1点となった。大型で断面三角形の厚手の石刃を素材とし、器体中央部に左右両側縁に平行する稜線が走る。この稜線を境として左右両側にスクレイパーエッジが作出されている。このスクレイパーエッジは、肉眼で観察した限りだが摩滅が著しく、使用頻度が高かったことを物語っている。打面は平坦な一枚の剥離面で構成され、左右両側縁には微細剥離痕が認められる。なお、この母岩は不純物を含まず、また透明度も高く良質である。ブロック群から離れて(25-65)グリッドから互いに隣接して出土した。
- 25 安山岩製で、横長剥片を素材とする。スクレイパーエッジは端部に鋸歯状に作出される。47の石核に接合する。

楔形石器 (第9図26・27)

- 26 珪質頁岩製で、器体は比較的薄手である。裏面側に両極剥離痕が顕著に認められる。ポジティブ面は残っ

ていないが、剥片を素材に用いて、その面が次第に弾けていったものと考えられる。

27 黒色安山岩製で、右半部を折断した厚手の横長剥片を素材とする。端部では背面と主要剥離面の両面に両極剥離痕が残っているが、頭部では背面側のみである。

二次加工のある剥片（第9図28～30、第10図31～36）

28 黒色安山岩製で、縦長剥片を素材とする。主要剥離面には剥離の長さが1cm程の剥離面が4ヶ所残っているが、剥片生産を行った石核かは判然としない。背面はポジティブ面で、分割面と考えられる。

29 チャート製で、縦長剥片を素材とする。素材打面を取り除くように二次加工が施されている。

30 黒色安山岩製で、寸詰まりで幅広の縦長剥片を素材とする。左右両側縁は折断面で、折断面を切って右側縁の上端部に二次加工が若干施されている。

31 黒色安山岩製で、横長剥片を素材とし、端部の主要剥離面側に二次加工が施されている。器体中央部付近で破損するが、剥離面の切り合いから破損は加工後に起きていることが看取される。

32 黒色安山岩製で、縦長剥片を素材とする。右側縁に二次加工が施されている。

33 黒色安山岩製で、縦長剥片を素材とするが、上半部は欠損している。主要剥離面側に平坦な二次加工が施されている。

34 黒色安山岩製で、縦長剥片を素材とするが、上部を欠損する。右側縁に背面を打面として連続する急斜な二次加工が施されている。

35 黒色安山岩製で、横長剥片を素材とする。平坦な二次加工が左右両側縁に施されている。ここでは二次加工のある剥片としたが、台形様石器の破片資料である可能性もある。

36 チャート製で、寸詰まりの縦長剥片を素材とする。端部の主要剥離面側に平坦な二次加工が施される。

石 核（第10図37～第16図55）

37は黒色安山岩製で、GAn-1 個体Dに帰属する。38は黒色安山岩製で、GAn-4 に帰属する。厚手の剥片を素材とする。39は黒色安山岩製で、GAn-1 個体Eに帰属する。背面を打面として厚手の横長剥片を1枚生産している。器体中央付近で破損するが、これは剥片生産の際に起った同時割れと考えられる。40・42は黒色安山岩製で、GAn-2 に帰属し互いに接合する。41は黒色安山岩製で、GAn-6 に帰属する。43は黒色安山岩製で、GAn-5 に帰属する。大型の縦長剥片を素材とし、主に右側面で剥片生産を行っているが、そこで生産された剥片は小型であることが剥離痕から看取される。44は黒色安山岩製で、GAn-1 個体Fに帰属する。45は黒色安山岩製で、GAn-1 個体Cに帰属する。46は黒色安山岩製で、GAn-1 個体Dに帰属し37と接合する。47は安山岩製で、大型の偏平な円礫を素材とする。打面と作業面を180度入れ換えながら剥片生産を行っている。48はチャート製で、亜角礫を素材とする。作業面を正面に固定して剥片生産を行っているが、そこで生産されている剥片は寸詰まりの縦長剥片もしくは横長剥片である。49は黒色安山岩製で、GAn-1 個体Bに帰属する。50は黒色安山岩製で、GAn-1 個体Gに帰属する。51は黒色安山岩製で、GAn-1 個体Aに帰属する。52は黒色安山岩製で、GAn-1 個体Hに帰属する。53は黒色安山岩製で、GAn-1 個体Aに帰属する。54は安山岩製で、円礫を素材とする。分割面と考えられる平坦な剥離面を打面として剥片生産を行っている。55は安山岩製で表裏面で、剥片生産を行っているが風化が著しいため判然としない部分もある。

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

剥片 (第16図56～第27図171)

56～63はチャート製で、Ch-1に帰属し、58・60～63は石核に接合する。64～67・69～71はチャート製で、Ch-2に帰属する。64は端部がヒンジフラクチャーを起こした幅広の縦長剥片、65は横長剥片、66は寸詰まりの縦長剥片で、石核底面まで抜けている。67は厚みのある縦長剥片、69は厚みのある横長剥片である。68はチャート製の横長剥片で、端部はヒンジフラクチャーを起こしている。72はチャート製の幅広の横長剥片で、右側縁には微細剝離痕が認められる。73はチャート製の幅広の縦長剥片である。74はチャート製の横長剥片で、端部はヒンジフラクチャーを起こしている。79は硬質泥岩製の幅広の縦長剥片で、上半部は欠失している。75～78・80～151は黒色安山岩製で、GAn-1に帰属する。75・76は右半部が同時割れを起こした寸詰まりの縦長剥片で、左側縁にはそれぞれ微細剝離痕が認められる。80・82は縦長剥片で、同時割れを起こしている。83も縦長剥片で同様に同時割れを起こし、中央付近でさらに横位に折断されている。92・94は横長剥片、93・95は寸詰まりの縦長剥片、97は端部が尖頭形となる寸詰まりの縦長剥片、100は幅広の縦長剥片で、左側縁は折断されている。101は横長剥片で、右側縁と端部は折断されている。106は寸詰まりの縦長剥片、111は幅広の縦長剥片で、左右両側縁は折断されている。115～144は比較的小型の寸詰まりの縦長剥片で、同時割れや折断されたものが多い。145～151は横長剥片で、同時割れを起こしたものが多い。152～154は黒色安山岩製で、GAn-2に帰属する。153は横長剥片、154は比較的大型で幅広の縦長剥片で、中央付近で折断されている。155～159・161～164・168・170は黒色安山岩製で、GAn-3に帰属する。156・157は横長剥片で、156の端部はヒンジフラクチャーを起こしている。158は端部が尖頭形の縦長剥片、159は寸詰まりの縦長剥片である。

敲石 (第28図172～178)

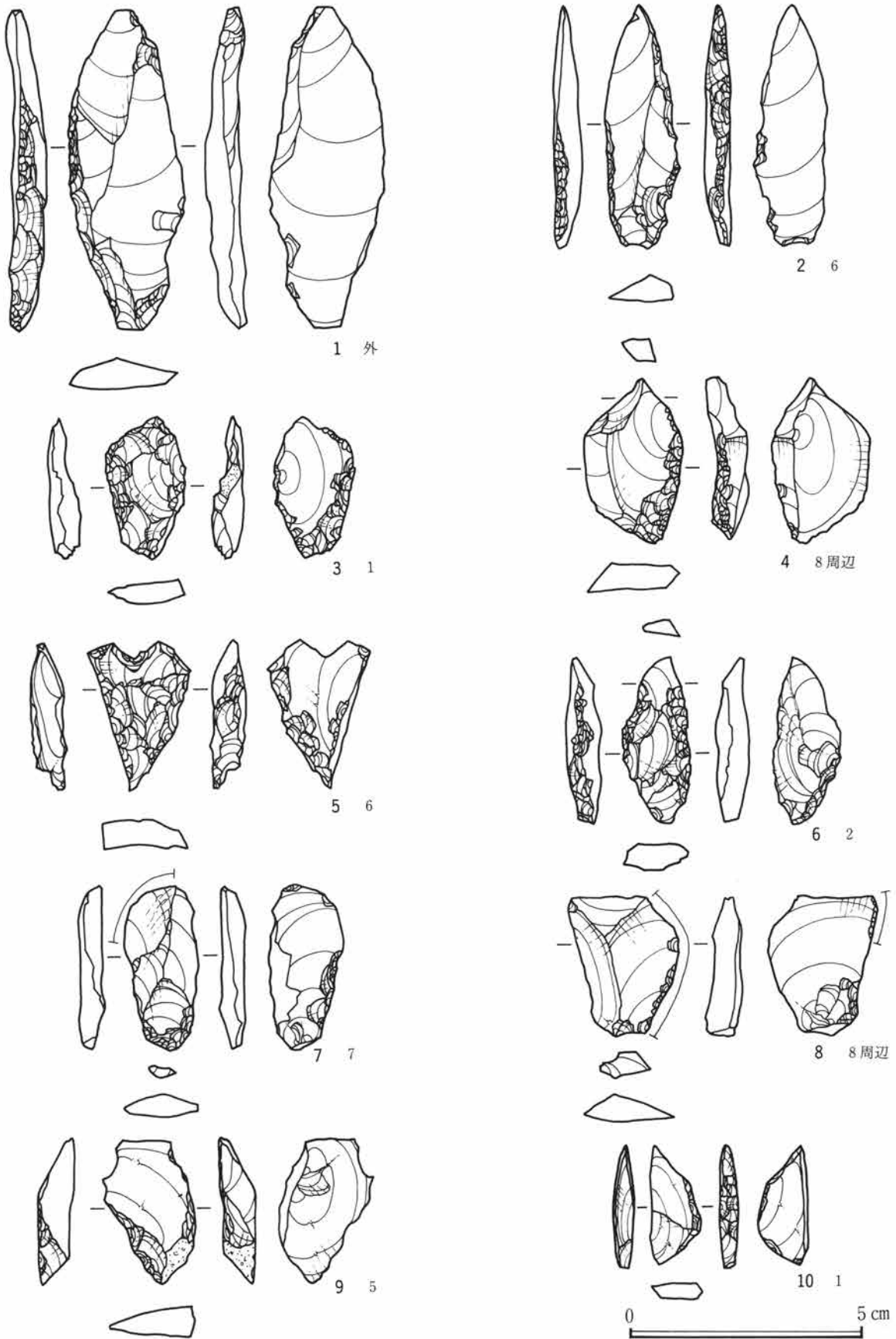
172は安山岩製で、棒状の礫を素材とする。上下両端部に敲打痕が認められるが、下端部では先端が弾け飛んでいる。173は結晶片岩製で、棒状の礫を素材とし、敲打痕は下端部に認められる。174は安山岩製で、破損した偏平な礫を素材とし、下端部に敲打痕が認められる。175は細長い棒状の礫を素材とする。右側縁から下端部にかけて敲打痕が認められる。176は安山岩製で、偏平な円礫を素材とし、下端部周縁に敲打痕が認められる。177は安山岩製で、偏平な円礫を素材とし、上端部から右側周縁部に敲打痕が認められる。178は安山岩製で、やや厚みのある円礫を素材とする。敲打痕は上下両端部に認められる。

砥石 (第29図179)

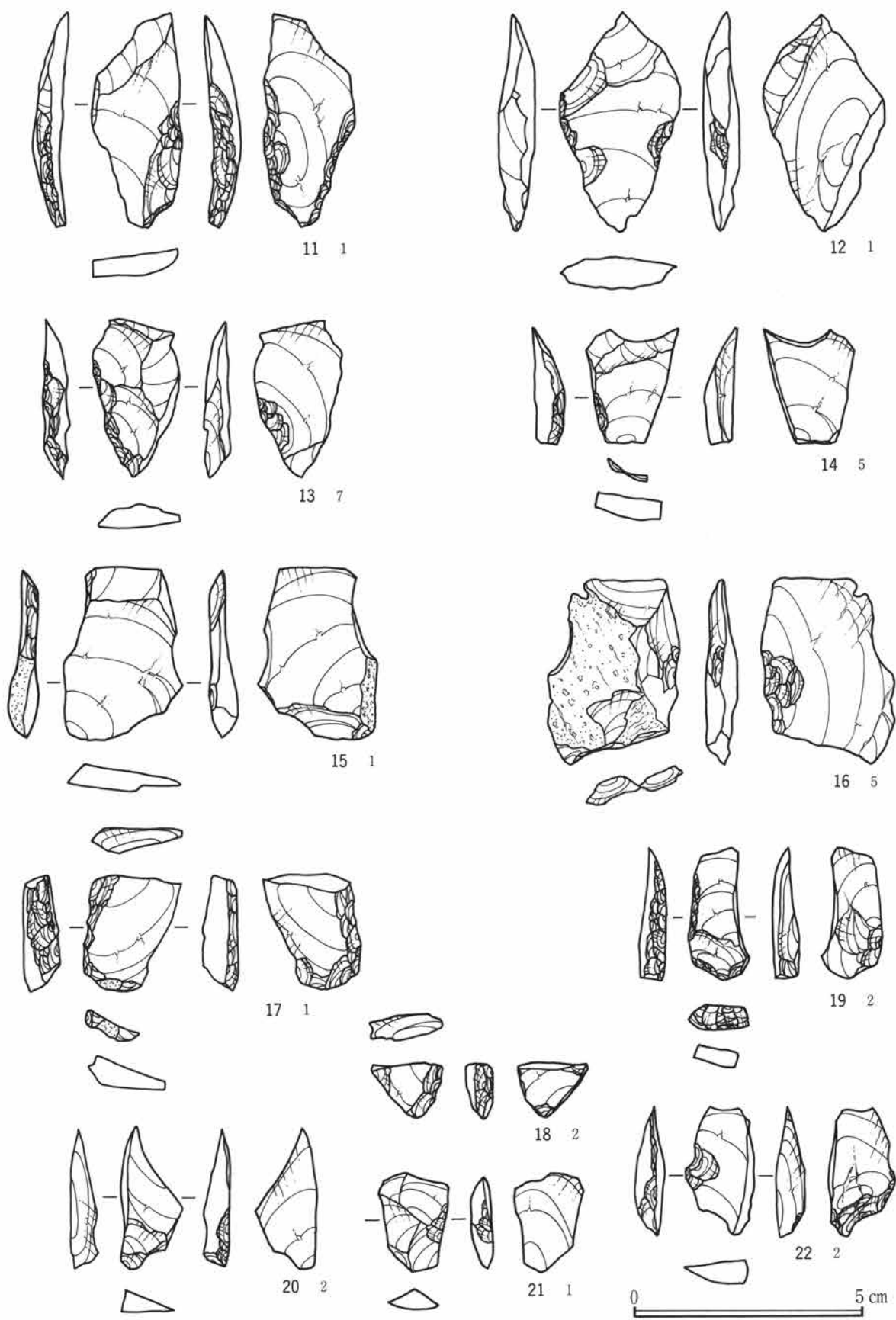
安山岩製で、長楕円礫を素材とするが、風化が進行しているため表面が一部剥落している。表裏面に擦痕が認められるが、特に表面では著しい。本石器は局部磨製石斧の砥石として機能していた可能性が考えられるが、局部磨製石斧の器体本体やそれに関連する資料（作出剥片や刃部破片等）は全く出土していない。さらに、局部磨製石斧製作に適した石材（例えば変玄武岩など）の石器も出土していない。

台石 (第29図180)

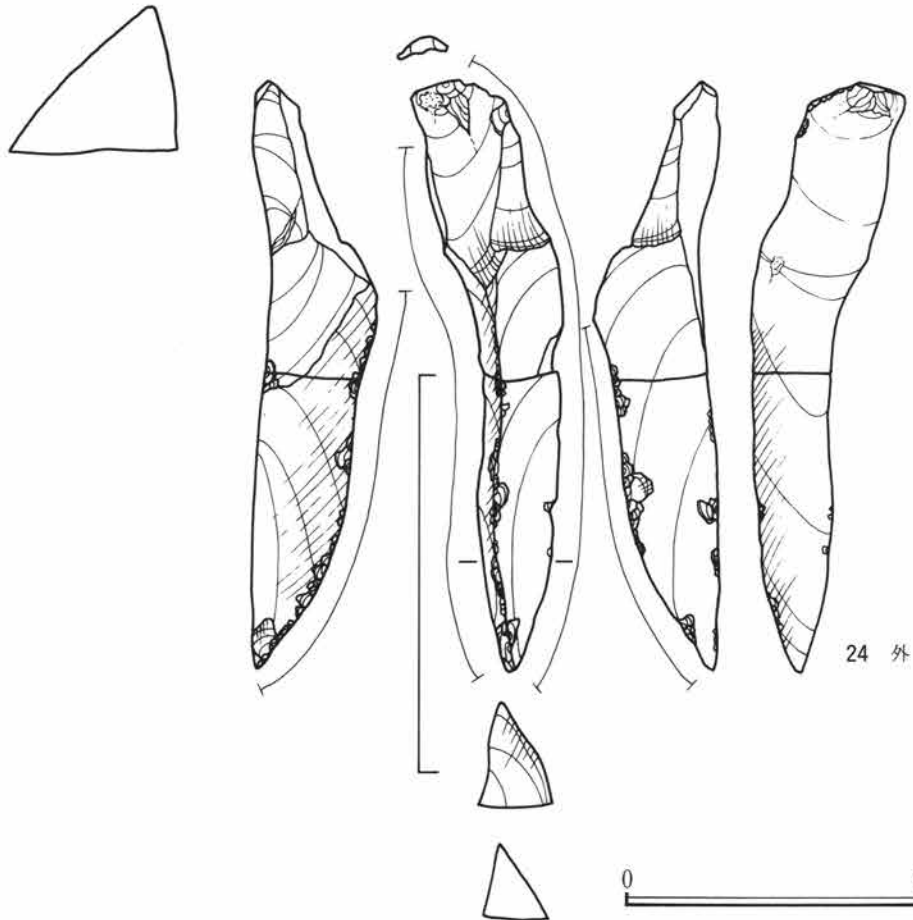
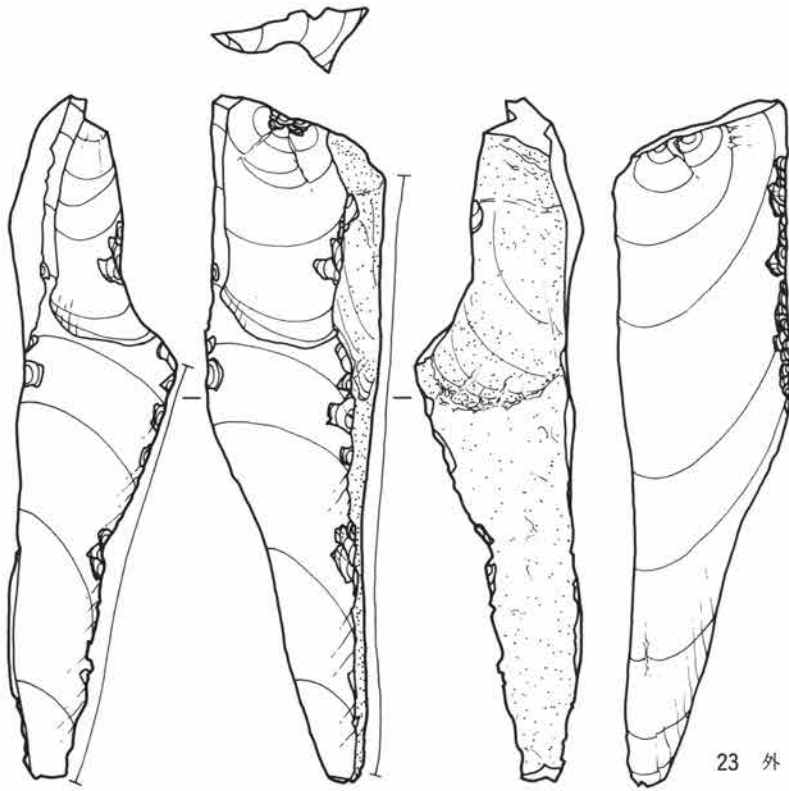
安山岩製で、大型の偏平な亜角礫を素材とする。表裏面に擦痕が認められるが、それほど顕著ではない。



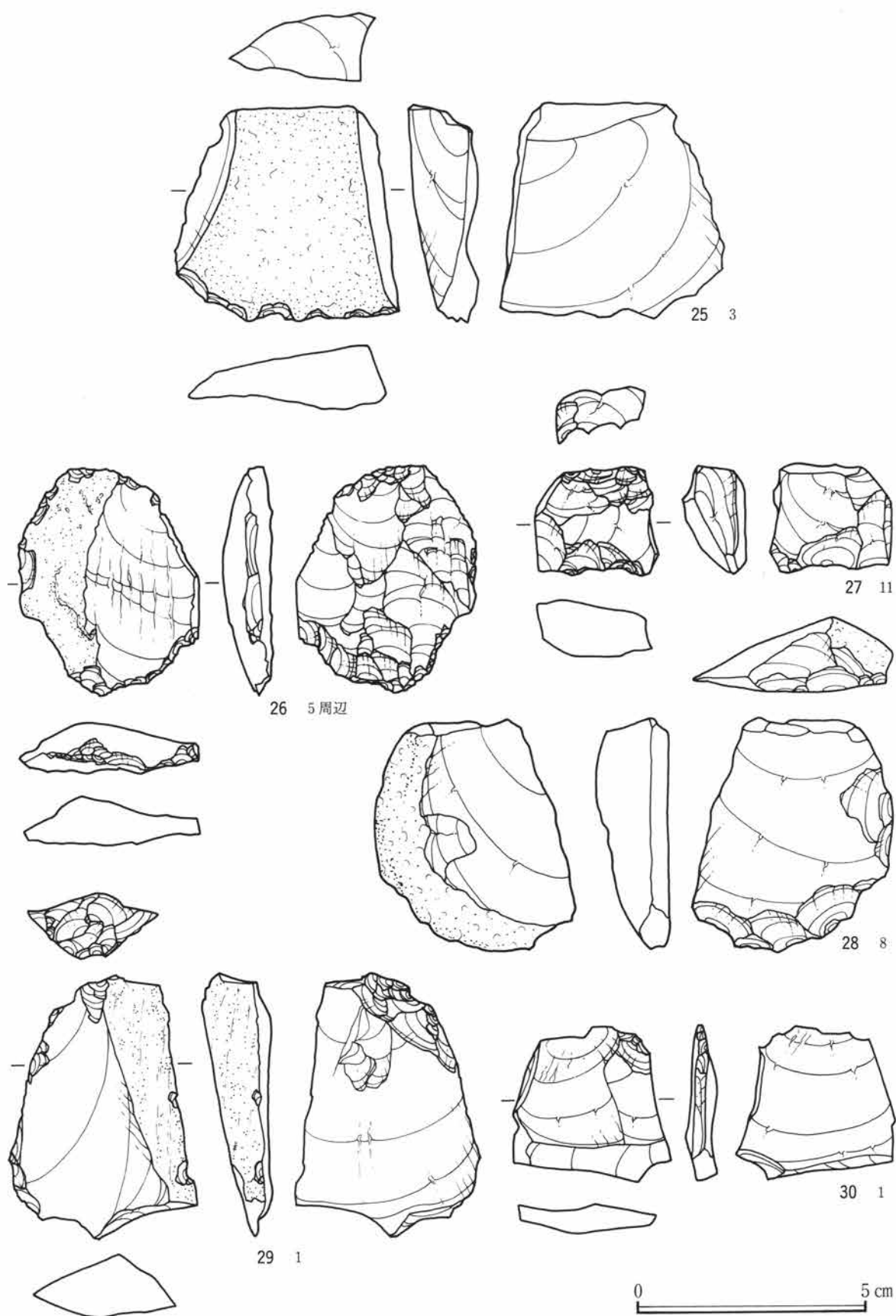
第6図 出土石器（ナイフ形石器、台形様石器）



第7図 出土石器（台形様石器）



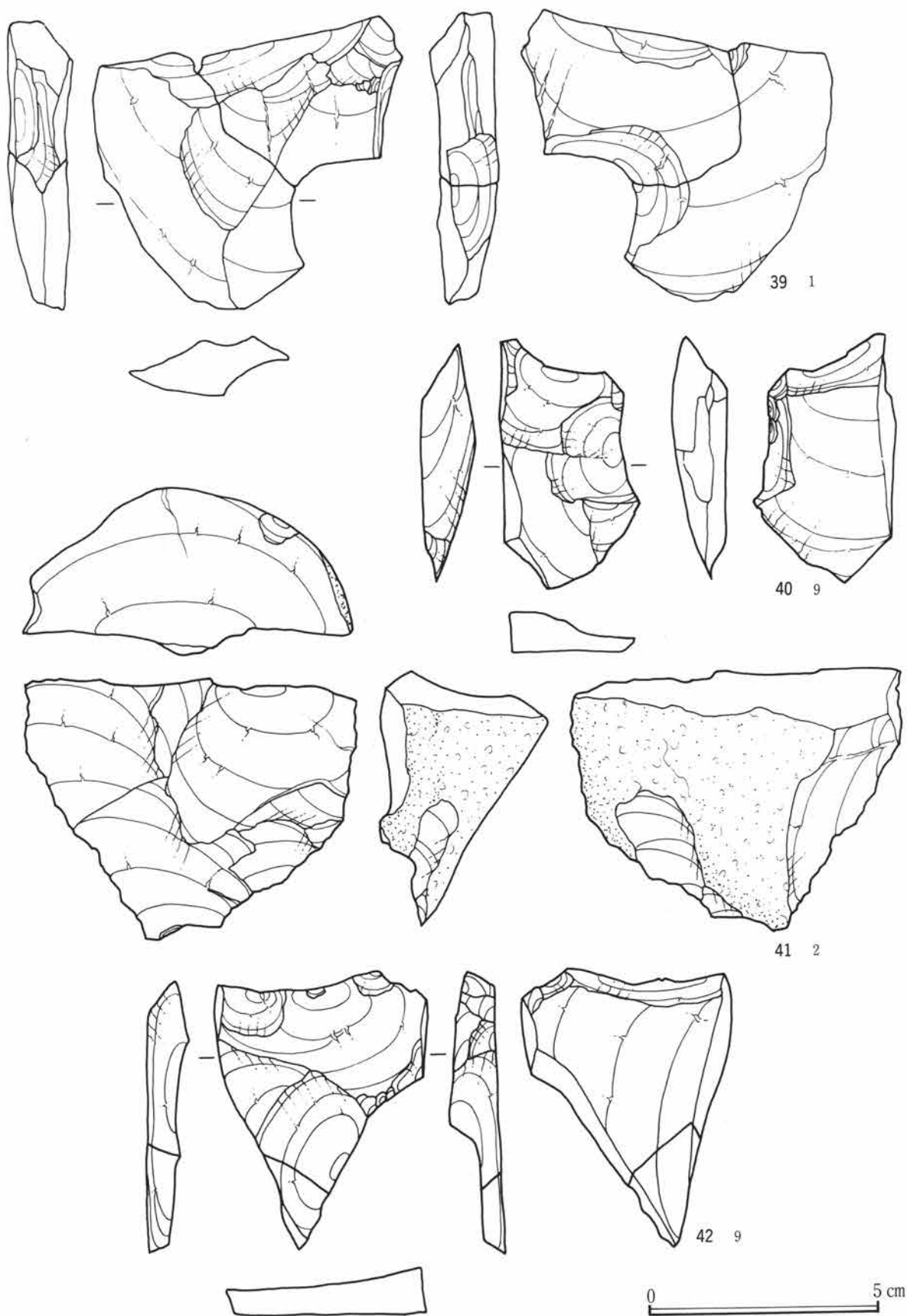
第 8 図 出土石器 (スクレイパー)



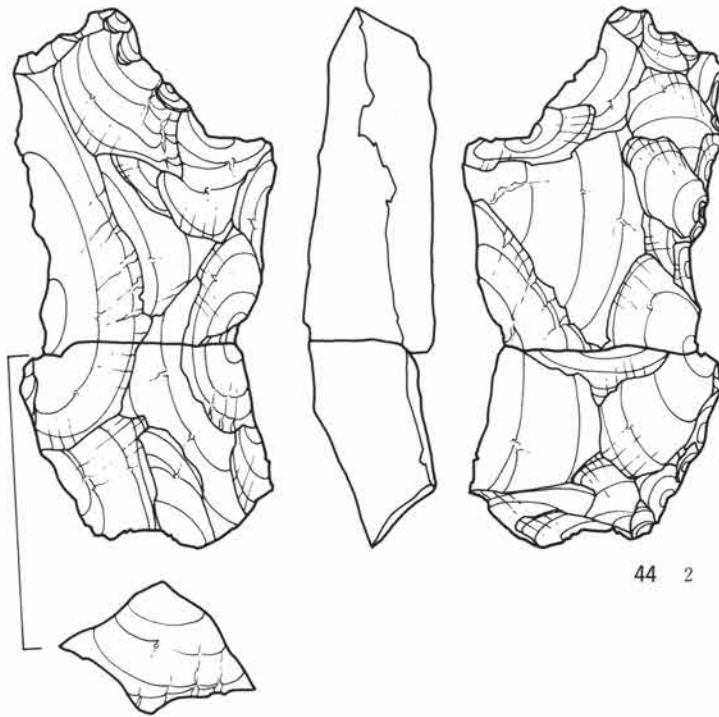
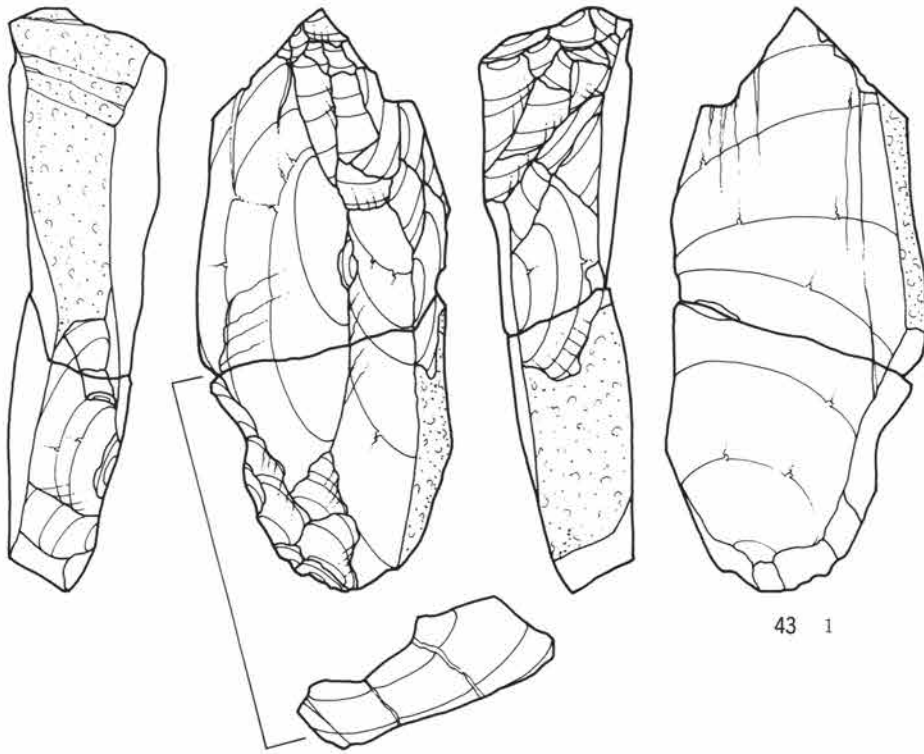
第9図 出土石器（スクレイパー、楔形石器、R剥片）



第10圖 出土石器 (R剝片、石核)

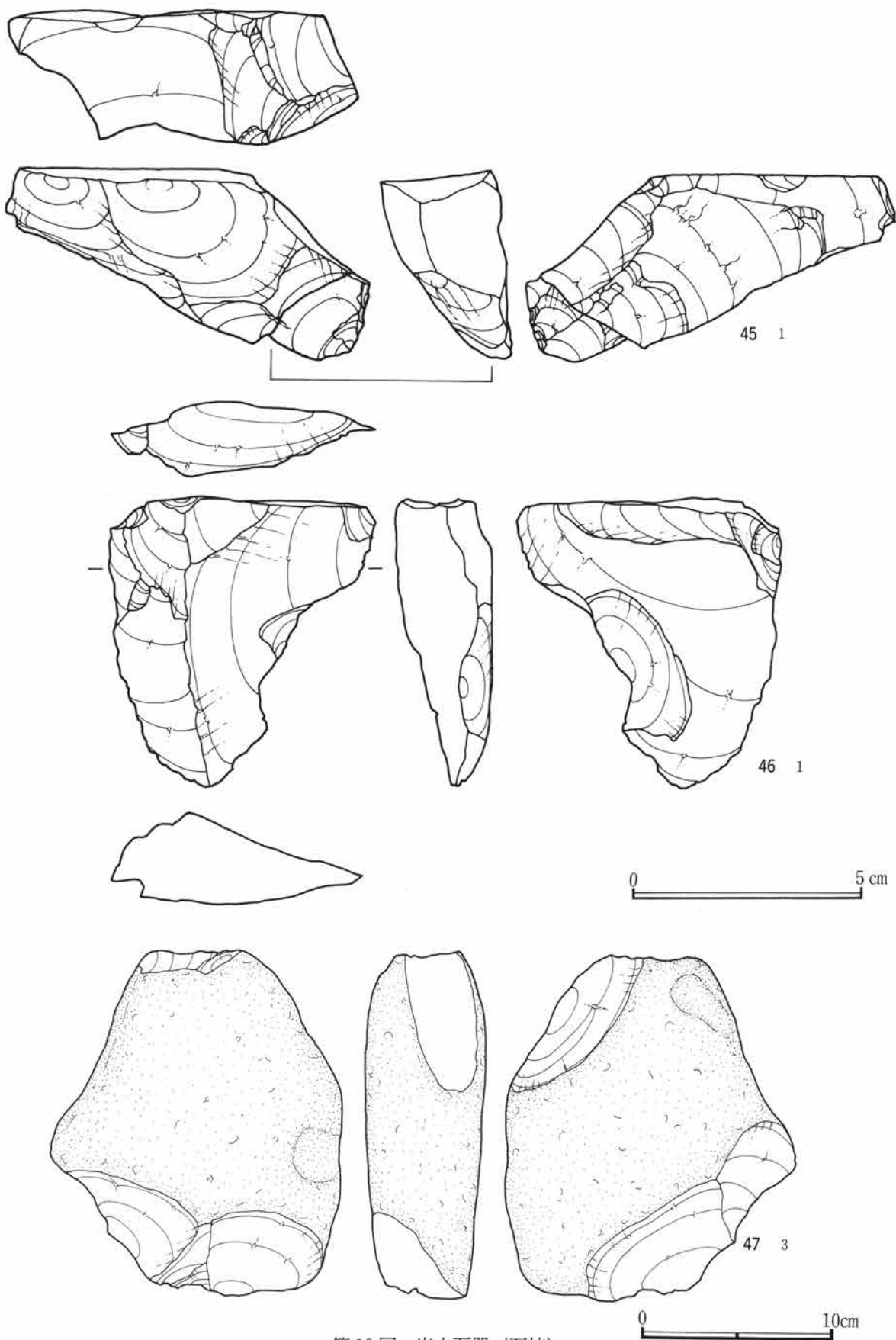


第11図 出土石器(石核)

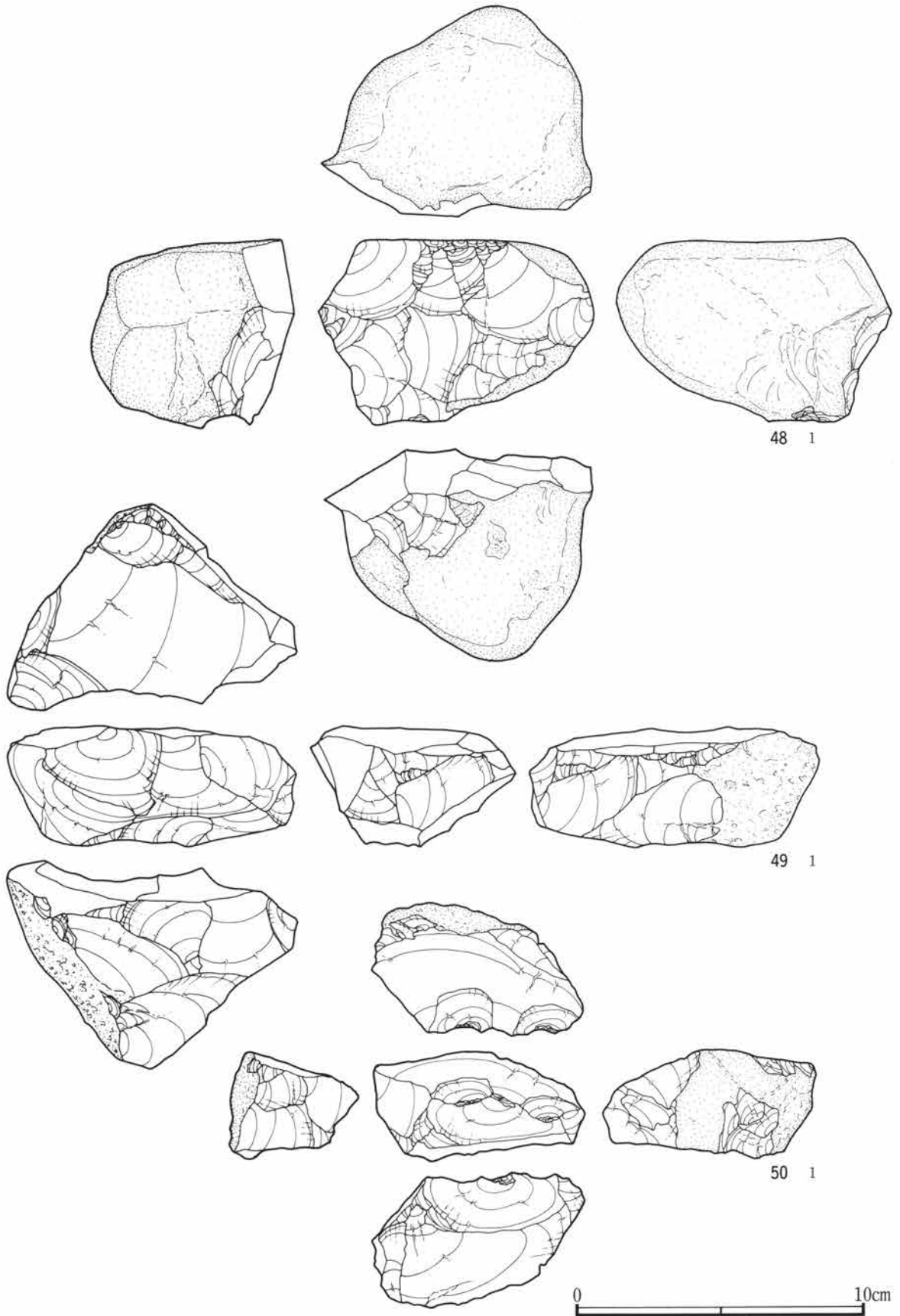


0 5 cm

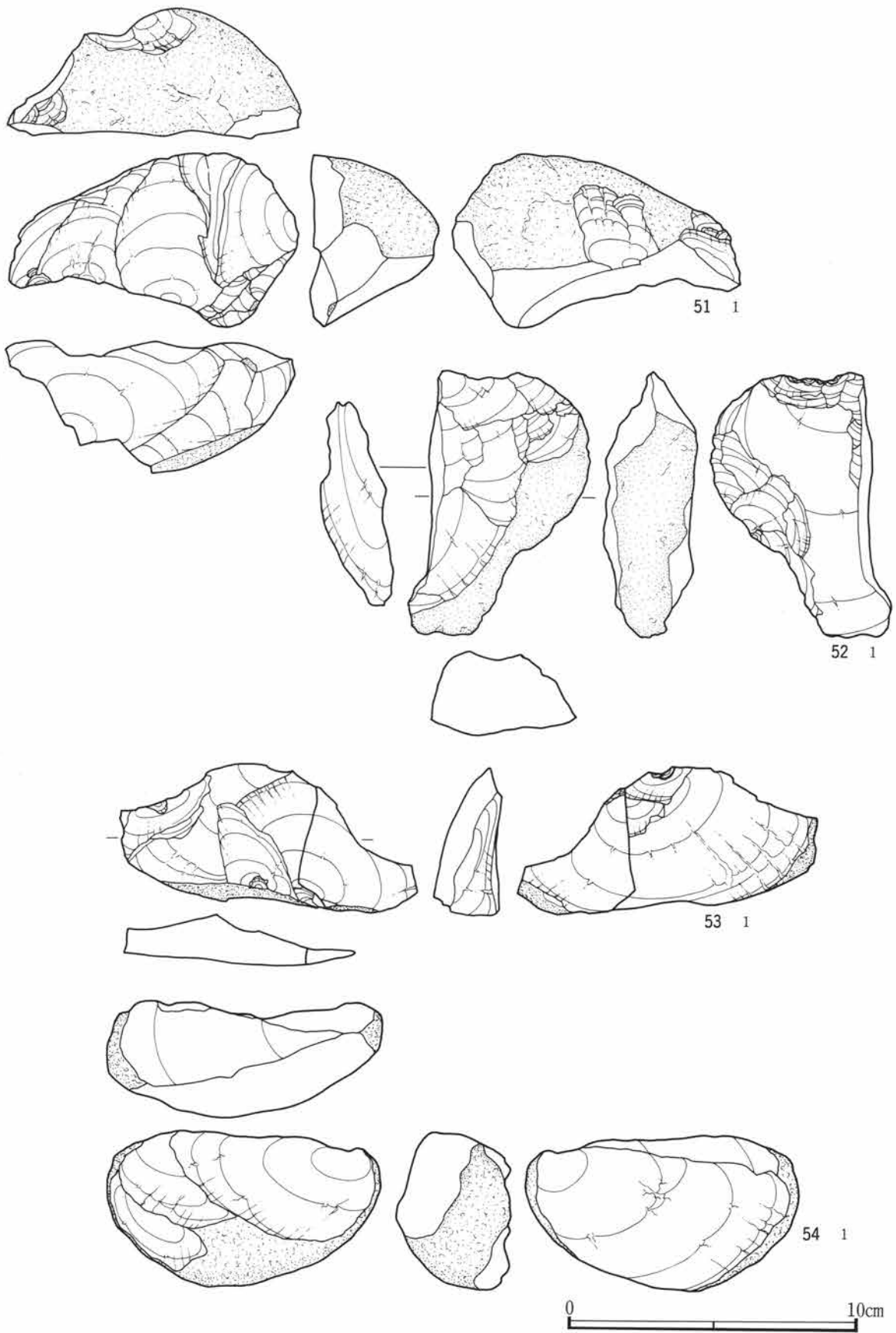
第12図 出土石器(石核)



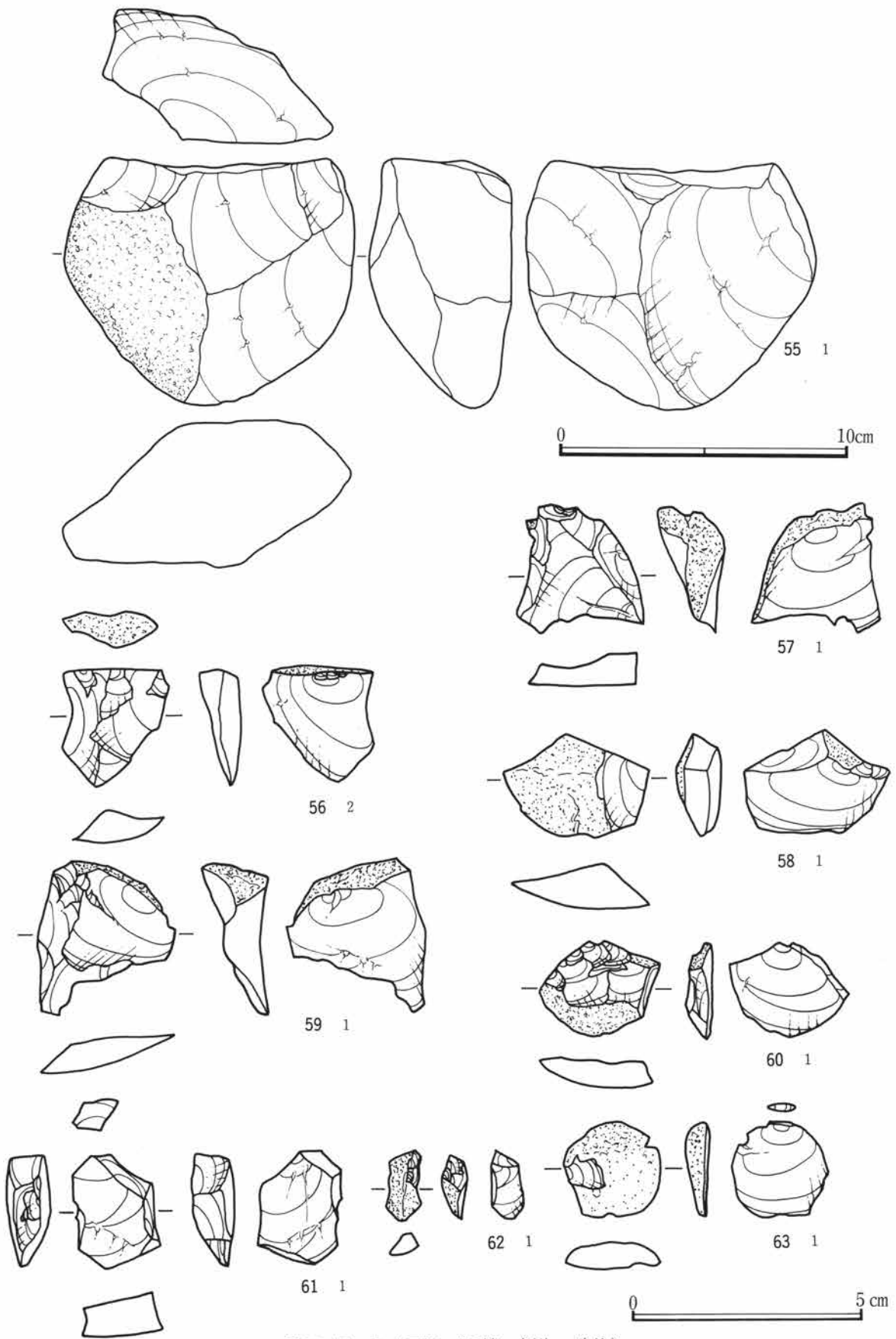
第13図 出土石器 (石核)



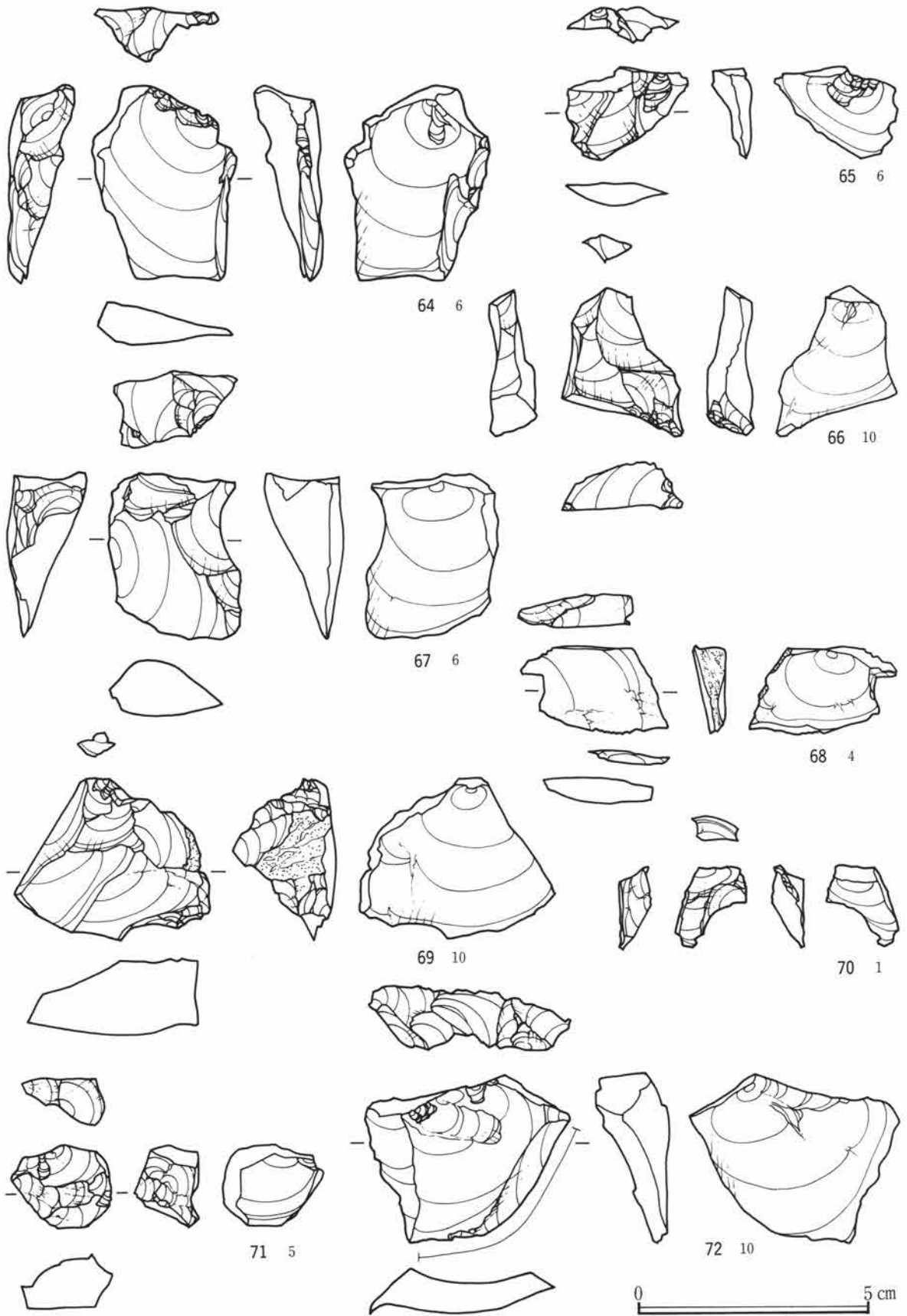
第14図 出土石器 (石核)



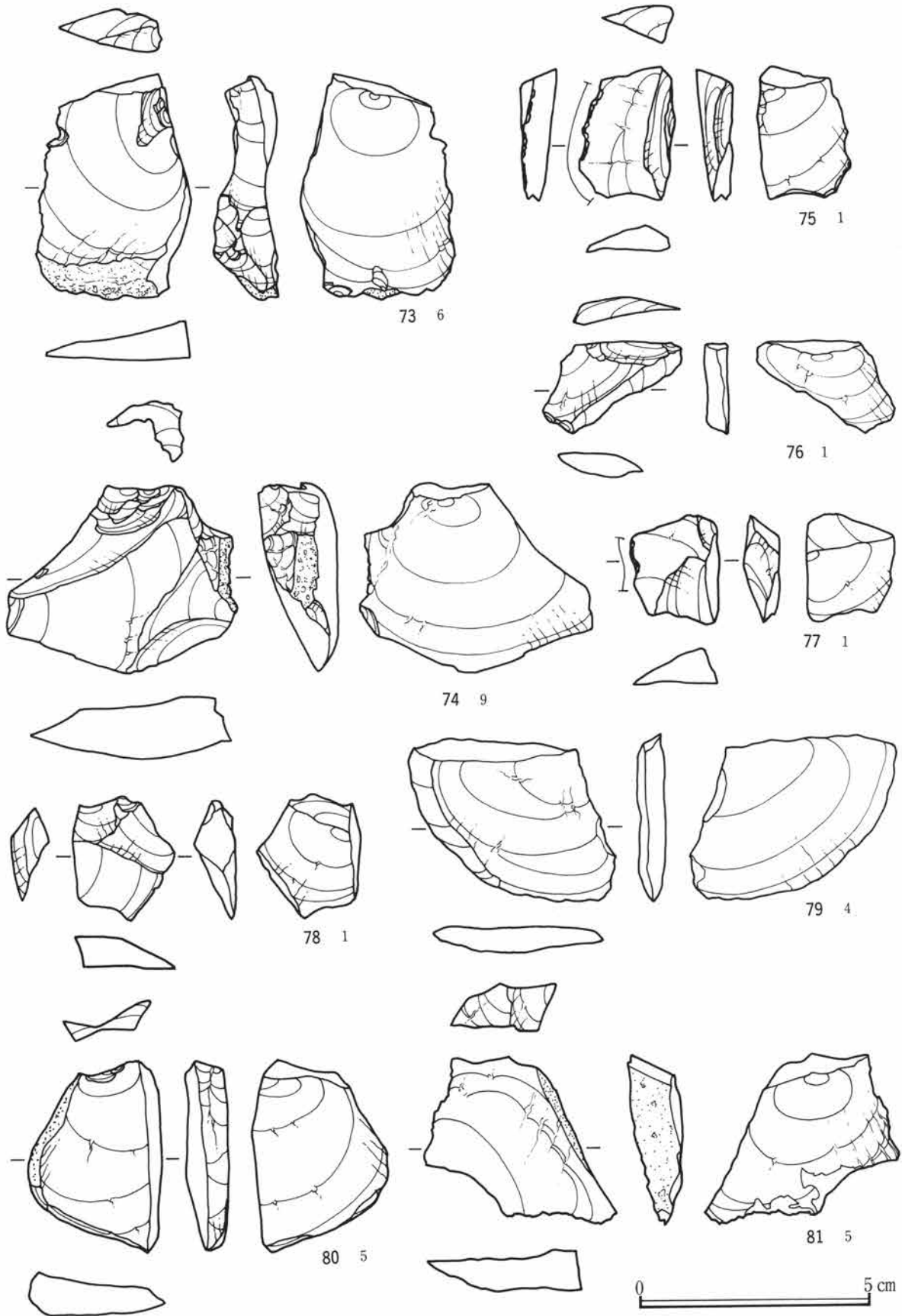
第15図 出土石器（石核）



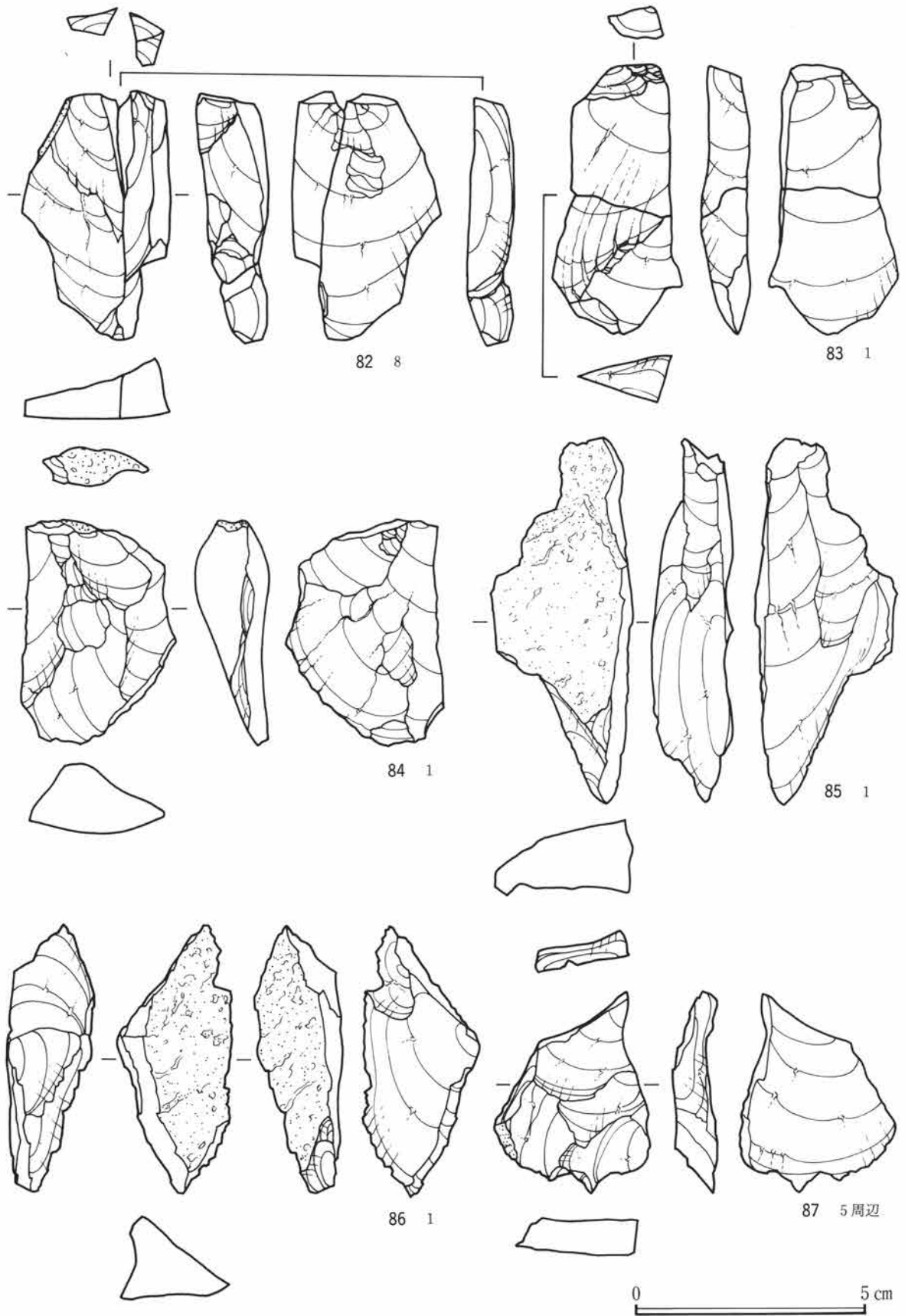
第16圖 出土石器(石核、剝片、碎片)



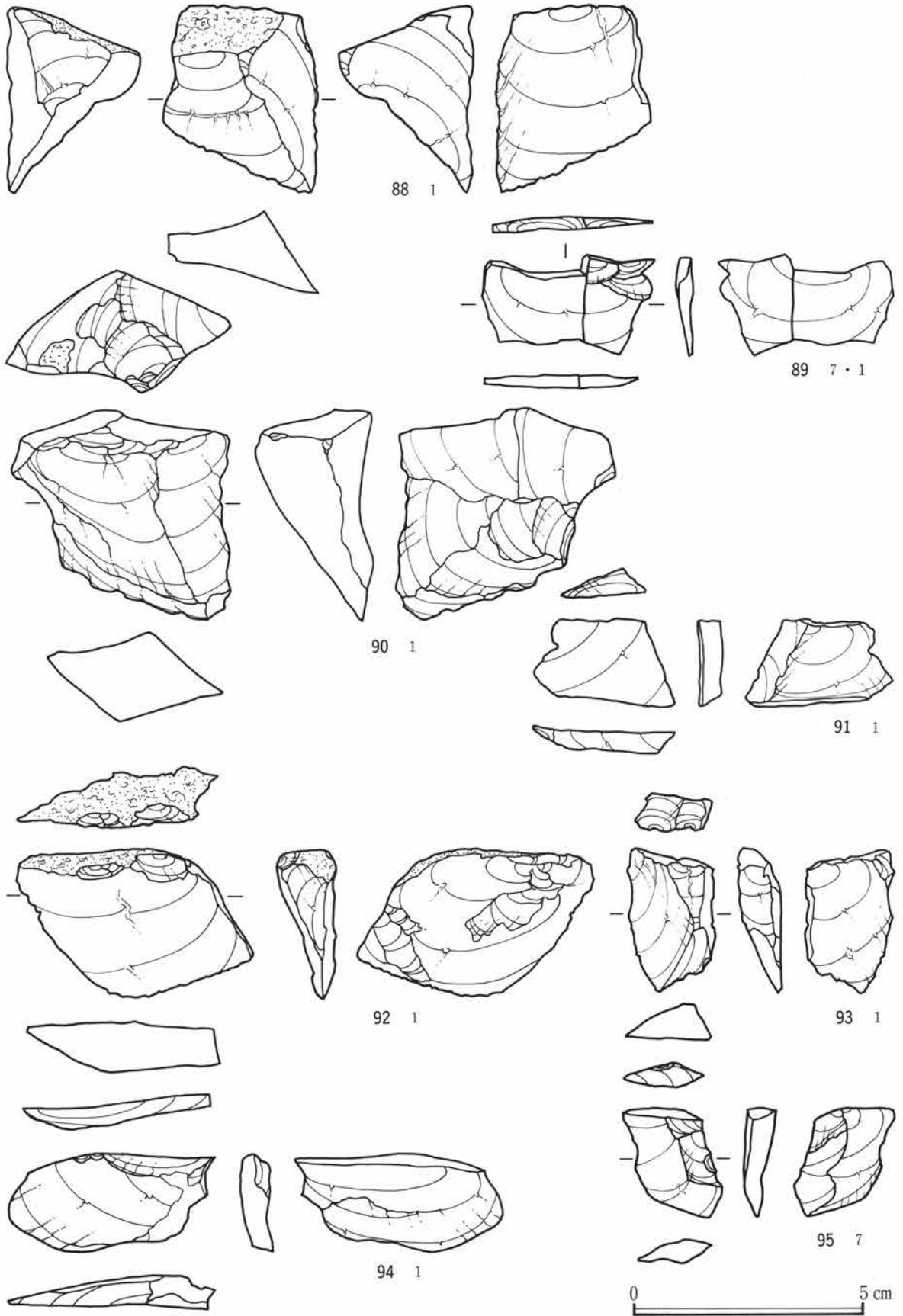
第17図 出土石器（剥片、碎片）



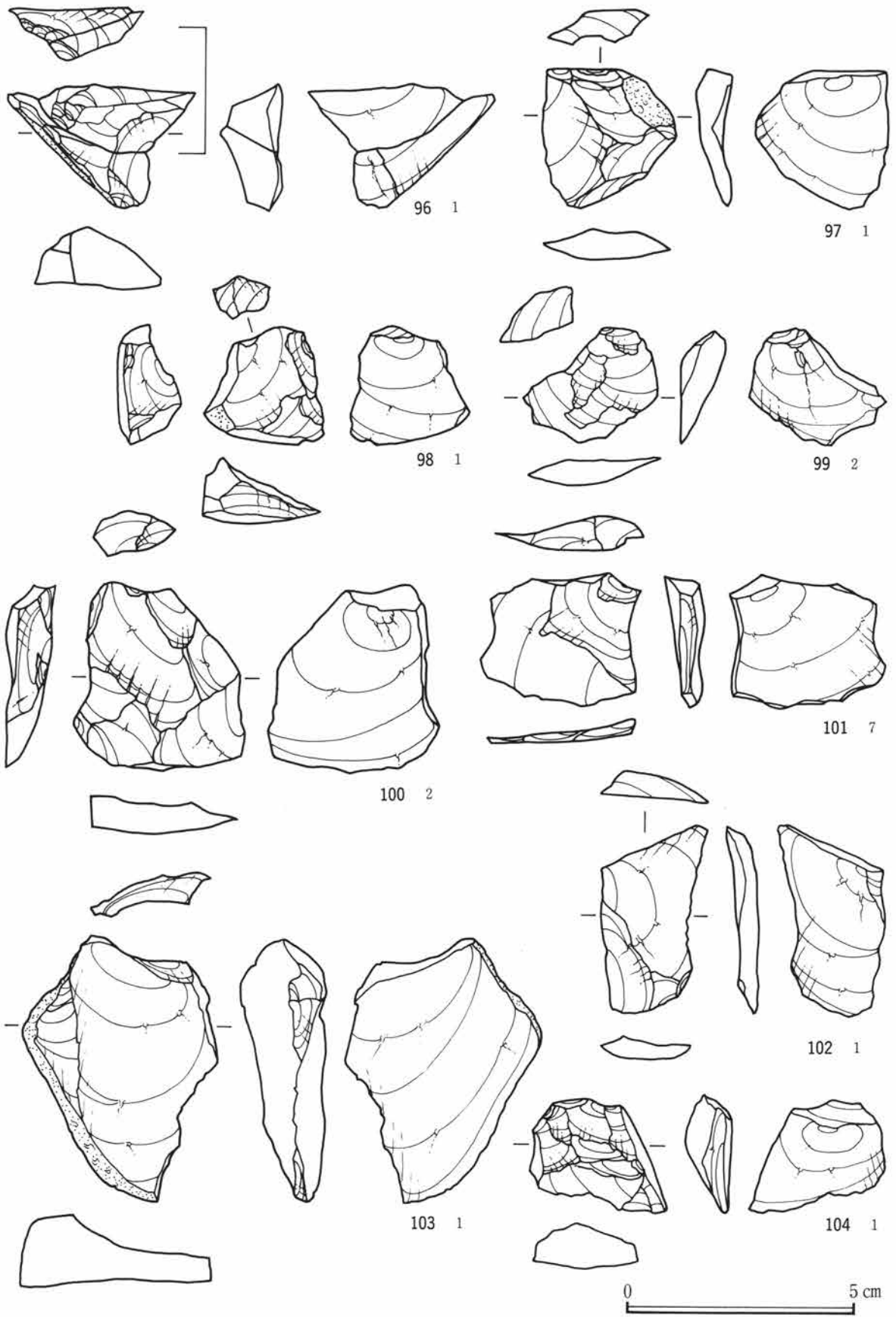
第18圖 出土石器(剝片)



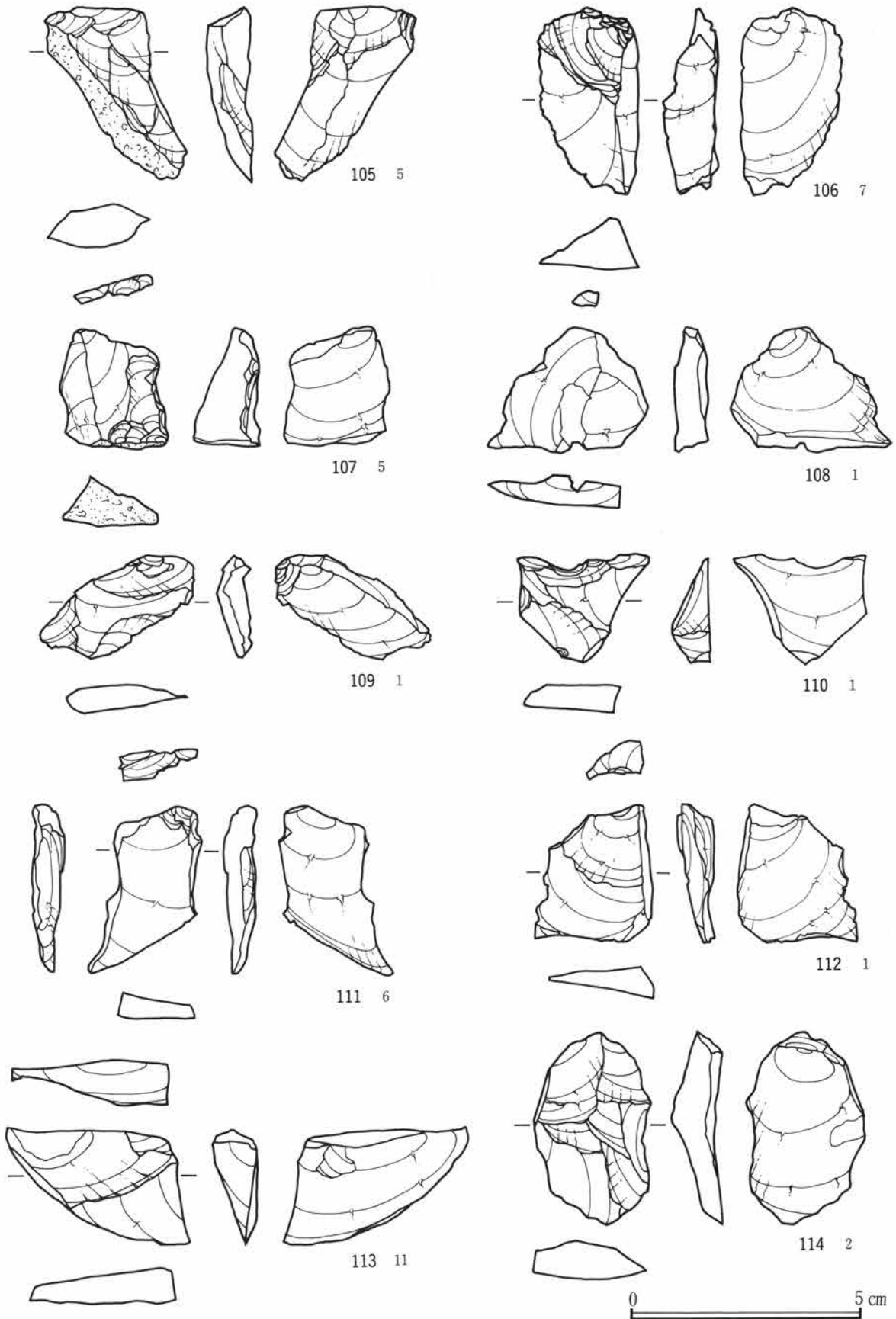
第19図 出土石器（剥片）



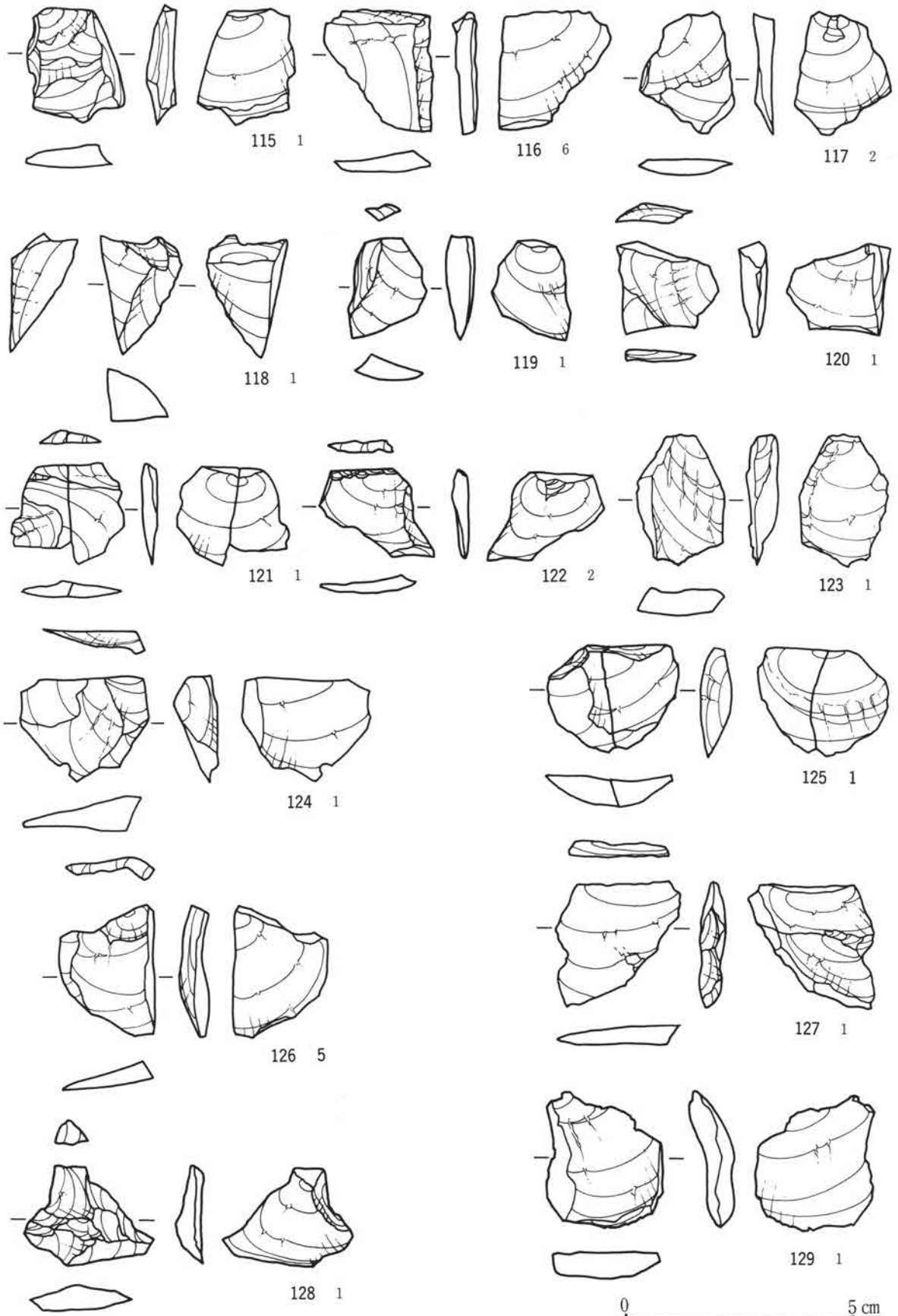
第20圖 出土石器(剝片)



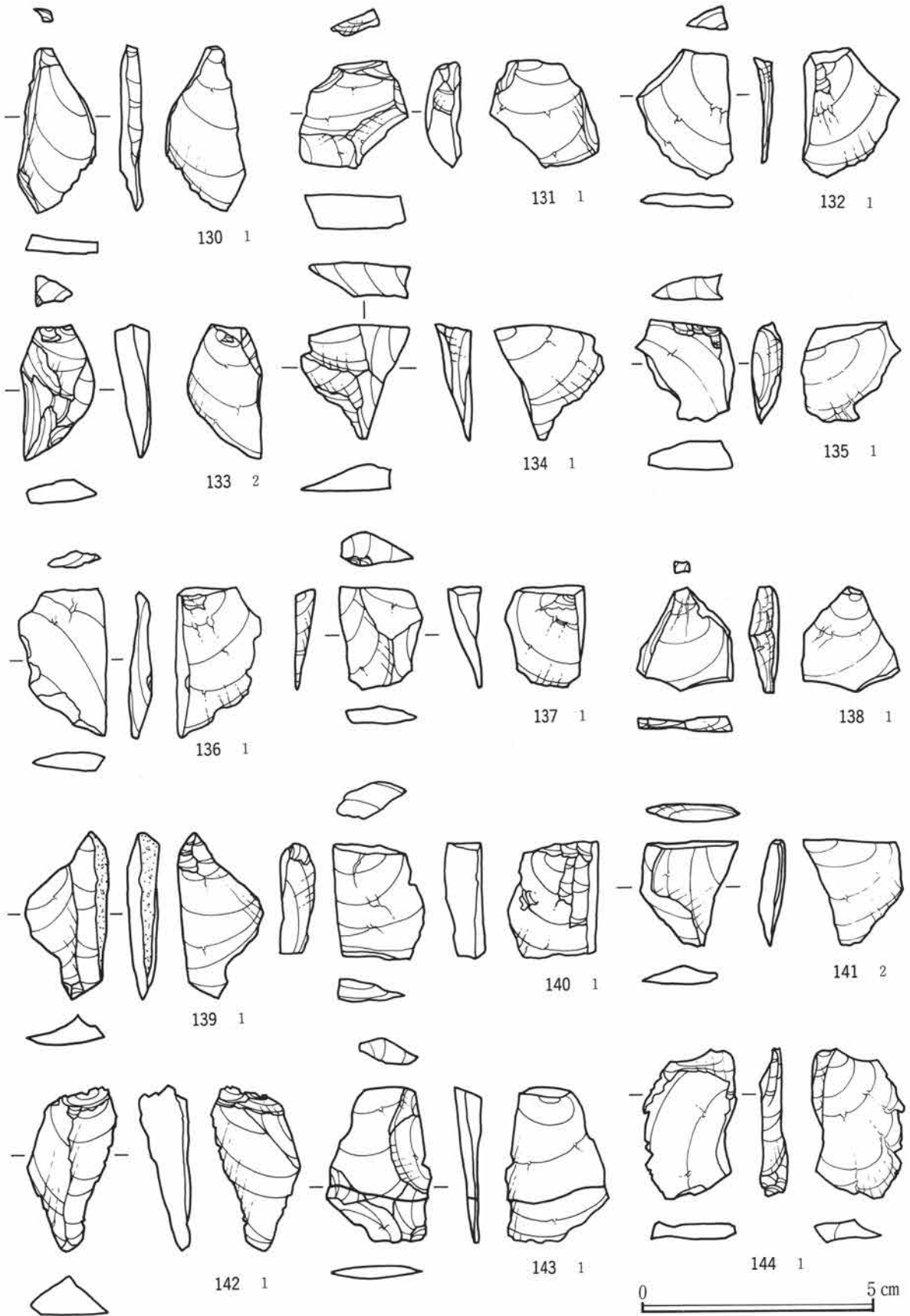
第21図 出土石器(剥片)



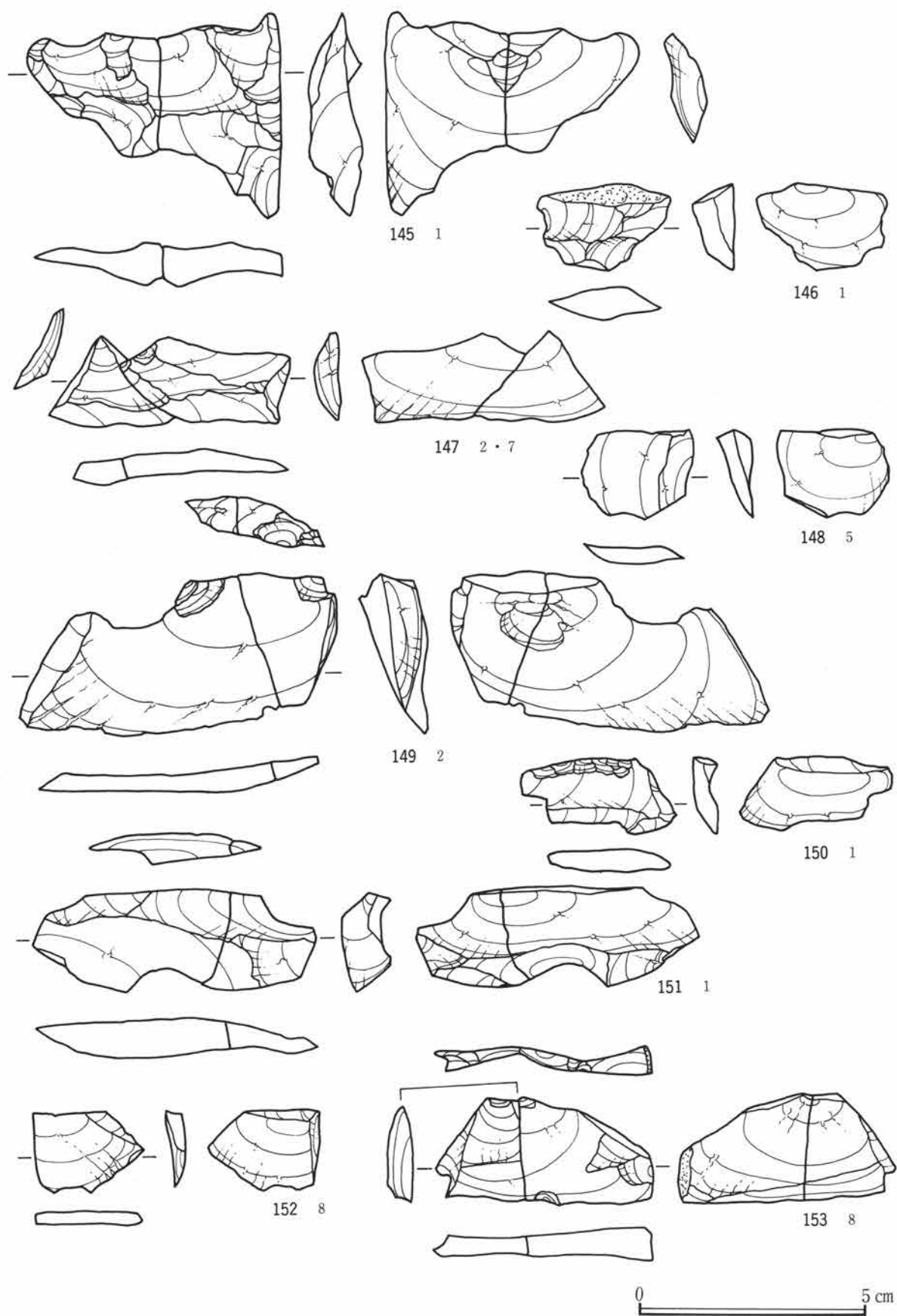
第22圖 出土石器 (剥片)



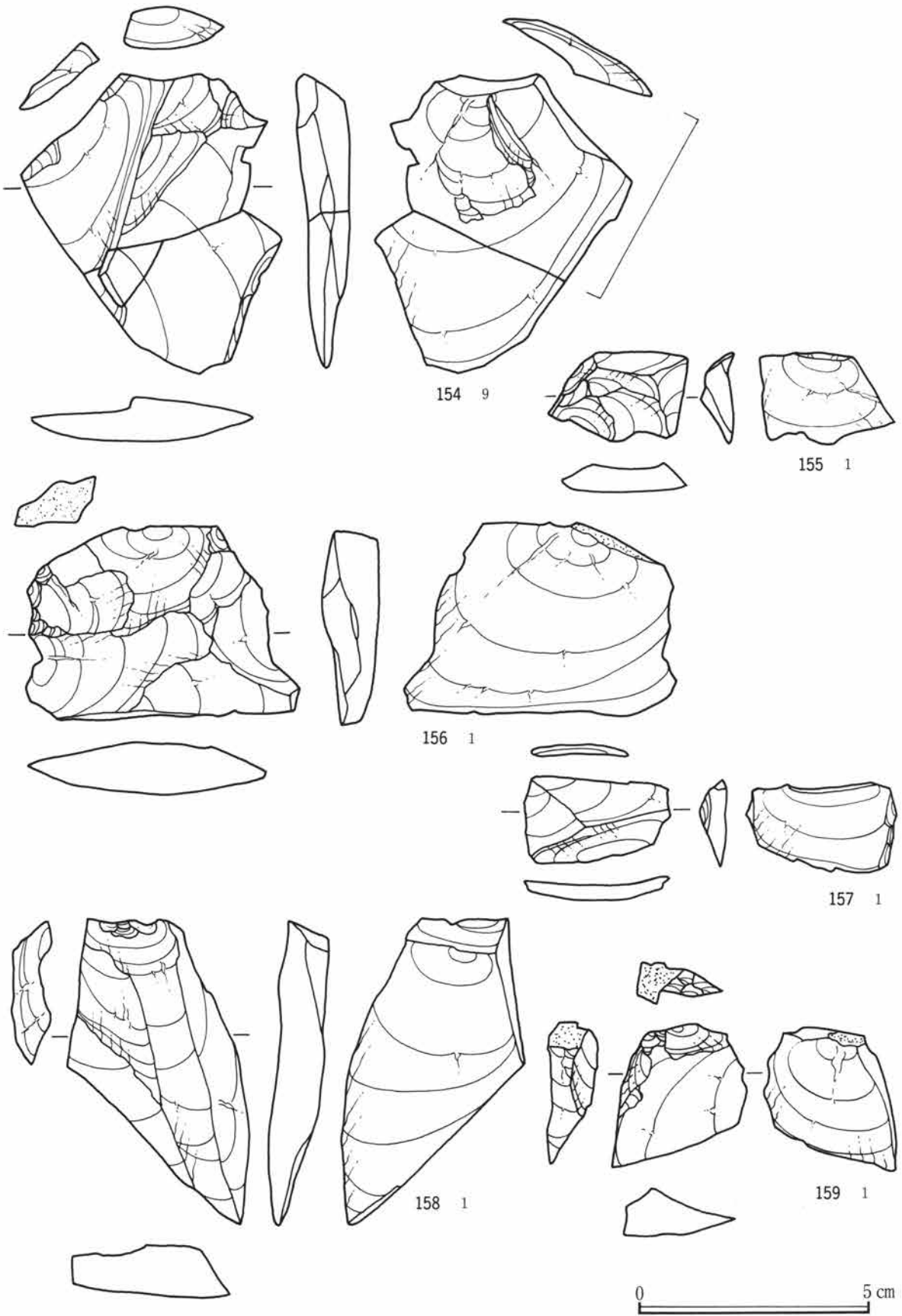
第23図 出土石器（剥片）



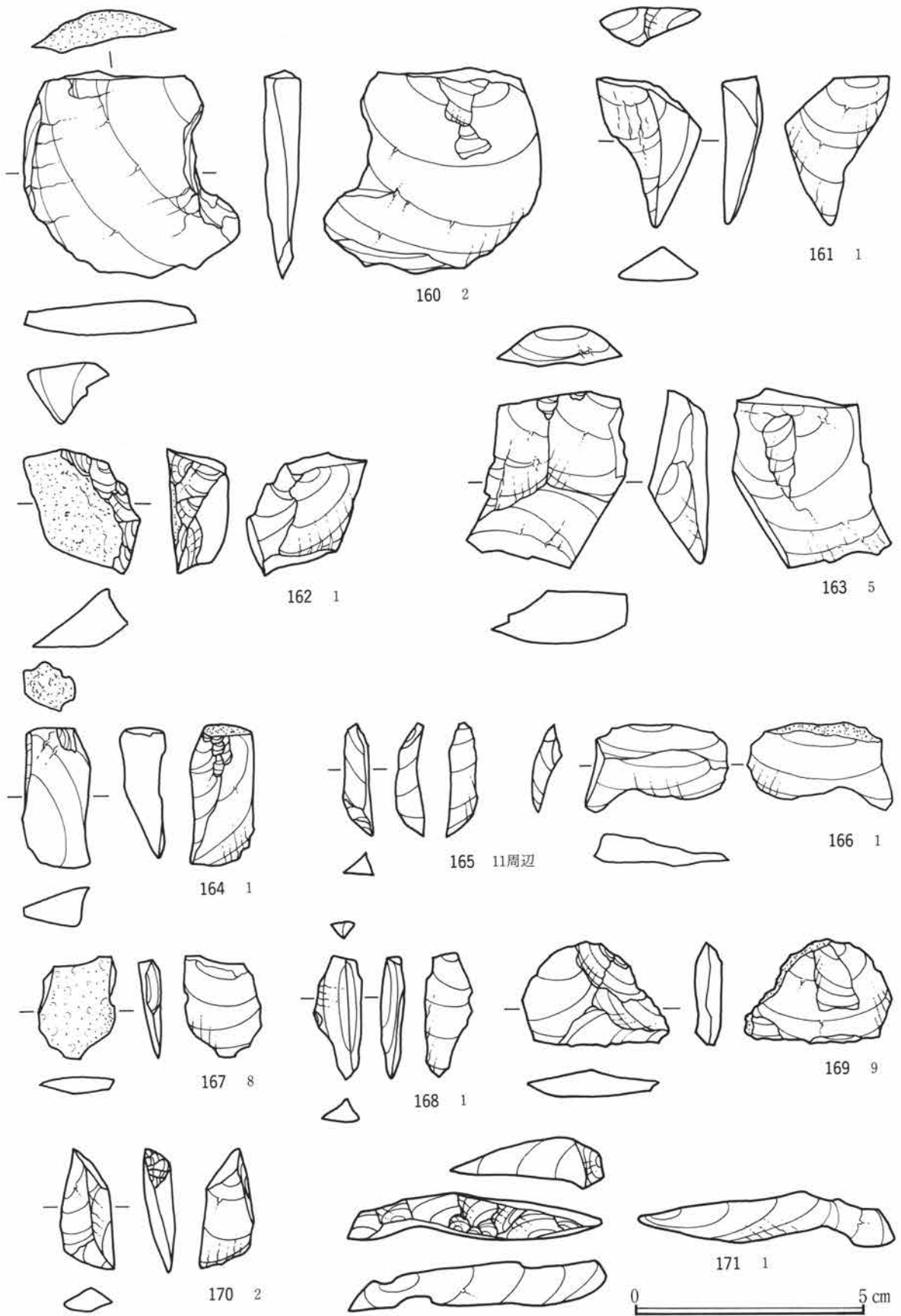
第24图 出土石器(剥片、碎片)



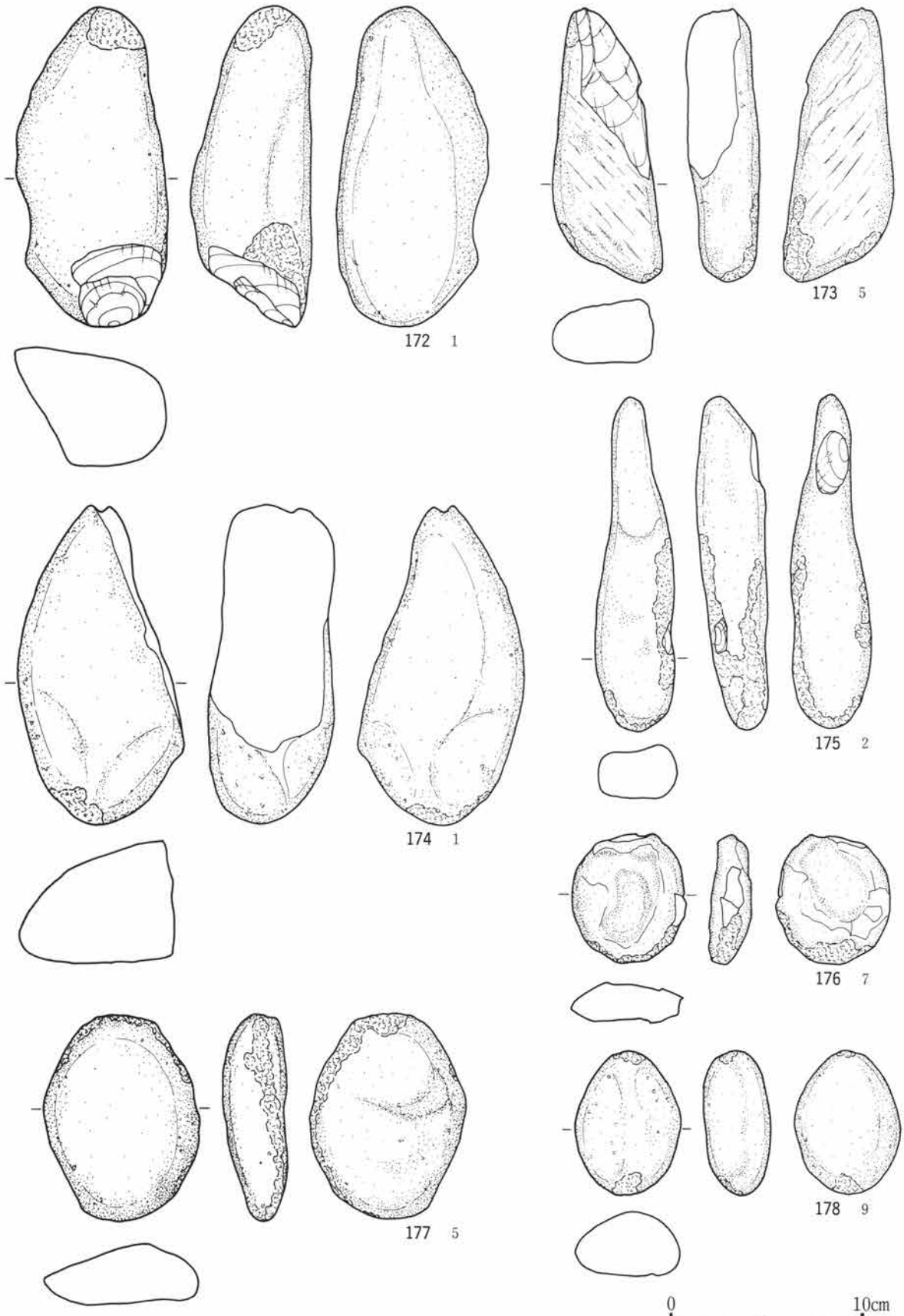
第25図 出土石器（剥片）



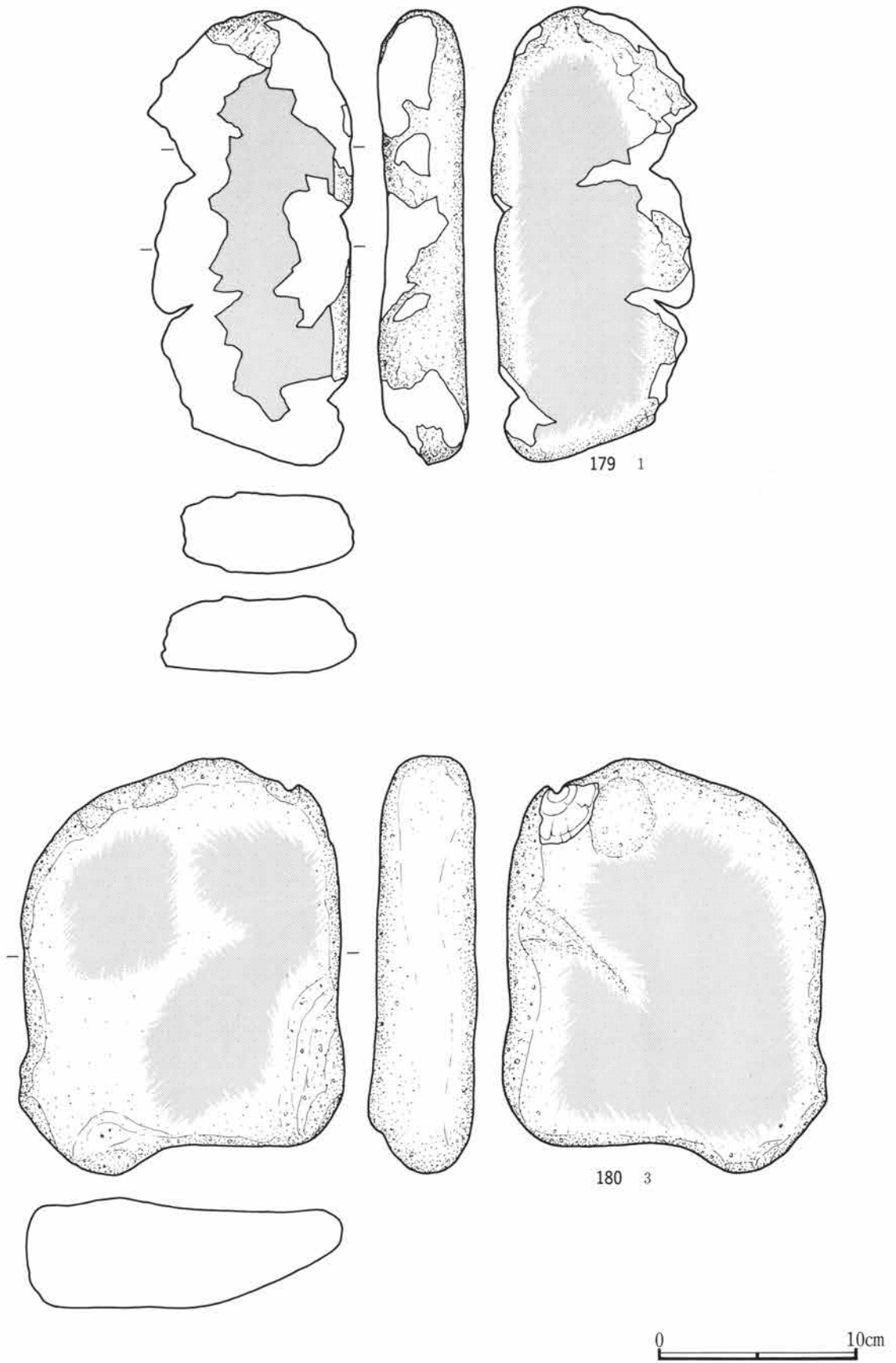
第26図 出土石器(剥片)



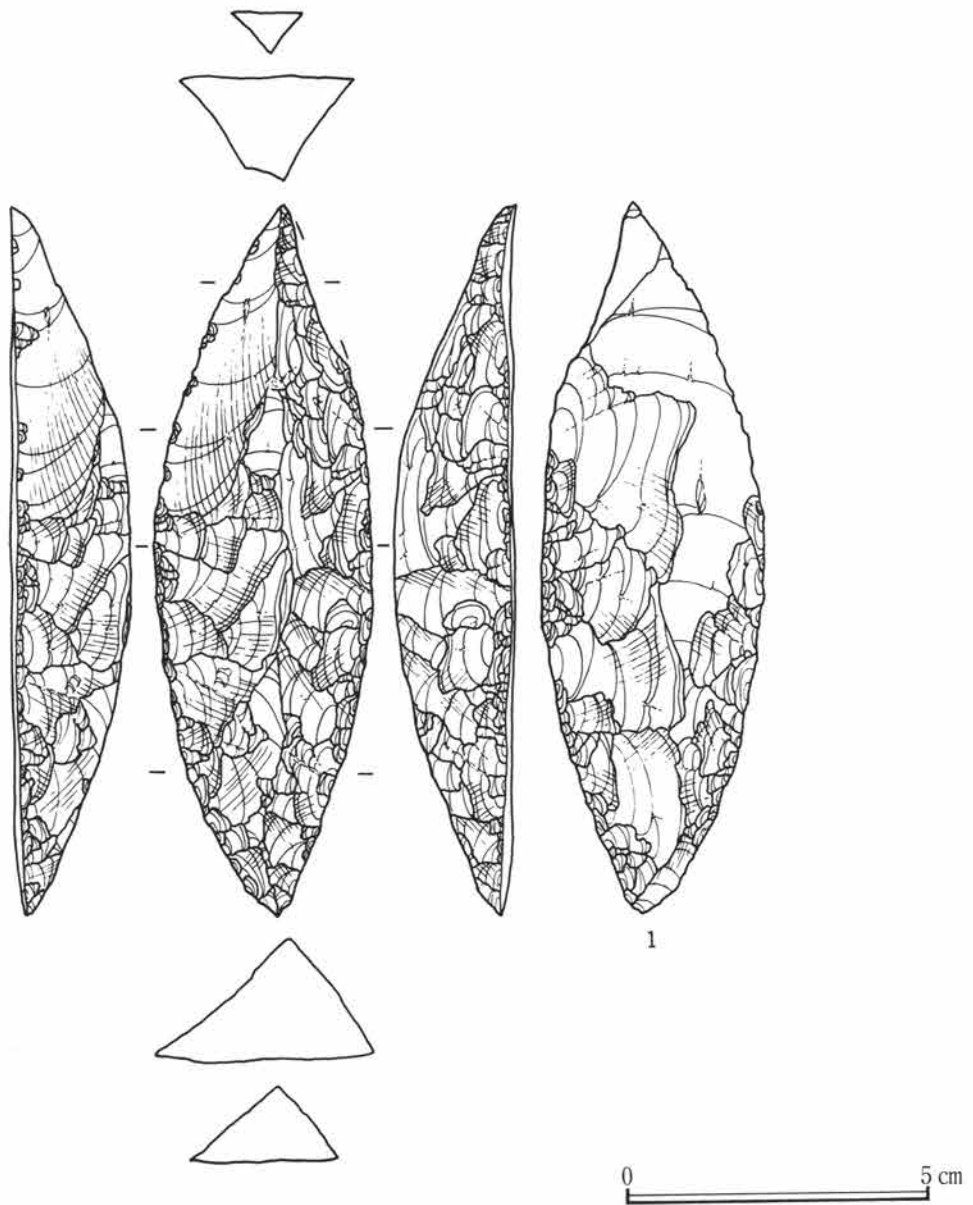
第27図 出土石器（剥片、碎片）



第28圖 出土石器（敲石）



第29図 出土石器（砥石、台石）



第30図 旧河川出土の石器（槍先形尖頭器）

旧河川出土の石器（第30図）

黒曜石製の槍先形尖頭器で、左右対称形状を呈する。男女倉型有樋尖頭器に分類される。素材は大型で厚手の縦長剥片で、背面の調整加工は左右両方向から施されているが、素材が厚手のため急斜度となっている。このため、横断面形は三角形状を呈している。主要剥離面側では平坦な調整加工である。樋状剥離は背面側では左側縁上半部、主要剥離面側では右側縁下端部にそれぞれ作出されている。台地部西側の三途川低地部から出土した。台地部には当該石器が帰属する文化層は確認されなかった。

第3節 接合資料と剥片生産工程

GAn-1

GAn-1は総数479点の石器から構成される。このうち126点の石器が接合関係を持っており、接合資料には次のものがある。59点の石器から構成される接合資料=GAn-1(1)、15点の石器から構成される接合資料=GAn-1(2)、5点の石器から構成される接合資料=GAn-1(3)、8点の石器から構成される接合資料=GAn-1(4)、9点の石器から構成される接合資料=GAn-1(5)、3点の石器から構成される接合資料=GAn-1(6)、3点の石器から構成される接合資料=GAn-1(7)、の計7例の接合例がある。GAn-1(1)は個体A・B・C・D・Eと、これらの個体には帰属しない個体外の7点の石器から構成される接合資料である。GAn-1(2)は個体F、GAn-1(3)は個体G、GAn-1(4)は個体H、GAn-1(5)は個体Iである。この他、折断や同時割れ等を起こした剥片類の接合資料もいくつかあるが、ここでは省略した。また、(1)の接合資料と(2)から(7)までの接合資料間では、それぞれ直接の接合関係は確認できなかったが、石材の属性からみてGAn-1に帰属すると考えた。ここでは、各接合資料毎に剥片生産について観察していきたい。

GAn-1(1) (第31図～第40図)

石核8点、二次加工のある剥片1点、剥片46点、碎片4点の合計59点の接合資料から構成され、長さ17.4cm、幅17.6cm、厚さ11.0cmの大きさに復元された。接合資料の正面図(第31図)を見ると、比較的平坦な大きな剥離面が残っている。この剥離面を境に母岩を2分割していると考えられ、もとの母岩はこの接合資料の大きさの倍以上あったことが想像される。また、裏面には接合資料のない空洞部がある。この空洞部に本接合資料とは直接接合関係を持たない個体F・G・H・Iが含まれると思われる。

本接合資料ではこの接合状態から直接剥片生産を行っているわけではなく、分割個体からさらに個体A・B・C・D・Eの5個体の素材となる大型剥片を剥離した後に、それぞれの個体から剥片生産を行っている。各個体の剥離順序は、B→D→E→A→Cというように行われている(第32図、第33図)。

GAn-1(1)個体A (第36図、第37図1・2)

石核2点、二次加工のある剥片1点、剥片8点(接合後6点)の計11点の接合資料から構成される。素材は分厚い横長剥片で、正面にはポジティブ面が一部残っており、この面に個体Cが接合する。また、下面には大きくネガティブ面が残り、この面に個体Eが接合する。剥片生産は次のように行われる。1の剥離 → 打面を上面の自然面、作業面を正面に設定して2の剥離 → 打点を移動して3の剥離 → 打面を180度転移して4の剥離(石核として主要剥離面側で2枚ほど小型の剥片が生産されているが、これに接合する石器はない) → 打点を移動して5の剥離 → 打点を移動して6の剥離 → 打点を90度転移して第37図1の剥離 → 石核の廃棄。個体Aから生産された剥片は石核素材となった4や6のように比較的大型のものと1、3、5のように小型で不定形のものが混在している。

GAn-1(1)個体B (第34図)

石核1点、剥片4点、碎片1点の計6点の接合資料から構成される。偏平な厚手の横長剥片を素材とし、剥片生産は次のように行われる。1の剥離 → 分割面を打面(上面)、主要剥離面を作業面(正面)に設定して2枚の横長剥片の剥離(これに接合する石器はない) → 打面、作業面を90度転移して2の剥離 → 再び打面と作業面を90度転移して3の剥離 → 4の剥離 → 打面を自然面、作業面を分割面に90度転移

して5の剥離 → 石核の廃棄。個体Bから生産される剥片は接合資料を見る限り不定形なもので、また石核もまだ十分剥片生産に耐え得る大きさで廃棄されている。

GAn-1(1)個体C (第38図～第40図)

石核1点、剥片15点(接合後14点)、碎片1点の計17点の接合資料から構成される。接合図正面には大きくネガティブ面が残り、この面に個体Aが接合する。剥片生産は次のように行われる。個体Aが剥離されたネガティブ面に打面を設定して1→2→3→4の連続剥離 → 7の厚手の縦長剥片の剥離 → 打面を90度転移して8→9の比較的大型の縦長剥片の剥離 → 打点を移動して第40図1→2の連続剥離 → 打面を90度転移して第40図3の大型剥片の剥離 → 打面を90度転移して4の大型の幅広縦長剥片の剥離 → 打面を90度転移して5の剥離。なお、第39図7は石核に用いられ、第39図5と6が剥離されている。

GAn-1(1)個体D (第35図)

石核2点、剥片6点(接合後5点)、碎片1点の計9点の接合資料から構成され、大型の縦長剥片を素材とする。なお、1・2・8の3点は個体Dを石核素材として剥離したものではないので厳密には個体Dには帰属しないが、接合することからここでは個体Dに含むこととした。剥片生産は次のように行われる。1、2の剥離 → 素材主要剥離面と打面にそれぞれ打面と作業面を設定して3の剥離 → 打面を素材打面、作業面を左側面に90度転移して4の剥離 → 5と6の分割 → 素材主要剥離面を作業面として7の剥離 → 石核の廃棄。しかし、3・4・7については5・6の分割後に剥離されたかどうかは明確ではない。個体Dから生産された剥片は小型で不定形なものである。6の石核からは7が剥離されたのみで、廃棄されている。

GAn-1(1)個体E (第37図3～5)

石核2点(接合後1点)、剥片3点(接合後2点)の計5点の接合資料から構成される。素材は大型の縦長剥片で、器体中央部で横位に3と4に分割し、その下半部の4を石核としている。4からは5の剥片が剥離されるが、加撃の際に器体中央部で縦位に同時割れを起こしている。この同時割れは4の石核にも及んでおり、これによって石核は剥片生産を続行することなく廃棄されている。

GAn-1(2)個体F (第41図)

石核2点(接合後1点)、剥片9点(接合後6点)、碎片4点(接合後2点)の計15点の接合資料から構成される。裏面には分割面と考えられる平坦な剥離面があり、GAn-1母岩を2分割したもう一方の分割個体である可能性が大きい。ちなみに、この剥離面とGAn-1(1)の接合資料の分割面との間で接合作業を行ったが接合させることはできなかった。剥片生産は次のように行われる。作業面を裏面に設定して1→2→3の連続剥離 → 打面と作業面それぞれ180度入れ換えて4→5→6→7の連続剥離 → 8の剥離 → 石核の廃棄。なお、3、7の剥離後にも何枚か剥片生産が行われているが、これに対応する石器を接合させることはできなかった。個体Fから生産された剥片は小型の横長剥片を主体としている。また、これらのほとんどに折断面が認められるが、これが意図的なものか剥離時での偶発的なものかは判然としない。器体中央部で加撃方向に一致して縦位に折断しているところを見ると、偶発的な可能性の方が大きい。

GAn-1(3)個体G (第42図)

石核1点、剥片4点(接合後3点)の計5点の接合資料から構成される。接合図上面の分割面には平坦な剥離面が認められる。なお、1については厳密に言えば、4の石核から剥離されたものではないから、個体Gに含めるべきではないが、ここでは接合関係を持つことから個体Gに帰属させて考えることとした。素材は分厚い横長剥片で、剥片生産は次のように行われる。上面に打面を設定して2の剥離 → 打点を移動し

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

て3の剥離 → (3の剥離後に打面と作業面を180度入れ換えて2枚の剥片生産が行われているが、これに接合する石器は認められなかった) → 石核の廃棄。個体Gでは打面と作業面を180度入れ換えるチョッピングツール状の工程で小型の横長剥片が生産されている。しかし、石核はまだ剥片生産に十分耐えられる大きさで廃棄されている。

GAn-1(4)個体H(第43図、第44図1・2)

石核1点、剥片7点(接合後5点)の計8点の接合資料から構成される。剥片生産は次のように行われる。大型の幅広縦長剥片の剥離(器体中央部で縦位に1と2に折断される) → 打点を移動して3+第44図1の剥離(3と1は同時割れ) → 打点を移動して第44図2の剥離。第43図2は石核として用いられ、主要剥離面側で剥片生産が行われ、第43図4が接合する。4以外に接合資料はないが、剥離痕を見る限り小型の剥片が剥離されていることが看取される。個体Hでは、2のように石核素材となる大型剥片が主体的に生産されているが、実際石核として用いられているのは2のみで、他の剥片には剥片生産が行われた痕跡はない。

GAn-1(5)個体I(第44図3~9)

二次加工のある剥片1点、剥片8点(接合後6点)の計9点の接合資料から構成される。剥片生産は次のように行われる。3(二次加工のある剥片)の剥離 → 180度打面を転移して4の剥離(器体中央部で横位に折断される) → 打面と作業面を90度転移して5の剥離 → 打点を移動して6の剥離 → 打面と作業面を90度転移して7の剥離 → 打点を移動して8の剥離 → 打点を移動して9の剥離。個体Iでは頻繁に打面と作業面を転移させながら剥片生産を行っている。剥片は寸詰まりの縦長剥片を主体としている。

GAn-1(6)その他①(第45図1・2)

剥片3点(接合後2点)の接合資料である。いずれも、背面には自然面が大きく残っており、初期段階で剥離されたことが理解される。

GAn-1(7)その他②(第45図3・4)

剥片3点(接合後2点)の接合資料である。接合図正面には平坦な剥離面が残っており、分割面の可能性がある。

GAn-2(第45図5~7)

GAn-2には4点の石器から構成される接合資料=(1)と3点の石器から構成される接合資料=(2)の2例がある。双方とも同一母岩別資料に帰属するが、互いに接合されることはできなかった。

(1)は石核2点、剥片2点の計4点の接合資料から構成され、剥片生産は次のように行われる。石核素材となる大型の剥片を剥離し、それを個体A・Bに分割する(接合図右側面に折断面が残ることからA・B以外にも石核素材として分割されている)。その後、各個体から剥片生産を行う。個体Aに接合する石器は認められないが、個体Bには7の寸詰まりの縦長剥片が1点接合する。(2)は器体中央部で折断された大型の縦長剥片である(第26図154)。

また、接合資料正面には大きくネガティブ面が残ることから、これ以外にも石核素材となる大型の剥片が剥離されていると考えられる。特に、剥片生産こそ行われていないものの、(2)のような大型の剥片はその可能性がある。

GAn-4(第46図1~4)

GAn-4には、それぞれ2点の石器から構成される(1)と(2)の2例の接合資料がある。同一母岩別資料

に帰属するが、相互に接合関係を確認することはできなかった。

GAn-4(1) (第46図1・2)

石核1点と幅広縦長剥片1点の接合資料で、打面と作業面を固定して1と2を連続剥離している。先行して剥離された厚手の剥片は石核として用いられている。石核は9ブロック、剥片は11ブロックから出土しており、遠距離間で接合関係を持っている。

GAn-4(2) (第46図3・4)

縦長剥片1点と横長剥片1点の接合資料で、打面と作業面を固定して3と4を連続剥離している。先行して剥離された3は11ブロック、後続して剥離された4は8ブロックから出土しており、遠距離間で接合関係を持っている。

GAn-6 (第47図1・2)

石核1点と剥片1点の接合資料である。上面は分割面で、この面を打面、正面を作業面に設定して1の寸詰まりの縦長剥片が剥離されているが、1の剥離後は剥片生産を続行することなく石核は廃棄されている。また、剥片生産は正面に限定されており、裏面には自然面が残っている。石核は2ブロック、剥片は4ブロックから出土しており、比較的遠距離間で接合関係を持っている。

GAn-7 (第47図3・4)

剥片2点の接合資料で、3の横長剥片を剥離した後、打面を90度転移して4の横長剥片を剥離している。

An-1 (第48図1～4)

大型の偏平な礫を素材とし、分割することなく直接礫の状態から打面と作業面を入れ換えながら、チョッピングツール状に剥片生産を行っている。An-1の接合資料はすべて3ブロックから出土しているが、An-1の資料の他には台石が1点と礫が5点あるのみで、他の母岩別資料の石器は全く分布していない。このような状況を考えると、An-1はもともと台石として搬入され、その後石核として転用され剥片生産が行われた可能性も考えられる。

Ch-1 (第49図1～8)

Ch-1には6点の石器から構成される(1)と2点の石器から構成される(2)の2例の接合資料がある。(2)も(1)から剥離されたことは確実であるが、直接の接合関係は持たない。

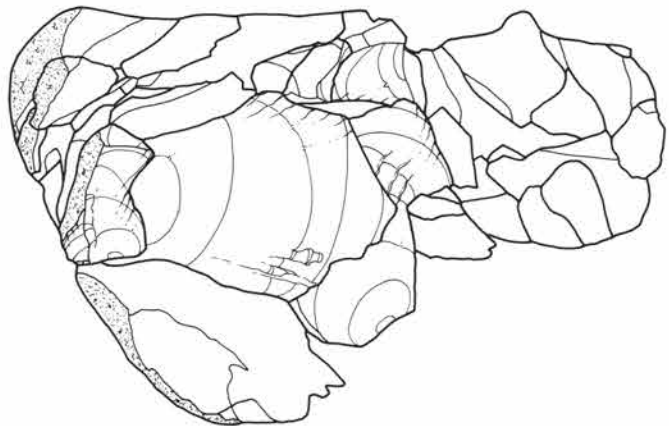
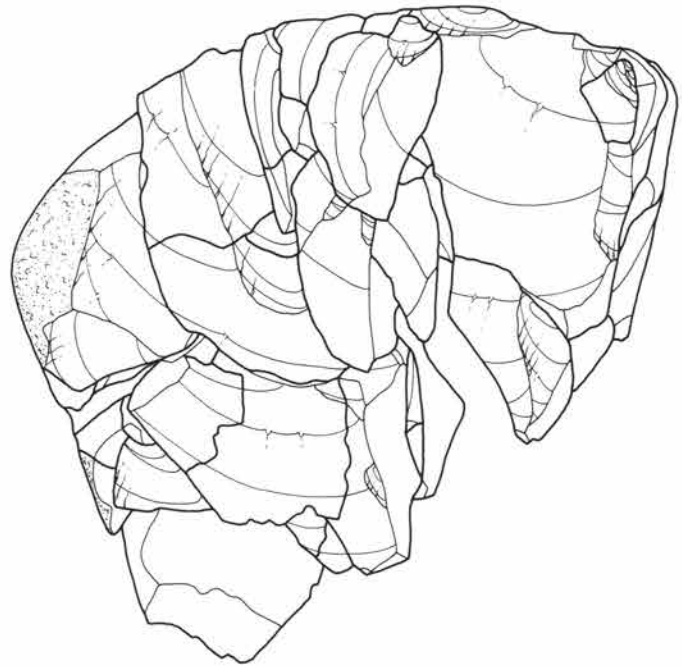
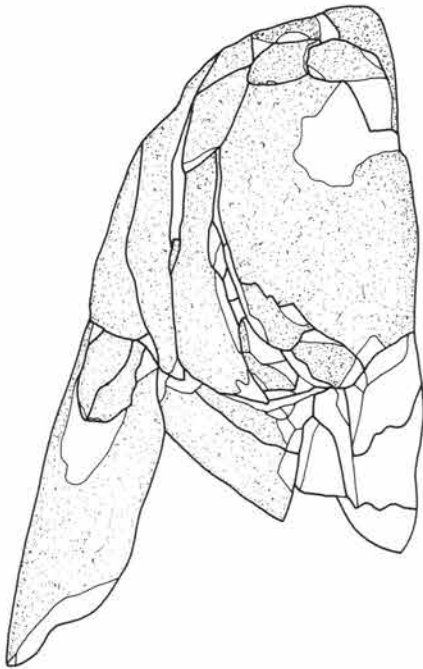
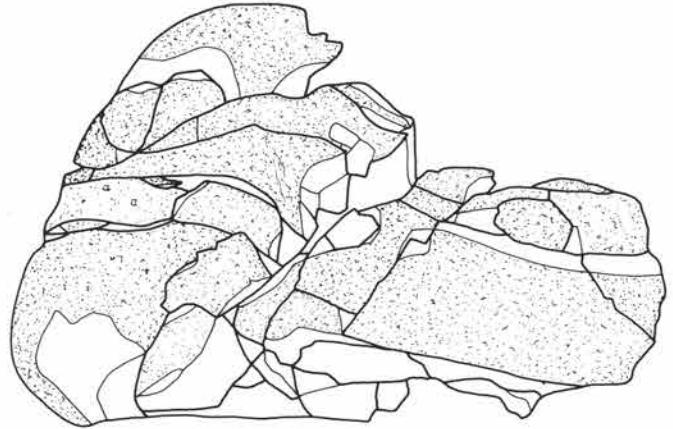
Ch-1(1) (第49図1～6)

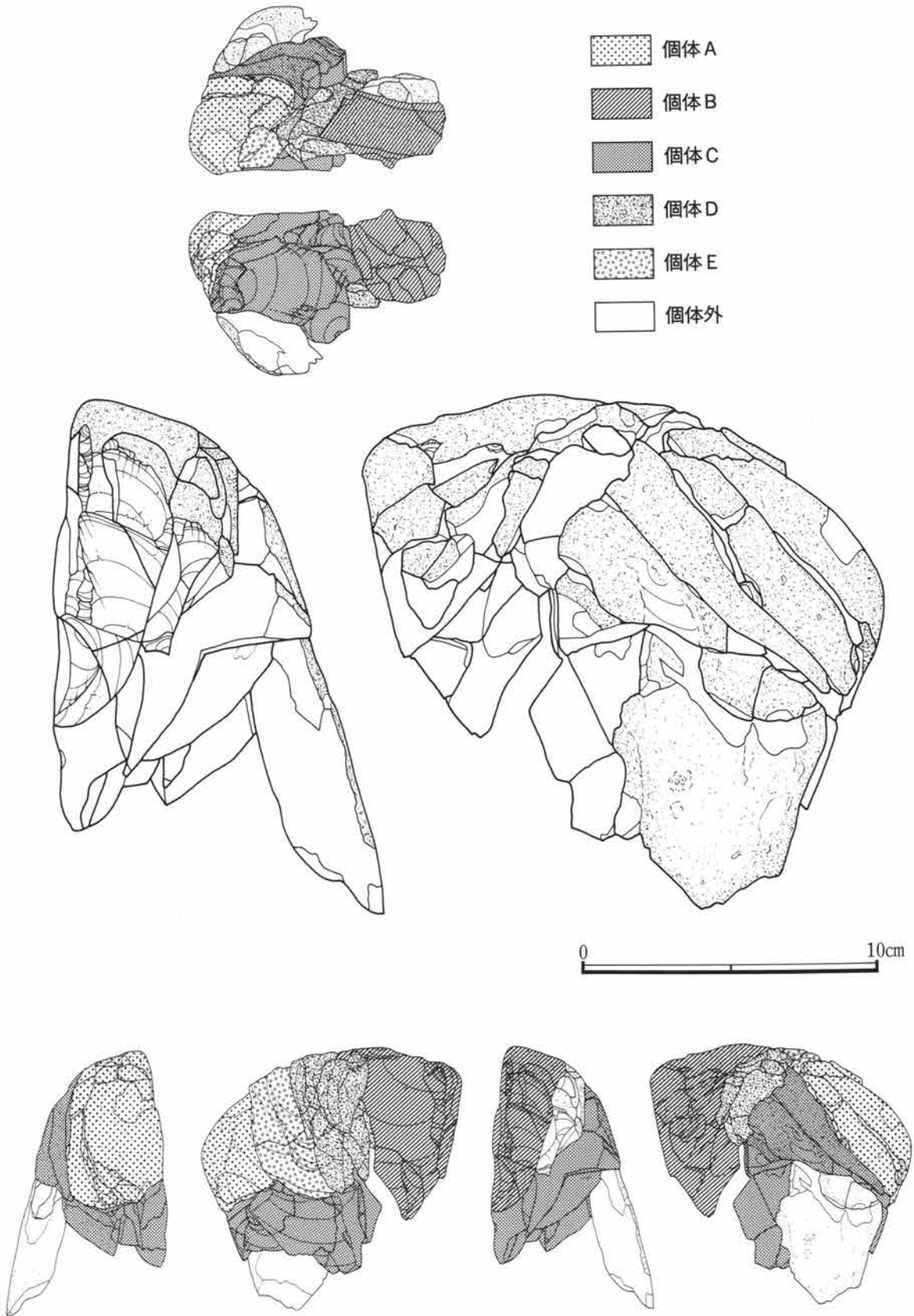
石核1点、剥片4点、碎片1点の計6点の接合資料から構成される。若干偏平な礫を素材とし、作業面を正面と左側面に限定して次のように剥片生産が行われている。1の剥離 → 作業面を左側面、打面を正面に転移して2→3→4の連続剥離 → 作業面を正面、打面を左側面にそれぞれ90度転移して5の剥離 → 石核の廃棄。石核はまだ十分剥片生産に耐え得る大きさであるが、1/3程剥離生産を行ったところで廃棄されている。

Ch-1(2) (第49図7・8)

寸詰まりの縦長剥片2点の接合資料で、自然面を打面として7→8が連続剥離されている。

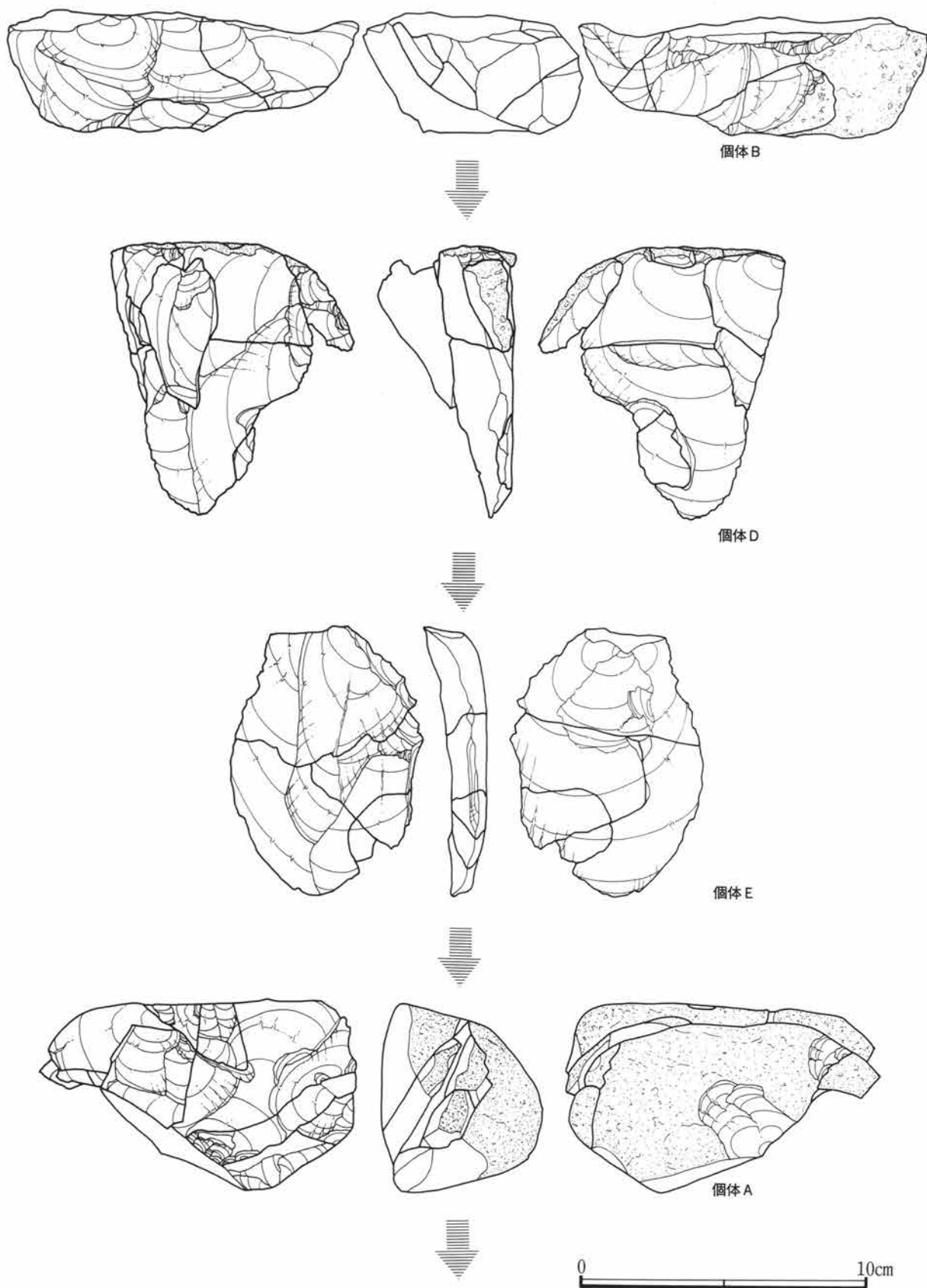
GAn-1(1)





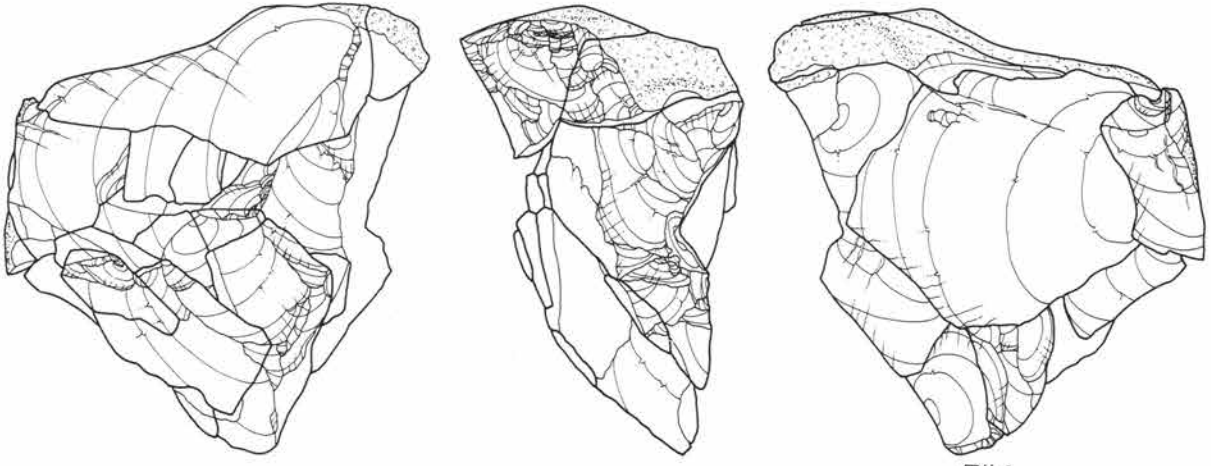
第31図 接合資料 (GAN-1)

GAn-1(1) 個体剝離順序



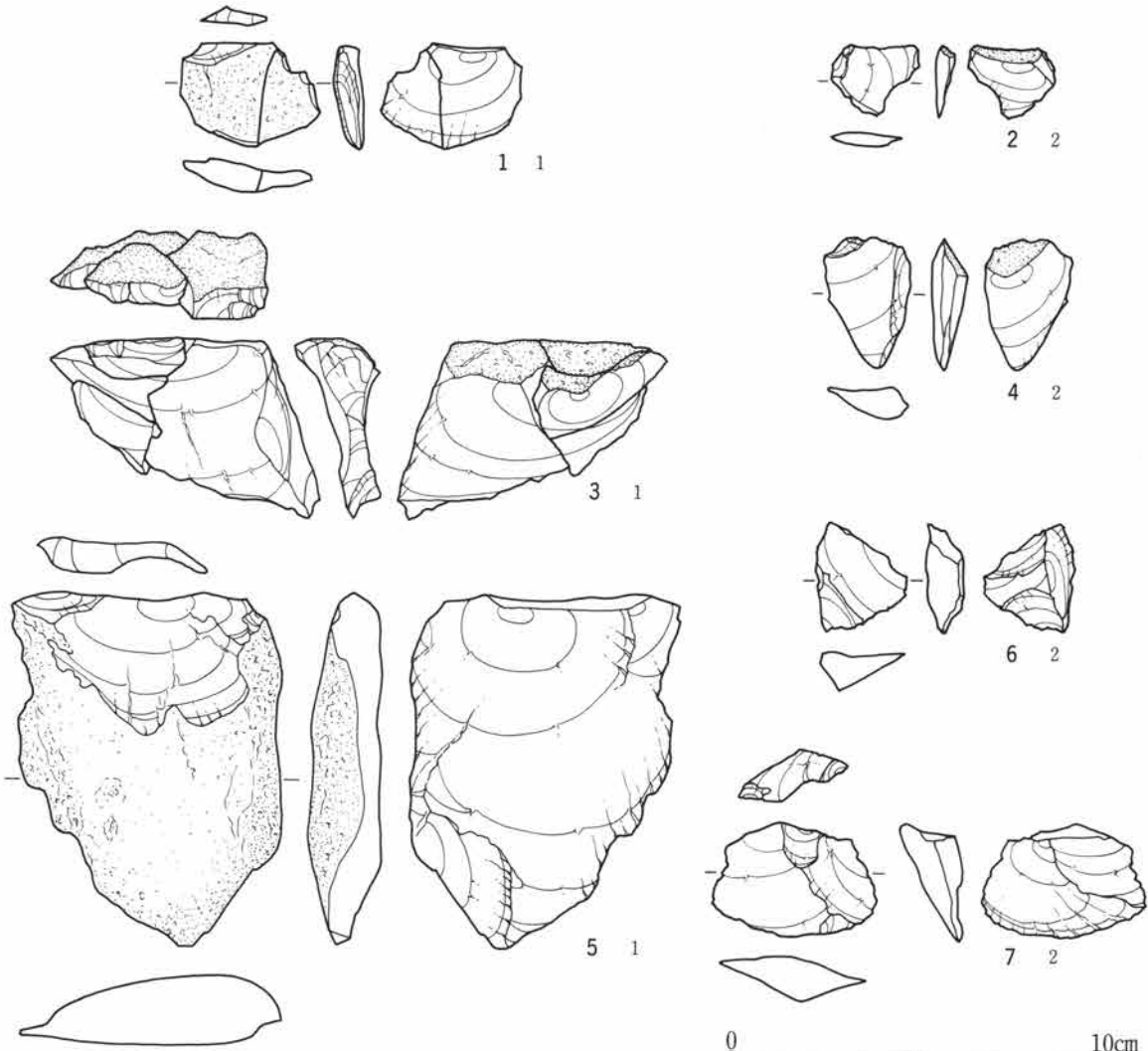
第32図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(1) 個体剝離順序



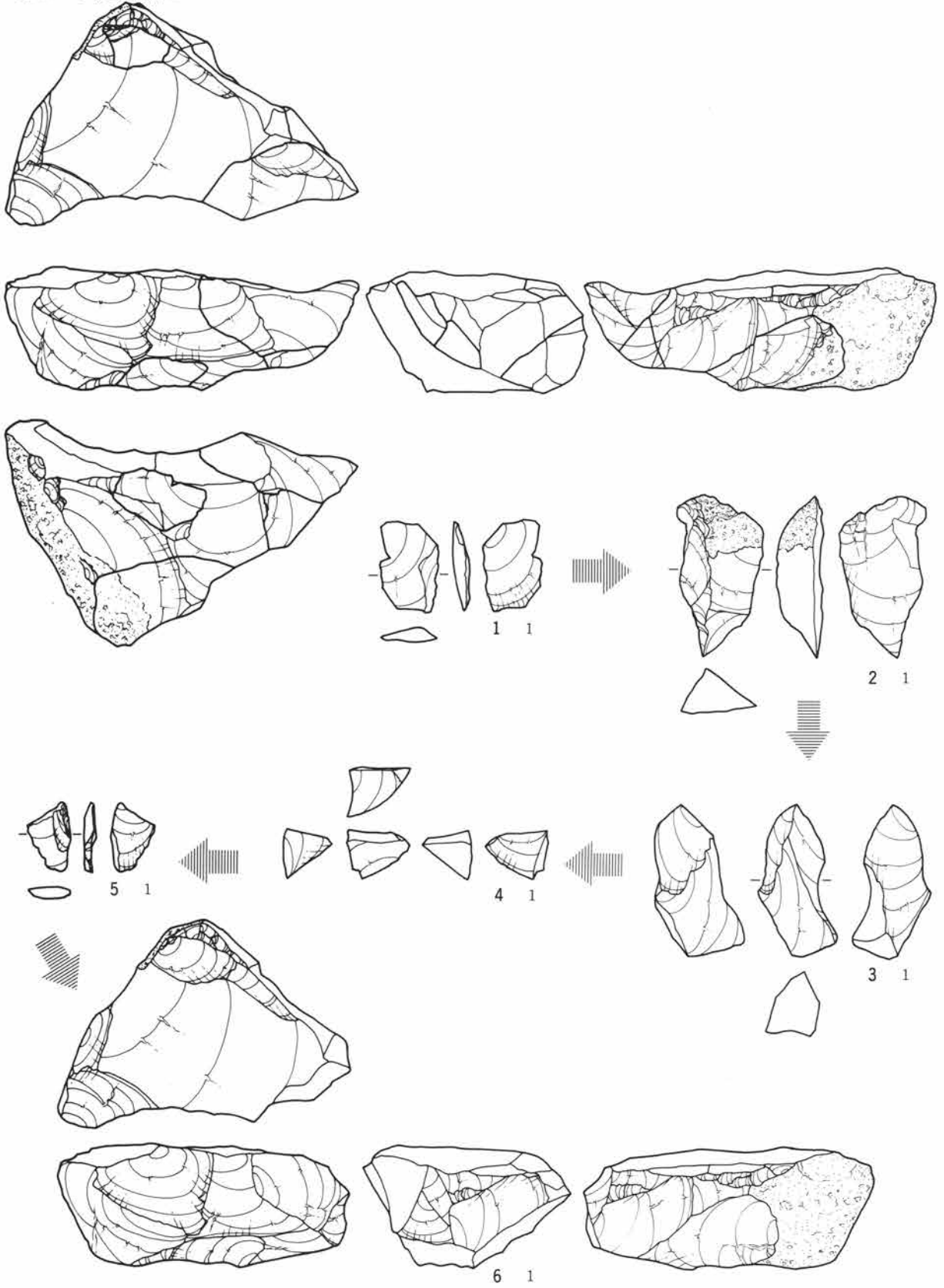
個体C

GAn-1(1) 個体外接合資料



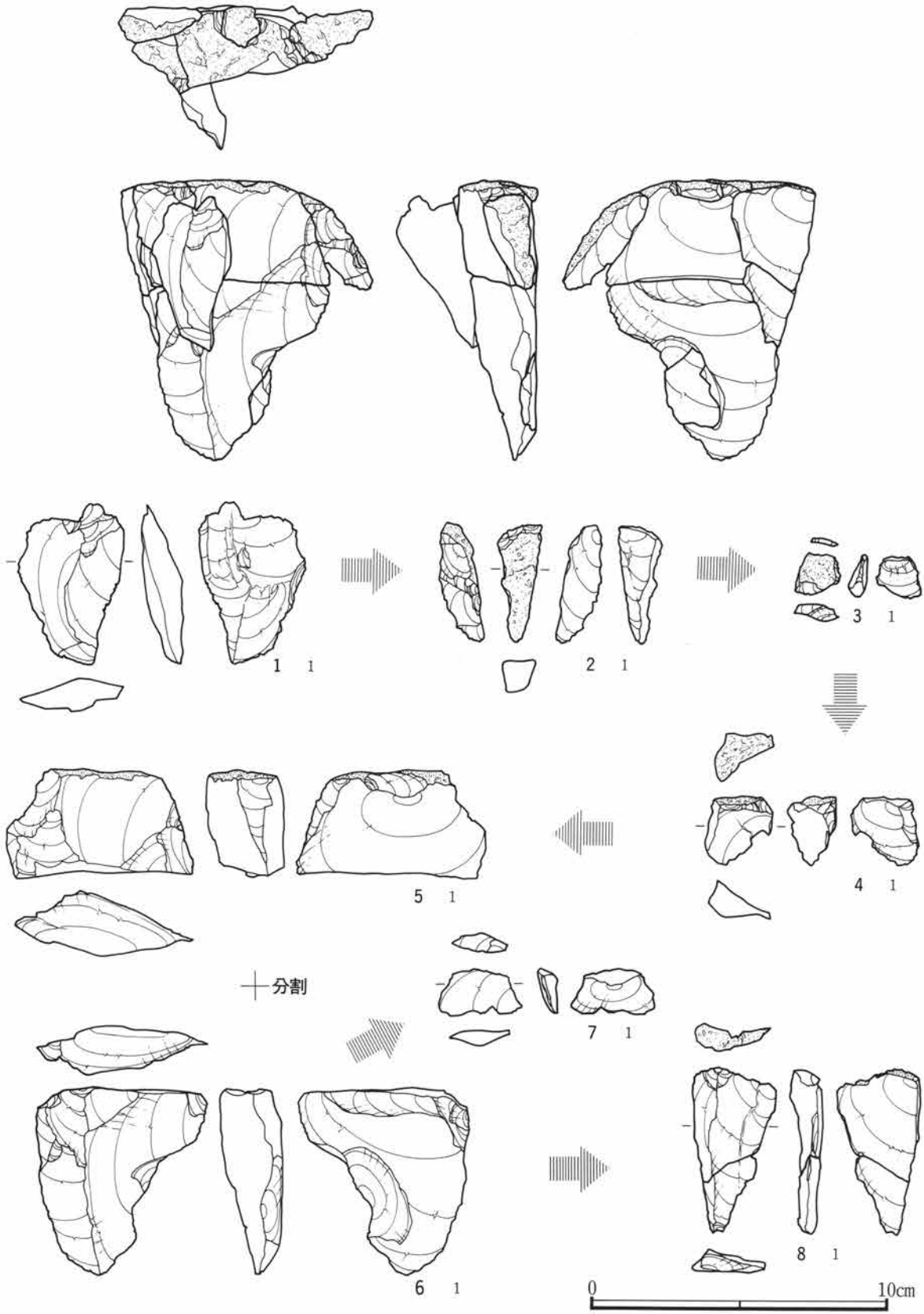
第33図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(1)個体B



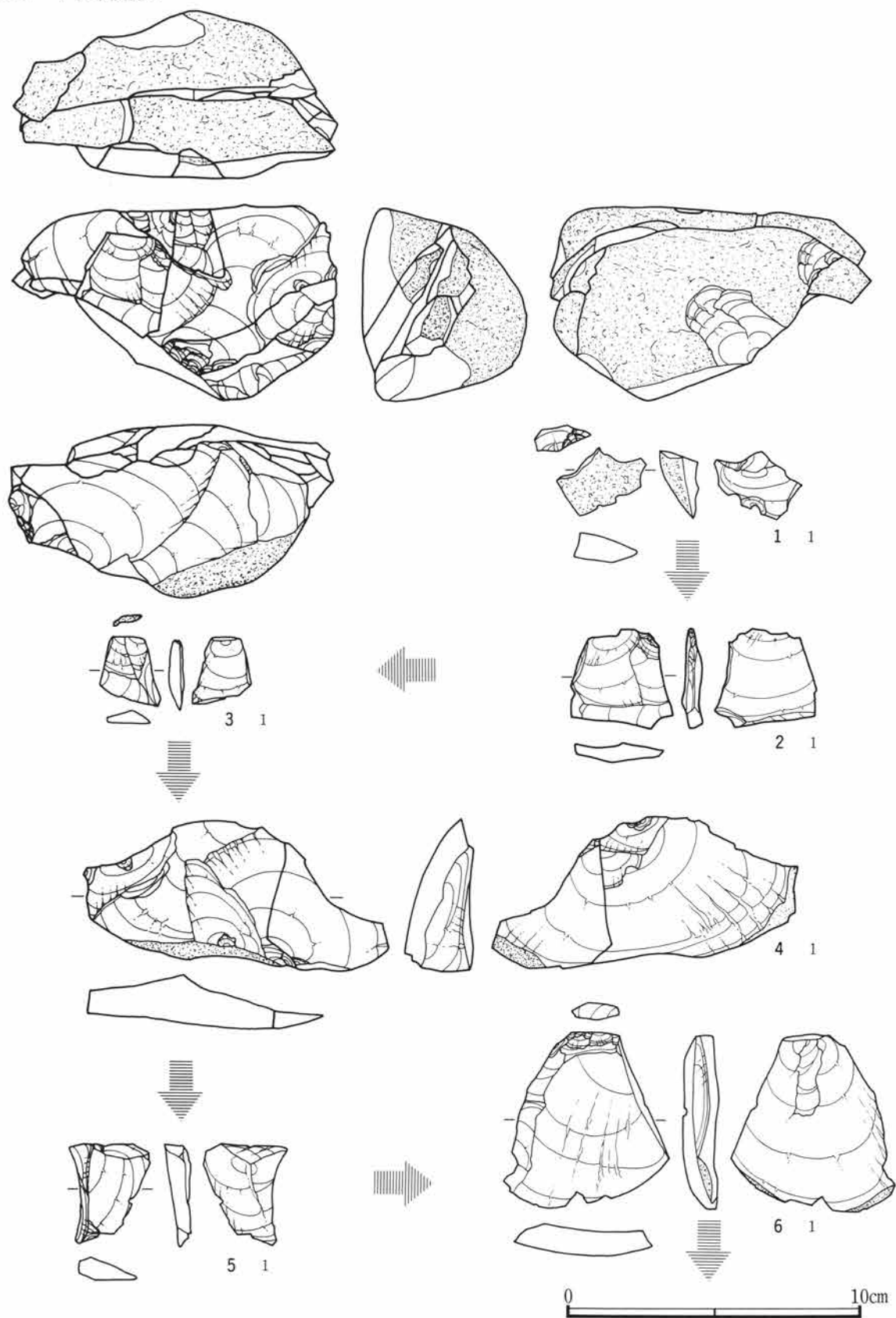
第34図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(1)個体D



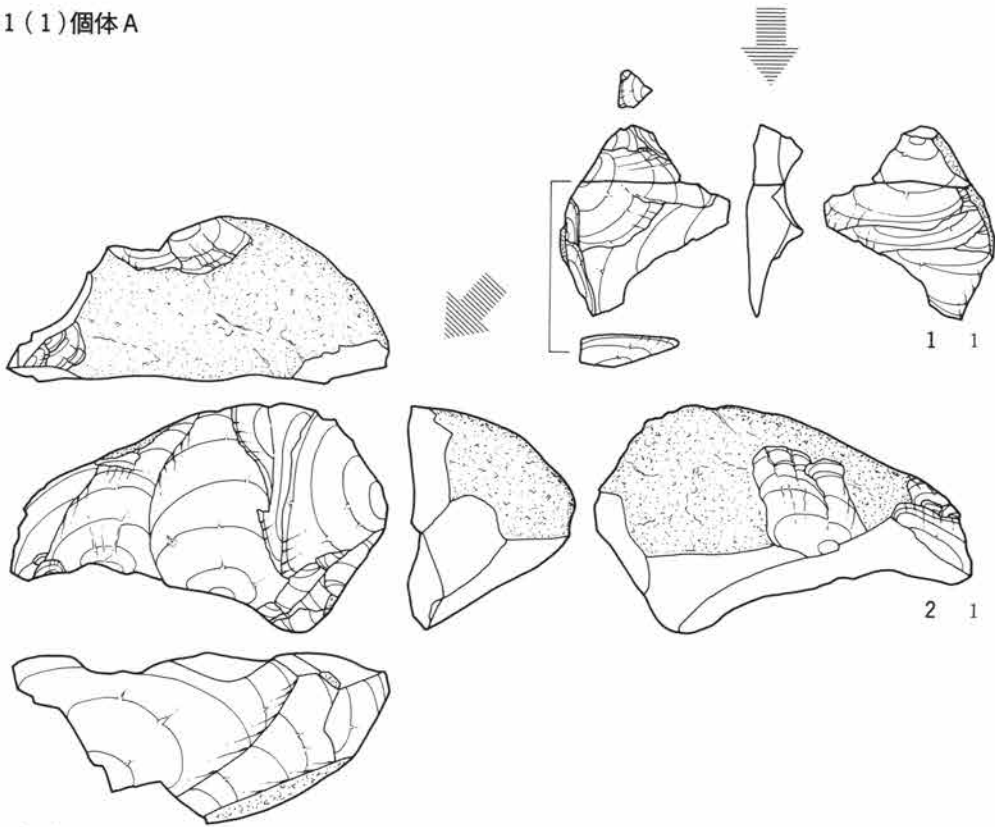
第35図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(1)個体A

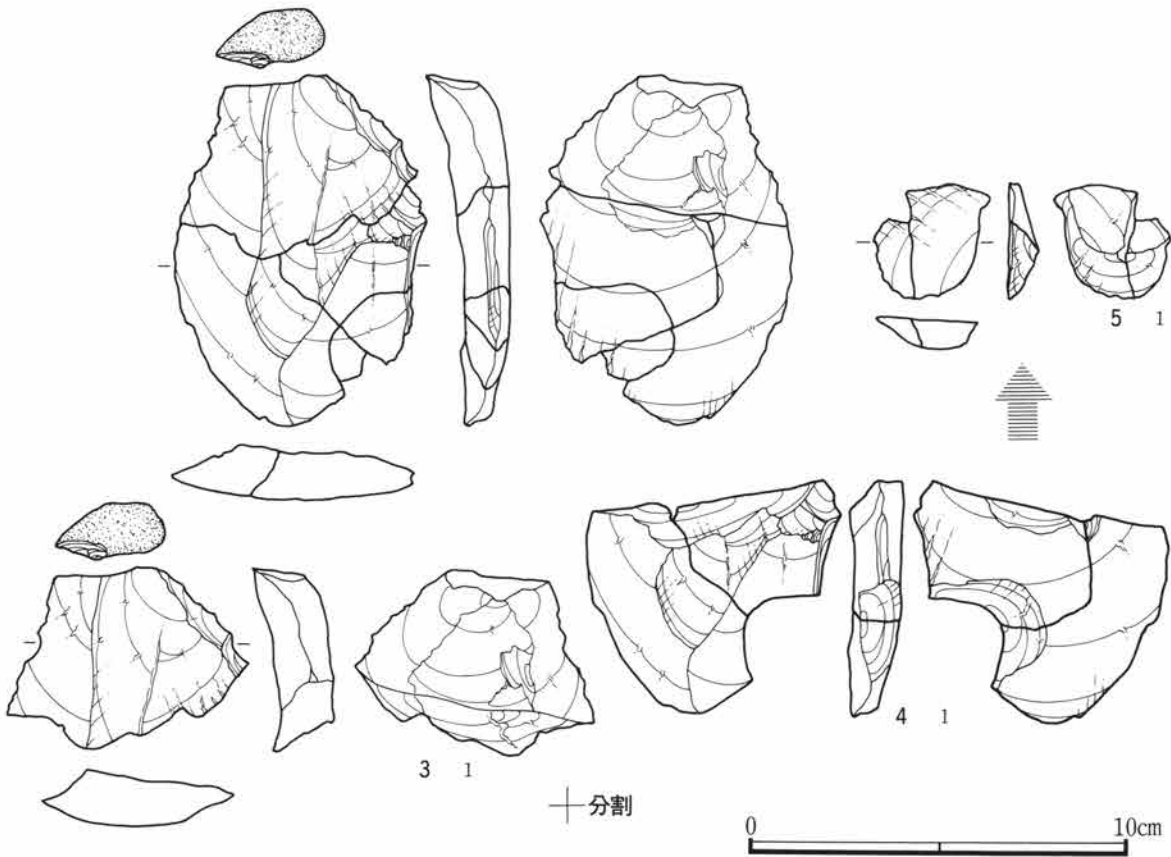


第36図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(1)個体A

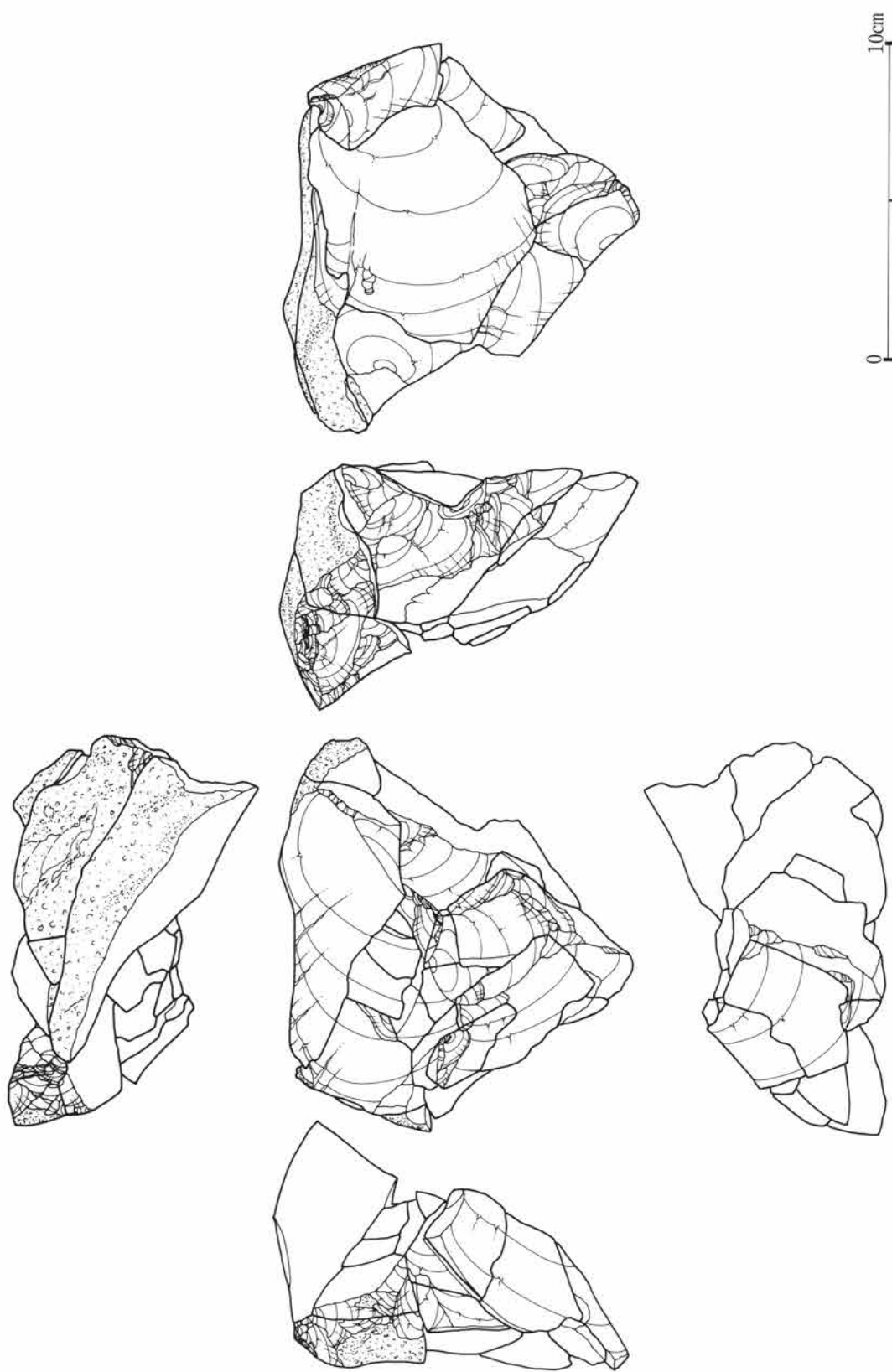


GAn-1(1)個体E



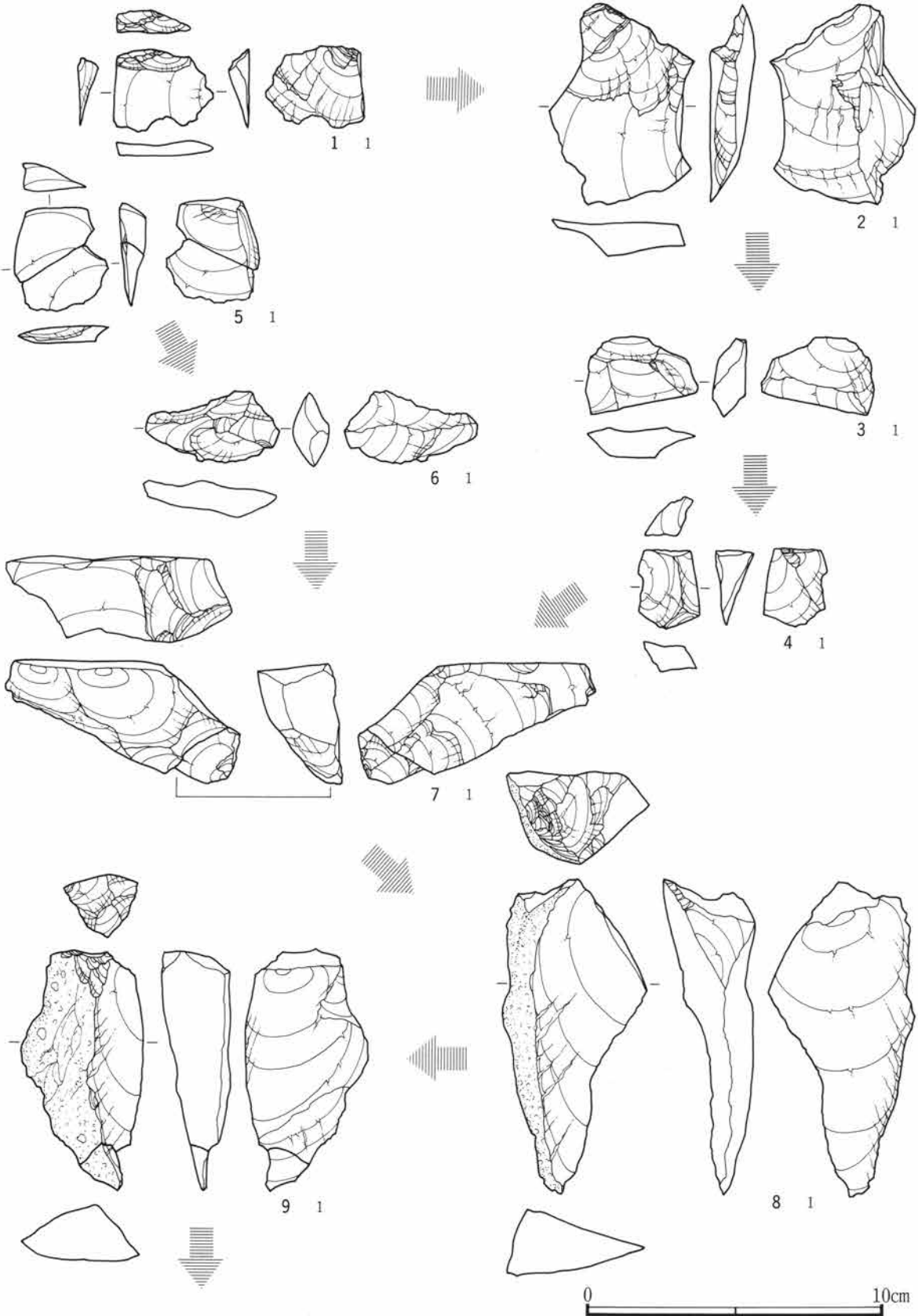
第37図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(1)個体C



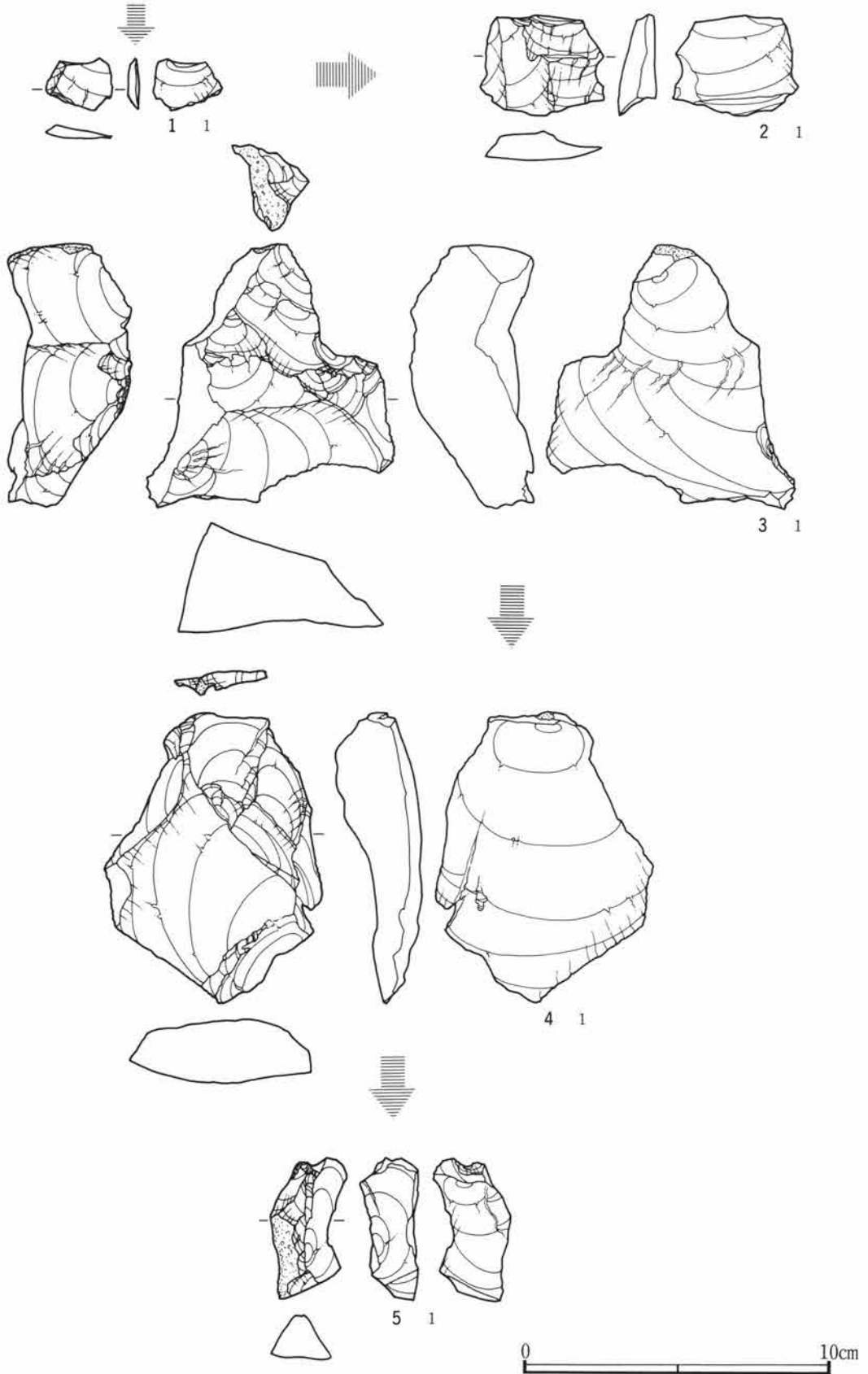
第38図 接合資料(GAn-1)

GAn-1(1)个体C



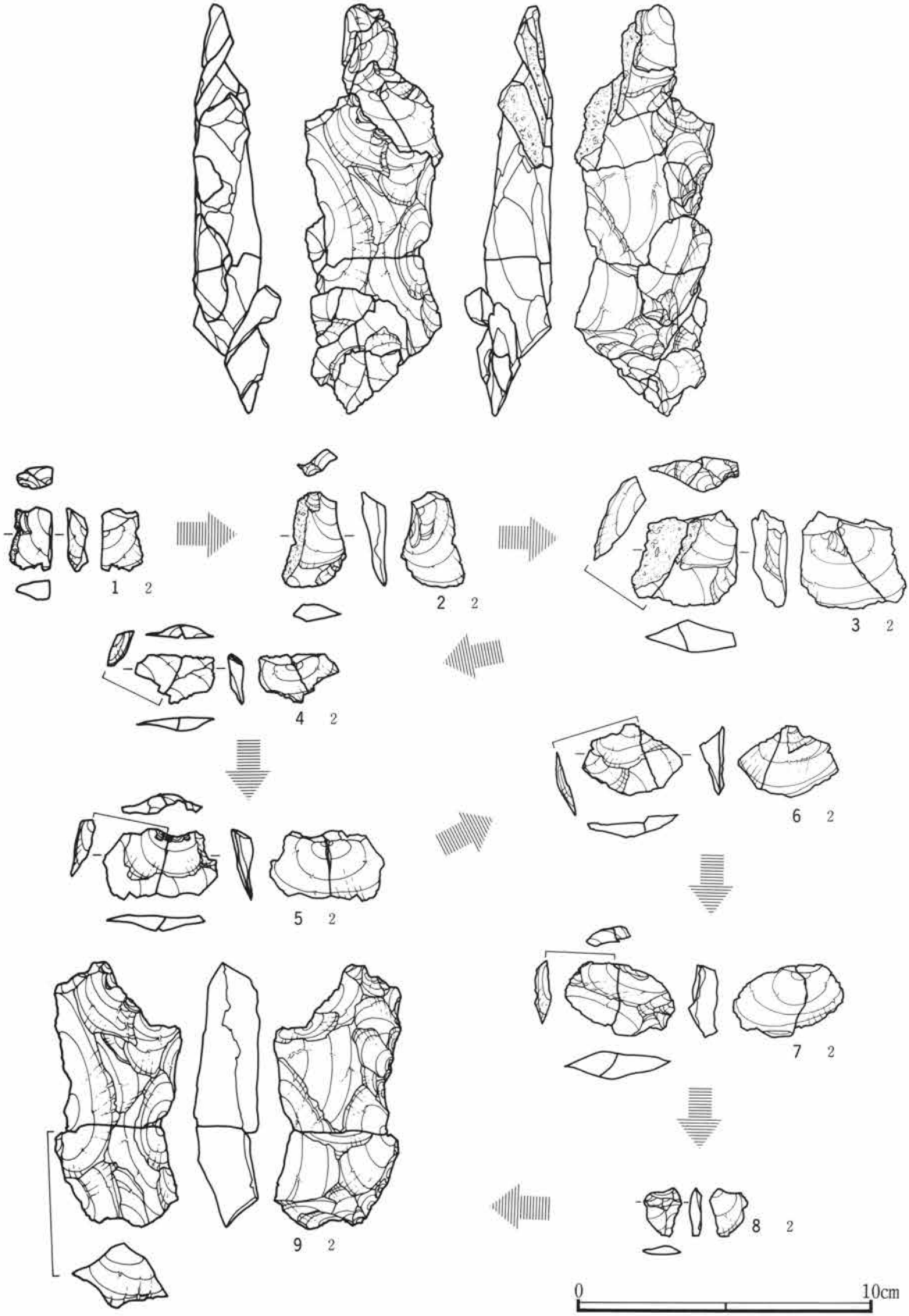
第39図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(1)個体C



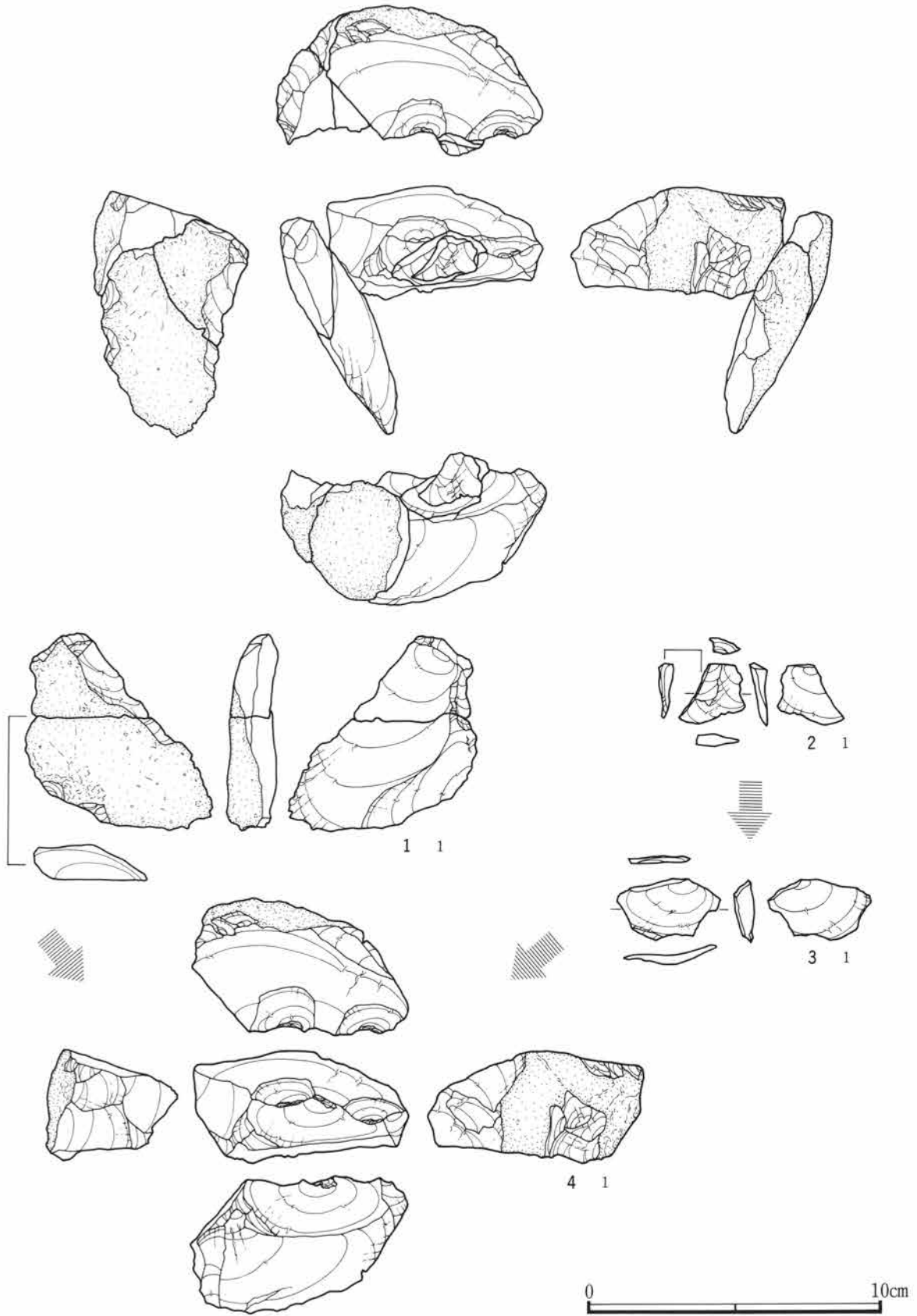
第40図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(2)個体F



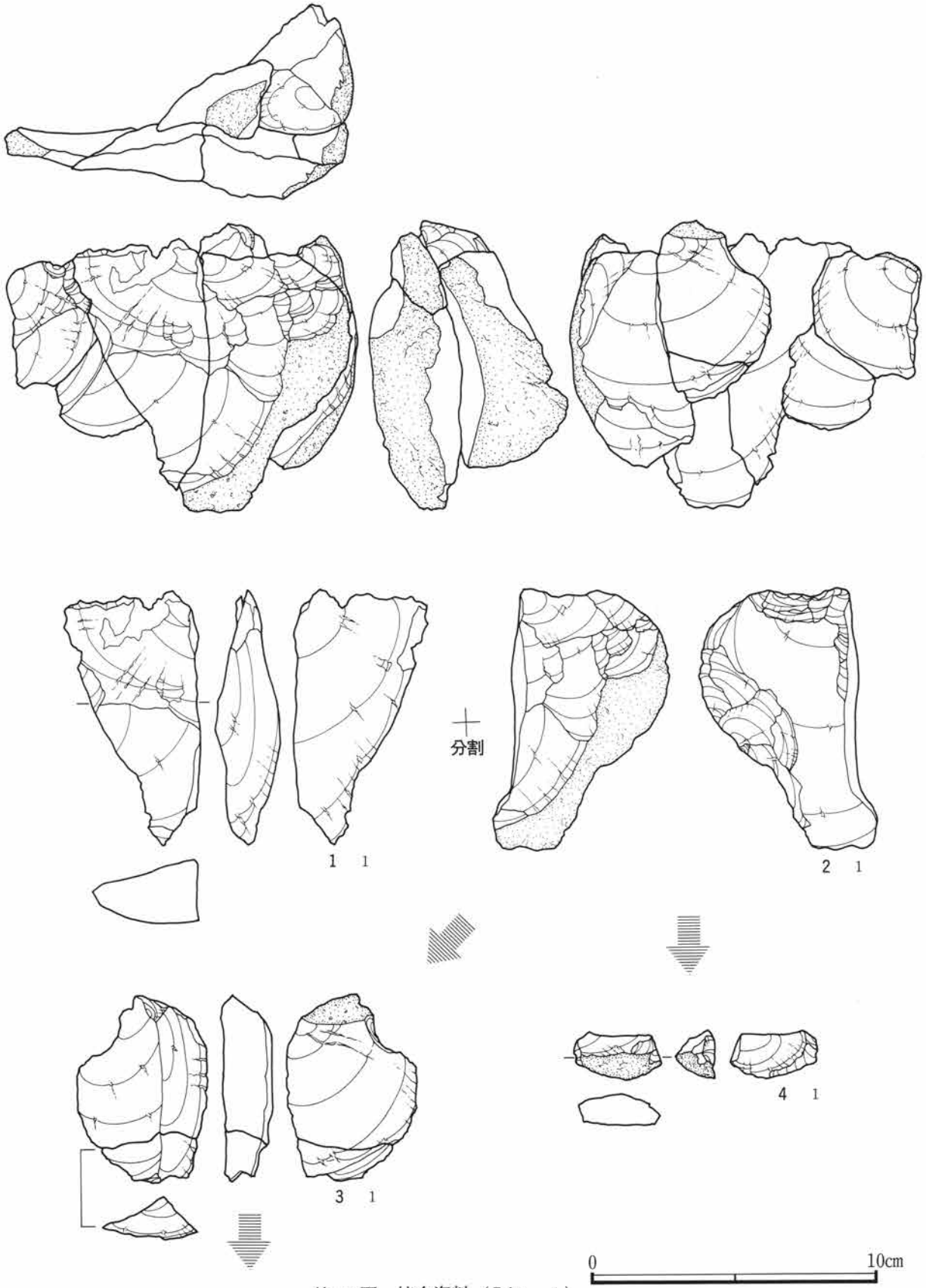
第41図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(3) 个体G



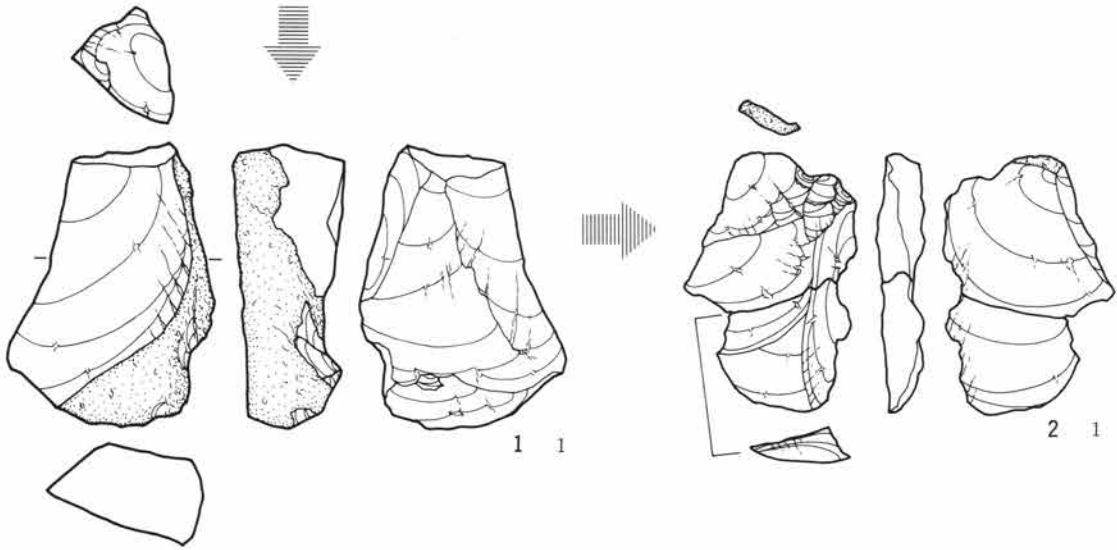
第42図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(4)個体H

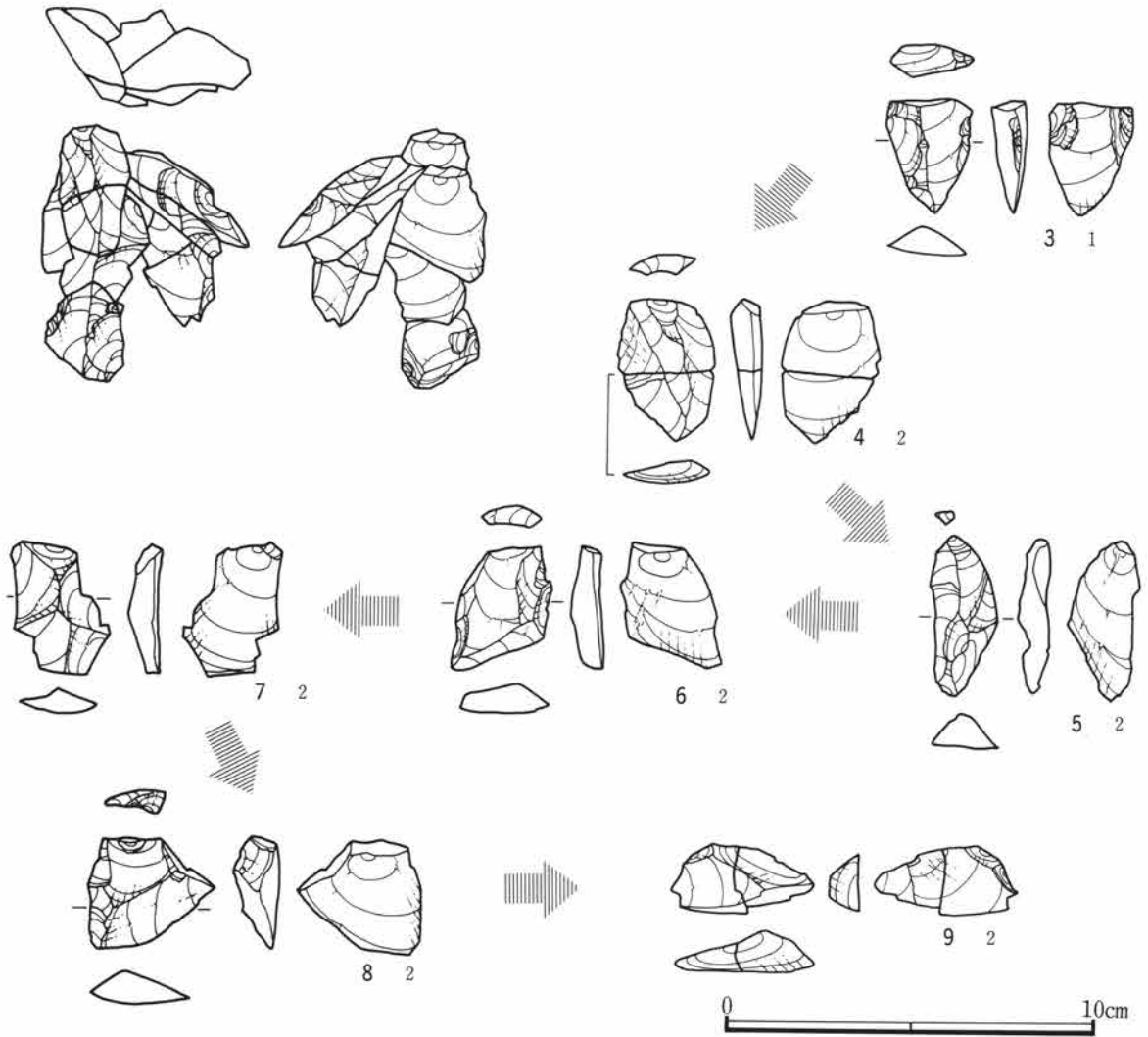


第43図 接合資料 (GAn-1)

GAn-1(4) 個体H

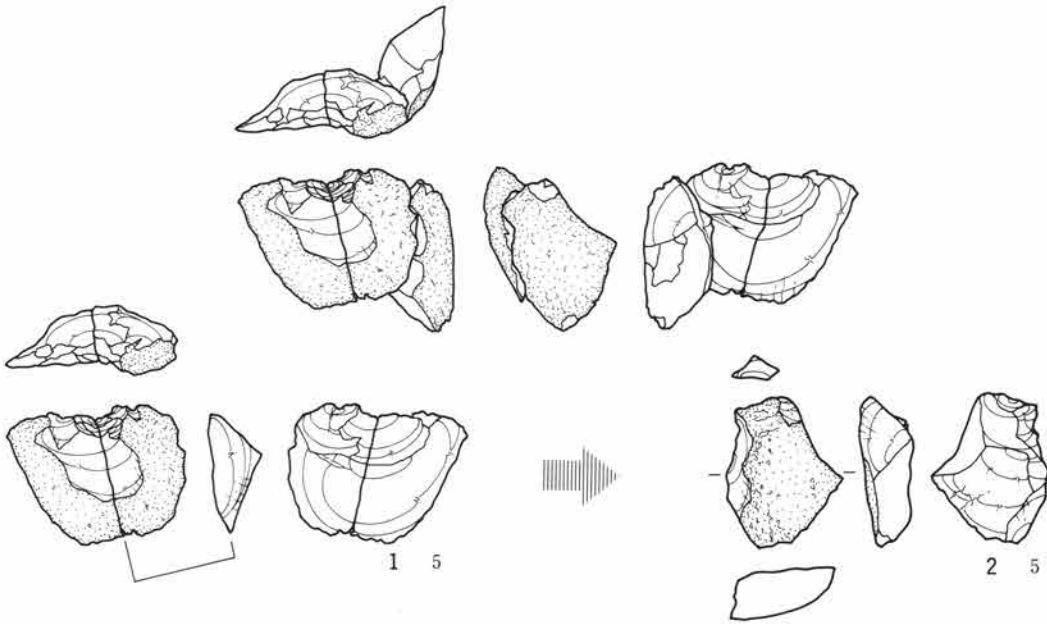


GAn-1(5) 個体I

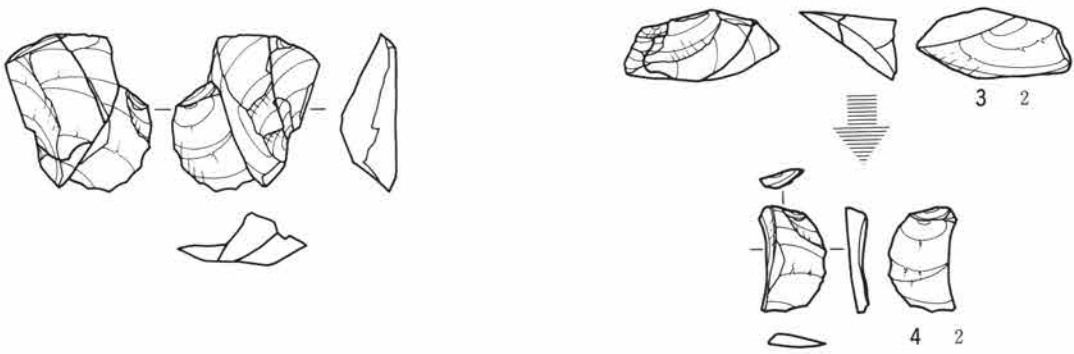


第44図 接合資料 (GAn-1)

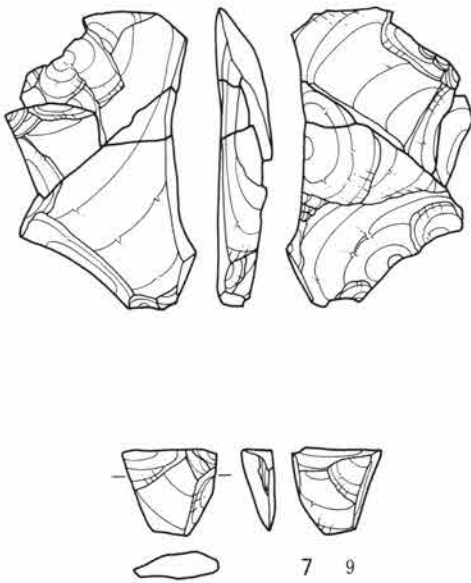
GAn-1(6)その他①



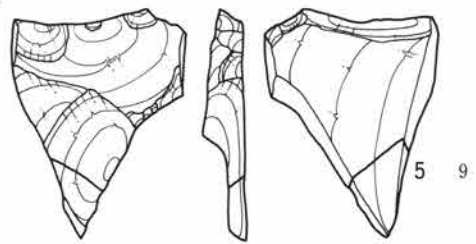
GAn-1(7)その他②



GAn-2

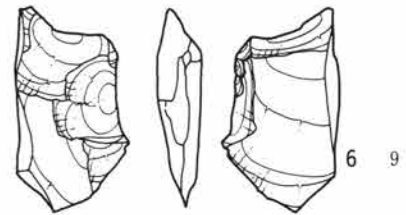


個体A



分割

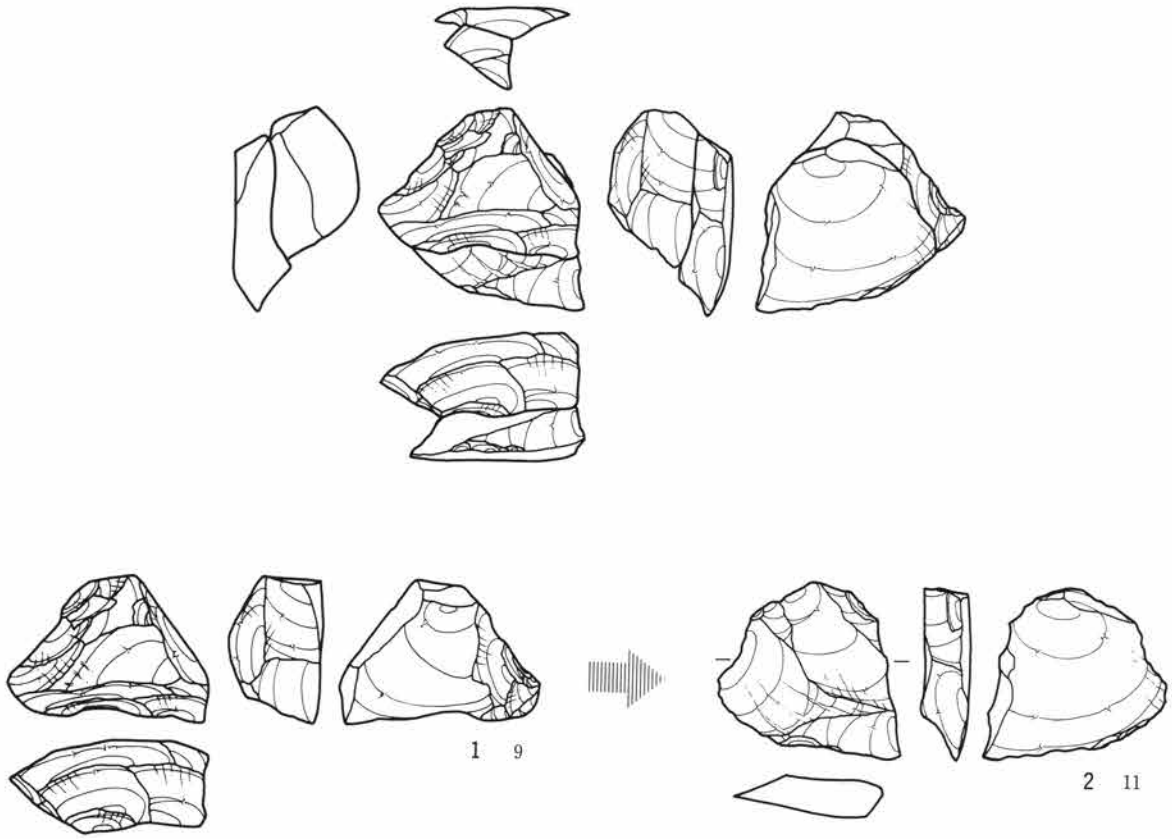
個体B



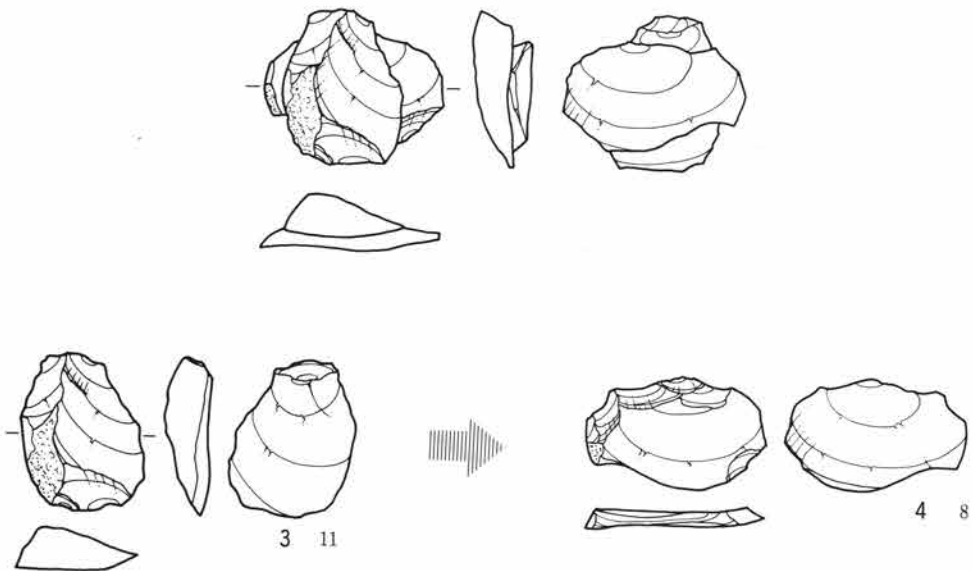
0 10cm

第45図 接合資料 (GAn-1・2)

GAn-4 (1)



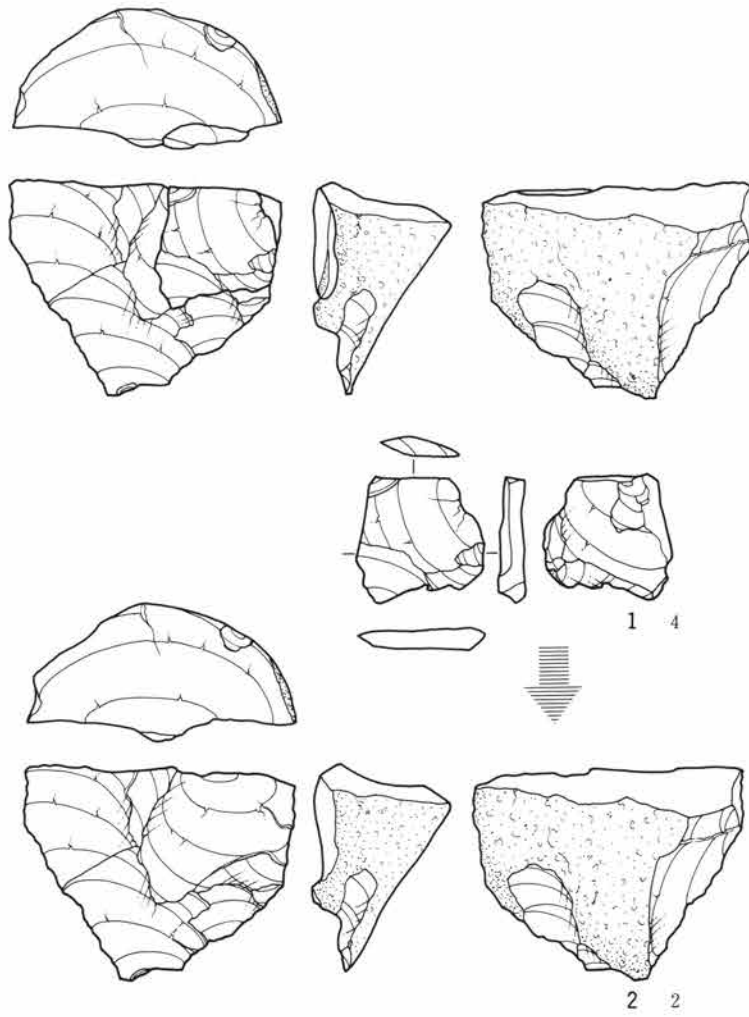
GAn-4 (2)



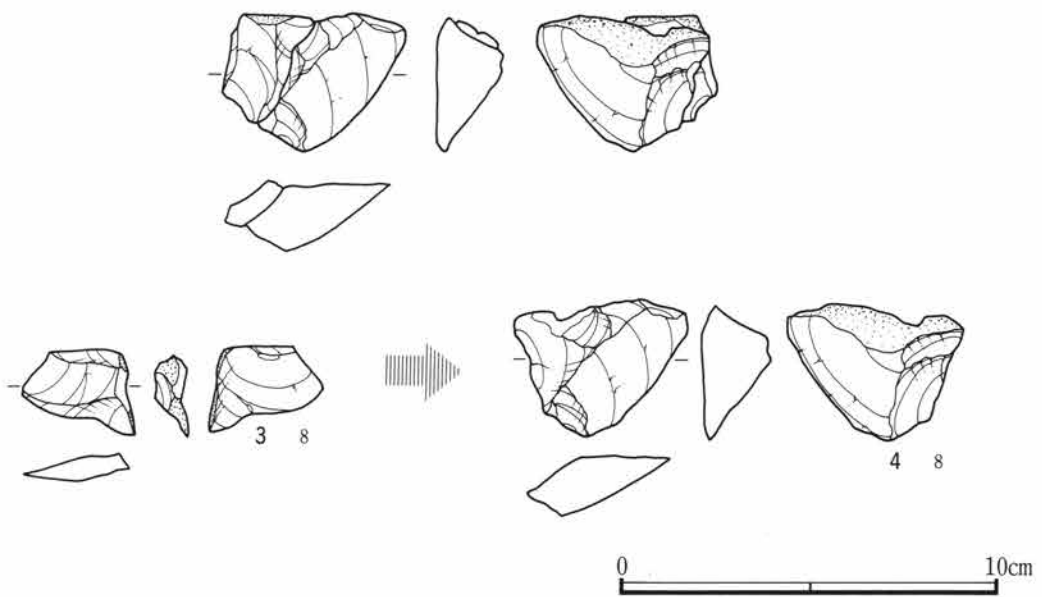
0 10cm

第46図 接合資料 (GAn-4)

GAn-6



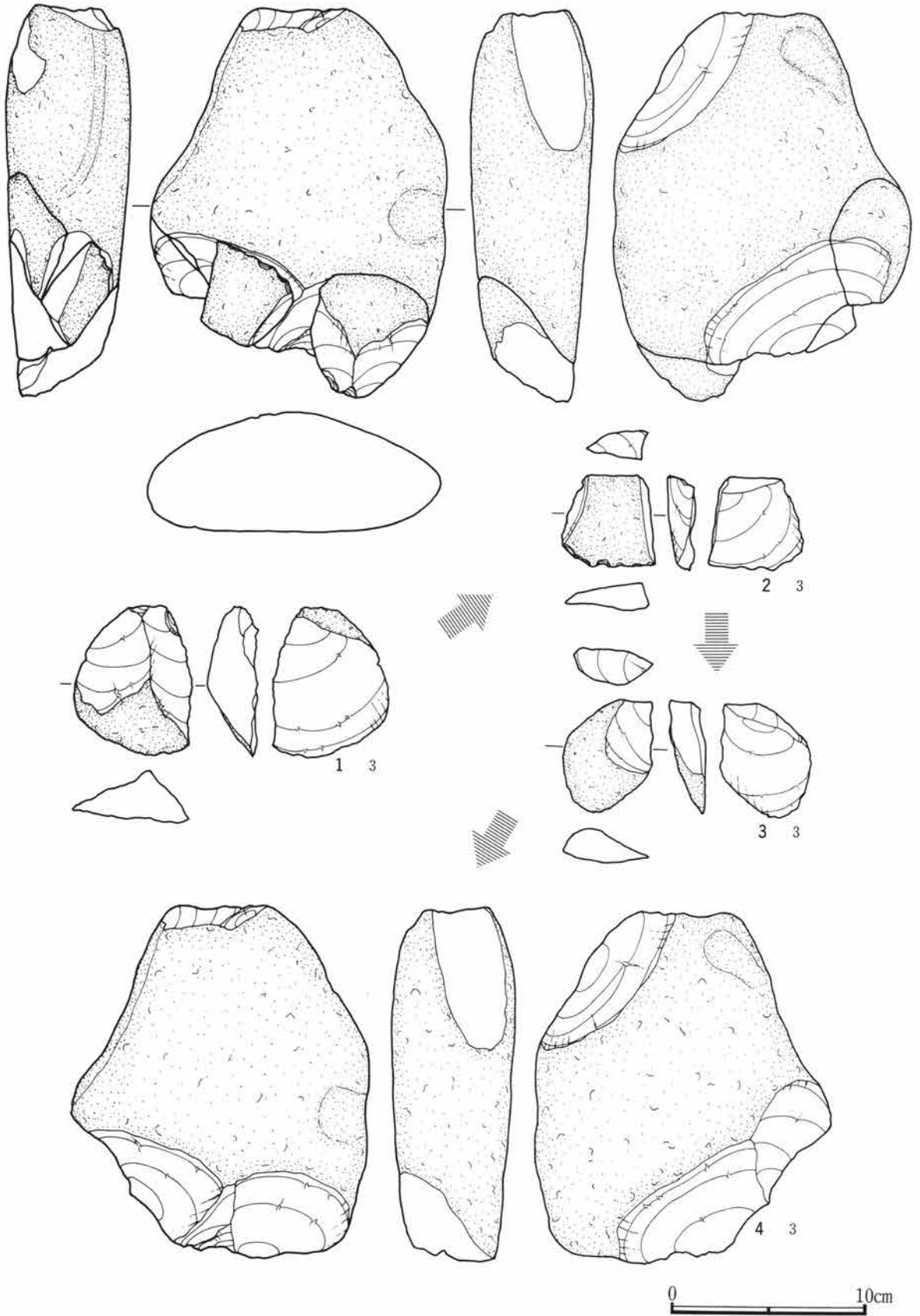
GAn-7



0 10cm

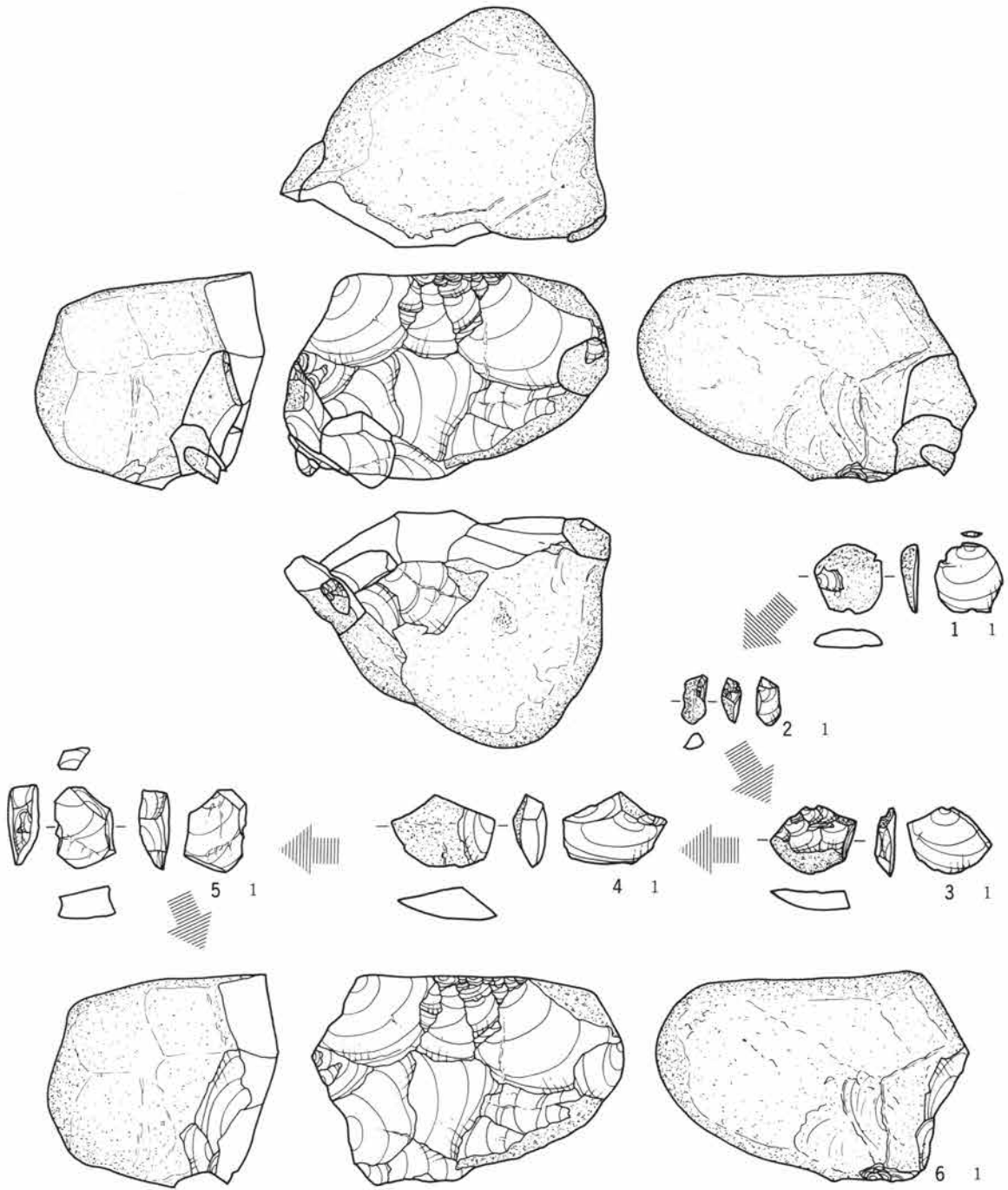
第47図 接合資料 (GAn-6・7)

An-1

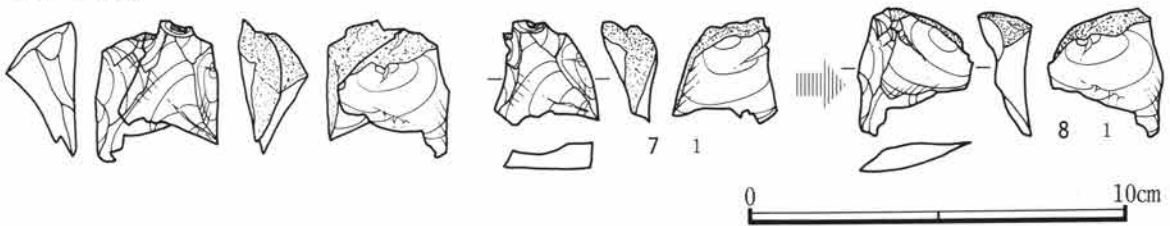


第48図 接合資料 (An-1)

Ch-1(1)



Ch-1(2)



第49図 接合資料 (Ch-1)

第4節 ブロック

天引狐崎遺跡からは597点の石器と53点の礫が出土したが（第50図）、それらは11ヶ所のブロックを構成して分布していた（第51図）。ブロック全体を俯瞰すると南側に分布する一群（1～7ブロック）と北側に分布する一群（8～11ブロック）の二つのブロック群とに分離できる。前者は7ヶ所のブロックによって構成され、散漫なブロックを中心に取り囲むように6ヶ所のブロックが、規模（平面・石器数量）の大小を違えながら環状に展開している。一方、後者は4ヶ所のブロックによって構成され、明確に環状とはいえないが中央部に空白部を持って展開している。また、他にブロックに帰属しない石器もブロック群の周辺部から単独で出土している。

ここでは、南側の一群を第1ブロック群（1～7ブロック）、北側の一群を第2ブロック群（8～11ブロック）と分離して観察していくこととする。

なお、第1ブロック群と第2ブロック群の間ではGAN-1をはじめ何種類かの母岩別資料が共有関係を持っている。整理作業途中、特にGAN-1については分類に誤認があるのではという危惧があったため、第2ブロック群に分布する資料については、再度自然面や節理・班晶の状況など母岩属性の比較と接合作業を行った。しかし、接合はできなかつたものの明確な違いは見いだせず、むしろ類似点の方が多かつたため、ここでは同一母岩別資料として扱うこととした。

1 第1ブロック群

第1ブロック群は（22～25-67～70）グリッドに位置し、1ブロック～7ブロックまでの7ヶ所のブロックで構成される環状ブロック群である。ブロック群の規模は南北16.8m、東西15.6mで、若干南北方向の方が長い。散漫な分布状況を呈する7ブロックを中心に据えて、1ブロック～6ブロックまでの6ヶ所のブロックが大きさを違えながらも環状を呈して展開している。このうち、最も規模が大きいのは1ブロックで、反対に最も規模が小さいのは3ブロックである。

1ブロック（第52・53図）

調査区南寄りで、第1ブロック群南東部の（22・23-68～70）グリッドに位置する。北側には2ブロック、西側には6ブロック、北西側には7ブロックが隣接している。長径12.6m、短径6.4mの長楕円形を呈し、長軸方向は北東から南西方向にある。石器群は特に（23-69）グリッドの南半部分で密集し、周辺部に移行するに従って散漫な分布となっている。

総数338点の石器と13点の礫で構成され、その内訳は台形様石器7点、二次加工のある剝片6点、石核15点、剝片178点、碎片129点、敲石2点、砥石1点である。石器組成の中心は剝片・碎片類であり、第1ブロック群のなかで最も石器製作の中心的ブロックであったことが窺える。また、礫は特に密集することはないので、ここでは礫群としては捉えていない。

母岩別にみると、GAN-1・3・5・7、An-3・5・6・7、Ch-1・2・3・7の12種類の母岩別資料で構成される。数量的にはGAN-1が301点で圧倒的に主体を占め、次いでGAN-3が17点、Ch-1が8点である。接合関係はGAN-1を中心に多数が確認された。特に石器の密集する（23-69）グリッド南半部にはGAN-1個体A～E・Gがそれぞれ平面的に重複して分布しており、この範囲内で接合関係を持っている。

ブロック南端部にはGAn-1 個体Hが分布し、 3×3 mの範囲内で接合関係を持っている。また、接合関係はブロック間でも認められ、GAn-1 は北側に隣接する2ブロックとの間で多数確認された。他に1例7ブロック間と接合関係を持つものがある。

2ブロック (第54・56図)

調査区中央部で、第1ブロック群東部の(24-69・70)グリッドに位置する。南側には1ブロック、北西側には3ブロック、西側には7ブロックが隣接する。長径5.2m、短径4.1mの不整形円形を呈する。(24-69)グリッドの中心部で密集し、1ブロック方向に行くに従って散漫な分布となっている。

総数142点の石器と10点の礫で構成され、その内訳は台形様石器5点、二次加工のある剥片2点、石核3点、剥片57点、碎片74点、敲石1点である。また、礫は特に密集することはないので、礫群として捉えていない。

母岩別にみると、GAn-1・3・6・7、Ch-1・2・4、Ms-1の8種類の母岩別資料で構成される。数量的にはGAn-1が132点で圧倒的に主体を占め、GAn-3が3点、GAn-6が2点で、他はすべて単独の資料である。接合関係はGAn-1を中心に多数が確認され、南側に隣接する1ブロックと頻繁に接合が認められる。また、ブロック北半部にはGAn-1 個体Fが 3×3 mの範囲内に分布し、接合関係を持っている。他に、4ブロック(GAn-4)、7ブロック(GAn-1)の比較的遠距離間で接合関係を持つものもある。

3ブロック (第55・57図)

調査中央部で、第1ブロック群北東部の(24・25-68・69)グリッドに位置する。南東側には2ブロック、西側には4ブロック、南西側には7ブロックが隣接する。長径2.5m、短径1.5mの南北に長い楕円形を呈する。第1ブロック群中最も規模が小さい。

総数5点の石器と5点の礫の計10点の資料で構成され、その内訳はスクレイパー1点、石核1点、剥片2点、台石1点である。これらの石器と礫は特に密集することなく、散漫に分布している。

母岩別にみると、An-1の1種類の母岩別資料のみで構成されている。接合関係はブロック内で収束し、石核に3点の資料が接合する。このAn-1の接合資料は大型の偏平礫を素材にしていることから、台石を転用している可能性がある。

4ブロック (第58・60図)

調査区中央部で、第1ブロック群北側の(24・25-68)グリッドに位置する。東側には3ブロック、やや距離をおいて南西側に5ブロック、南側に7ブロックが隣接する。長径3.3m、短径2.2mの東西に長い楕円形を呈する。

総数3点の石器と9点の礫の計12点の資料で構成され、その内訳は剥片3点である。母岩別にみると、GAn-6、Ch-11、HMs-1の3種類の母岩別資料で構成される。接合関係はGAn-6の1例が2ブロックとの遠距離間で確認された。

5ブロック (第59・61図)

調査区西寄り、第1ブロック群西側の(23・24-67)グリッドに位置する。北西側にはやや距離をおいて4ブロック、南側には6ブロック、東側には7ブロックが隣接する。長径5.9m、短径3.8mの南北に長い楕円形を呈する。

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

総数26点の石器と6点の礫の計32点の資料で構成され、その内訳は台形様石器3点、剥片15点、碎片6点、敲石2点である。特に密集する部分はないが、全体的にブロック南半部に偏在していることが窺える。

母岩別にみると、GAn-1・3、An-4、Ch-2・12、CS-1の6種類の母岩別資料で構成される。数量的にはGAn-1が20点で主体を占めている。接合関係はGAn-1に1例、Ch-2に1例の計2例が確認され、共にブロック内で収束している。5ブロックから北側に離れた周辺部には、楔形石器が1点と剥片が1点が分布している。

6ブロック (第62・64図)

調査区南寄り、第1ブロック群南側の(22・23-67・68)グリッドに位置する。東側には1ブロック、北側には5・7ブロックが隣接する。長径3.6m、短径2.3mの南北に長い楕円形を呈する。

総数9点の石器で構成され、その内訳はナイフ形石器1点、台形様石器1点、剥片7点である。母岩別にみると、GAn-1、Ch-2・5・9、HSh-1の5種類の母岩別資料で構成される。数量的にはGAn-1とCh-2が各3点ずつで、他はすべて単独の資料である。接合関係は確認できなかった。石器はブロック北半部に偏在して分布している。ナイフ形石器がブロック南隅から、他の石器とは離れて分布している点には注意する必要がある。

7ブロック (第63・65図)

調査区南寄り、第1ブロック群中央部の(23・24-68)グリッドに位置する。外縁部を1～6ブロックが取り囲んでいる。長径5.5m、短径3.9mの南北に長い楕円形を呈する。

総数9点の石器と5点の礫の計14点の資料で構成され、その内訳は台形様石器2点、剥片6点、敲石1点で、散漫に分布している。母岩別にみると、GAn-1、An-2、HSh-3の3種類の母岩別で構成される。数量的にはGAn-1が7点で、他は単独の資料である。接合関係は1ブロックと2ブロックとの間で認められる。

2 第2ブロック群

第2ブロック群は調査区北半部のより台地先端部に近い(25-27-69-71)グリッドに位置し、第1ブロック群とは5m程の間隔がある。8ブロック～11ブロックの4ヶ所のブロックで構成され、規模は南北12.8m、東西12.4mである。明確な環状ブロック群ではないが、中央部に空白部を持ってブロック群は展開している。11ブロックが南東側に離れて位置しているが、8・9ブロックと接合関係を持っており、共時関係性が窺える。第1ブロック群に比較して第2ブロック群の各ブロックは、1ブロックのように大規模なブロックを持つものではなく、第1ブロック群の3～7ブロックと同様な規模を呈している。

8ブロック (第66・68図)

調査区北寄り、第2ブロック群西側の(26-69)グリッドに位置する。長径4.1m、短径3.7mの円形を呈している。北東側には9ブロックが隣接する。

総数29点の石器と3点の礫の計32点の資料で構成され、その内訳は二次加工のある剥片1点、剥片11点、碎片17点である。母岩別にみると、GAn-1・2・4・7、Ch-13の5種類の母岩別資料で構成される。数量的には、多い順にGAn-4が11点、GAn-1が9点、GAn-2が6点、GAn-7が2点、Ch-13が1点で

ある。接合資料は4例あり、GAn-4の1例が11ブロックとの遠距離間で接合する他はブロック内で収束している。8ブロックから南東部に離れた周辺部の(25・26-70)グリッドには、台形様石器が2点分布している。

9ブロック (第70・72図)

調査区北寄り、第2ブロック群北側の(26・27-70)グリッドに位置する。長径4.9m、短径2.7mの南北に長い楕円形を呈する。南西側には8ブロック、東側にはやや距離をおいて10ブロックが隣接する。

総数17点の石器と2点の礫の計19点の資料で構成され、その内訳は石核3点、剥片6点、碎片7点、敲石1点である。母岩別にみると、GAn-1・2・4・6、An-8、Ch-10の6種類の母岩別資料で構成される。数量的にはGAn-1が3点、GAn-2が10点の他は単独の資料である。接合関係は3例あり、GAn-4が11ブロックとの遠距離間で確認された他はブロック内で収束している。

10ブロック (第67・69図)

調査区北寄り、第2ブロック群北東側の(26・27-71)グリッドに位置する。長径2.2m、短径1.5mの不整形円形を呈する。西側にはやや距離をおいて9ブロック、南側に6m程の距離をおいて11ブロックが隣接して位置する。

総数5点の石器で構成され、その内訳は二次加工のある剥片1点、剥片3点、碎片1点である。母岩別にみると、Ch-2・8の2種類で構成され、このうちCh-2が4点を占めている。Ch-8は単独の資料である。接合関係は確認できなかった。本ブロックでは、いずれのブロックにも分布していた黒色安山岩製の石器が全く分布しておらず、チャート製の石器だけ構成されていた。

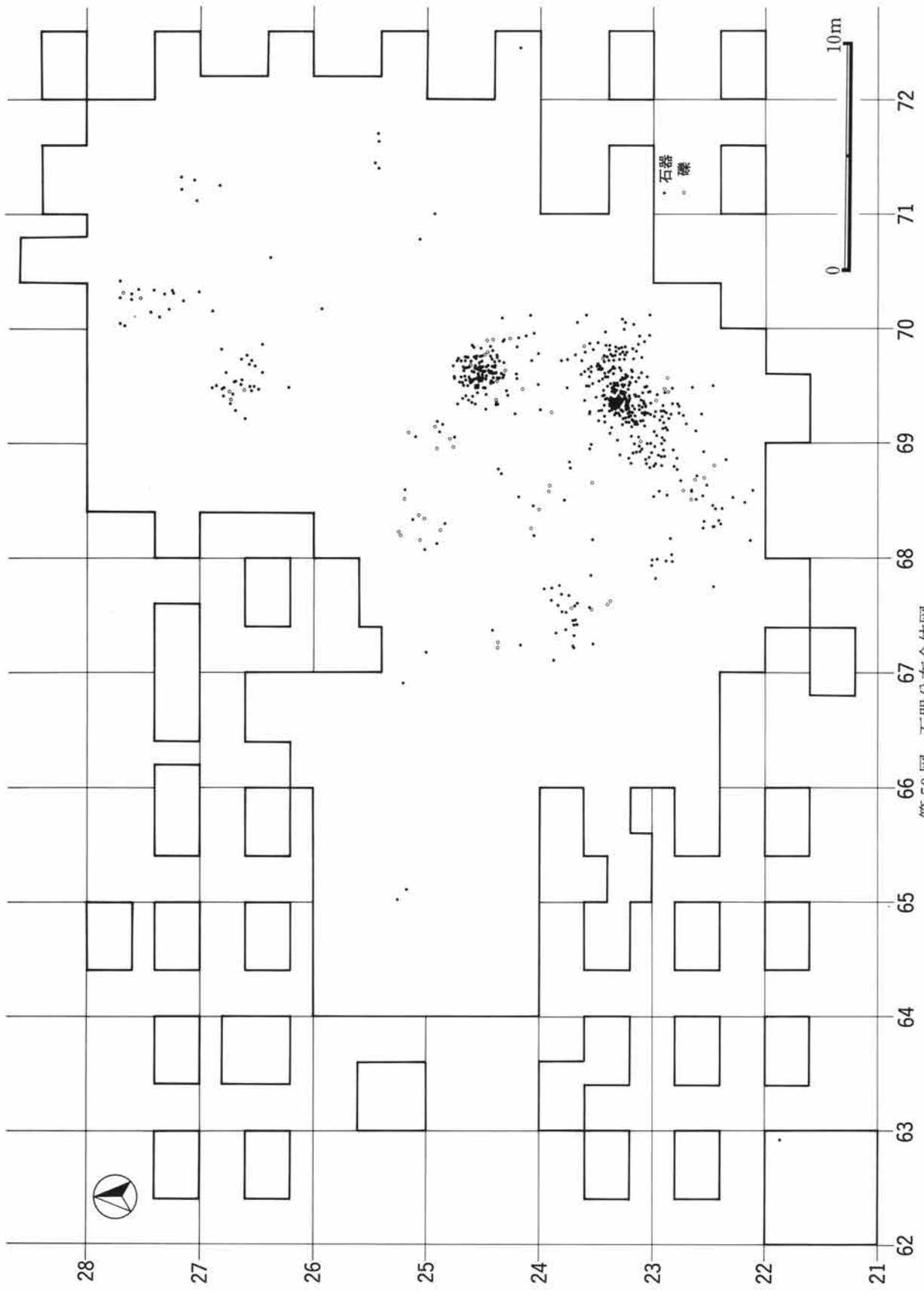
11ブロック (第71・73図)

調査区東寄り、第2ブロック群南東部の(25-71)グリッドに位置する。長径1.9m、短径1.0mの東西に長い楕円形を呈する。他のブロックとは離れて位置している。

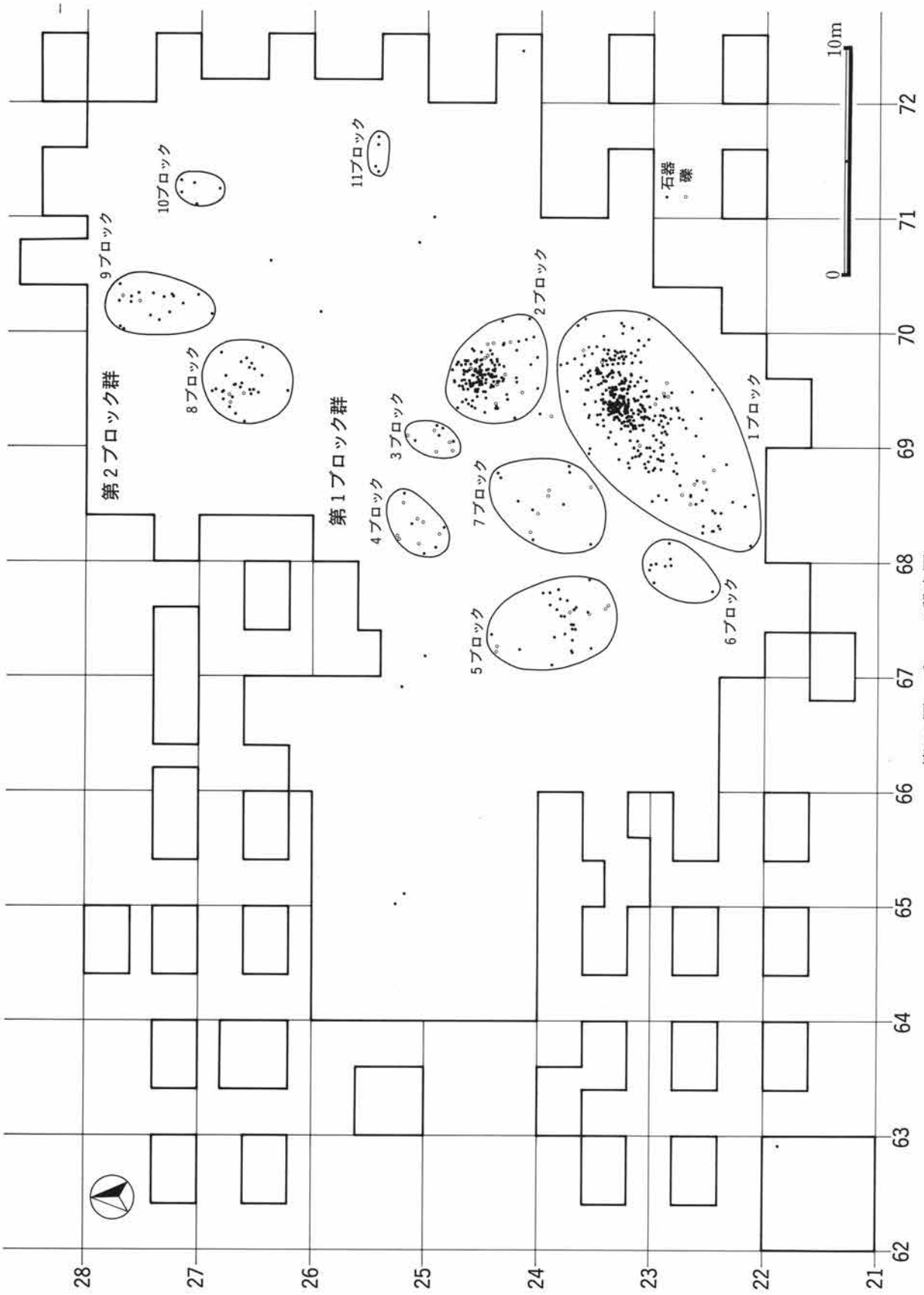
総数4点の石器で構成され、その内訳は楔形石器1点、剥片3点である。母岩別にみると、GAn-1・4の2種類の母岩別資料で構成される。数量的にはそれぞれ2点づつある。接合関係はGAn-4で2例あり、8ブロックと9ブロックとの遠距離間で接合する。11ブロック周辺部で2ブロックとの中間付近には、剥片1点と碎片1点が分布している。

ブロック外 (第50・51図)

ブロック群以外にも4点の石器が単独で出土している。(21-62)グリッドからは黒色頁岩製のナイフ形石器が1点、(25-65)グリッドからは黒曜石製のスクレイパーが2点(接合後1点)、(24-72)グリッドからは硬質頁岩製のスクレイパーが1点出土している。いずれも単独の母岩別資料で、特にスクレイパーは共に遠隔地石材を用いている点は注意される。遺跡内で製作の痕跡を留めないナイフ形石器をはじめとする特定器種類が、ブロックから離れて分布する例は旧石器時代遺跡ではよく散見される。母岩別資料の共有がない天引狐崎遺跡の例のような場合、どのブロック群に伴うのか、あるいはこれらの石器群には伴わずに時間差を持って残されたのか解釈が別れる。

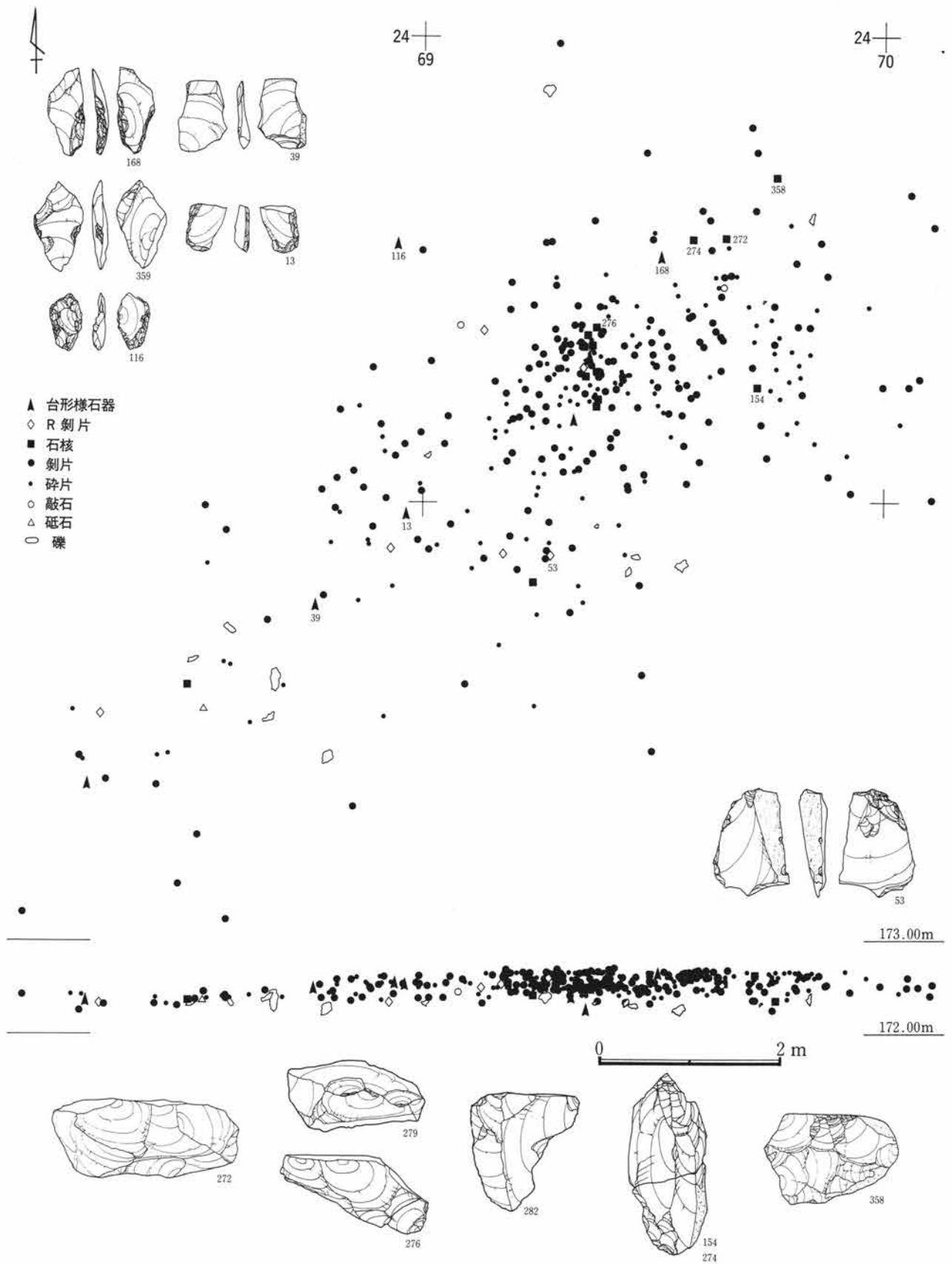


第50図 石器分布全体図

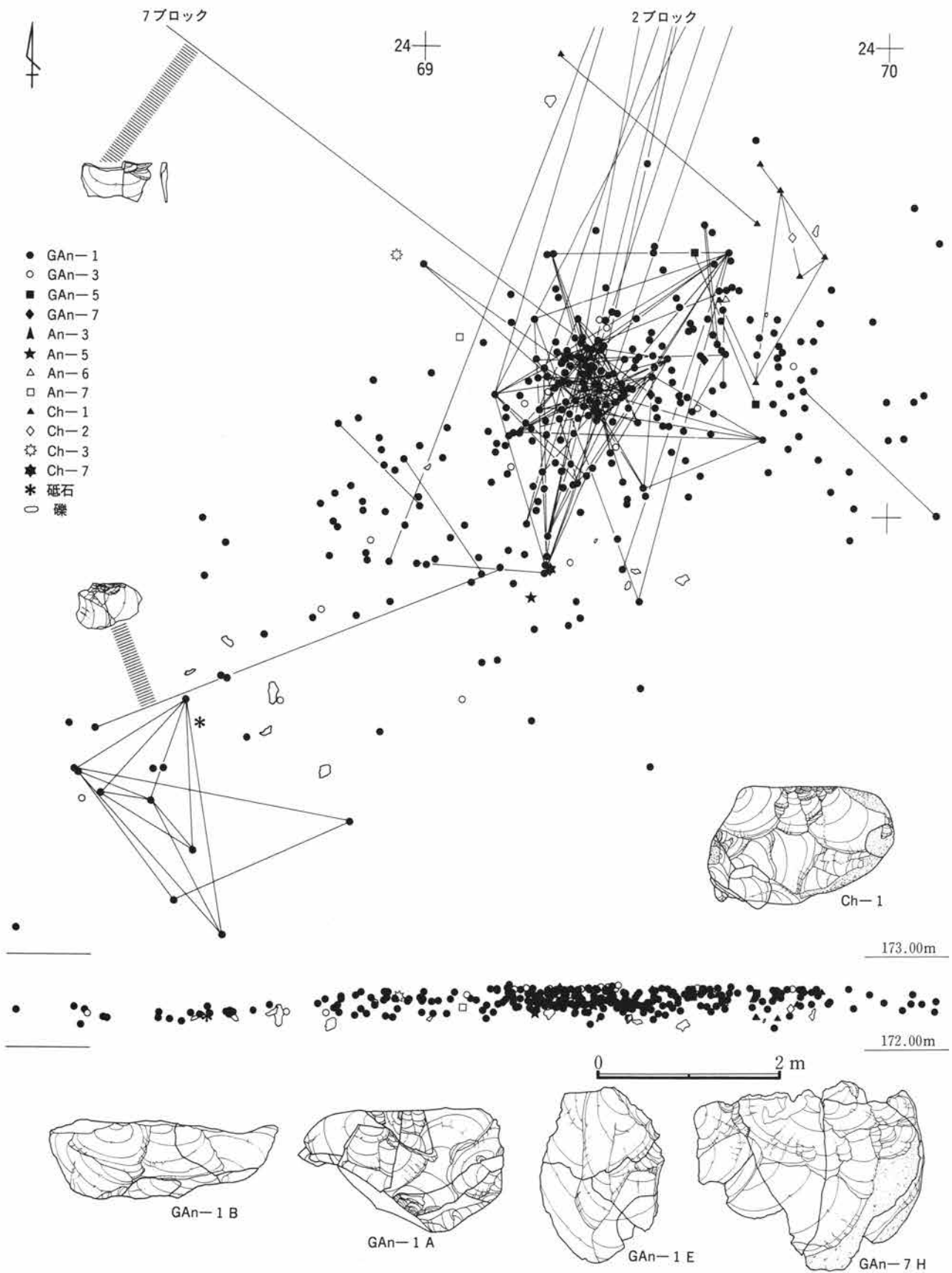


第51図 ブロック設定図

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

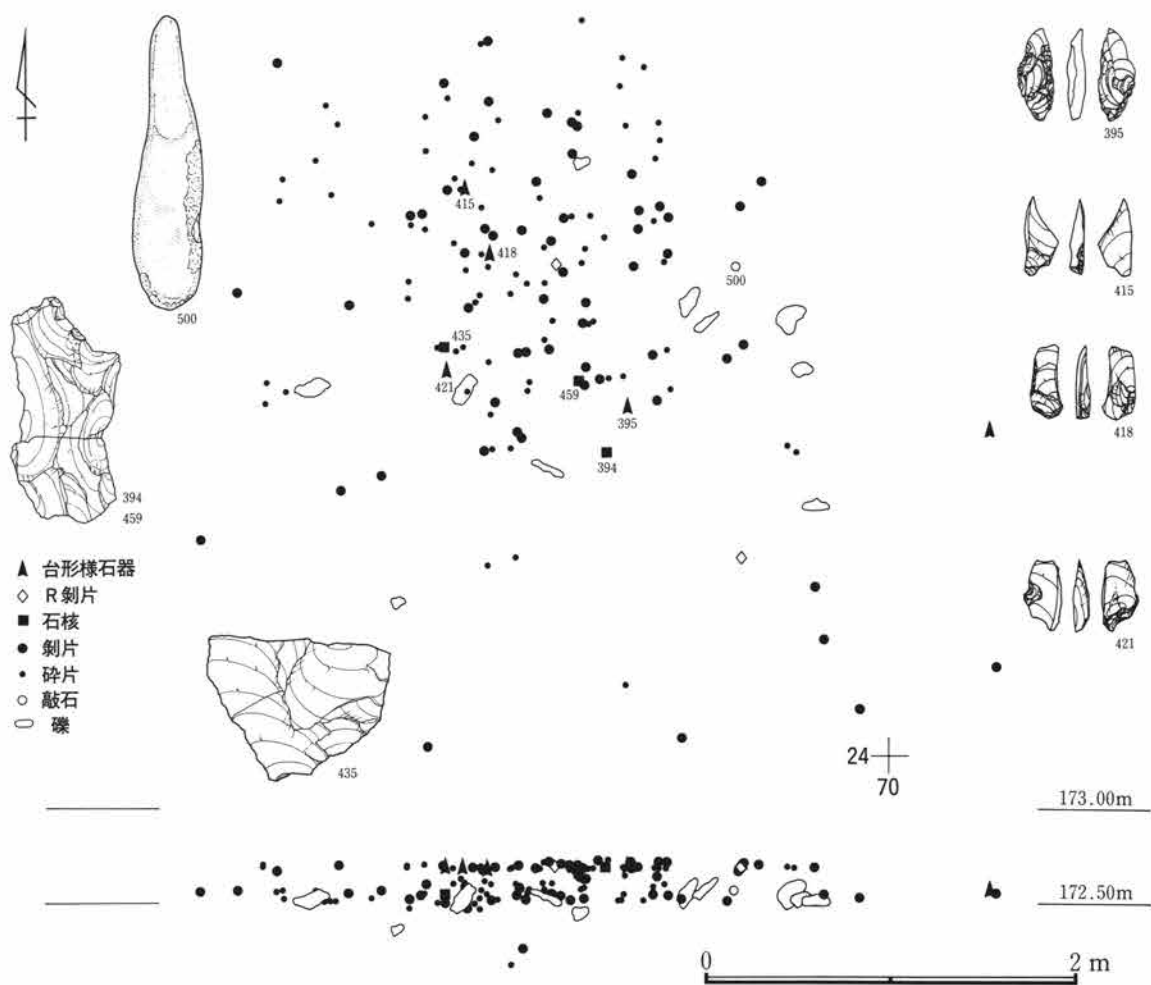


第52図 1ブロック器種別石器分布図

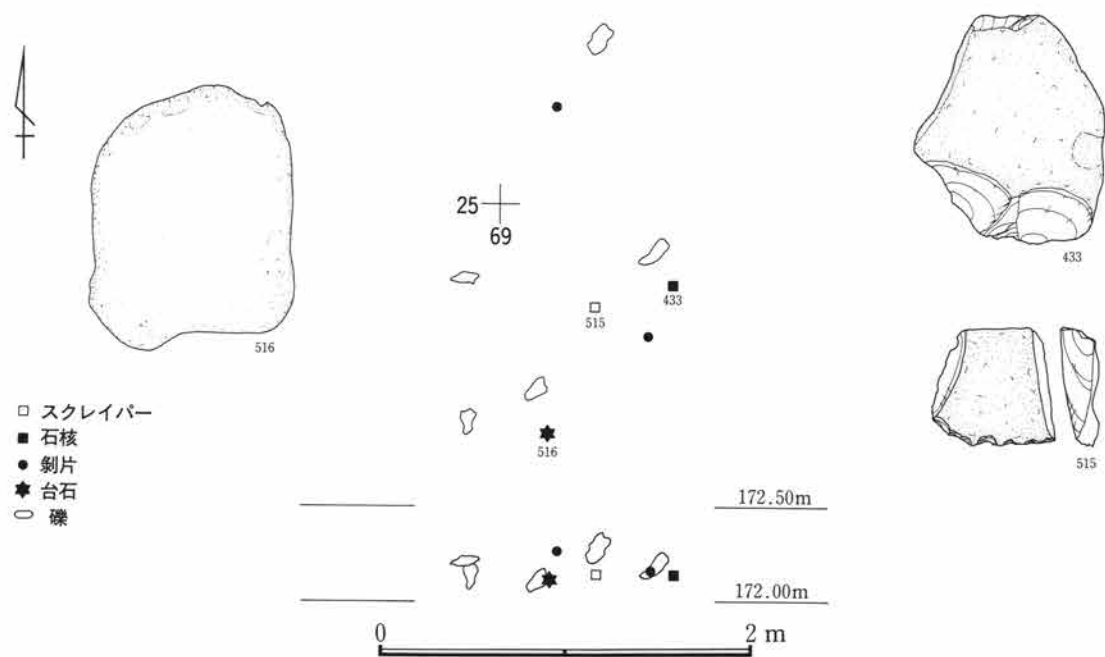


第53図 1ブロック母岩別石器分布図

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

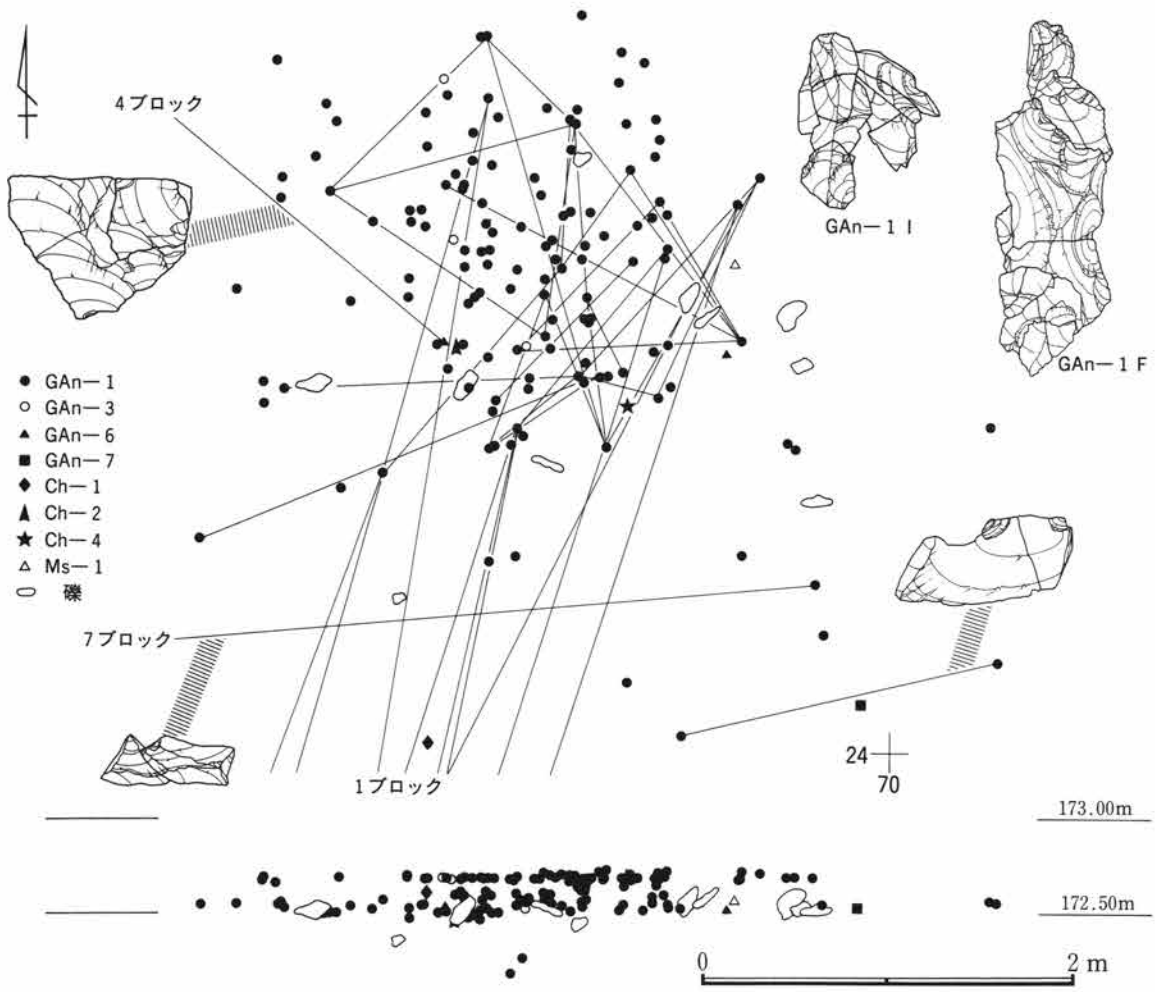


第54図 2ブロック器種別石器分布図

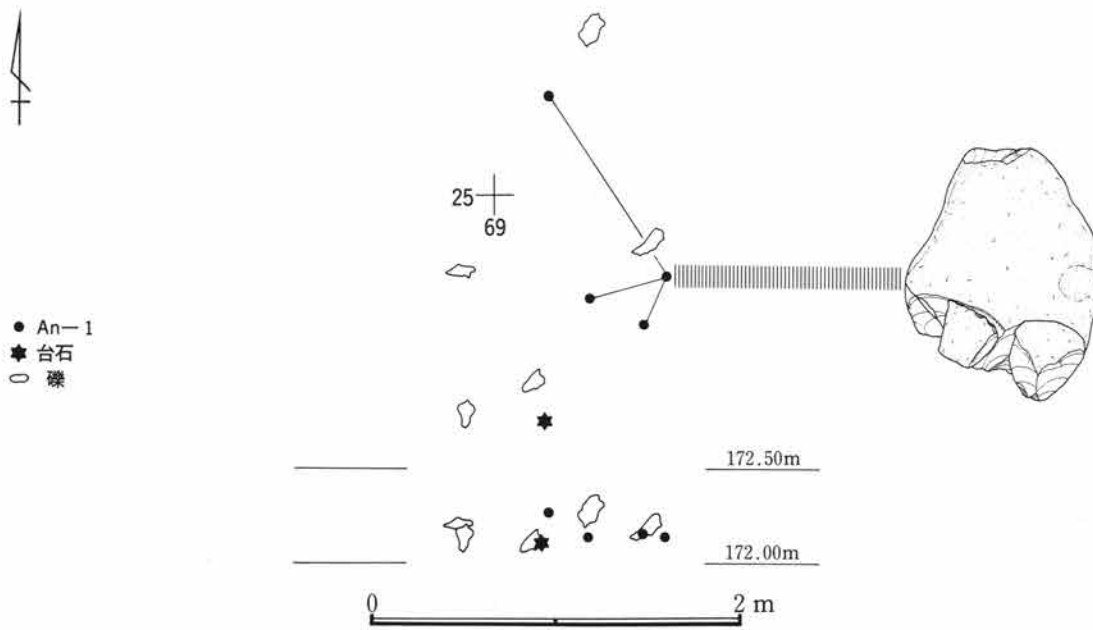


第55図 3ブロック器種別石器分布図

第4節 ブロック

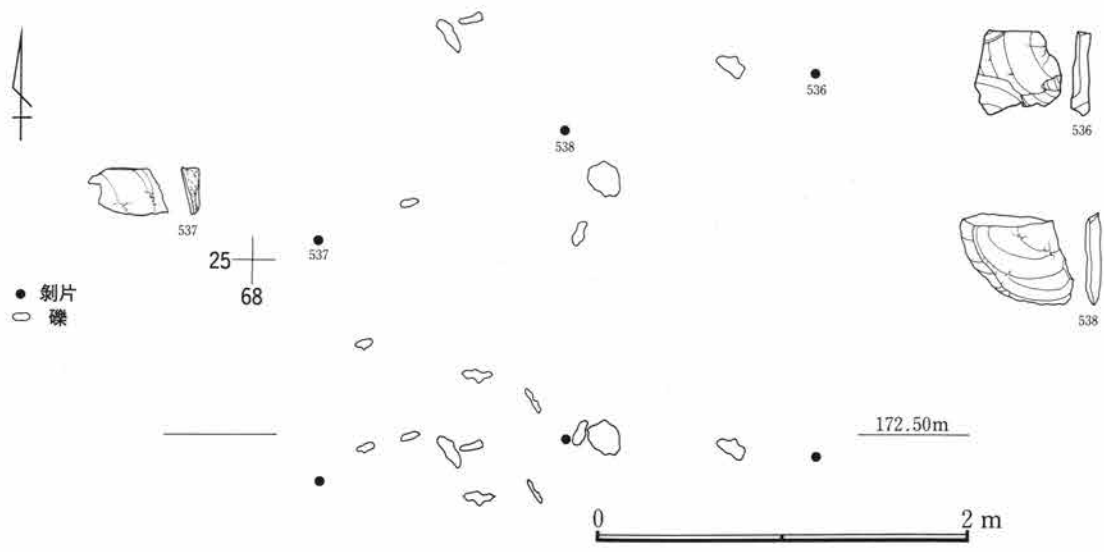


第56図 2ブロック母岩別石器分布図

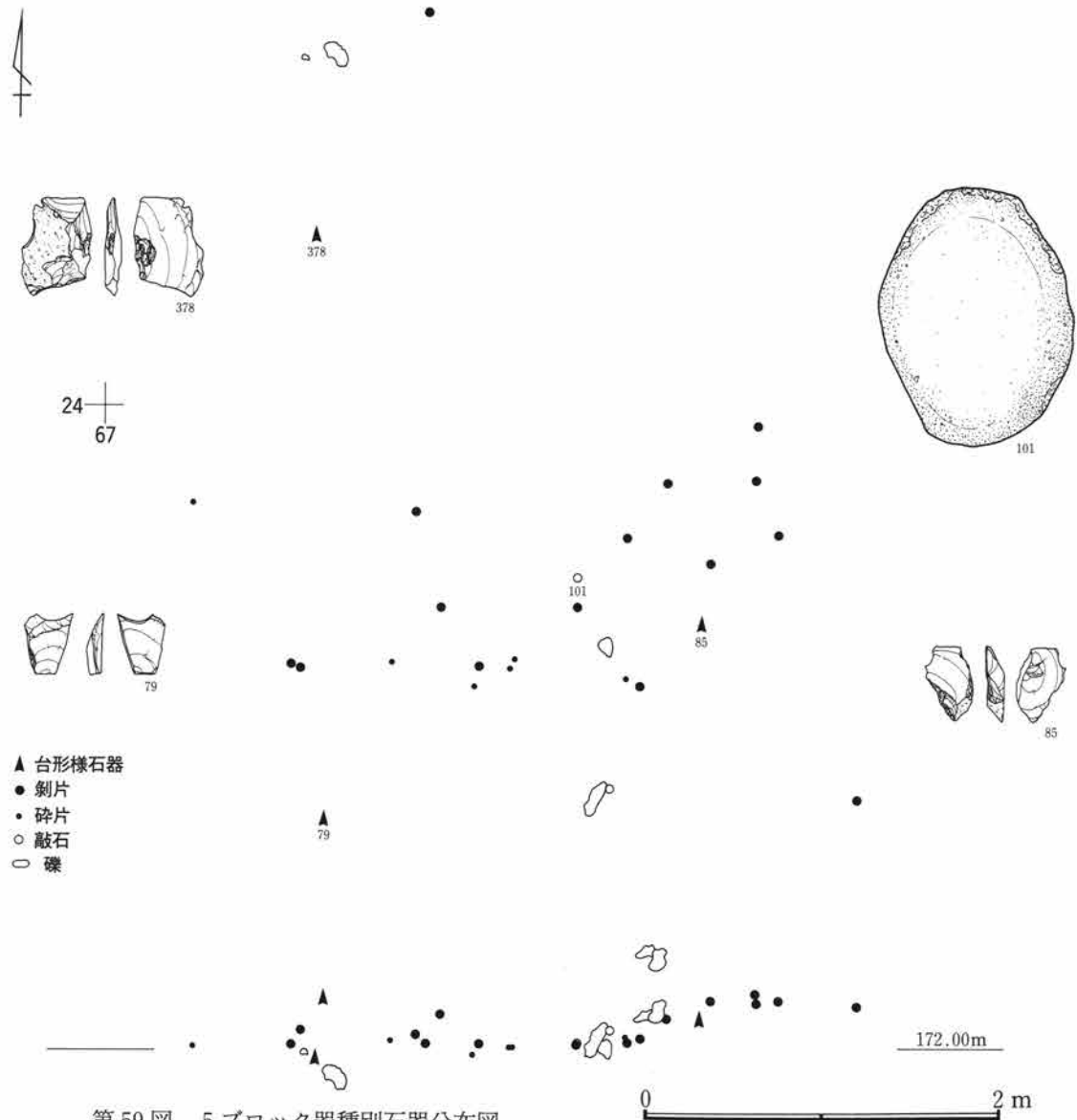


第57図 3ブロック母岩別石器分布図

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

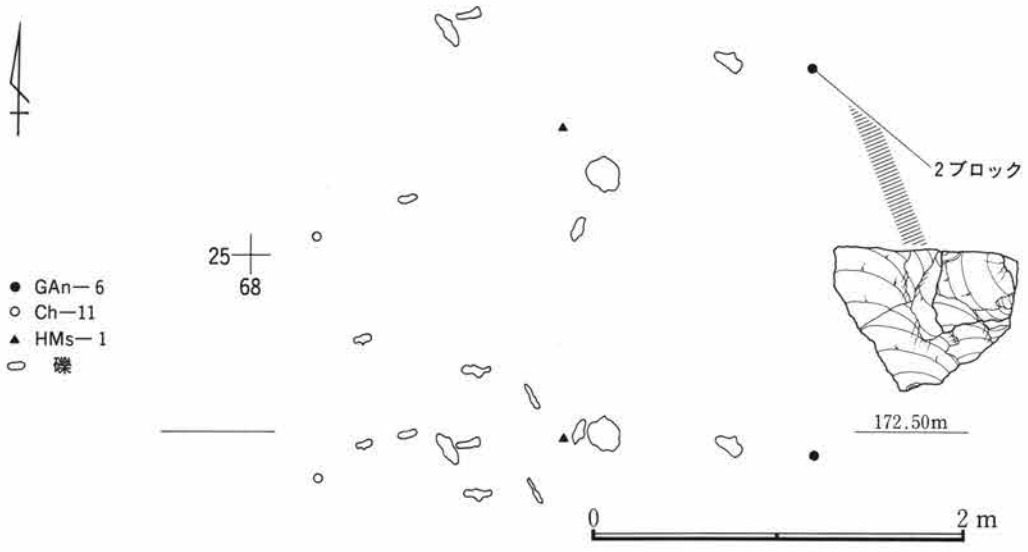


第58図 4ブロック器種別石器分布図

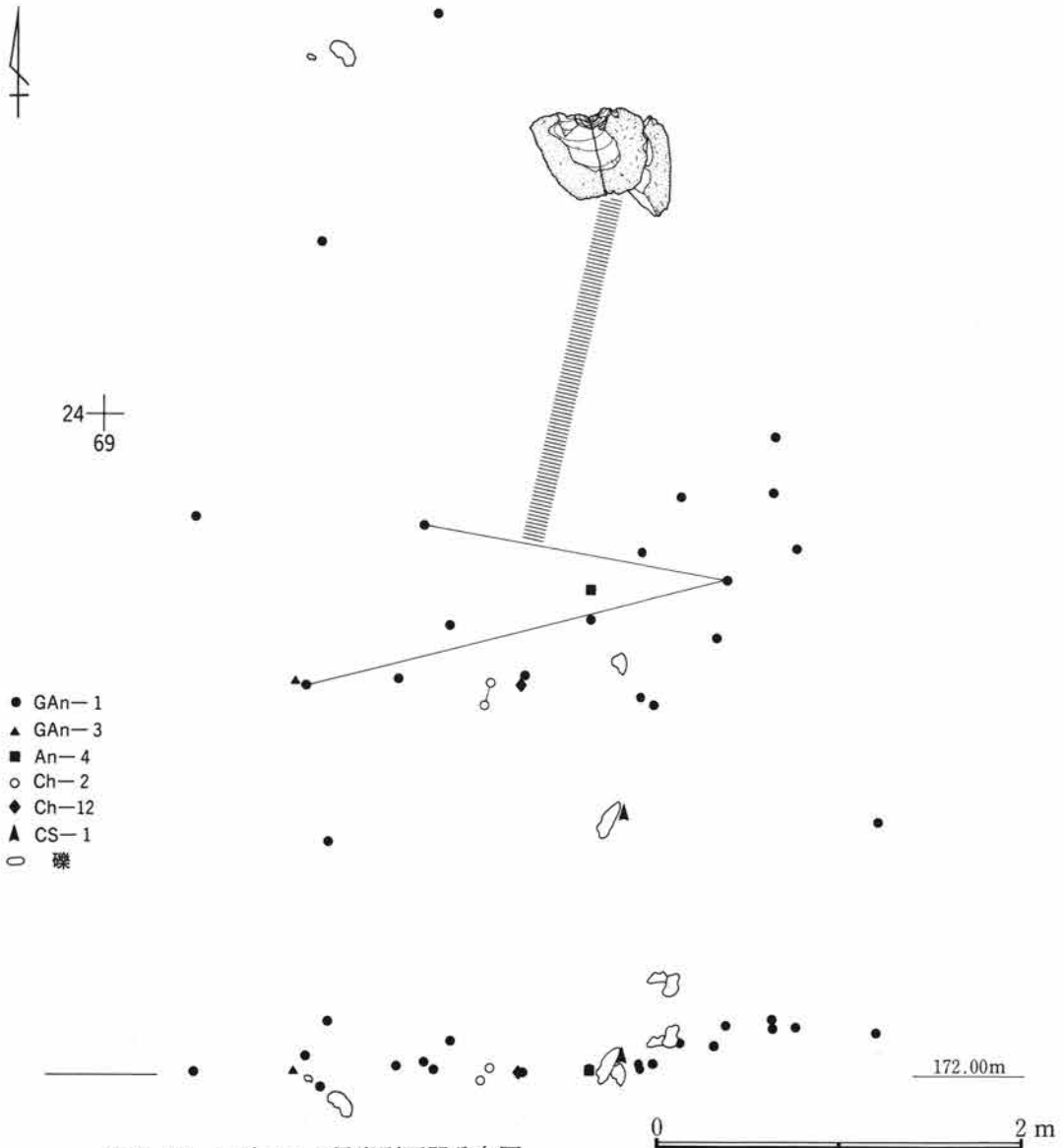


第59図 5ブロック器種別石器分布図

第4節 ブロック

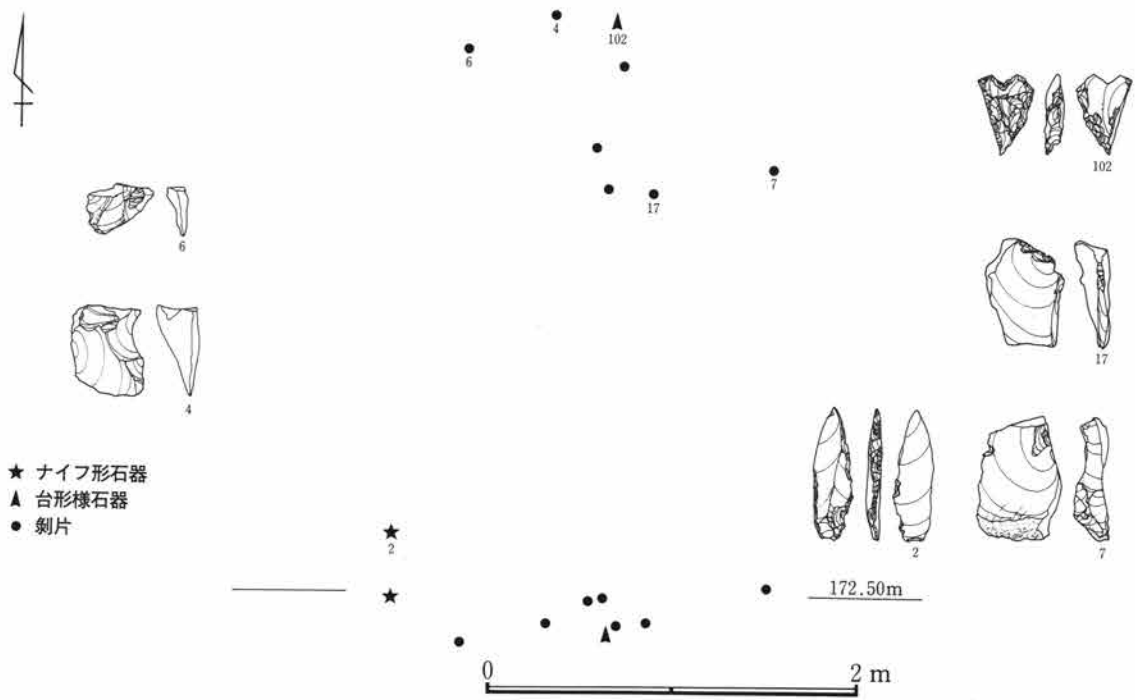


第60図 4ブロック母岩別石器分布図

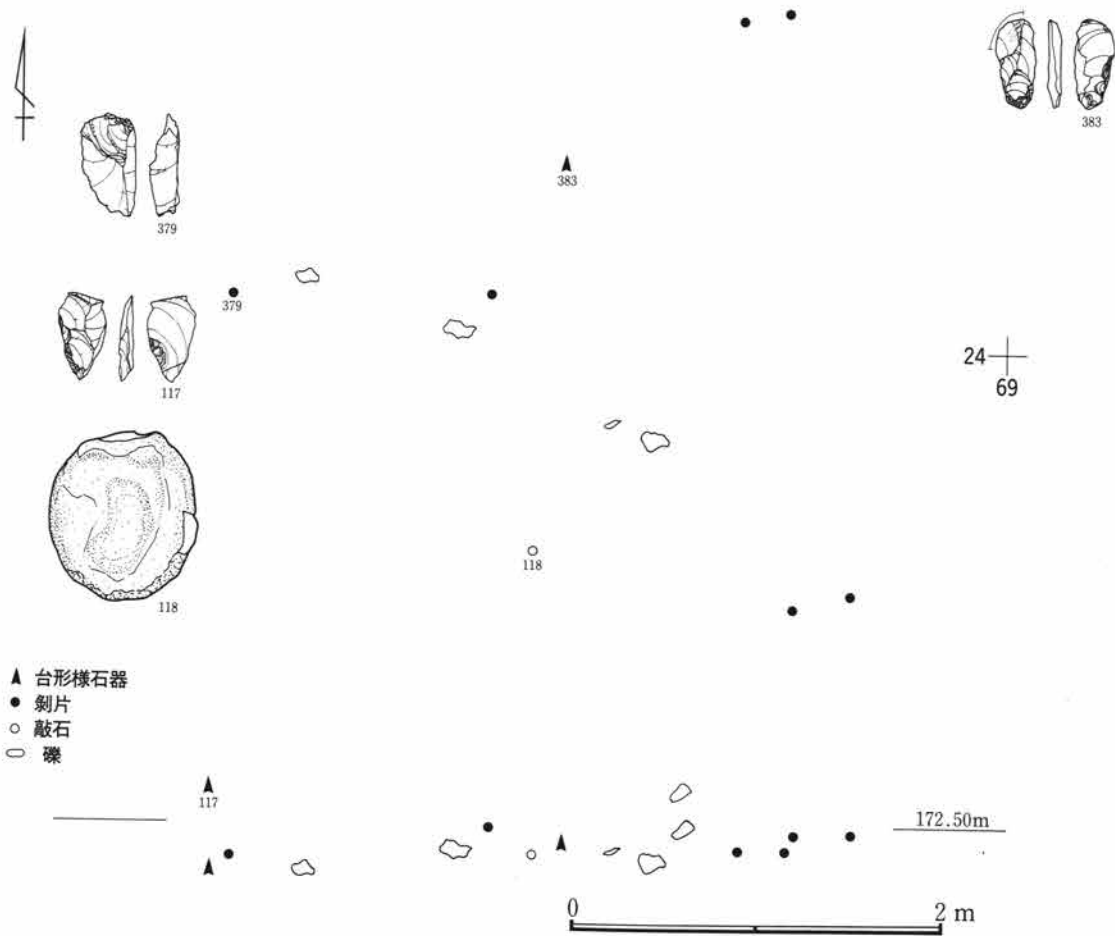


第61図 5ブロック母岩別石器分布図

第3章 旧石器時代の遺構と遺物



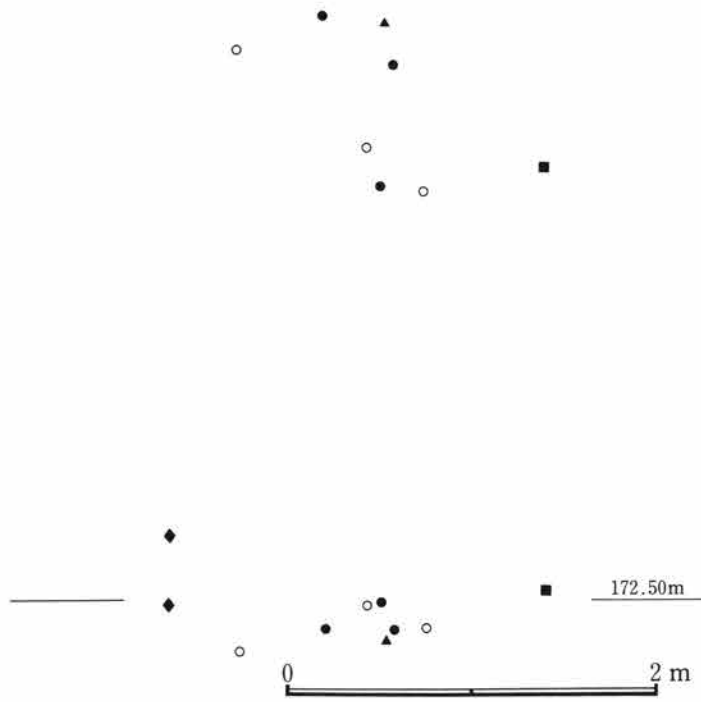
第62図 6ブロック器種別石器分布図



第63図 7ブロック器種別石器分布図



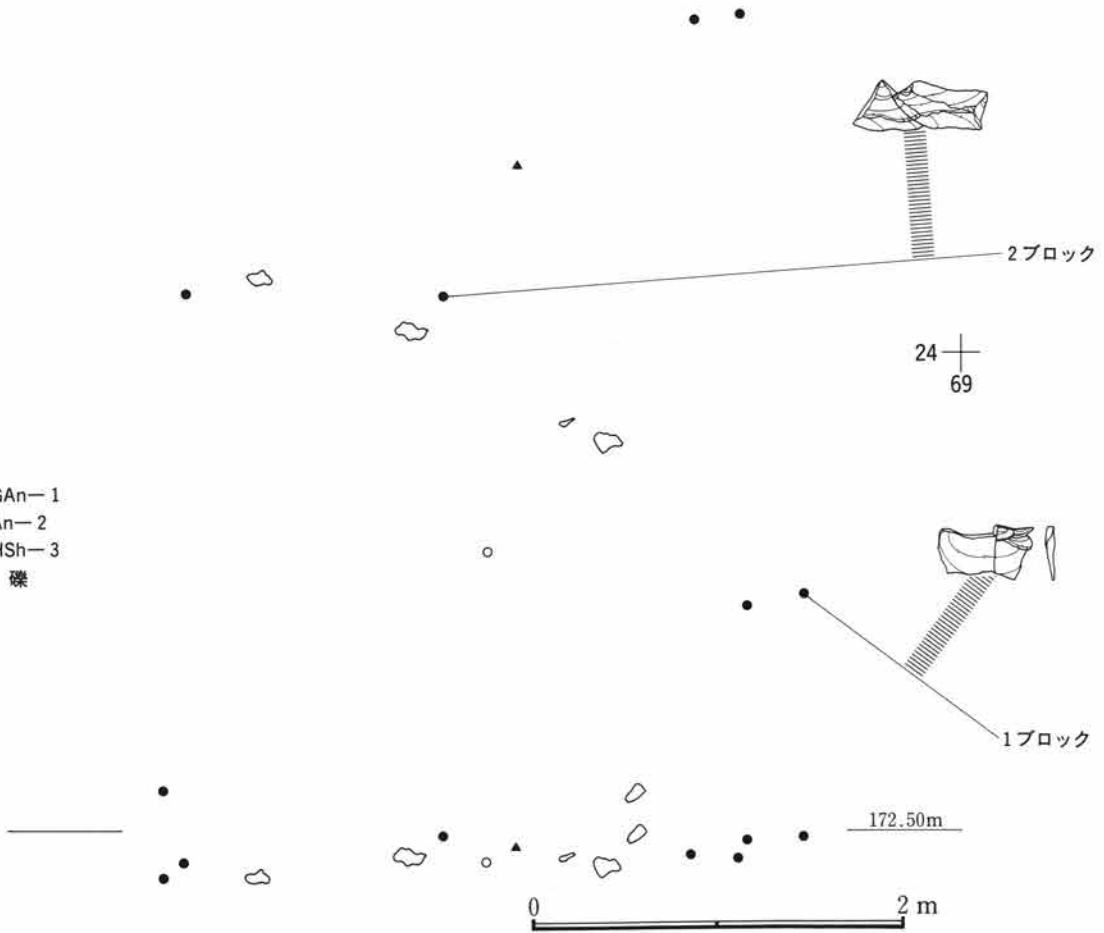
- GAn-1
- Ch-2
- ▲ Ch-5
- Ch-9
- ◆ HSh-1



第64図 6ブロック母岩別石器分布図

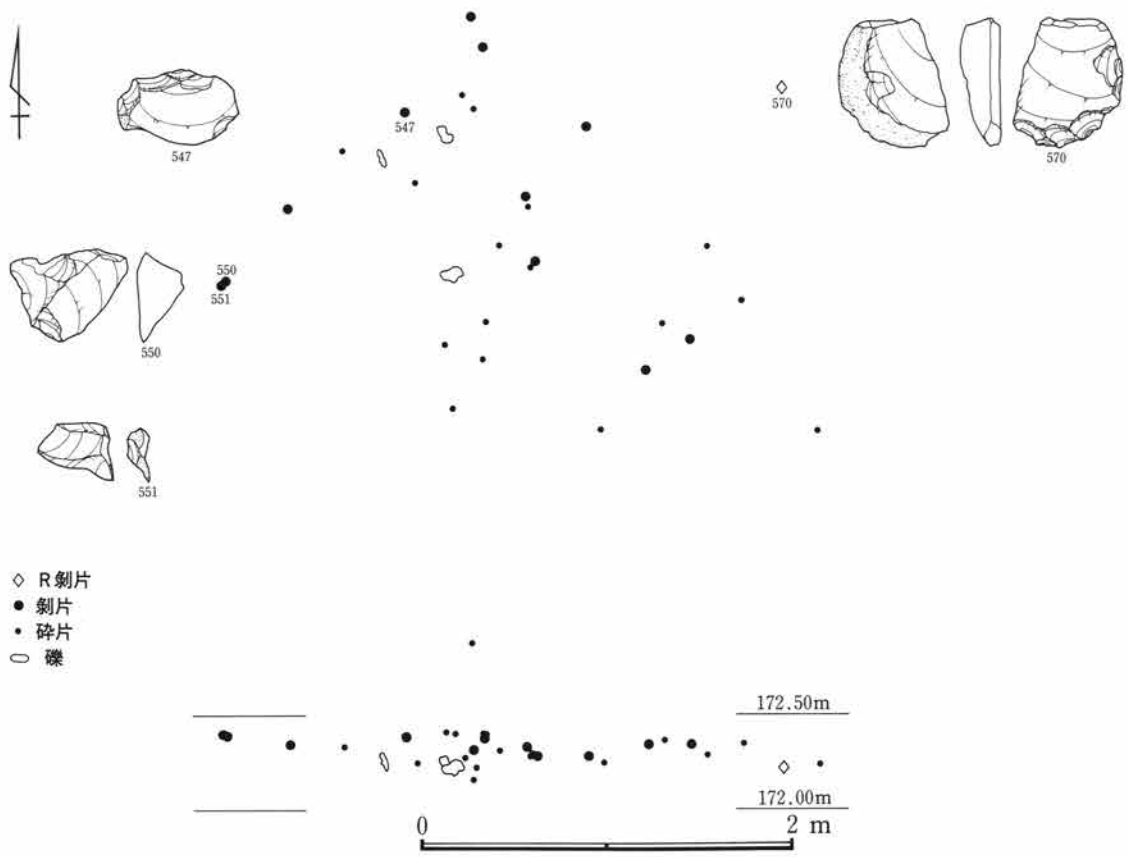


- GAn-1
- An-2
- ▲ HSh-3
- 礫

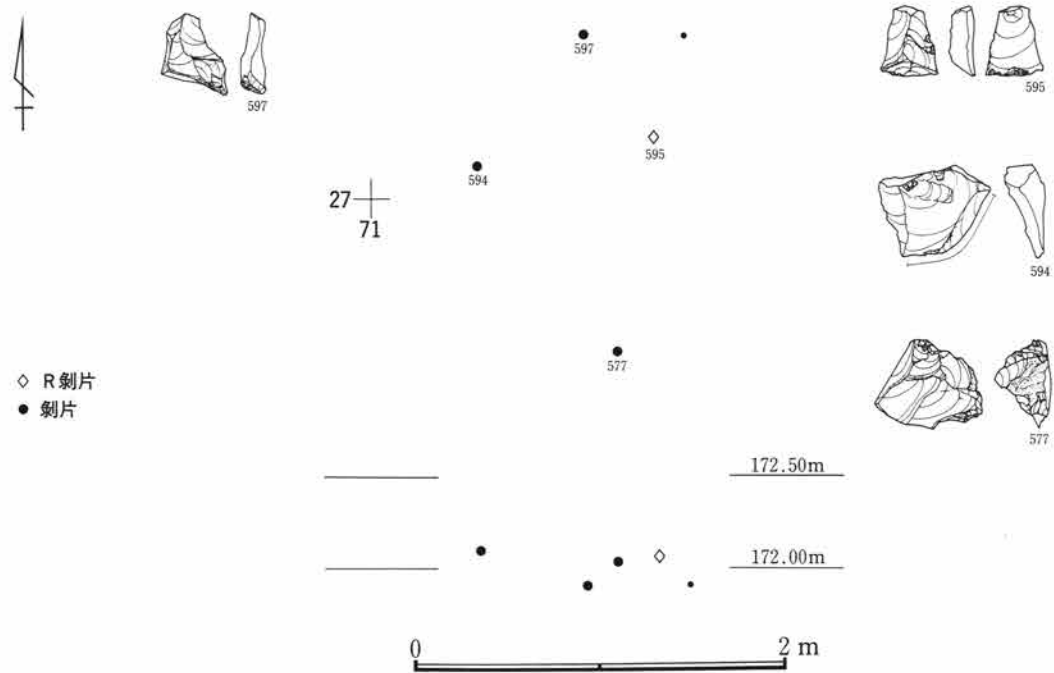


第65図 7ブロック母岩別石器分布図

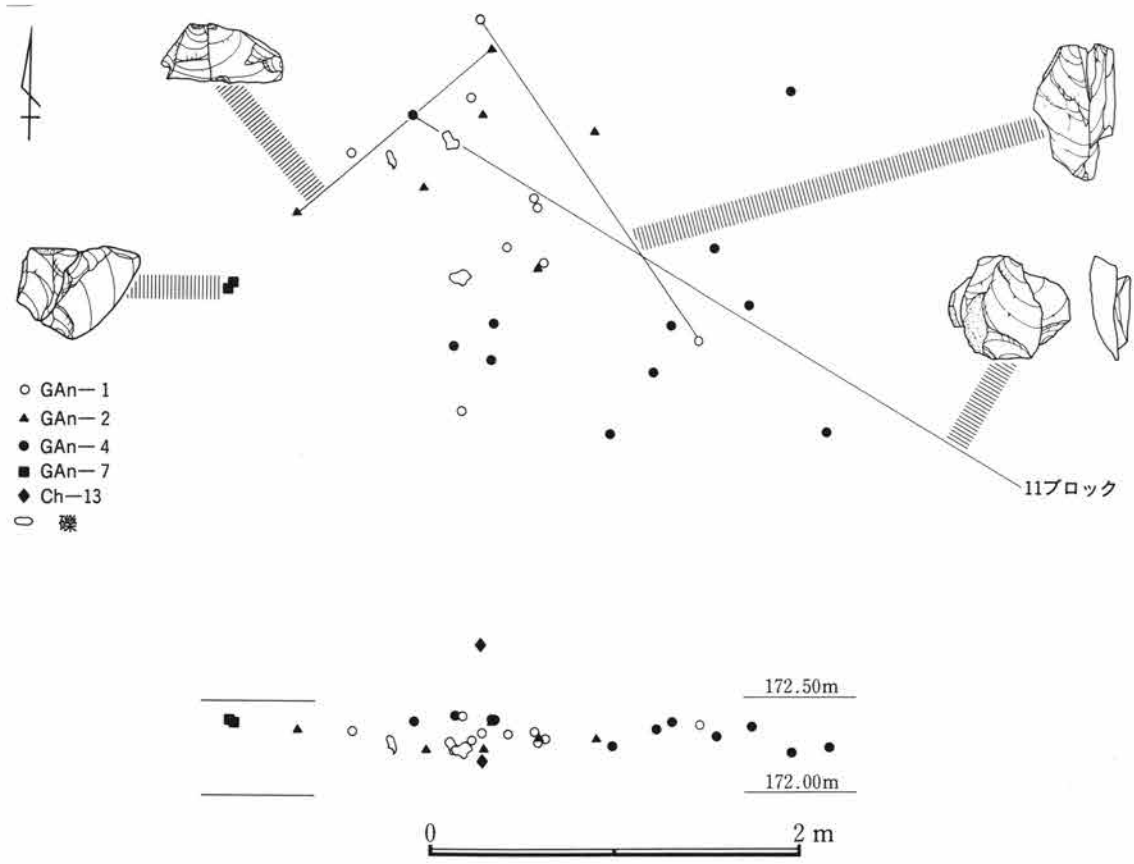
第3章 旧石器時代の遺構と遺物



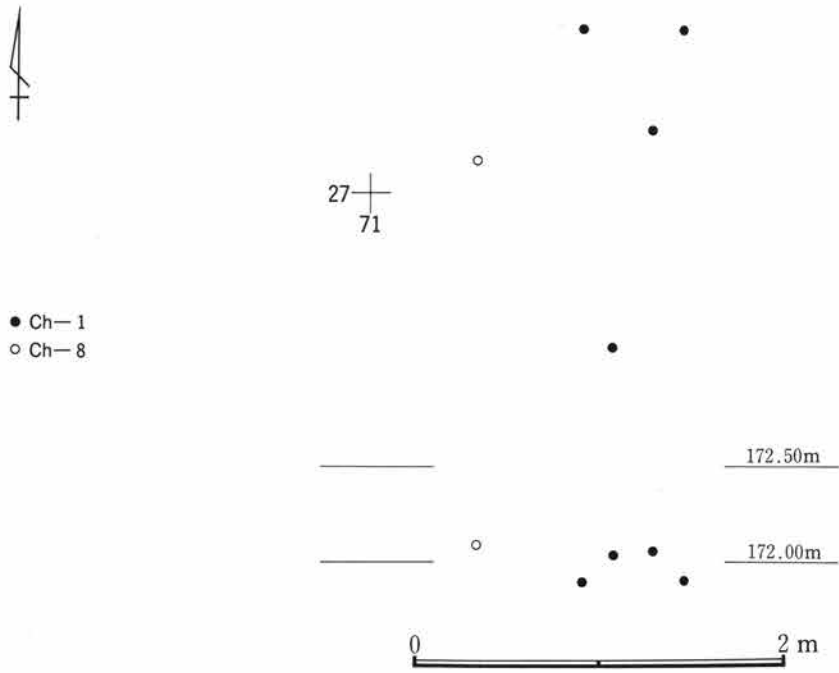
第66図 8ブロック器種別石器分布図



第67図 10ブロック器種別石器分布図

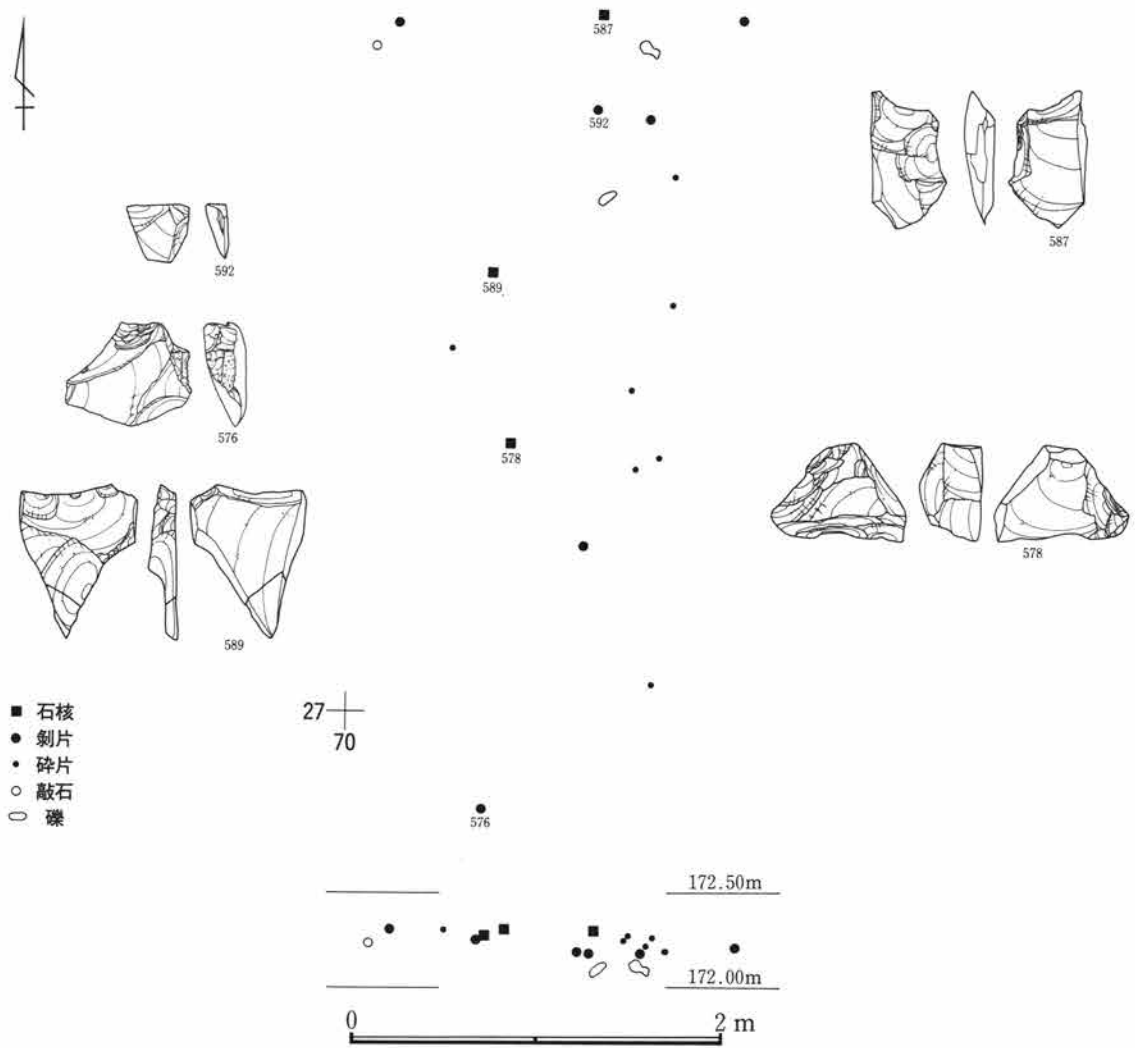


第68図 8ブロック母岩別石器分布図

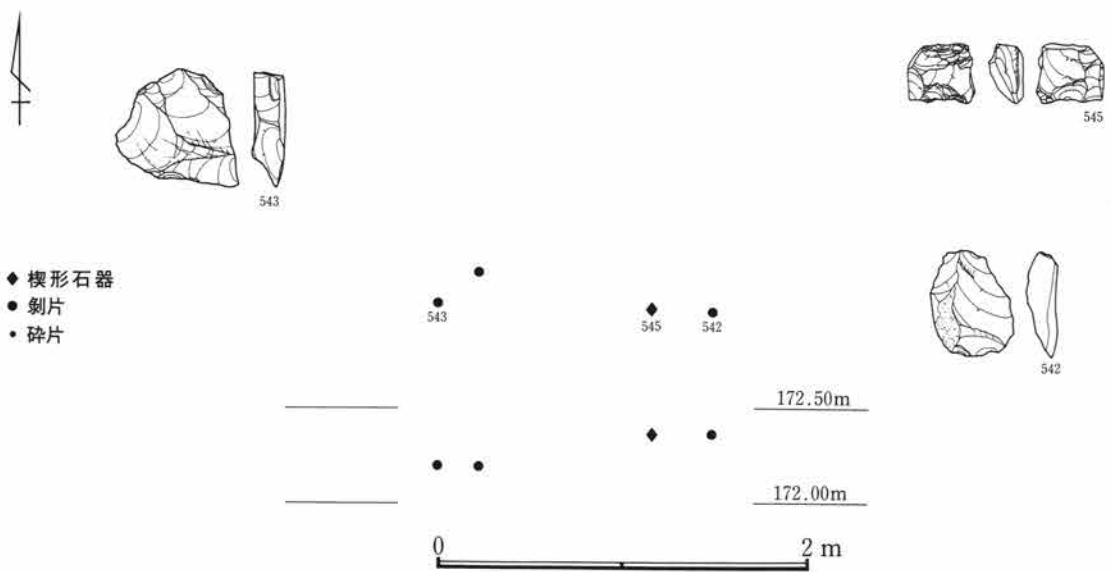


第69図 10ブロック母岩別石器分布図

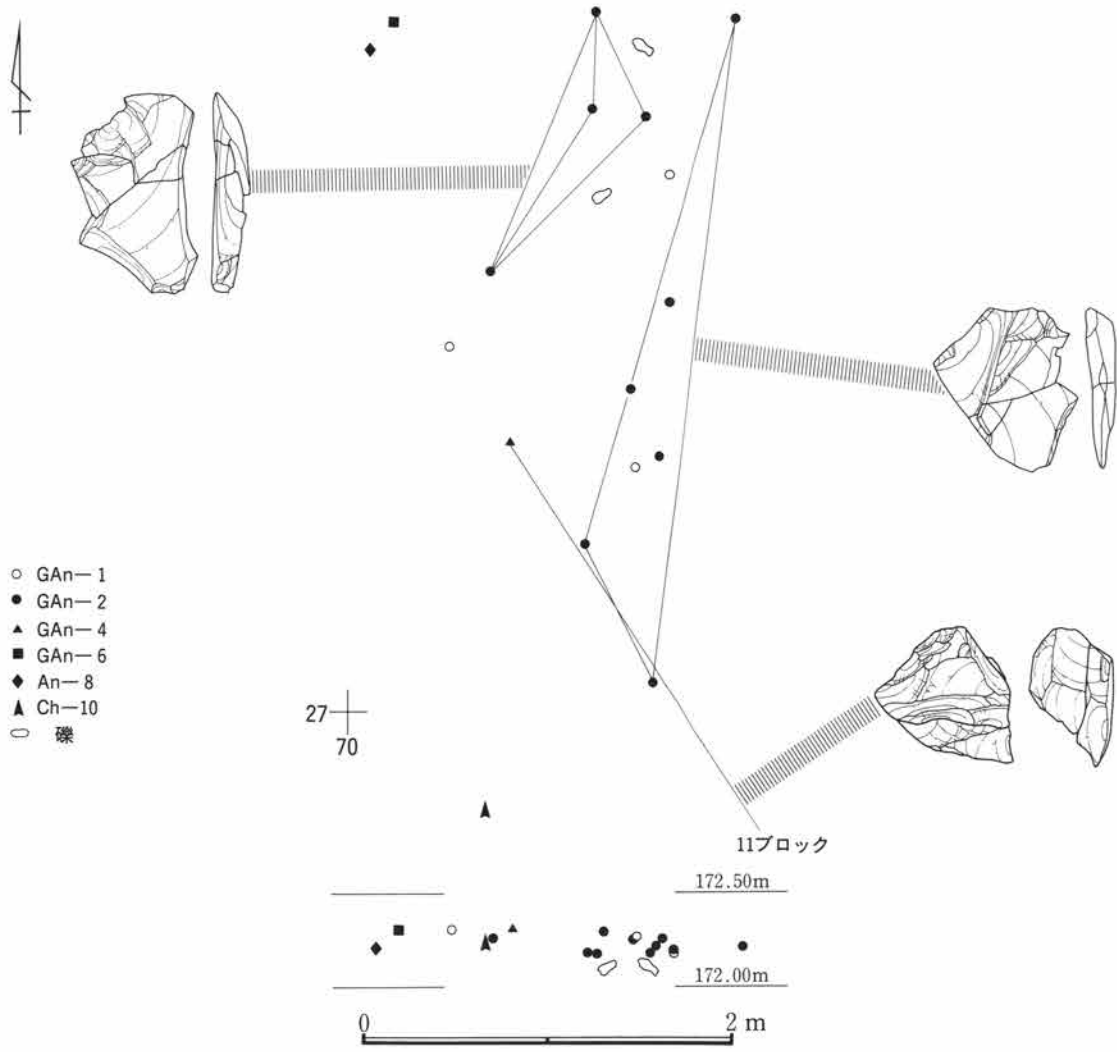
第3章 旧石器時代の遺構と遺物



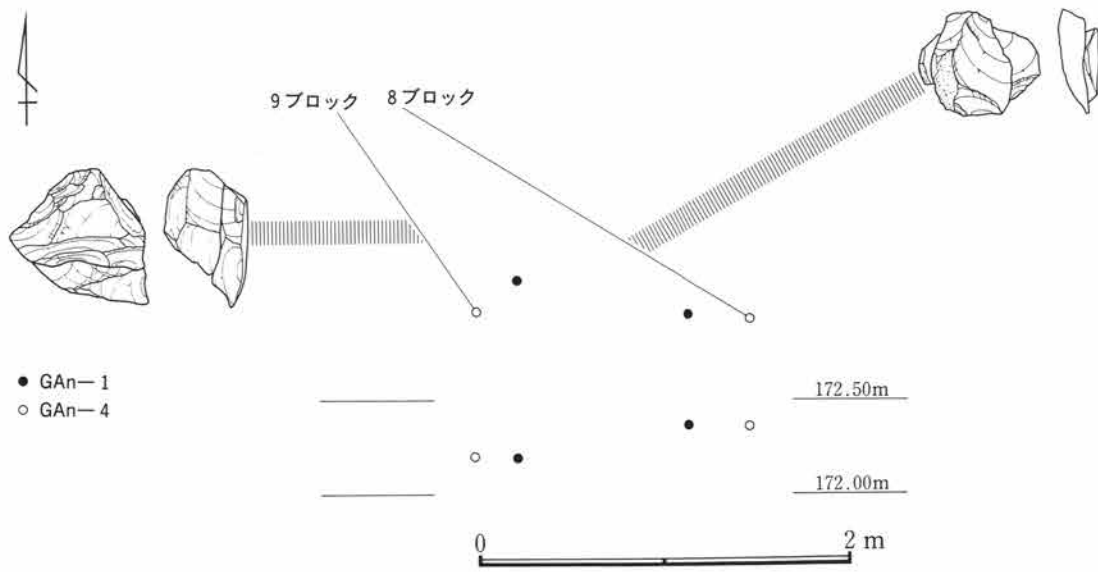
第70図 9ブロック器種別石器分布図



第71図 11ブロック器種別石器分布図



第72図 9ブロック母岩別石器分布図



第73図 11ブロック母岩別石器分布図

第5節 器種別石器分布

ナイフ形石器 (第74図)

ナイフ形石器は2点出土しているが、1点は6ブロックから、もう1点はブロック外の(21-62)グリッドから出土している。前者はブロックのなかでも他の石器から離れて分布している。

台形様石器 (第74図)

第1ブロック群から18点、第2ブロック群から2点の計20点が出土している。第1ブロック群での詳細についてみると、1ブロックでは、7点出土しているが、特に1ヶ所に集中するというわけではなく、ブロック全体にわたって分布しており、それらは剥片類の分布と一致している。2ブロックでは、5点出土し、ブロック中央部に集中している傾向がみられるが、それは剥片類の分布と一致している。5ブロックでは、3点出土しているが、集中するわけではなく、ブロック内に点在している。6ブロックでは、1点出土し、他の石器と分布は一致している。7ブロックでは、2点出土し、いずれも点在している。

このように、第1ブロック群での台形様石器の分布状況は、各ブロックの石器数量に比例して分布していることが看取される。また、黒色安山岩製の台形様石器については、ほとんどがGAn-1に帰属している。この母岩別資料は遺跡内で剥片生産が展開されていることから、これらの台形様石器も遺跡内で製作されて廃棄されたものと考えられる。次に第2ブロック群についてみると、ブロック群中央部の8ブロック周辺から2点とも出土しているのみで、8~11ブロックでの出土はない。

楔形石器 (第74図)

2点出土している。5ブロック周辺の(25-66)グリッドに1点、11ブロックに1点が分布している。

スクレイパー (第75図)

4点出土している。石刃素材のものはいずれもブロック群から外れた(25-65)グリッド、(24-72)グリッドからそれぞれ分布している。また、3ブロックに1点分布している。

二次加工のある剥片 (第75図)

第1ブロック群に8点、第2ブロック群に2点の計10点が出土している。第1ブロック群の詳細についてみると、1ブロックで6点、2ブロックで2点が分布しており、台形様石器の分布と同じようにブロックの石器数量に比例して多く分布している。ブロック内での分布をみると、特に集中することはない。

第2ブロック群では、8ブロックに1点、10ブロックに1点がそれぞれ分布している。

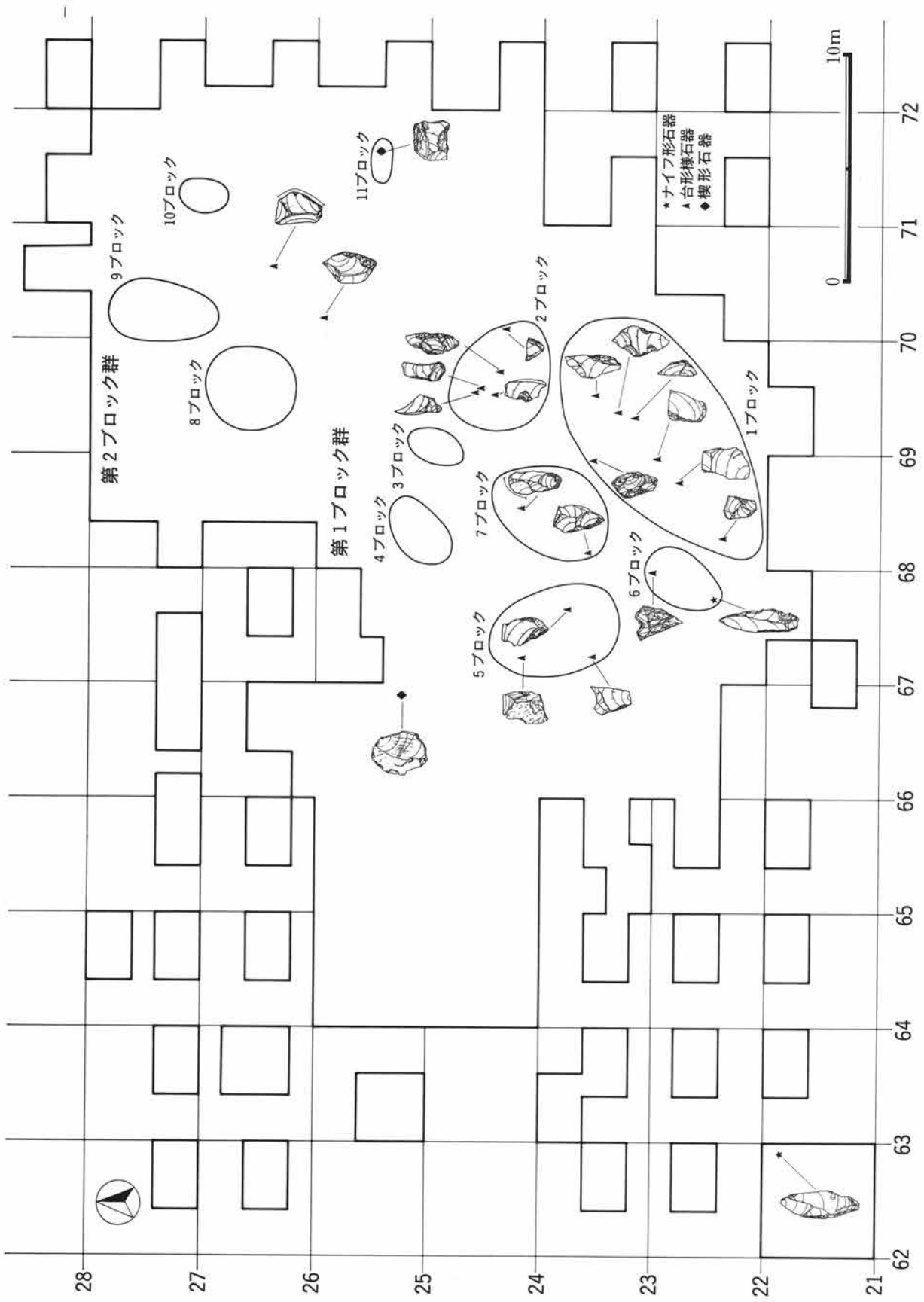
石核 (第76図)

第1ブロック群に19点、第2ブロック群に3点の計22点が出土している。第1ブロック群での詳細についてみると、1ブロックに15点、2ブロックに3点、3ブロックに1点が分布している。1ブロックでは、北半部に集中し、そのなかでも(23-69)グリッドの1×1m弱の範囲内に密集して分布している。2ブロックでは、ブロック中央部の(24-69)グリッド1×1m強の範囲内に集中して分布している。

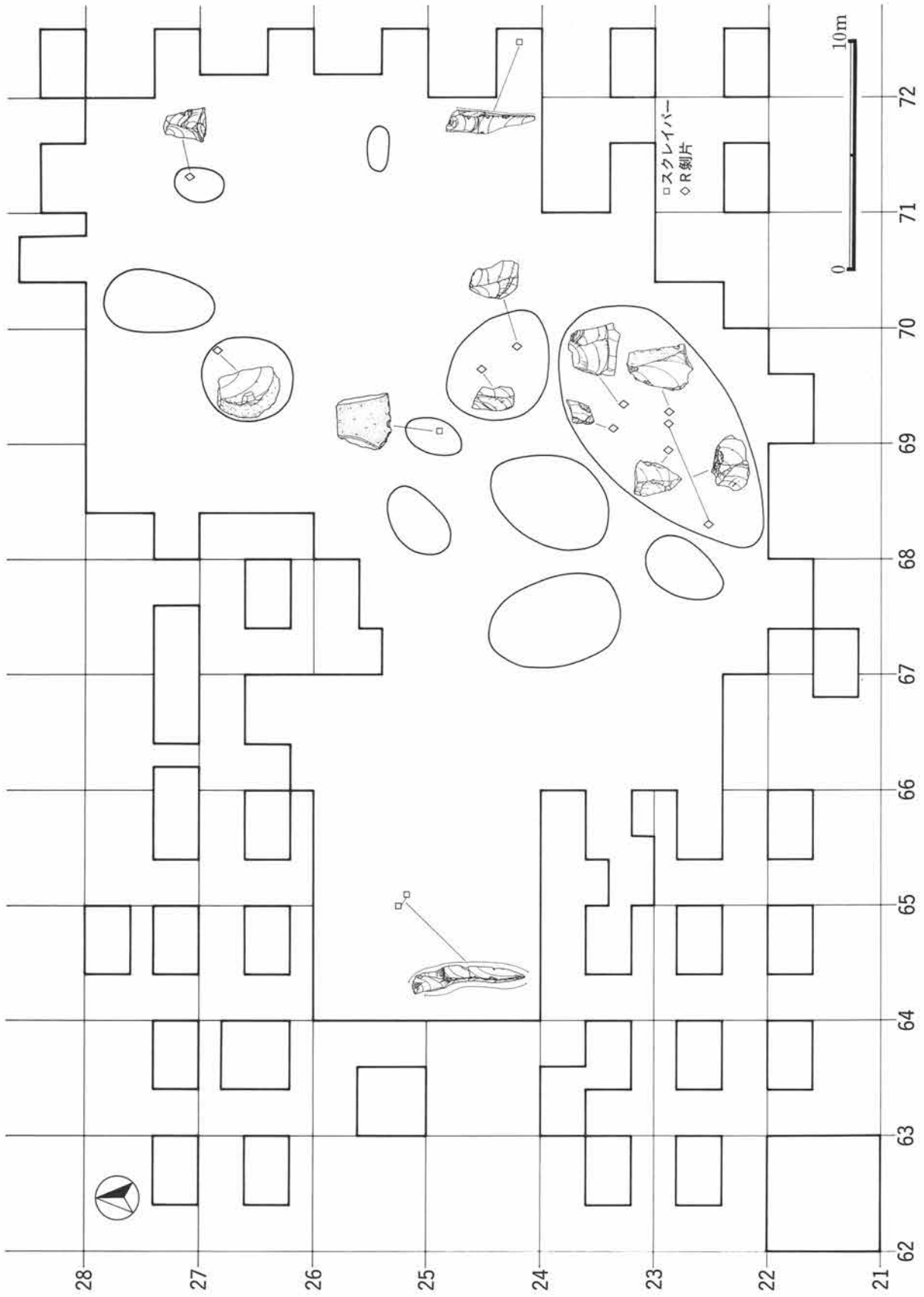
次に、第2ブロック群の詳細についてみると、9ブロックに3点すべて分布している。

敲石・砥石・台石 (第77図)

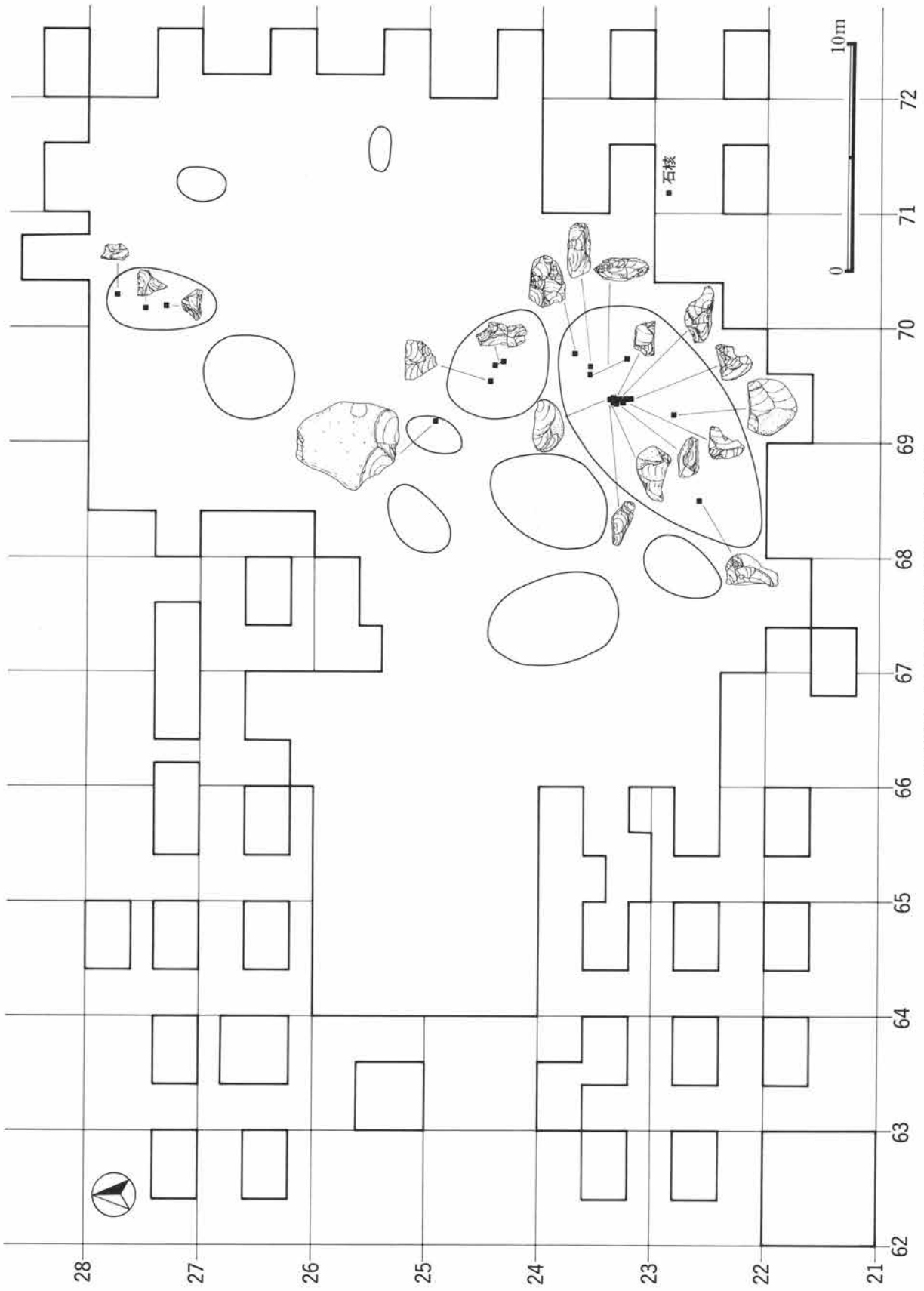
敲石は7点が出土している。1ブロックに2点、2ブロックに1点、5ブロックに2点、7ブロックに1点、9ブロックに1点が分布している。砥石は1ブロックに1点、台石は3ブロックに1点がそれぞれ分布している。



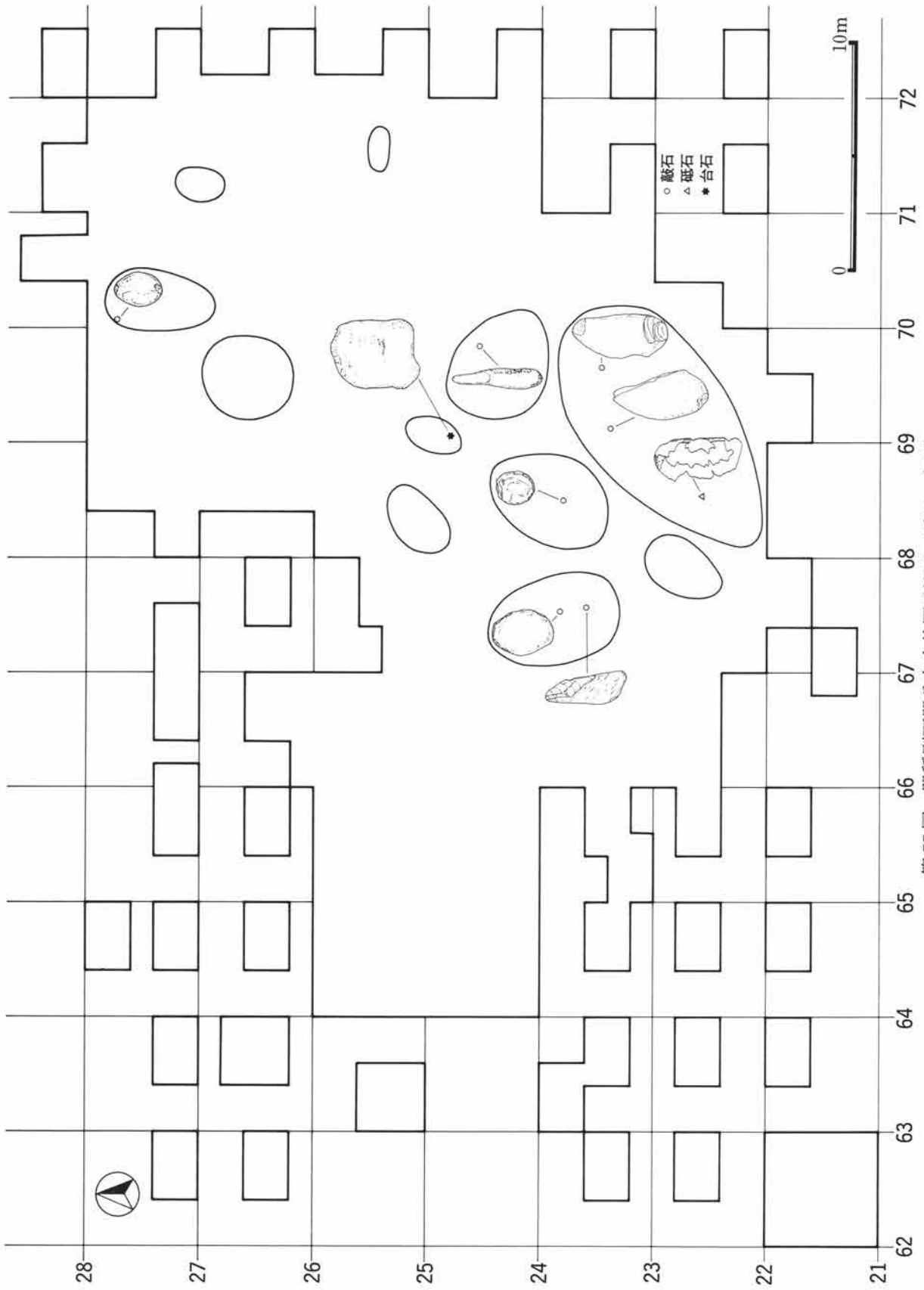
第74図 器種別石器分布全体図 (ナイフ形石器、台形石器、楔形石器)



第75図 器種別石器分布全体図(スクレイパー、R剝片)



第76図 器種別石器分布全体図(石核)



第77図 器種別石器分布全体図(敲石、砥石、台石)

第6節 母岩別資料の構成と分布・接合関係

天引狐崎遺跡からは597点の石器と53点の礫が出土したが、砥石と台石を除く石器は37種類の母岩別資料に分類された。その内訳は黒色安山岩が7、安山岩が8、黒曜石が1、チャートが13、硬質頁岩が2、珪質頁岩が2、黒色頁岩が1、硬質泥岩が1、泥岩が1、結晶片岩が1である。母岩数でみると、チャートが13種類で最も多いが、資料数でみると黒色安山岩が542点で圧倒的に主体を占めている。これは遺跡内での石器製作作業には黒色安山岩が用いられ、チャートは遺跡内での製作の痕跡を留めない搬入品であることによる。また、黒色安山岩のなかでもGAn-1が479点で、全石器群の80%を占めており、各母岩が均質的に消費されたのではなく、石器製作作業に用いられる母岩に偏りがあることが理解される。

接合関係は、各ブロック群内で多数が確認された(第78図)。しかし、両ブロック群間を結ぶ接合関係は確認できなかった。

1 黒色安山岩

GAn-1 (第79～82図)

台形様石器13点、楔形石器1点、二次加工のある剥片7点、石核12点、剥片240点、碎片206点の計479点の資料で構成される。最も資料数の多い母岩別資料で、全体の約8割を占める。第1ブロック群と第2ブロック群とに分布し、前者には464点、後者には15点が分布し、第1ブロック群に主体を占めて分布している(第79図)。ブロック別に分布状況を見ると、第1ブロック群では、1ブロックに301点、2ブロックに132点、5ブロックに20点、6ブロックに3点、7ブロックに7点、他に5ブロック周辺部で1点が分布している。1ブロックと2ブロックが分布の中心で、特に1ブロックでは全体の半数以上の62%の石器が偏在して分布している。第2ブロック群では、8ブロックで9点、9ブロックで3点、11ブロックで2点、他に11ブロック周辺部で1点が分布している。

GAn-1は、個体に帰属しないものもあるが、個体A～Iの9個体に分離され、このうち個体A・B・C・D・Eでは相互に接合関係を持ち、接合資料=GAn-1(1)としてまとめられた。個体F～Iでは相互に各個体間での接合関係は確認できなかった。次に個体毎に構成と分布・接合関係についてみる。

個体A (第80図)

石核2点、二次加工のある剥片1点、剥片8点の計11点の資料で構成される。すべて1ブロックに分布しているが、そのなかでも特にブロック北半部の(23-69)グリッドの南西部の1×1m強の範囲内に集中している。分布範囲は2点外れているが、個体B・Cと重複している。接合関係もこの範囲内で収束している。

個体B (第80図)

石核1点、剥片4点、碎片1点の計6点の資料で構成される。すべて1ブロックに分布しているが、そのなかでも特にブロック北半部の(23-69)グリッドの南西部の4×3m強の範囲内に集中している。分布範囲は個体Aと重複しているが、個体Aより広い範囲に分布している。接合関係もこの範囲内で収束している。

個体C (第80図)

石核1点、剥片15点、碎片1点の計17点の資料で構成される。すべて1ブロックに分布しているが、そのなかでも特にブロック北半部の(23-69)グリッド南西部の1×1m強の範囲内に集中している。分布範囲は個体A・Bと重複している。接合関係もこの範囲内で収束している。

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

個体D (第81図)

石核2点、剥片6点、碎片1点の計9点の資料で構成される。すべて1ブロックに分布しているが、そのなかでも特に、ブロック北半部の(23-69)グリッドの南西部の2×1m強の範囲内に集中している。分布範囲は個体A・B・Cと重複している。接合関係もこの範囲内で収束している。

個体E (第81図)

石核2点、剥片2点、碎片1点の計5点の資料で構成される。すべて1ブロックに分布しているが、そのなかでも特にブロック北半部の(23-69)グリッド南西部の1×2m強の範囲内に集中している。分布範囲は個体A・B・Cと重複している。しかし、個体Dとの分布範囲についてみると、重複することなく互いに東西に隣接した範囲に分布している。接合関係はこの範囲内で収束している。

このように、個体A・B・C・D・Eの5個体で構成される接合資料=GAn-1(1)は、すべて1ブロックのなかでも特に(23-69)グリッドに平面的に重複しながら集中して分布している。

個体F (第81図)

石核2点、剥片9点、碎片4点の計15点の資料で構成される。すべて2ブロックに分布し、そのなかでも特にブロック北半部で(24-69)グリッド中央部の3×3m強の範囲内に集中している。分布範囲は個体Iと重複している。接合関係もこの範囲内で収束している。

個体G (第82図)

石核1点、剥片2点の計3点の資料で構成される。すべて1ブロックに分布し、そのなかでも特にブロック北半部の(23-69)グリッド南西部の1×2m強の範囲内に分布している。分布範囲は個体A～Eと重複している。接合関係もこの範囲内で収束している。

個体H (第82図)

石核1点、剥片7点の計8点の資料で構成される。すべて1ブロックに分布し、そのなかでもブロック南端部の(22-68)グリッド南半部の3×3m強の範囲内に分布しており、接合関係はこのなかで収束している。先述した個体A～E・Gと分布範囲が離れている。

個体I (第82図)

二次加工のある剥片1点、剥片8点の計9点の資料で構成される。二次加工のある剥片が1ブロックに分布する他は、すべて2ブロックに分布する。前者は1ブロック中央部のやや南寄りに分布し、後者は2ブロック北半部の(24-69)グリッド中央部で個体Fと重複して分布している。

GAn-2 (第83図)

石核2点、剥片7点、碎片7点の計16点の資料で構成される。すべて第2ブロック群に分布し、第1ブロック群とは母岩の共有がない。8ブロックに6点、9ブロックに10点が分布し、両ブロック間で共有関係を持っている。接合関係は3例あるが、8ブロック、9ブロック内で収束している。

GAn-3 (第83図)

台形様石器1点、剥片15点、碎片5点の計21点の資料で構成される。すべて第1ブロック群に分布し、第2ブロック群とは母岩の共有がない。1ブロックに17点、2ブロックに3点、5ブロックに1点が分布している。1ブロックでは、特に密集することなく分布している。接合関係は確認できなかった。

GAn-4 (第84図)

二次加工のある剥片1点、石核1点、剥片4点、碎片8点の計14点の資料で構成される。すべて第2ブロック群に分布し、8ブロックに11点、9ブロックに1点、11ブロックに2点が分布し、各ブロック間で共有関

係を持っている。接合関係は8ブロックと11ブロック間、9ブロックと11ブロック間の2例があり、共に隣接ブロック間ではなく、対向する位置にある遠距離ブロック間で認められた。

GAn—5 (第84図)

石核2点(接合後1点)から構成されるが、剥片類を伴っておらず、遺跡内では剥片生産を行っていないと考えられる。1ブロックに分布している。

GAn—6 (第85図)

石核1点、剥片3点、碎片1点の計5点の資料で構成される。2ブロックに2点、4ブロックに1点、9ブロックに1点、11ブロック周辺に1点がそれぞれ分布している。接合関係は2ブロックと4ブロックとの間で認められる。

GAn—7 (第85図)

剥片4点、碎片1点の計5点の資料で構成される。1ブロックに2点、2ブロック1点、8ブロックに2点が分布する。接合関係は8ブロックで互いに隣接して出土した剥片1例に認められる。

2 安山岩

An—1 (第86図)

スクレイパー1点、石核1点、剥片2点の計4点の資料で構成される。すべて3ブロックに分布し、接合関係を持っている。先述したように、An—1は台石を転用した可能性がある。

An—2 (第86図)

敲石1点のみの単独資料で、7ブロックに分布している。

An—3 (第86図)

石核1点のみの単独資料で、剥片類を伴わないことから遺跡内では剥片生産を行っていないと考えられる。1ブロックに分布している。

An—4 (第86図)

敲石1点のみの単独資料で、5ブロックに分布している。

An—5 (第87図)

石核1点のみの単独資料で、剥片類を伴わないことから遺跡内では剥片生産を行っていないと考えられる。1ブロックに分布している。

An—6 (第87図)

敲石1点のみの単独資料で、1ブロックに分布している。

An—7 (第87図)

敲石1点のみの単独資料で、1ブロックに分布している。

An—8 (第87図)

敲石1点のみの単独資料で、9ブロックに分布している。

3 黒曜石

Ob—1 (第92図)

スクレイパー2点(接合後1点)の資料で、ブロック群から外れた(25—65)グリッドにそれぞれ隣接して分布し、接合関係を持っている。

4 チャート

Ch-1 (第88図)

石核1点、剥片7点、碎片1点の計10点の資料で構成される。1ブロック及びその周辺に8点、2ブロックに1点が分布している。1ブロックのなかでも特にブロック北端部(23-69)グリッド東半部に集中している。先述したように、このグリッドにはGAn-1の個体A~E・Gが集中して分布していたが、本母岩別資料はこれらと平面的に重複することなく分布している。接合関係は2例あり、1ブロック内とその周辺部で収束している。

Ch-2 (第88図)

二次加工のある剥片1点、剥片6点、碎片4点の計11点の資料で構成される。1ブロックに1点、2ブロックに1点、5ブロックに2点、6ブロックに3点、10ブロックに4点が分布する。接合関係は5ブロックで互いに隣接して出土した剥片と碎片との間で1例認められる。

Ch-3 (第89図)

台形様石器2点で構成される。共に碎片の搬出がなく、遺跡外で製作された搬入品である。1ブロックと8ブロック周辺に分布している。接合関係はない。

Ch-4 (第89図)

台形様石器1点のみの単独資料で、遺跡外からの搬入品である。2ブロックに分布している。

Ch-5 (第89図)

台形様石器1点のみの単独資料で、遺跡外からの搬入品である。6ブロックに分布している。

Ch-6 (第89図)

台形様石器1点のみの単独資料で、遺跡外からの搬入品である。8ブロック周辺に分布している。

Ch-7 (第89図)

二次加工のある剥片1点のみの単独資料で、遺跡外からの搬入品である。1ブロックに分布している。

Ch-8 (第90図)

剥片1点のみの単独資料で、遺跡外からの搬入品である。10ブロックに分布している。

Ch-9 (第90図)

剥片1点のみの単独資料で、遺跡外からの搬入品である。6ブロックに分布している。

Ch-10 (第90図)

剥片1点のみの単独資料で、遺跡外からの搬入品である。9ブロックに分布している。

Ch-11 (第90図)

剥片1点のみの単独資料で、遺跡外からの搬入品である。4ブロックに分布している。

Ch-12 (第90図)

碎片1点のみの単独資料で、5ブロックに分布している。

Ch-13 (第90図)

碎片1点のみの単独資料で、8ブロックに分布している。

5 硬質頁岩

HSh-1 (第91図)

ナイフ形石器1点のみの単独資料で、遺跡外で製作された搬入品である。6ブロックに分布するが、他の

石器群とはやや距離をおいて分布している。

HSh-2 (第91図)

スクレイパー1点のみの単独資料で、遺跡外で製作された搬入品である。第1ブロック群、第2ブロック群とは離れた(24-72)グリッドに単独で分布している。

6 珪質頁岩

HSh-3 (第91図)

台形様石器1点のみの単独資料で、遺跡外で製作された搬入品である。7ブロックに分布している

HSh-4 (第91図)

楔形石器1点のみの単独資料である。第1ブロック群とはやや離れた(25-66)グリッドに単独で分布している。

7 黒色頁岩

BSh-1 (第92図)

ナイフ形石器1点のみの単独資料で、遺跡外で製作された搬入品である。(21-62)グリッドに単独で分布している。

8 硬質泥岩

HMs-1 (第91図)

剥片1点のみの単独資料で、遺跡外からの搬入品である。4ブロックに分布している。

9 結晶片岩

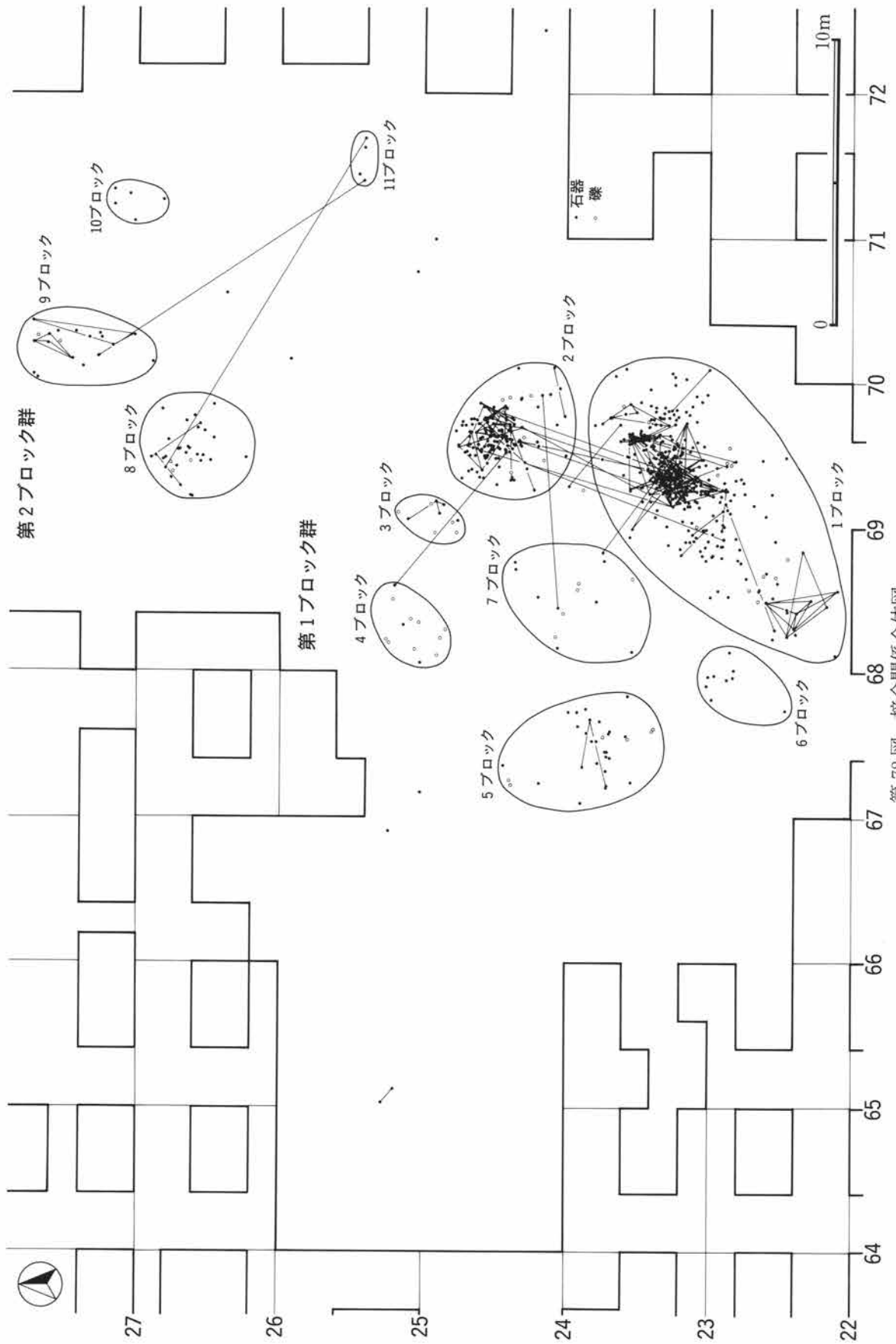
CS-1 (第87図)

敲石1点のみの単独資料で、5ブロックに分布している。

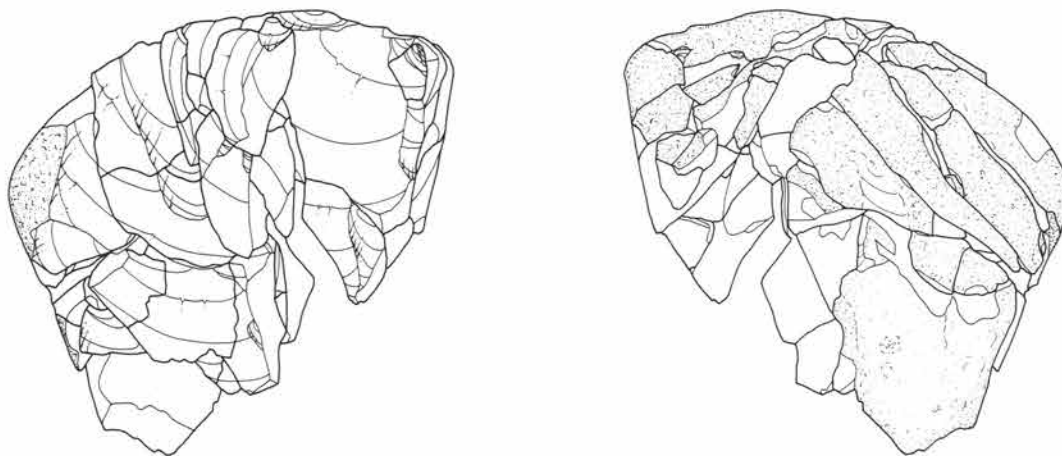
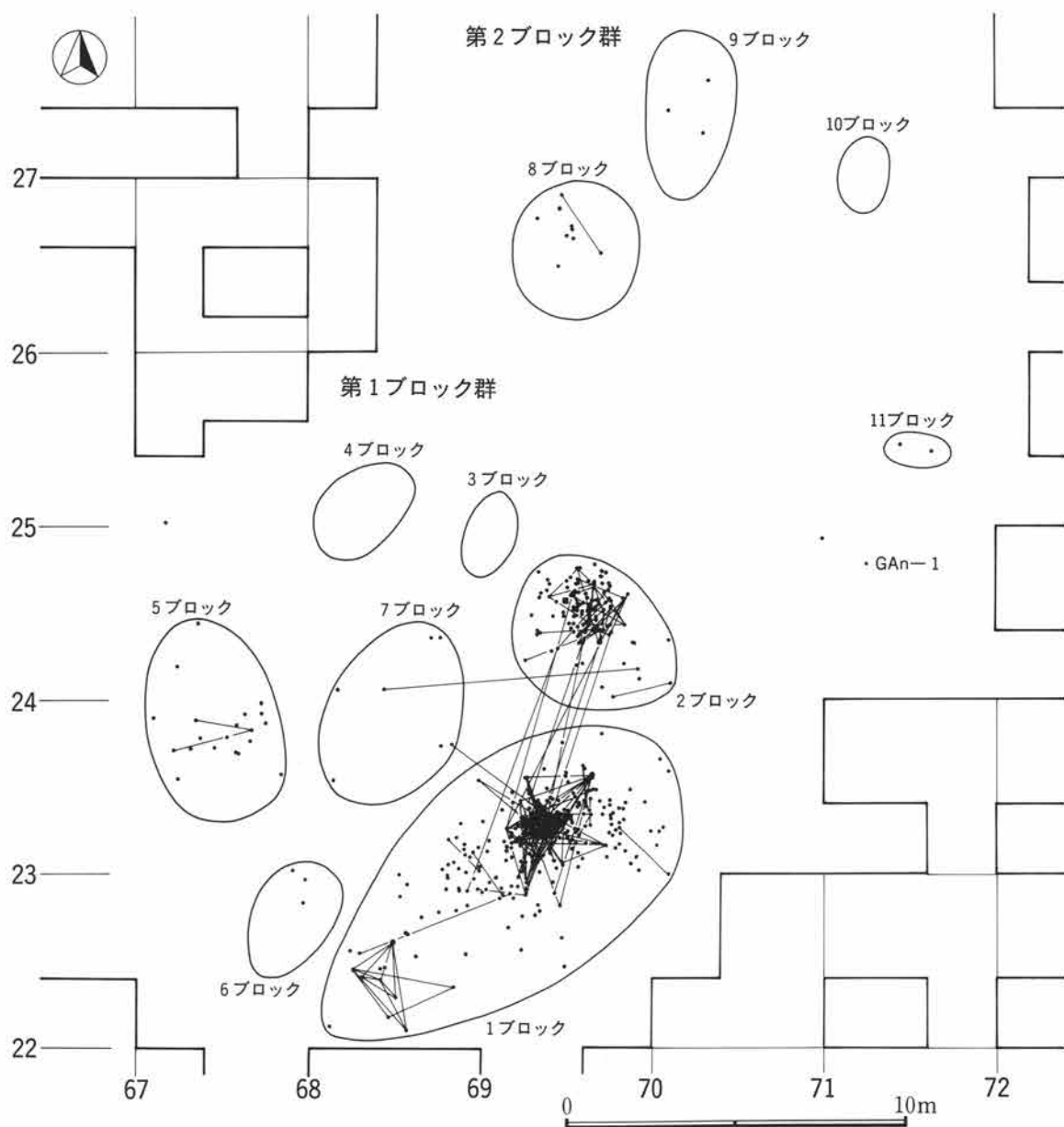
10 泥岩

Ms-1 (第87図)

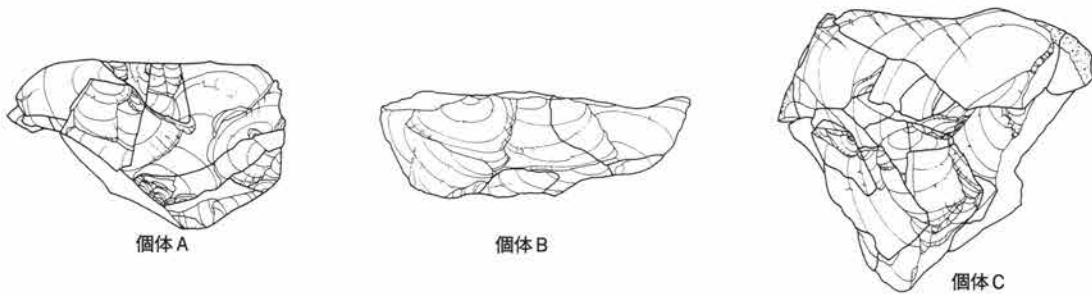
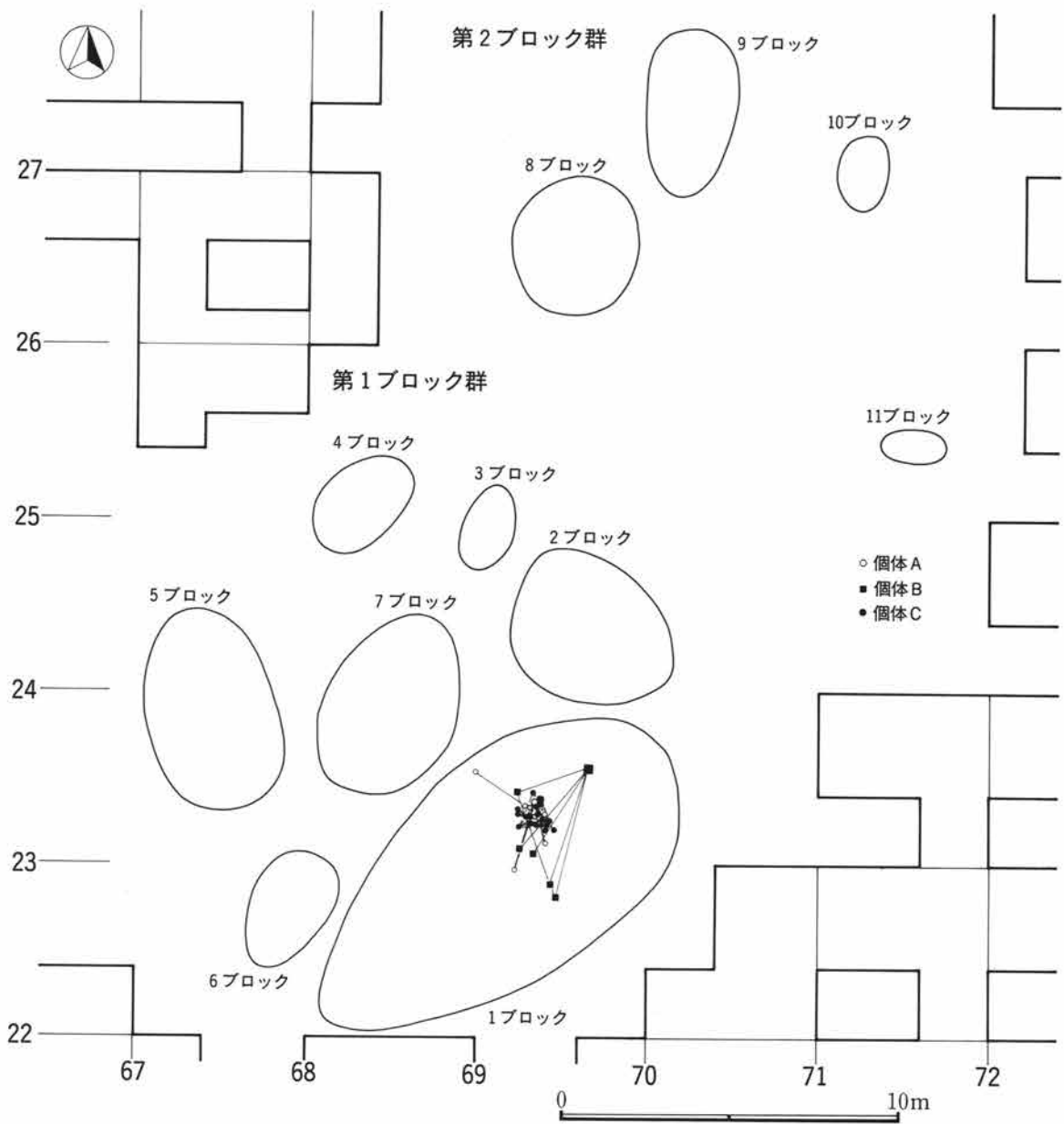
敲石1点のみの単独資料で、2ブロックに分布している。



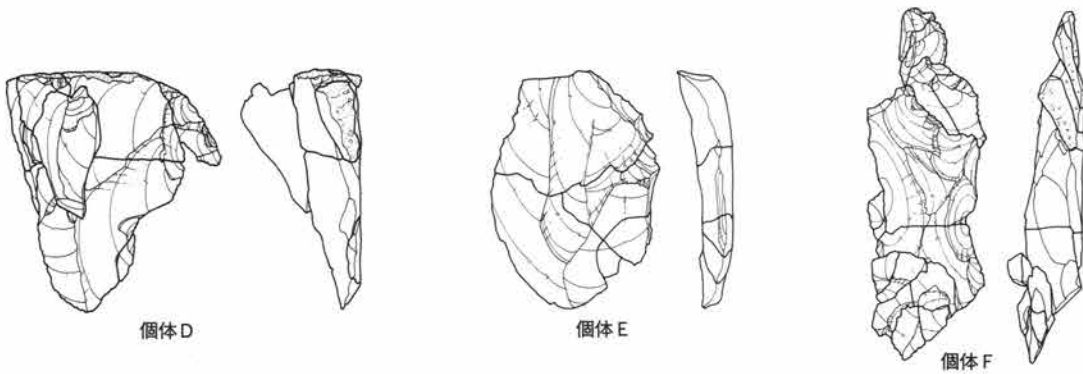
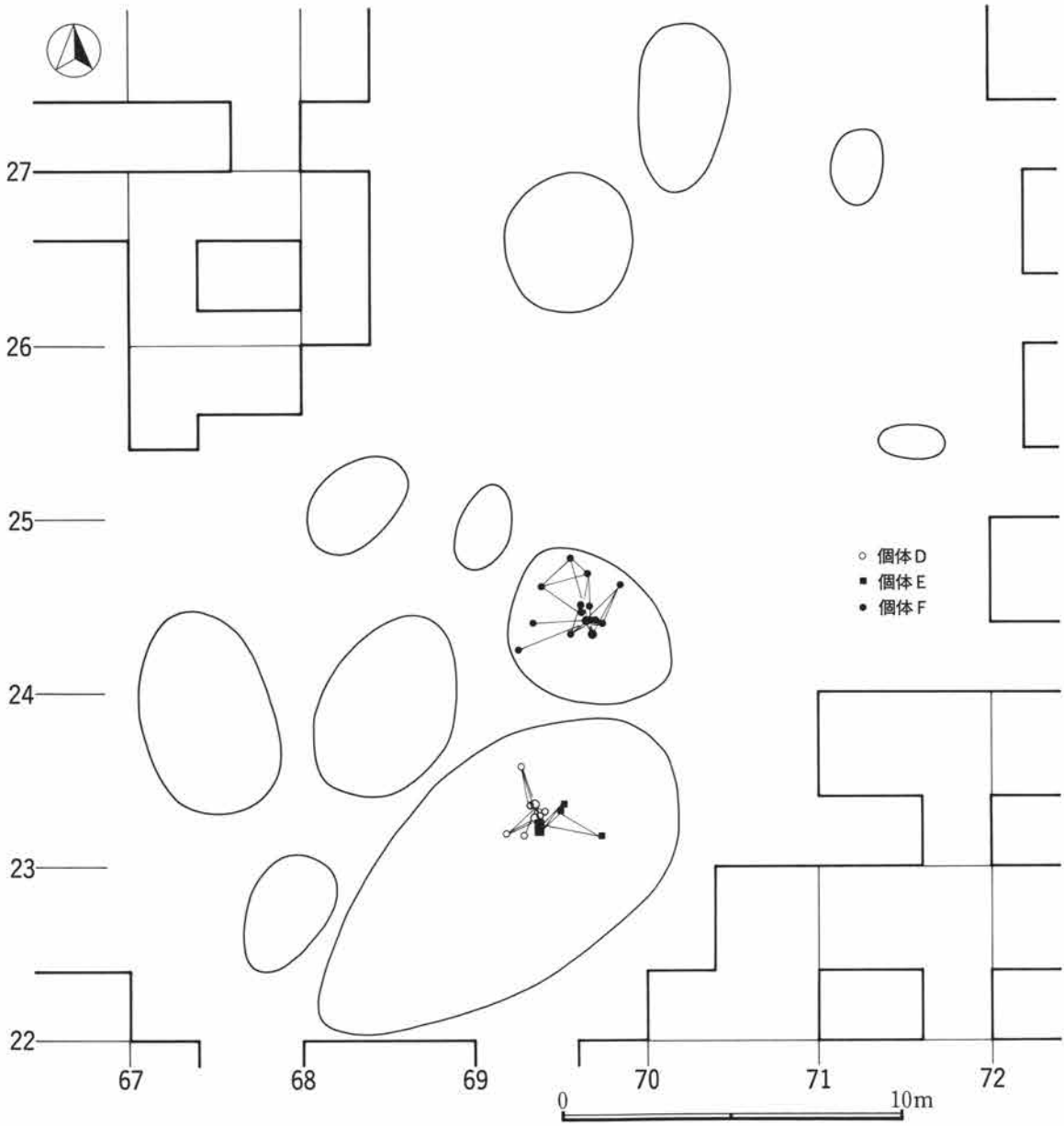
第78図 接合関係全体図



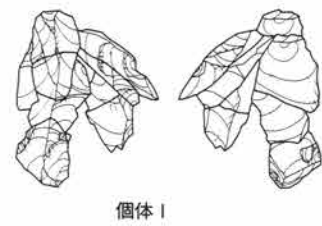
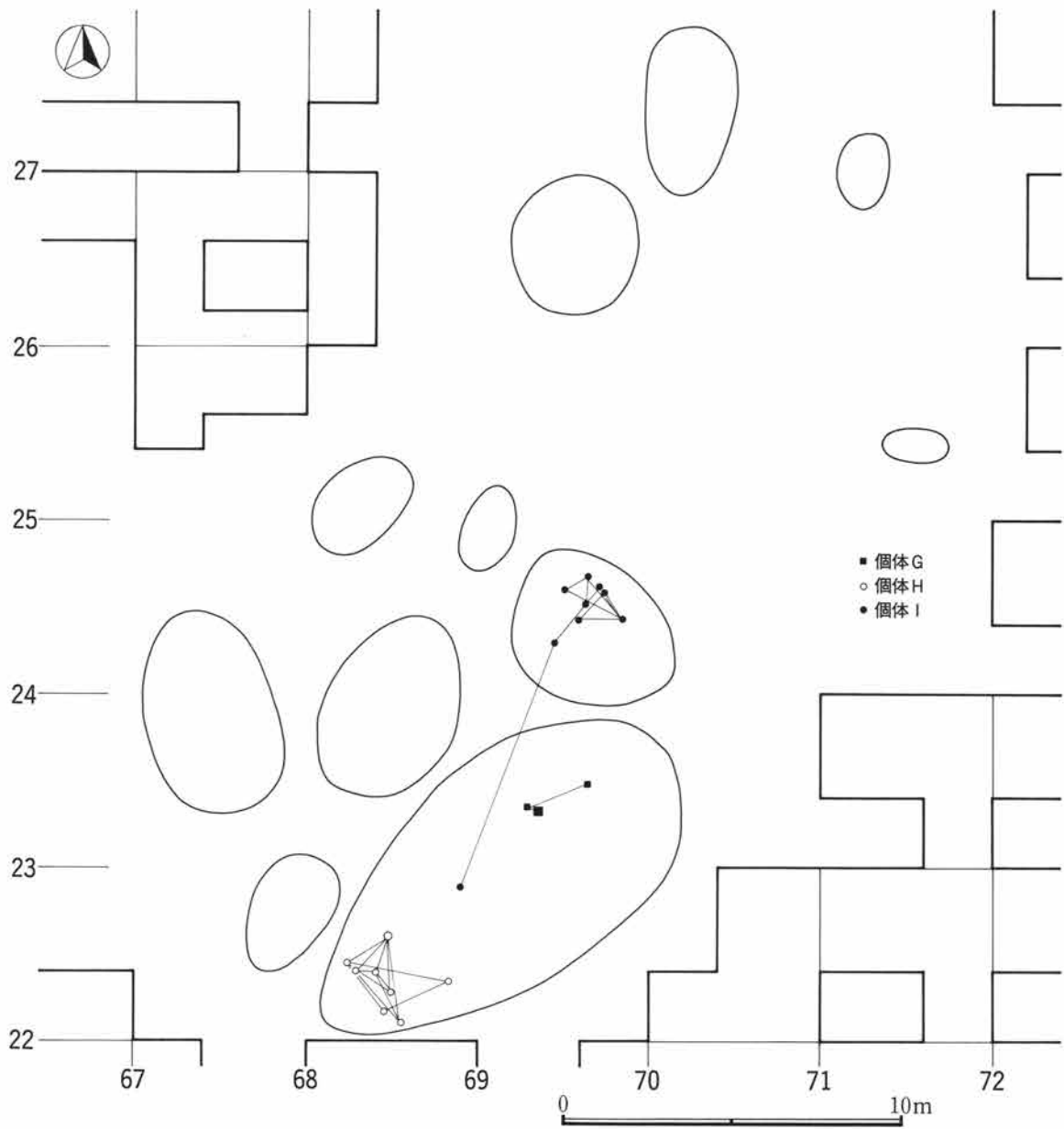
第79図 母岩別石器分布全体図 (GAn-1)



第80図 GAn-1 個体別石器分布全体図 (個体A・B・C)

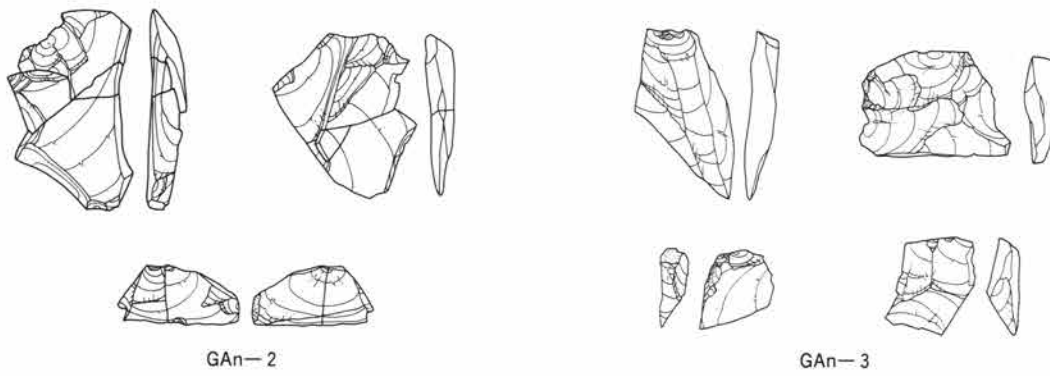
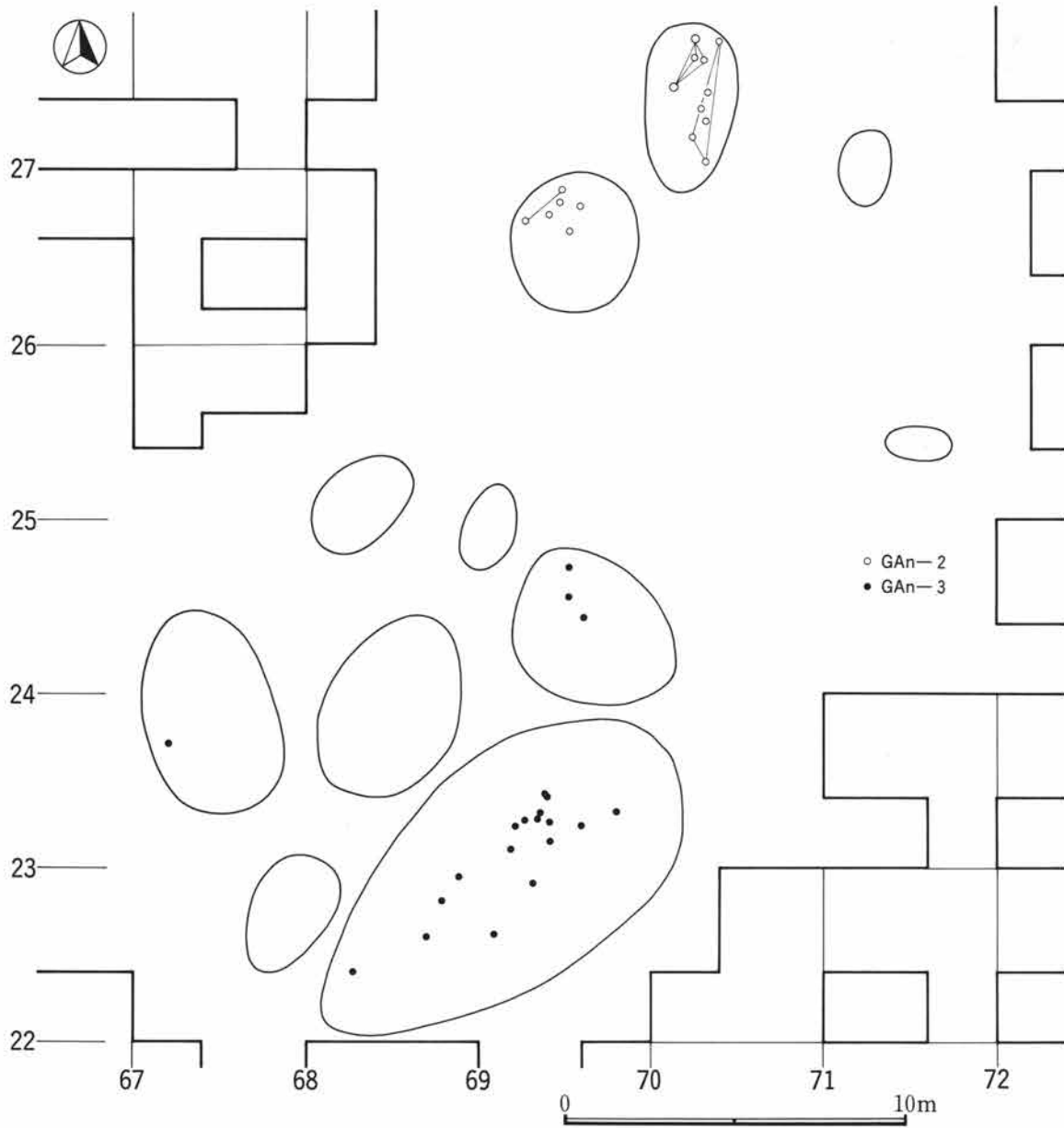


第81図 GAn-1 個体別石器分布全体図（個体D・E・F）



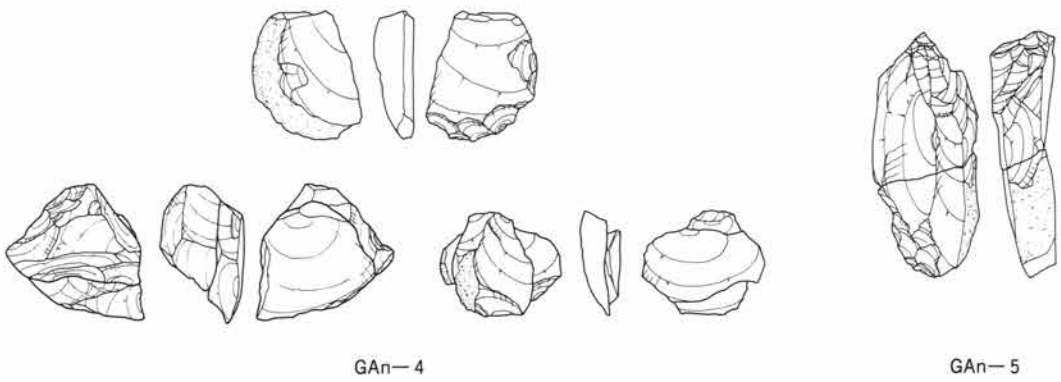
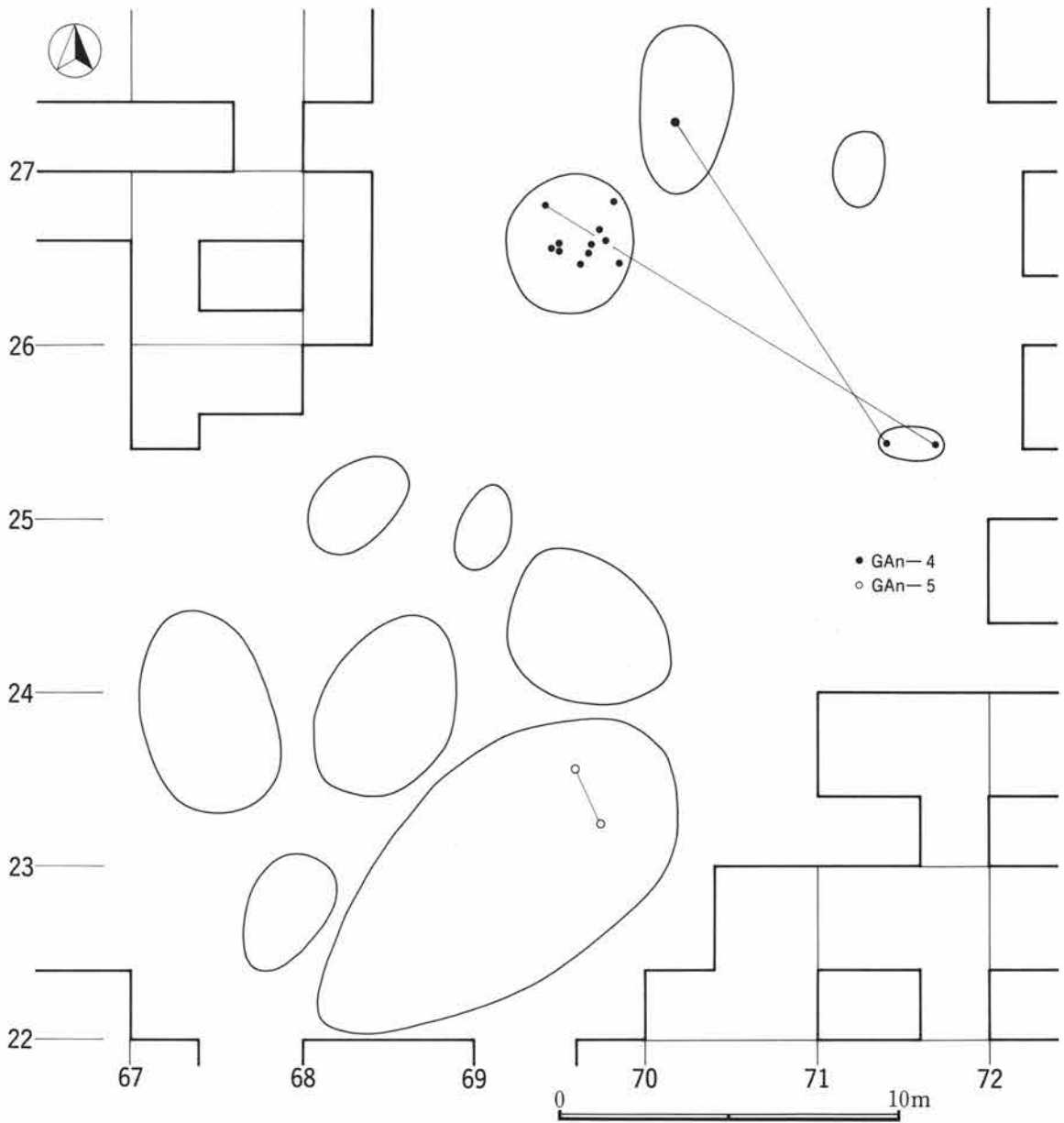
第82図 GAn-1 個体別石器分布全体図 (個体G・H・I)

第6節 母岩別資料の構成と分布・接合関係

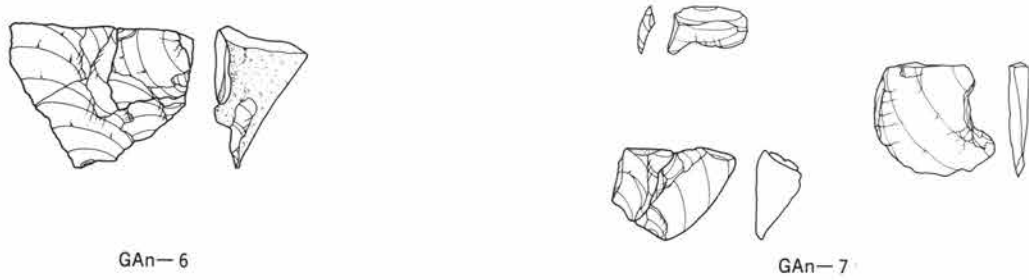
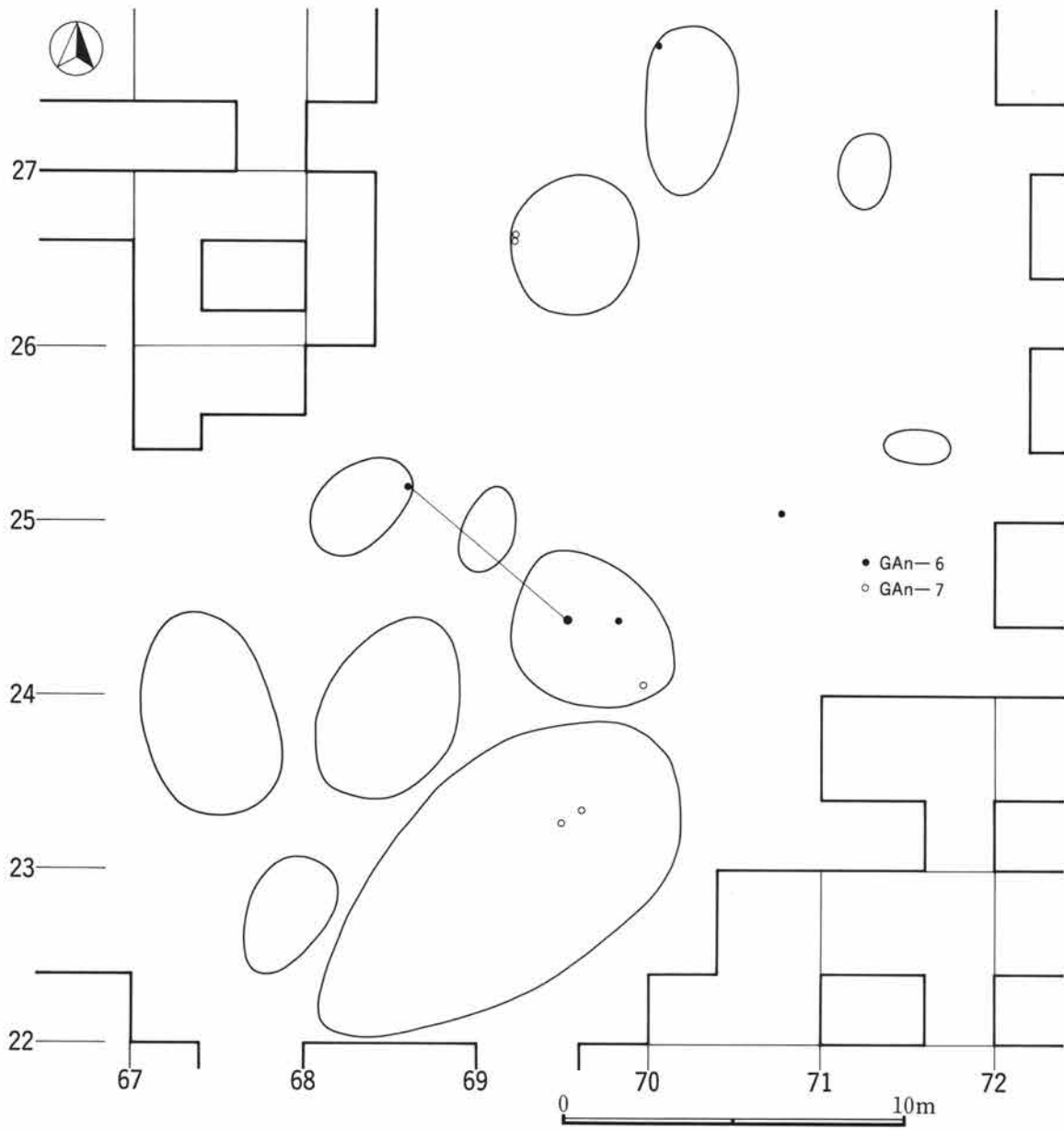


第83図 母岩別石器分布全体図 (GAn-2・3)

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

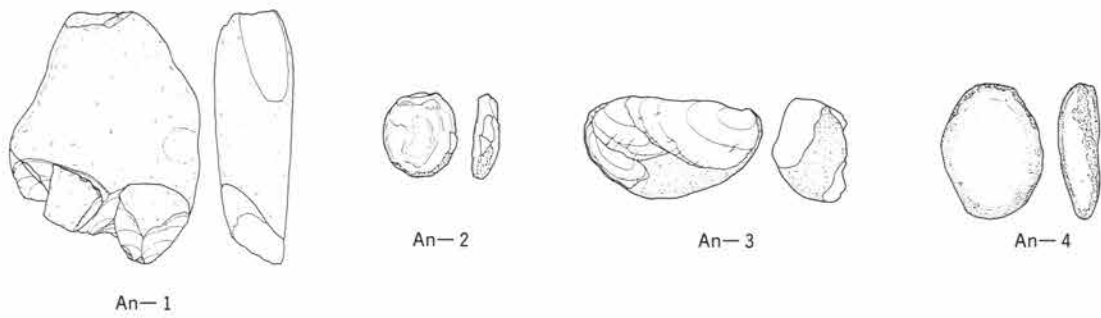
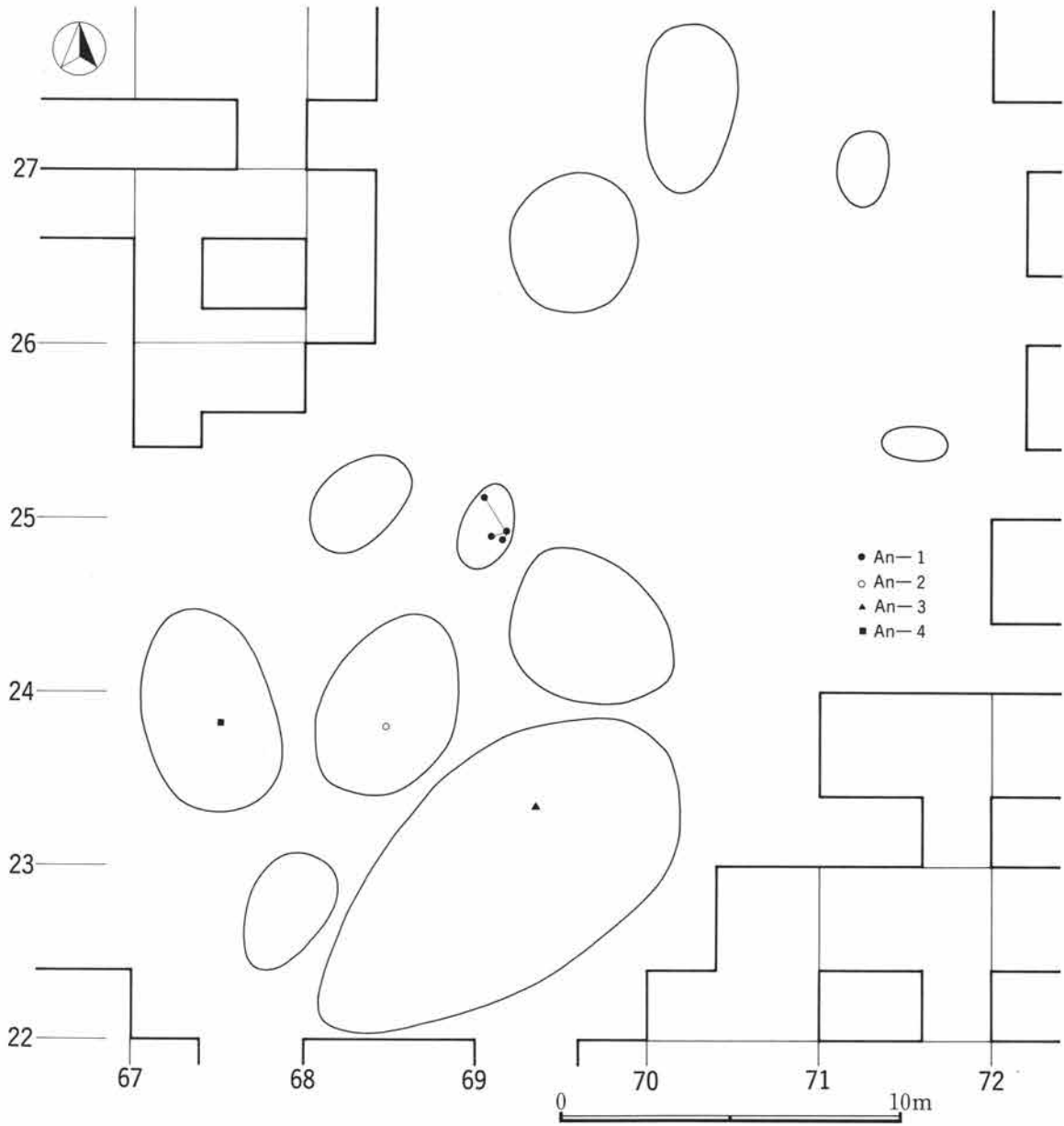


第84図 母岩別石器分布全体図 (GAn-4・5)

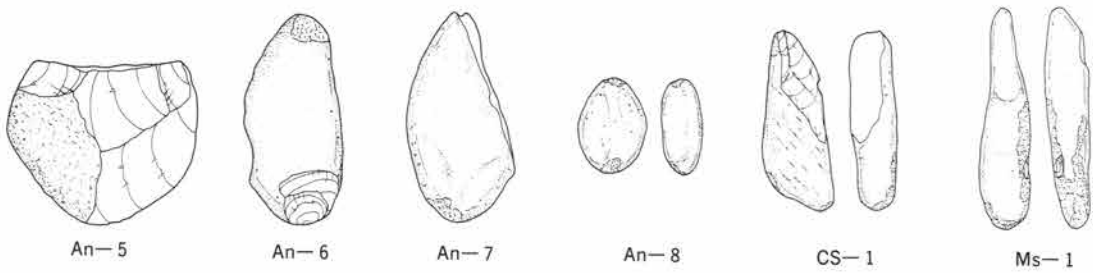
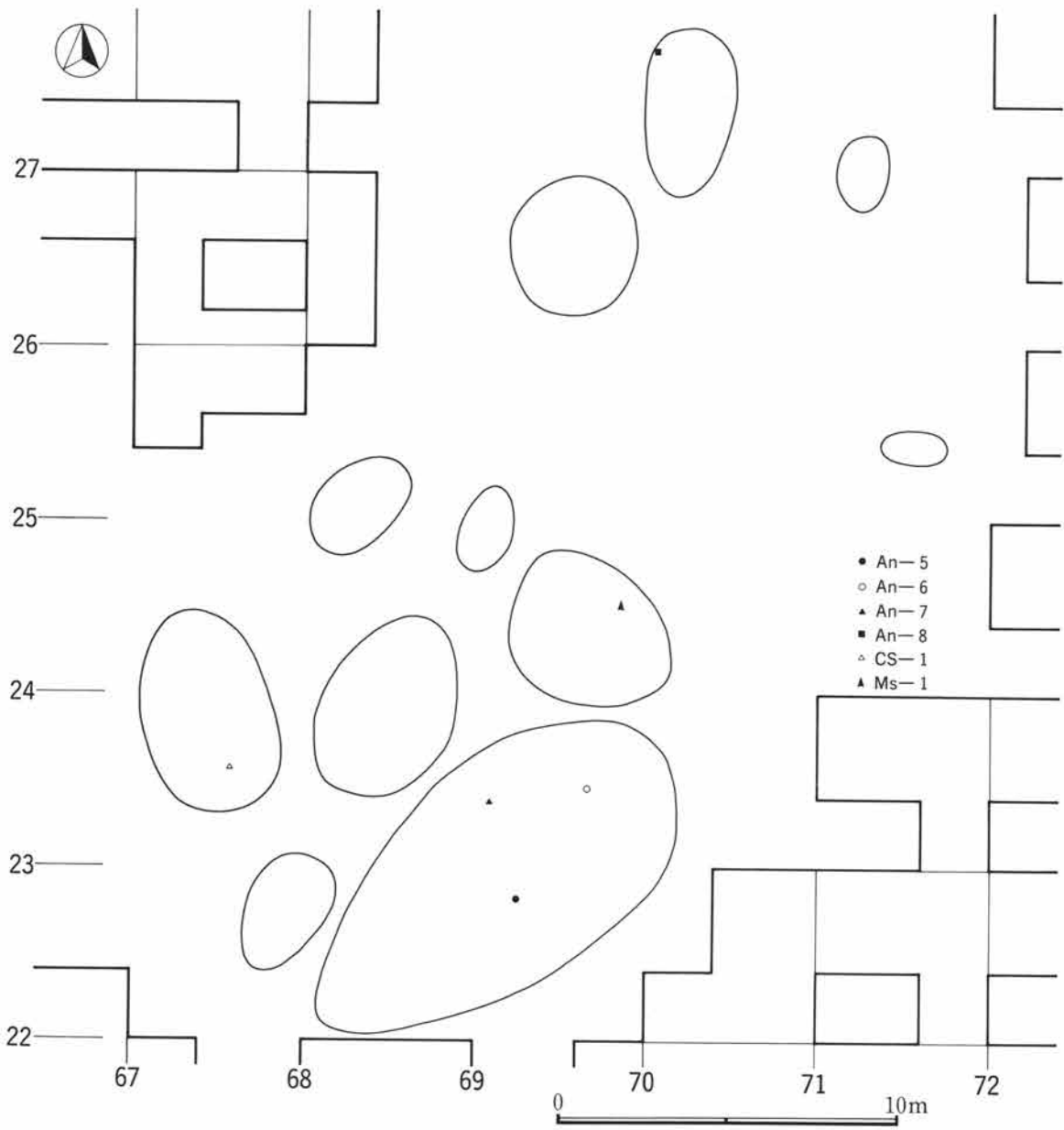


第85図 母岩別石器分布全体図 (GAn-6・7)

第3章 旧石器時代の遺構と遺物

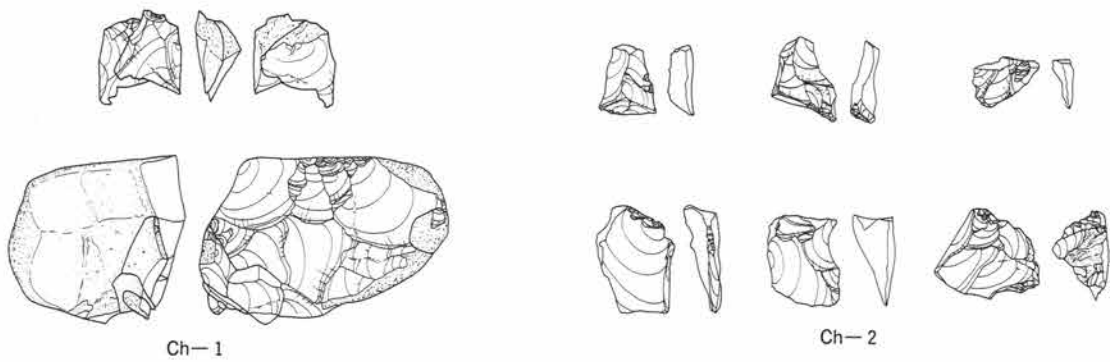
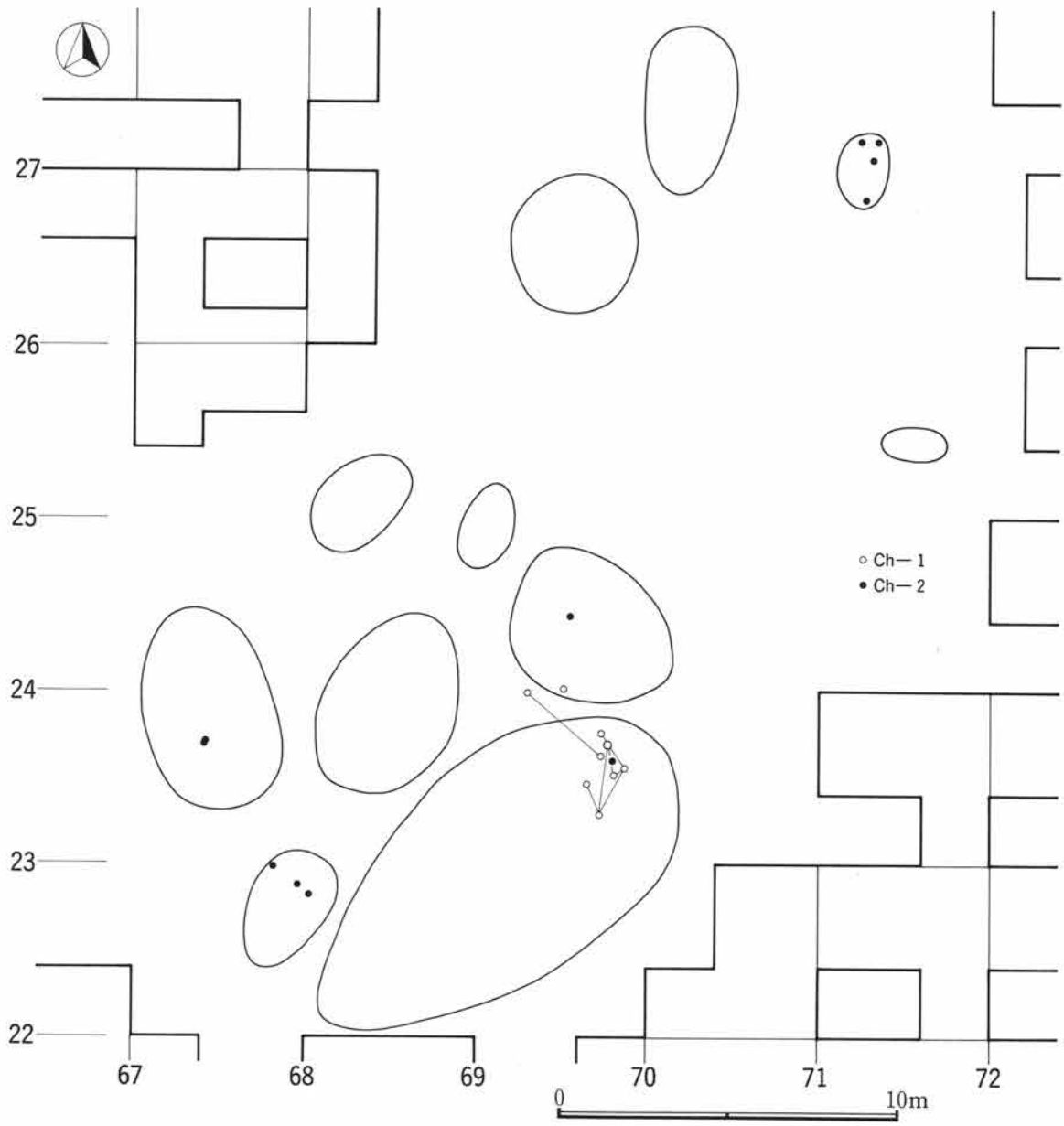


第86図 母岩別石器分布全体図 (An-1・2・3・4)

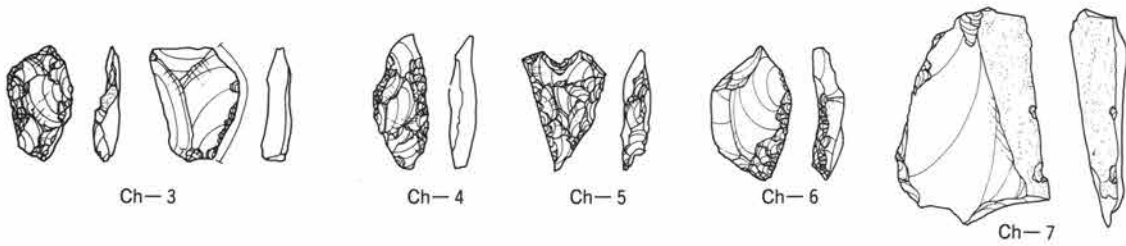
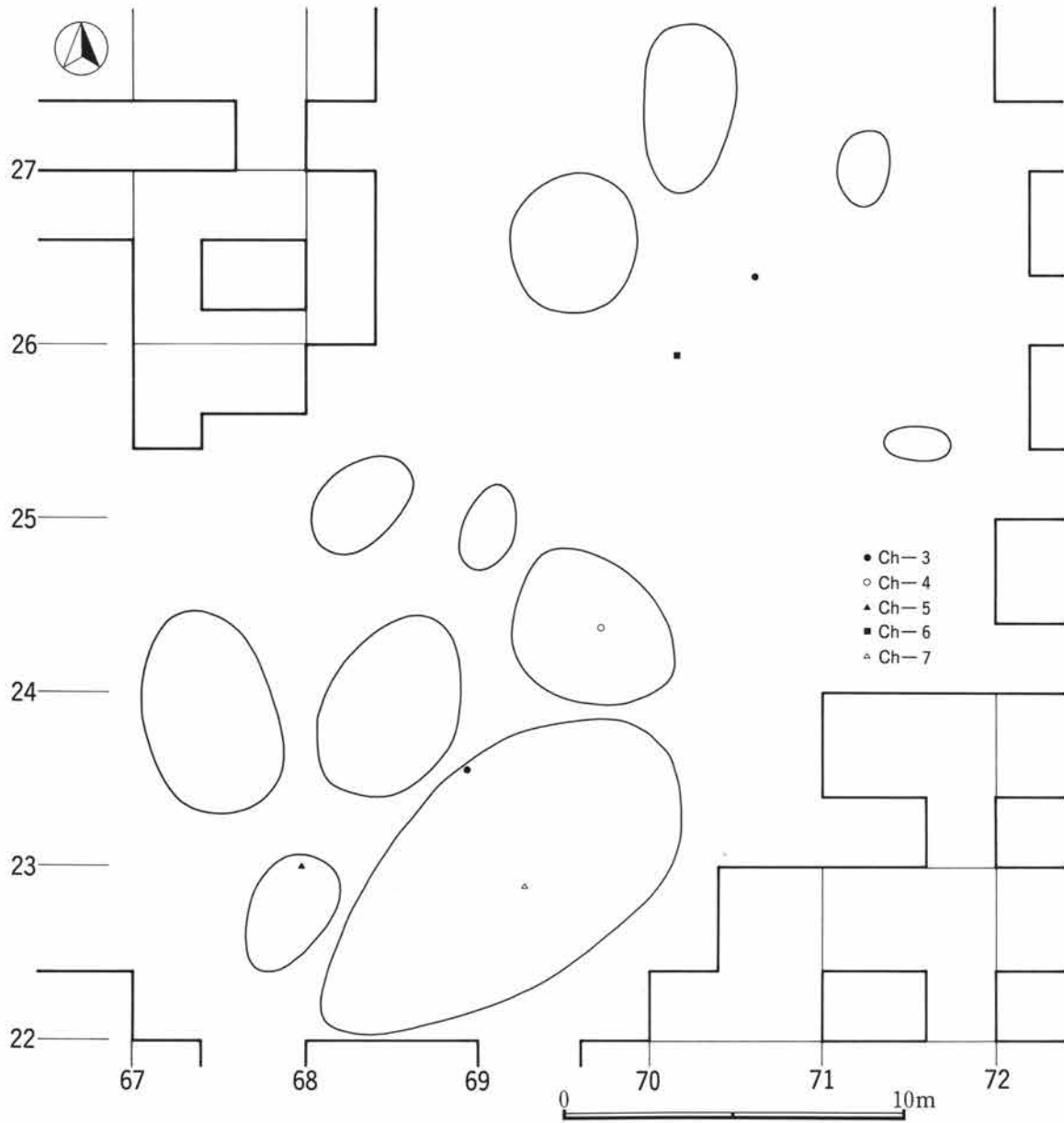


第87図 母岩別石器分布全体図 (An-5・6・7・8、CS-1、Ms-1)

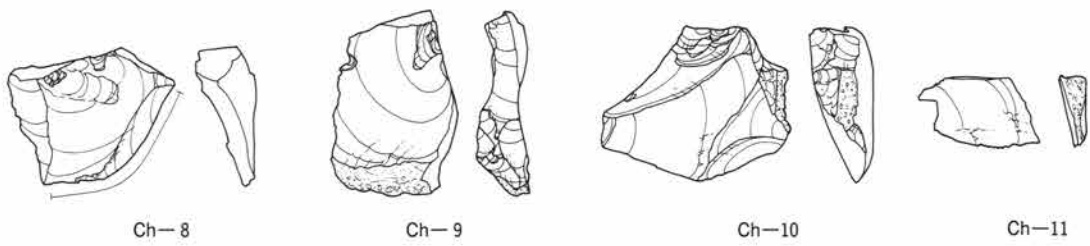
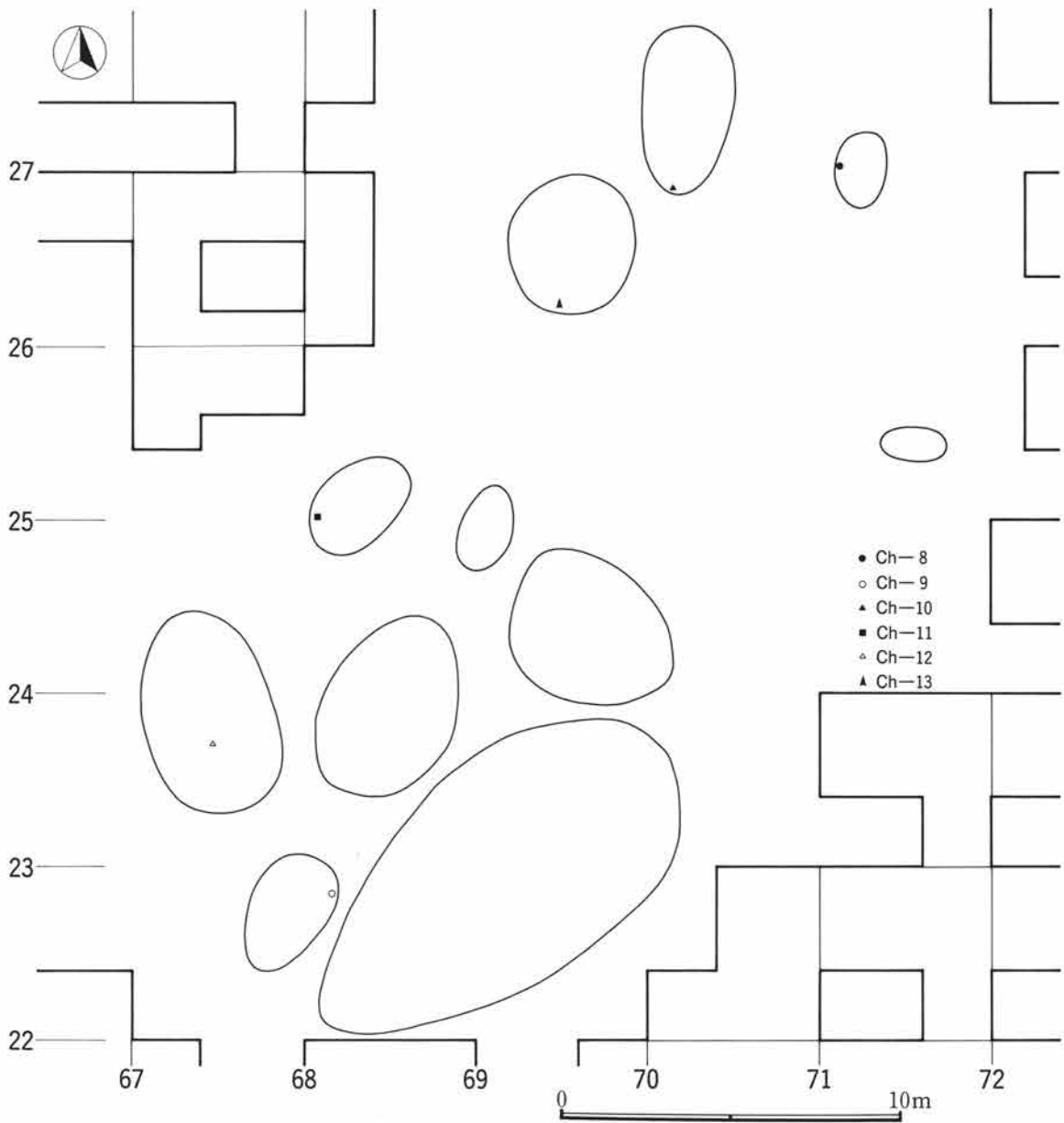
第3章 旧石器時代の遺構と遺物



第88図 母岩別石器分布全体図 (Ch-1・2)

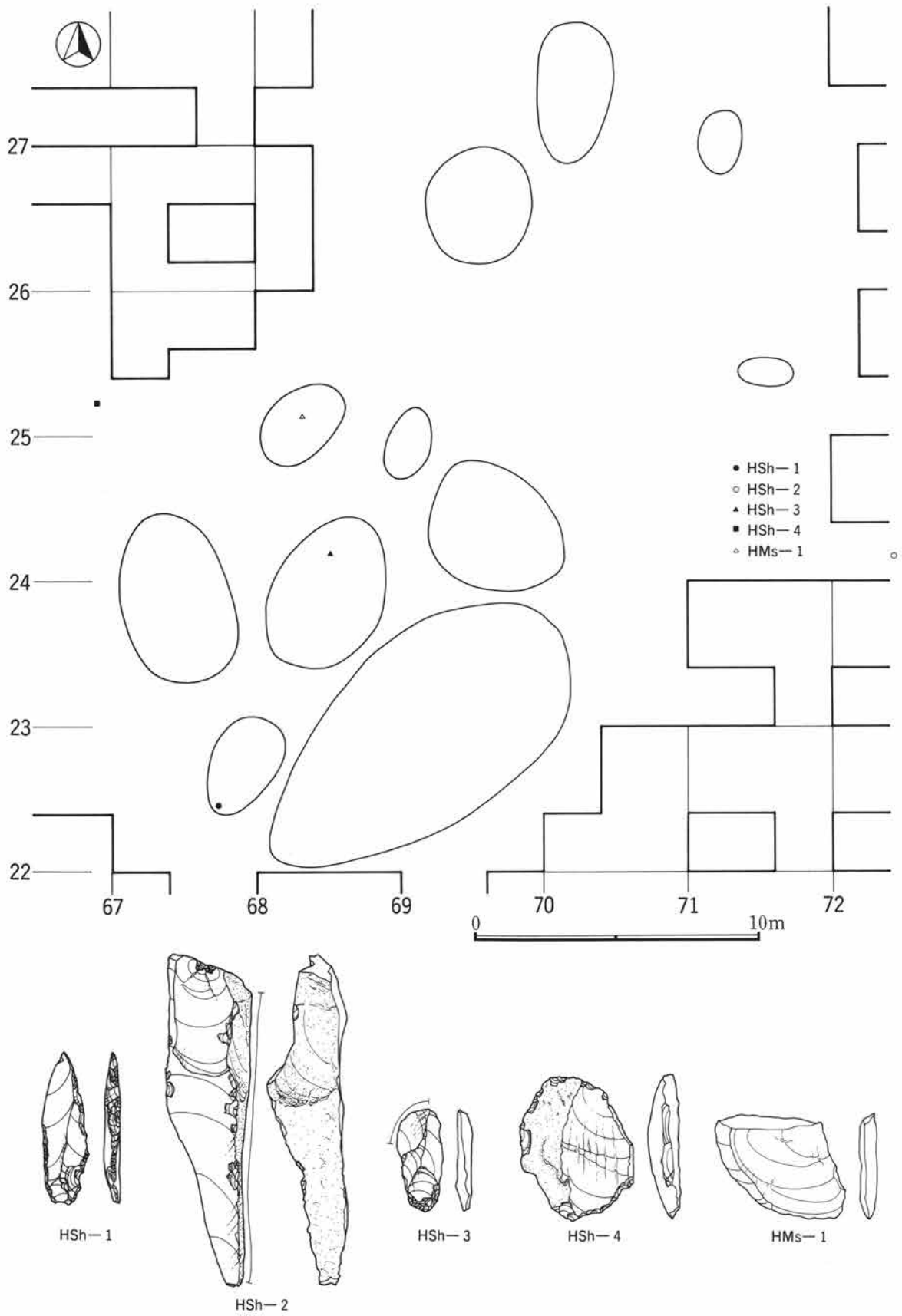


第89図 母岩別石器分布全体図 (Ch-3・4・5・6・7)

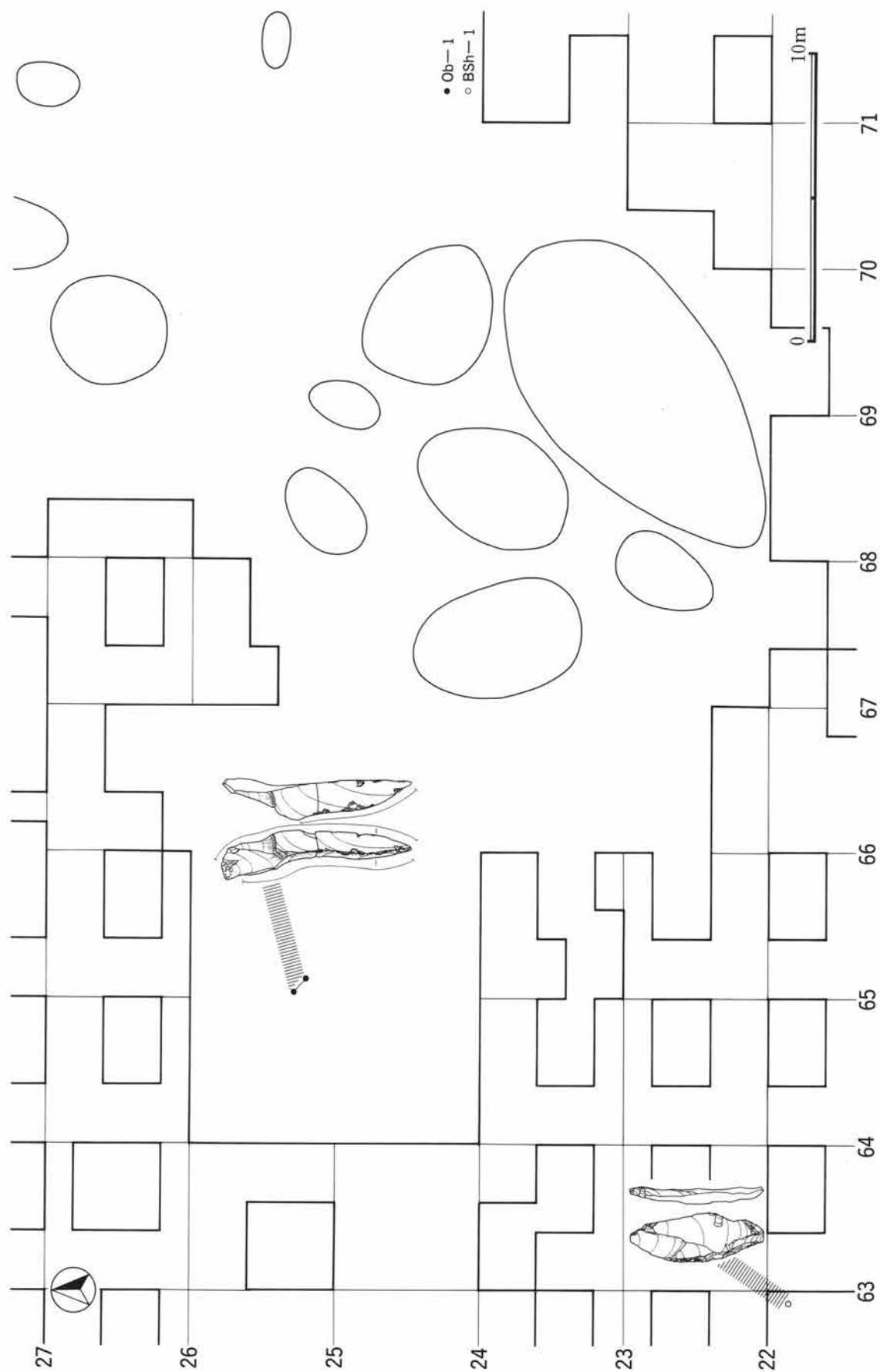


第90図 母岩別石器分布全体図 (Ch-8・9・10・11・12・13)

第6節 母岩別資料の構成と分布・接合関係



第91図 母岩別石器分布全体図 (HSh-1・2・3・4、HMs-1)



第92図 母岩別石器分布全体図 (Ob-1、BSh-1)

第4章 まとめと考察

第1節 天引狐崎遺跡出土石器群の検討

天引狐崎遺跡からは、総数593点の石器群が第1ブロック群と第2ブロック群の二つのブロック群を形成して検出された。前者は534点の石器群で構成され、後者は59点の石器群で構成される。ここでは、資料数的により豊富な出土があった第1ブロック群の石器群を中心に項目的に若干のまとめと考察を行っておきたい。

1 石器組成

第1ブロック群の石器組成は、ナイフ形石器1点、台形様石器18点、スクレイパー1点、楔形石器1点、二次加工のある剥片8点、石核19点、剥片269点、碎片209点、敲石6点、砥石1点、台石1点、台形様石器を主体とした石器群である。他に砥石が1点が出土していることが注目される。遺跡内からは局部磨製石斧本体やこれに関連する作出剥片類は出土していないが、刃部研磨に用いられた石器と考えられる。第1ブロック群を残した集団は局部磨製石斧を保持し、本遺跡には廃棄せずに遺跡外へと搬出したと考えられる。

ブロック群外からはナイフ形石器、スクレイパーが点在して検出された。これらの石器に関しては、単独母岩別資料で遺跡外からの搬入品であること、黒色頁岩や硬質頁岩、黒曜石などの良質で近在にはない石材を使用していること、遺跡内で展開された剥片生産技術とは全く異なる石刃技法によって獲得された石刃を素材としていることが共通点として挙げられ、各ブロック群の石器群とは全く異なる存在である。これらがどのブロック群に伴うのか、あるいは全く共伴せずに時間差をもって廃棄されたのかは明確に判断できない。

2 台形様石器について

黒色安山岩製とチャート製の台形様石器が計18点出土している。ここでは、台形様石器の素材、調整加工について検討する。

素材：素材は両石材製のものとも薄手の横長剥片、あるいは寸詰まりの縦長剥片を用いている。

調整加工：チャート製では平坦な調整加工を基本とし、それ以外に縁辺を潰すような微細な調整加工を施すものもある。黒色安山岩製では平坦な調整加工とブランディングとがある。また、黒色安山岩製ではチャート製のようにしっかりとした調整加工が施されるものは少なく、部分的な調整加工と折断を組み合わせているものが多い。

折断面：チャート製では折断面を持つものは確認されなかった。一方、黒色安山岩製では側縁部に折断面を持つものが多く、調整加工が施された側縁に対向するもう一方の側縁に観察されるという特徴があった。なお、折断面はそのまま残置され、この面を打面とした調整加工が施されたものはない。これらの折断面については石器製作技術に捉えられる意図的な折断以外に剝離時の同時割れを利用しているものもあると考えられ、特に打点を中心に加撃方向に折断面を持つものはその可能性が大きい。

形態：調整加工を駆使して、一元的な形態に整形しているわけではない。斉一性に乏しく形態のパラエティーに富む。

廃棄パターン：チャート製のものは遺跡外で製作された搬入品で、製作場所と廃棄場所が異なっている。黒色安山岩製のもの、GAn-2に帰属する1点を除いて、すべてGAn-1に帰属している。GAn-1は遺跡内で分割から剥片生産まで行われている母岩別資料であることから、台形様石器も遺跡内で製作されていると考えられる。つまり、製作場所と廃棄場所が同一で、製作から使用・廃棄までが遺跡内で完結しており、チャート製とは対照的であることが理解される。

3 剥片生産技術

剥片生産技術は接合資料をもとにして検討するが、第3章第3節で詳述したので、ここでは GAn-1 と Ch-1 の接合資料から簡単にまとめておく。

GAn-1 の剥片生産技術については、GAn-1 (1) の接合資料をもとにして説明する。まず大型の母岩を用意し、それを大きく2分割す¹⁾。分割した一方から、さらに各個体の素材となる大型で分厚い剥片を剥離した後(個体A・B・C・D・E)、各個体から剥片生産を開始している。

Ch-1 では、拳大ほどの礫を素材とし、分割することなくそこから直接剥片生産を行っている。作業面は固定されているが、打面を転移させながら剥片生産を行っている。

GAn-1、Ch-1 から生産された剥片類をみると、小型の寸詰まりの縦長剥片か横長剥片を主体としており、縦長剥片生産技術や石刃技法が展開された痕跡は全く確認できない。

本遺跡で展開された剥片生産技術は、打面・作業面を入れ換えながら寸詰まりの縦長剥片、横長剥片を生産していく一般的な剥片生産技術に偏在して発現されており、遺跡内では縦長剥片生産技術・石刃技法は発現されていない。

4 生産された剥片類と台形様石器との関係

先述したように、天引狐崎遺跡出土の台形様石器は寸詰まりの縦長剥片や横長剥片を素材とする。GAn-1 や Ch-1 から生産された剥片と長さ、幅、厚さなどの属性は共通しており、これらの剥片類が台形様石器の素材となったことが理解される。

しかし、生産された剥片類の数量と比較して台形様石器の数量は極めて少ない。例えば、GAn-1 では445点の剥片・碎片類が剥離されているものの、台形様石器として認定できたのは13点にすぎない。これらの剥片類を単に台形様石器製作以外の非目的剥片として機械的に捨象してしまうには、その数量はあまりにも多く、非経済的な石器製作作業と言わねばならない。これらの剥片類は、台形様石器と同じように折断面を持っていたり、プロポーションが共通していたりすることから(第93図)、単なる非目的剥片ではなく台形様石器と同様な機能を発揮した石器であったと考えられる。

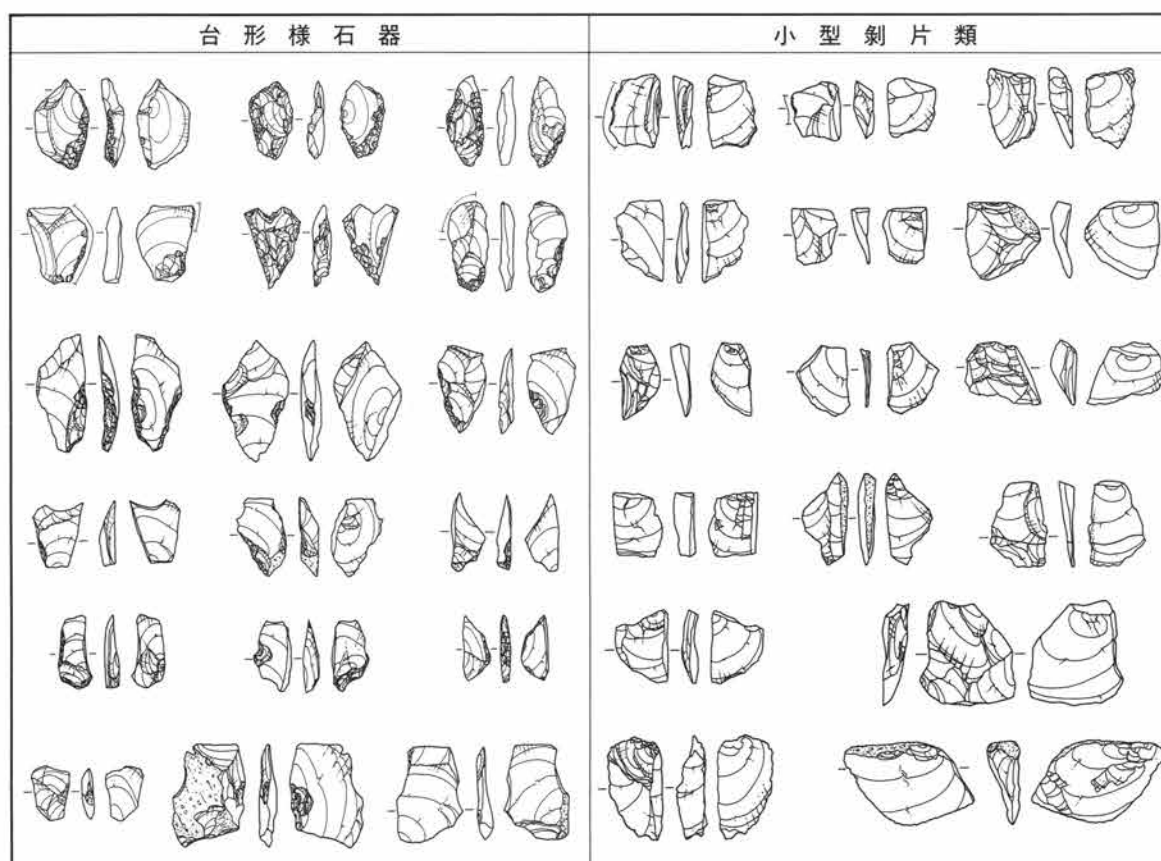
本遺跡で展開された石器製作作業は、台形様石器という器種製作のみを主目的化したものではなく、目的とする機能を果たす石器を効率よく獲得することを基本としていた。すなわち、鋭い縁辺部を有する小型剥片を獲得することを目的とし、それらを使用していたと考えられる²⁾。この点をよく示しているのが GAn-1 個体Fの接合資料である(第94図)。

また、これらの台形様石器や剥片類は遺跡内に多量に廃棄されているところをみると、本遺跡内でのみ機能を充足・完結させた臨機的(expedient)な一過性の石器であったと考えられる。

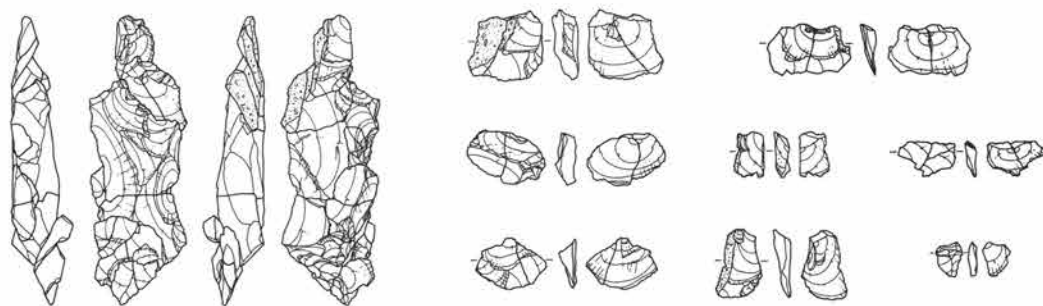
5 石材とその消費について

天引狐崎遺跡から出土した石器は総数597点で、これらは37種類の母岩別資料に分類された。このうち第1ブロック群において石器製作作業によって消費された母岩別資料は、GAn-1・2・6、Ch-1・2の5母岩別資料で、このなかでも特にGAn-1が464点で圧倒的に主体を占め、総重量は3,000gに達する。GAn-1以外ではGAn-3が21点で多い他は9点以下の資料数しか持っておらず、総重量も88gでGAn-1の約1/34にしかならない。つまり、いくつかの母岩が均質的に消費されているわけではなく、保有していた原料群(母岩)のなかから、特定の母岩(GAn-1)を石器製作の原料として選択し、そして集中的に消費していったことが理解される。

また、石器製作作業による原料消費の実態については、小型剥片を生産・使用することを基本としている



第93図 台形様石器と鋭利な縁辺部を有する小型剥片類 (1/3)



第94図 GAn-1 個体Fと生産された小型剥片類 (1/3)

と考えられたが、小型剥片を主に生産しているわりには GAn-1 の各個体に帰属する石核や Ch-1 の石核のほとんどは、我々が判断する限り未だ剥片生産に十分耐えられる大きさで廃棄されており、非経済的かつ非効率的な消費活動といえる³⁾。

そして、黒色安山岩である GAn-1 母岩については、蛍光X線分析によって「八風山」に原産地が求められるという判定結果が得られた⁴⁾。黒色安山岩については、遺跡西方の群馬・長野県境に位置する「荒船山」と「八風山」の二つの原産地が知られている。遺跡近くを流れる簗川に産出するのは荒船山産のもののみで、八風山産のものは群馬県側では採取できず、長野県側の香坂川周辺に行かないと採取できない⁵⁾。従って、GAn-1 母岩は長野県側から搬入されてきたと考えられる。

同時に、このことは集団の移動経路を考えていく上で重要な示唆を含んでいるのではないだろうか。すなわち、想像を逞しくすれば、本遺跡を形成した集団は長野方面から八風山産の黒色安山岩を採取・携行し、甘楽の谷に移動してきた。それは八風山産の黒色安山岩を消費し尽くし、そして遺跡近隣で採取できる荒船山産の黒色安山岩へと石材構成が変換する間に残していった遺跡で、八風山産の GAn-1 が多量に消費されていることを考え併せれば、移動してきた初期に残された遺跡であると仮説的に推測することもできる。

6 天引狐崎遺跡における石器製作作業

このように、本遺跡に石器群を残した集団は、黒色安山岩母岩やチャート母岩などの原料群と台形様石器やナイフ形石器などの製品群を携行して本遺跡に到着し、遺跡を取り巻く環境系に対し石器製作作業を一つの活動として対処したと考えられる。原料群の中からは GAn-1 と Ch-1 を選択し、一般的剥片生産技術を駆使して小型剥片を生産し、製品群の中からは硬質頁岩製のナイフ形石器やチャート製の台形様石器、剥片類を選択した⁶⁾。これらの石器類は使用に供された後に、最終的にそれぞれが持つ機能を終了して本遺跡内に廃棄されていった。

本遺跡で展開された、原料の選択から始まる一連の石器のライフヒストリーは遺跡内で完結している。つまり、石器製作作業（剥片生産・器種製作）→使用→廃棄という一連の行為群が個別遺跡毎に独立・単位的であることが理解される。しかし、これを支える石材消費というものは、一遺跡内で消費し尽くし完結してしまうのではなく、消費活動は遺跡間に亘って連鎖している。

天引狐崎遺跡に残された石器群は、移動生活のなかで行われた活動系総体のなかで、機能的な必要に応じて表現された一活動的な痕跡であり、連続する移動サイクルのなかで形成された一つの生活跡（地点）として評価できる。

註

- 1) ただし、この2分割については遺跡内で行われた後一方を消費せずに遺跡外に搬出したのか、あるいは遺跡外で行われた後に搬出したのかは判断できない。
- 2) 使用痕を観察すればこの点も明確に出来ようが、黒色安山岩は石材属性上風化が著しく進行するため、使用痕と考えられるような微細剥離痕も確認することはできない。
- 3) こうした石材消費パターンについては、遺跡を取りまく石材環境の面からも検討していく必要がある。ちなみに、黒色安山岩は原産地である荒船山が遺跡の西方約30kmのところに位置しており、遺跡北側に流れる鑛川で現在でも採取することができる。詳細については、桜井美枝・井上昌美・関口博幸「群馬県における石器石材の研究(1)」を参照。
- 4) 黒色安山岩、黒曜石の蛍光X線分析結果については「白倉下原・天引向原遺跡I」所収の「付編」に報告してある。なお、GAn-3についても「八風山」の判定結果が得られている。
- 5) 詳細については、3)の文献を参照。
- 6) 遺跡内での石器製作の痕跡をとどめない単独の母岩別資料で廃棄される石器類で、チャートなど黒色安山岩に比較して緻密な石材である。これらの石器は装備として遺跡間を携行され、各遺跡単位で必要に応じて小出し的に選択されながら廃棄されたと考えられる。

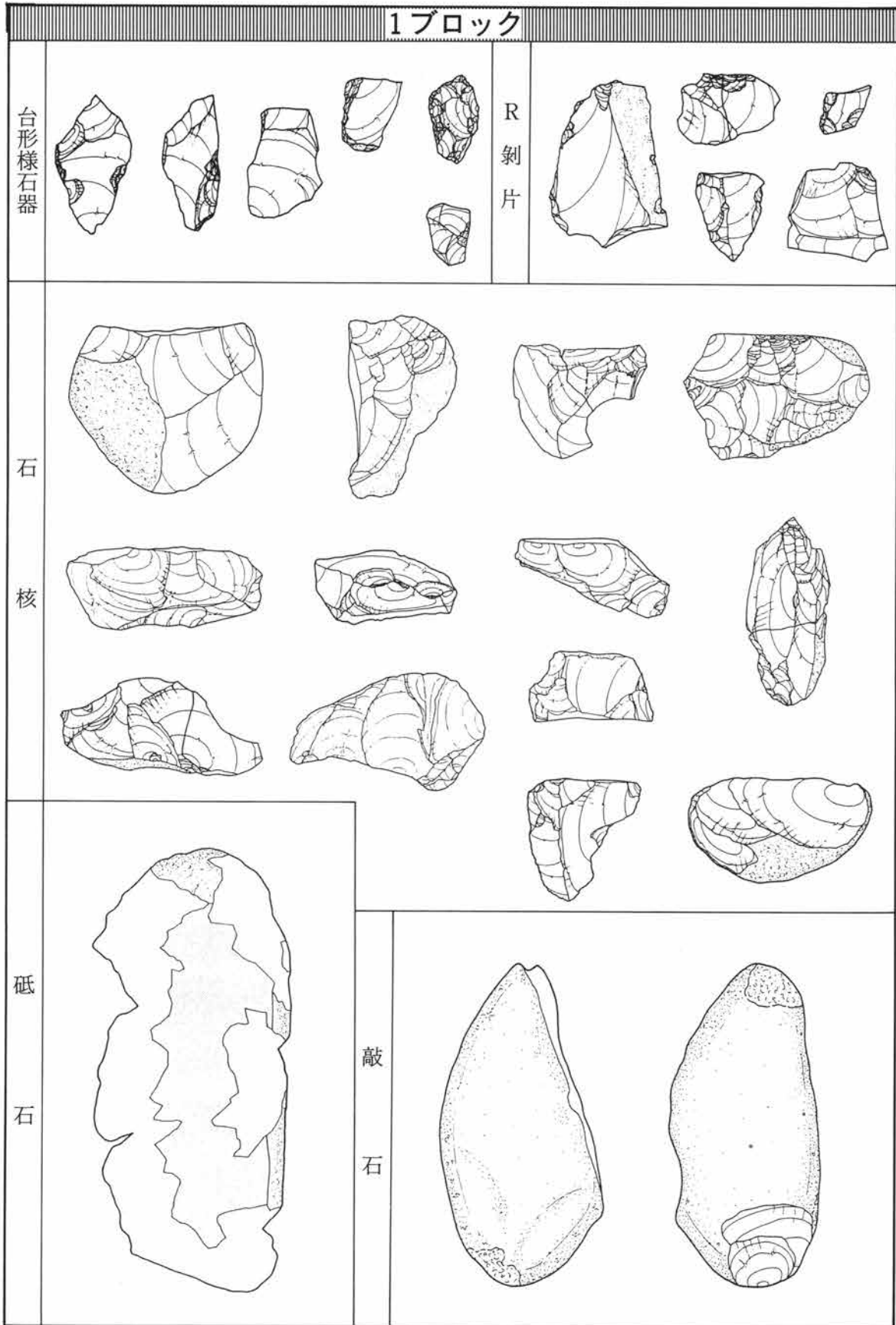
参考文献

- 阿子島香 1989『石器の使用痕』
1991『民族考古学と旧石器研究』【北からの視点】
- 安斎正人 1990『無文字社会の考古学』
- 岩崎泰一編 1989『勝保沢中ノ山遺跡II』
- 佐藤宏之 1992『日本旧石器文化の構造と進化』
- 桜井美枝・井上昌美・関口博幸 1993「群馬県における石器石材の研究(1)―鑛川流域における石器石材の調査―」【研究紀要11】
- 白石典之 1987「分郷八崎遺跡の石器群をめぐる二・三の問題」【群馬県史研究26】
- 石器文化研究会編 1991『石器文化研究3』
1992『石器文化研究4』
- 関口博幸 1990「第VI章まとめと考察 第1節旧石器時代」【大門遺跡】
1992「槍先形尖頭器の変容過程―相模野台地における槍先形尖頭器の製作と廃棄プロセス―」【研究紀要10】
- 田村 隆 1989「二項的モードの推移と巡回」【先史考古学研究2】
1990「第2節 野見塚遺跡の先土器時代―コア・リダクションと狩猟・採集戦略―」【北総開発鉄道埋蔵文化財調査報告書III】
- 藤波啓容編 1992『成増との山遺跡II』

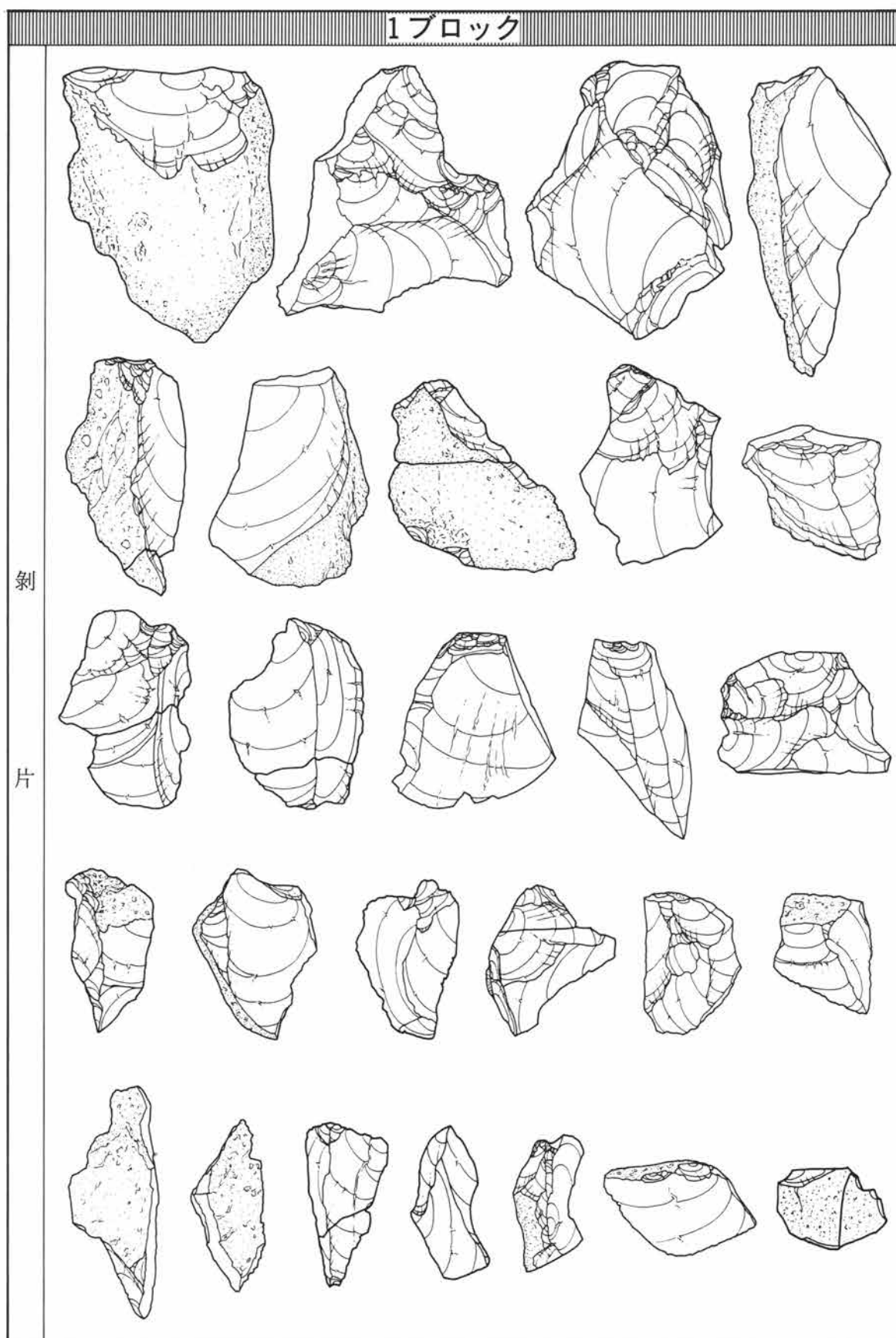
ブロック別石器組成図

母岩別石器組成図

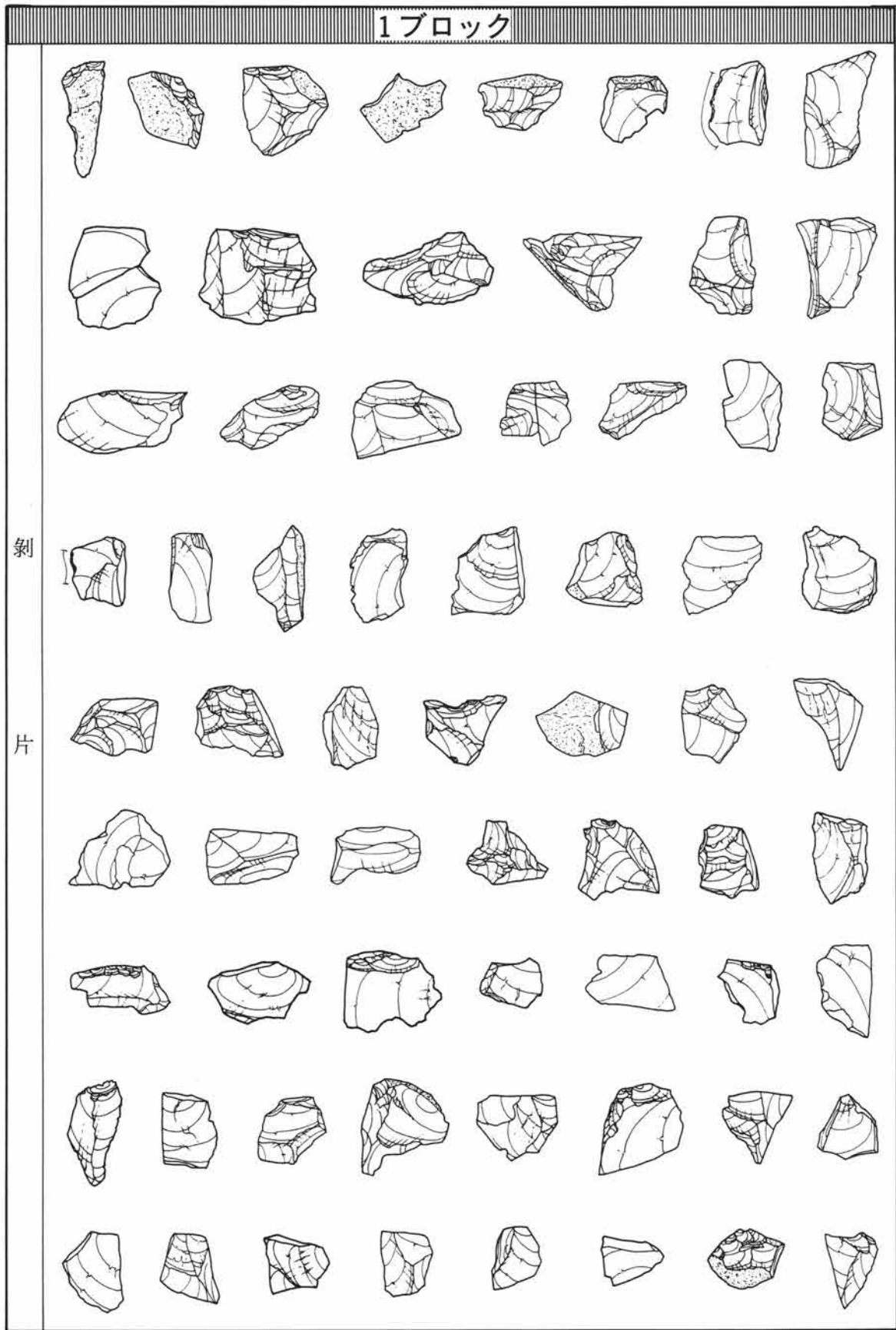
石器一覧表



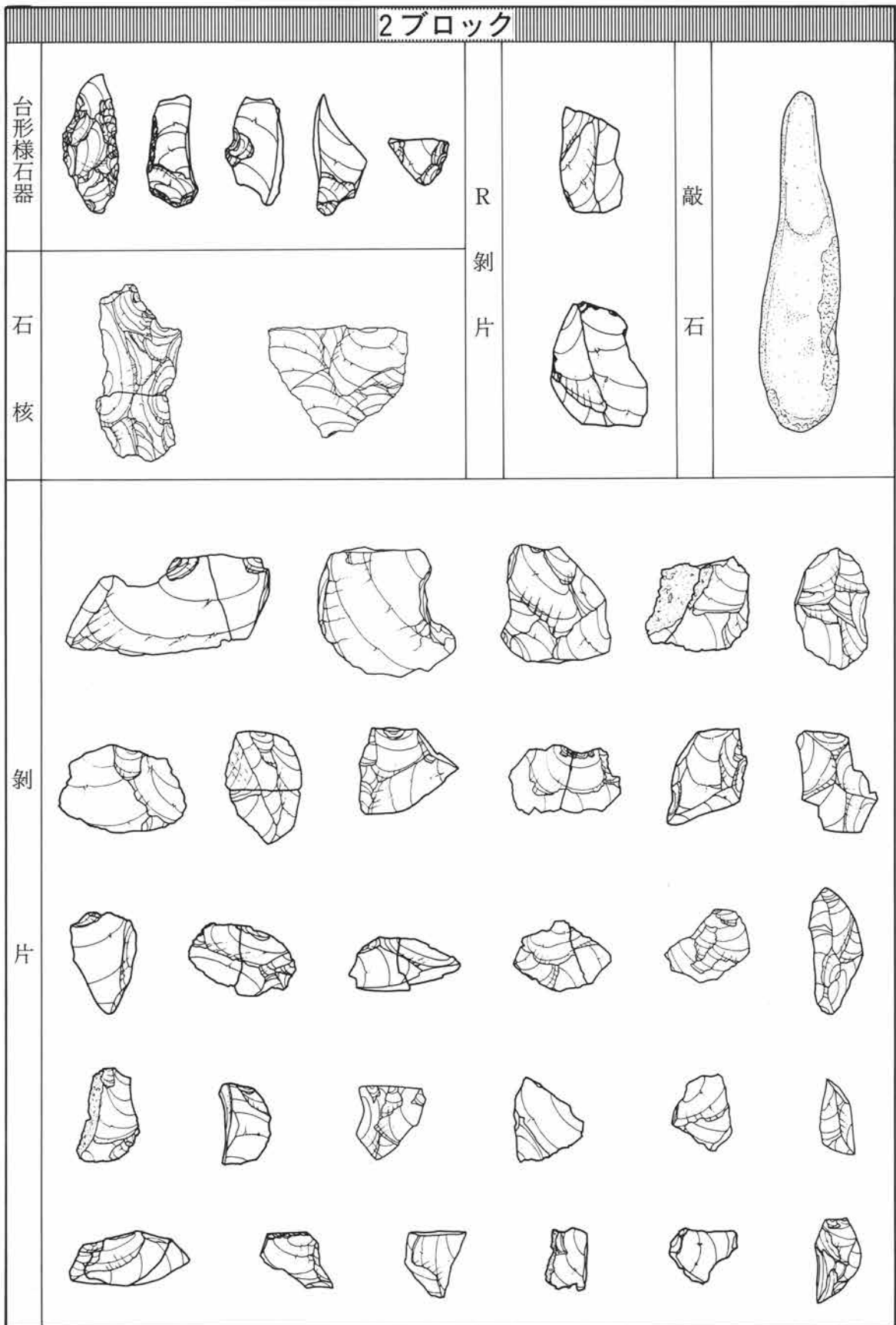
第95図 ブロック別石器組成図(1)



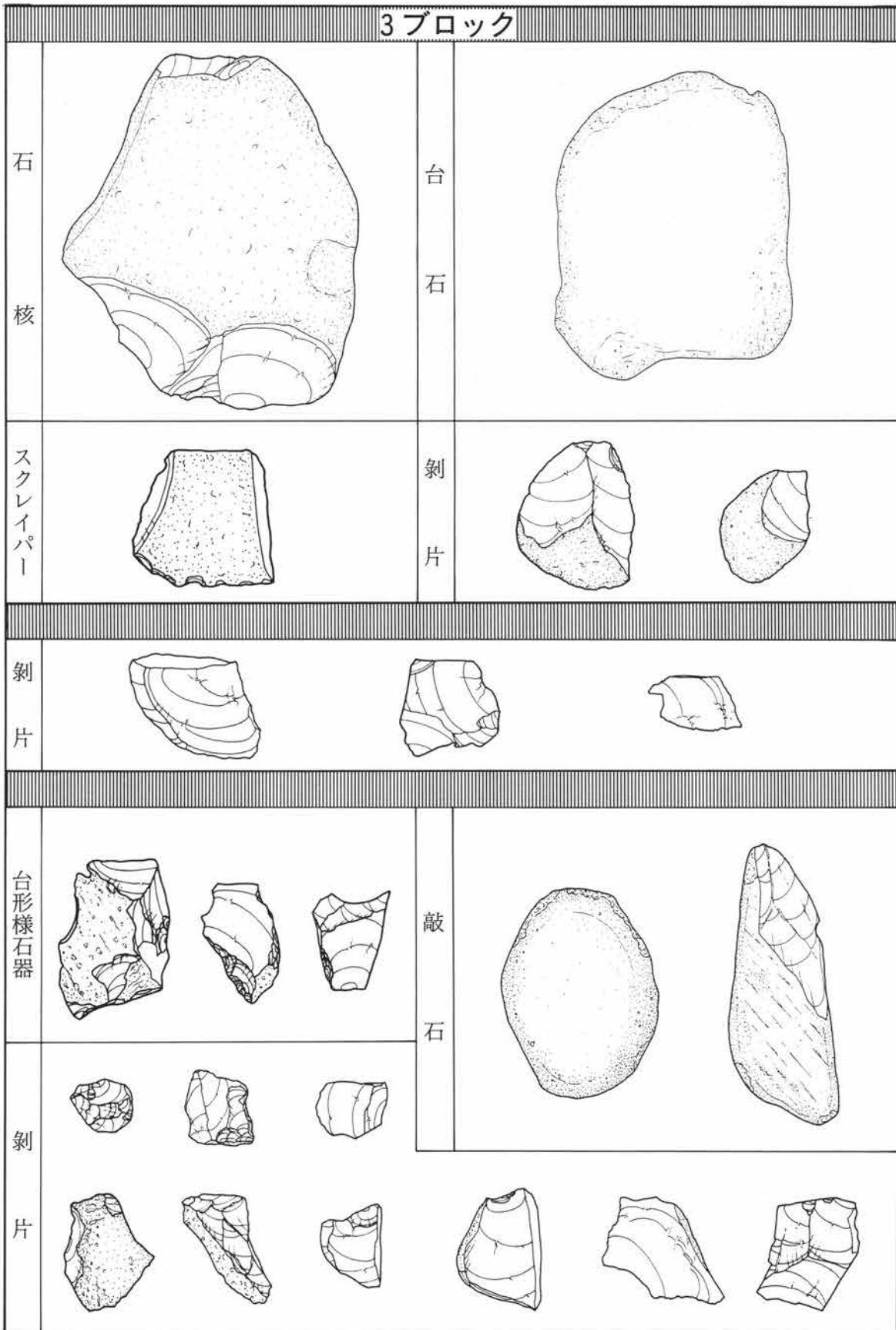
第 96 図 ブロック別石器組成図(2)



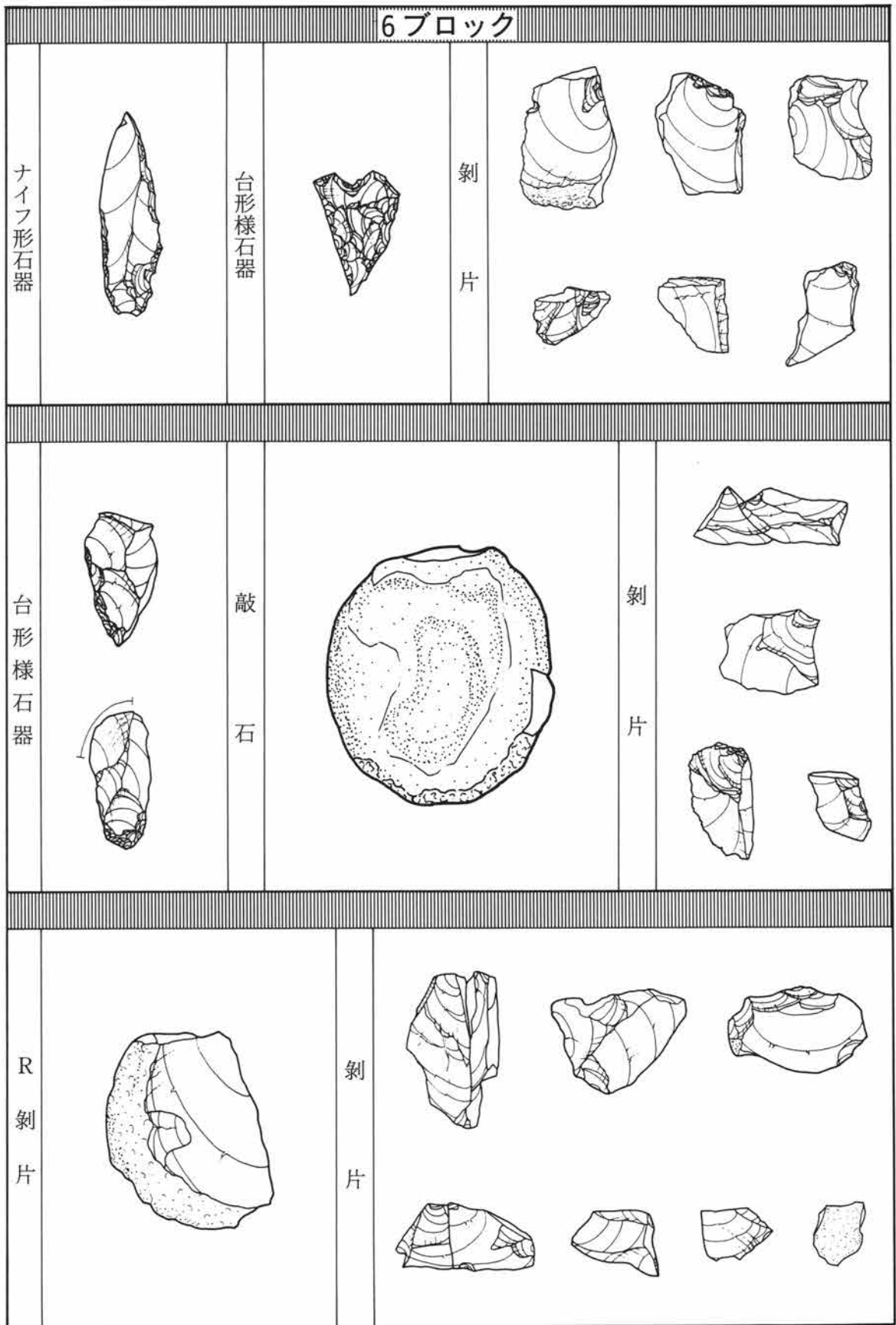
第 97 図 ブロック別石器組成図(3)



第98図 ブロック別石器組成図(4)



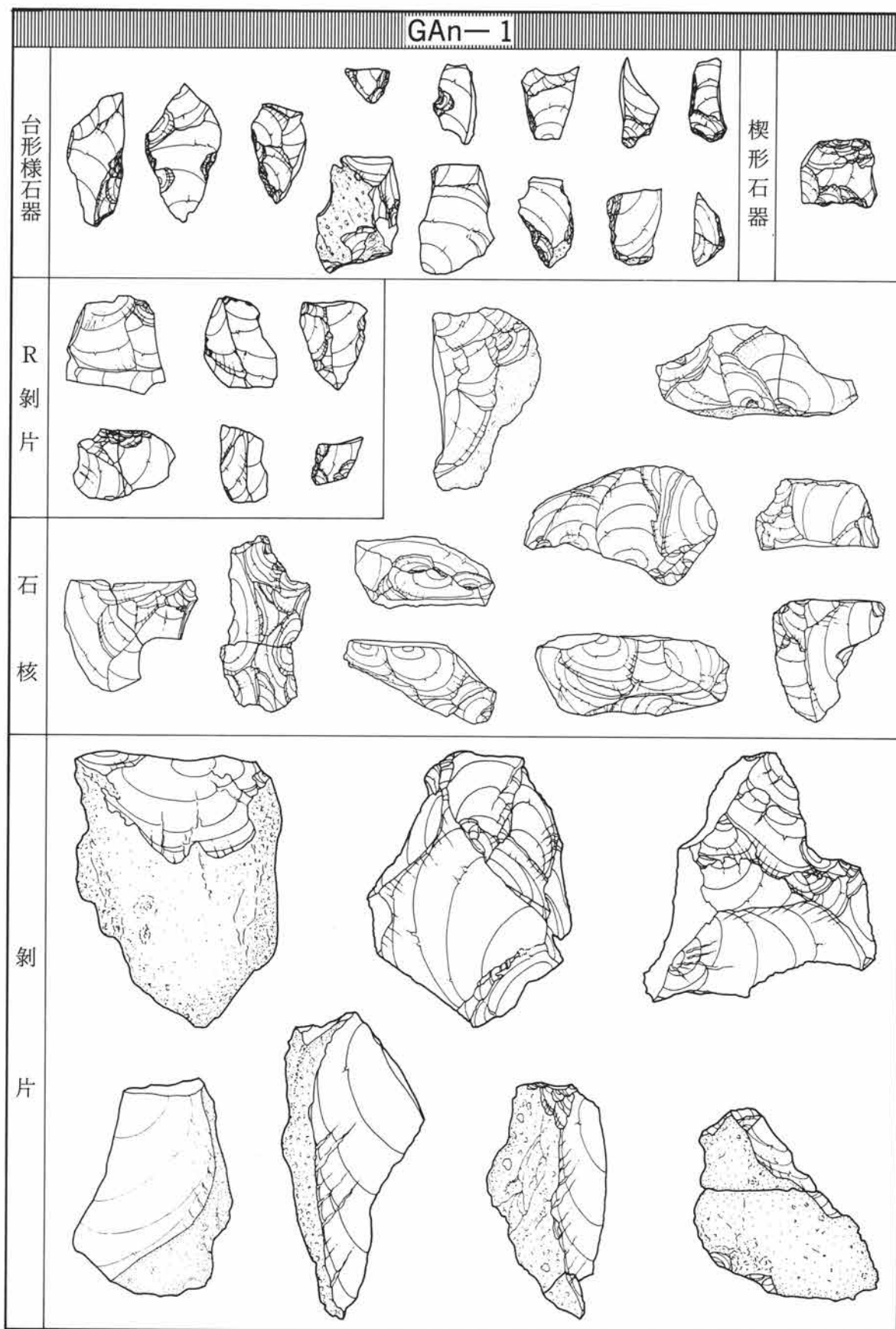
第99図 ブロック別石器組成図(5)



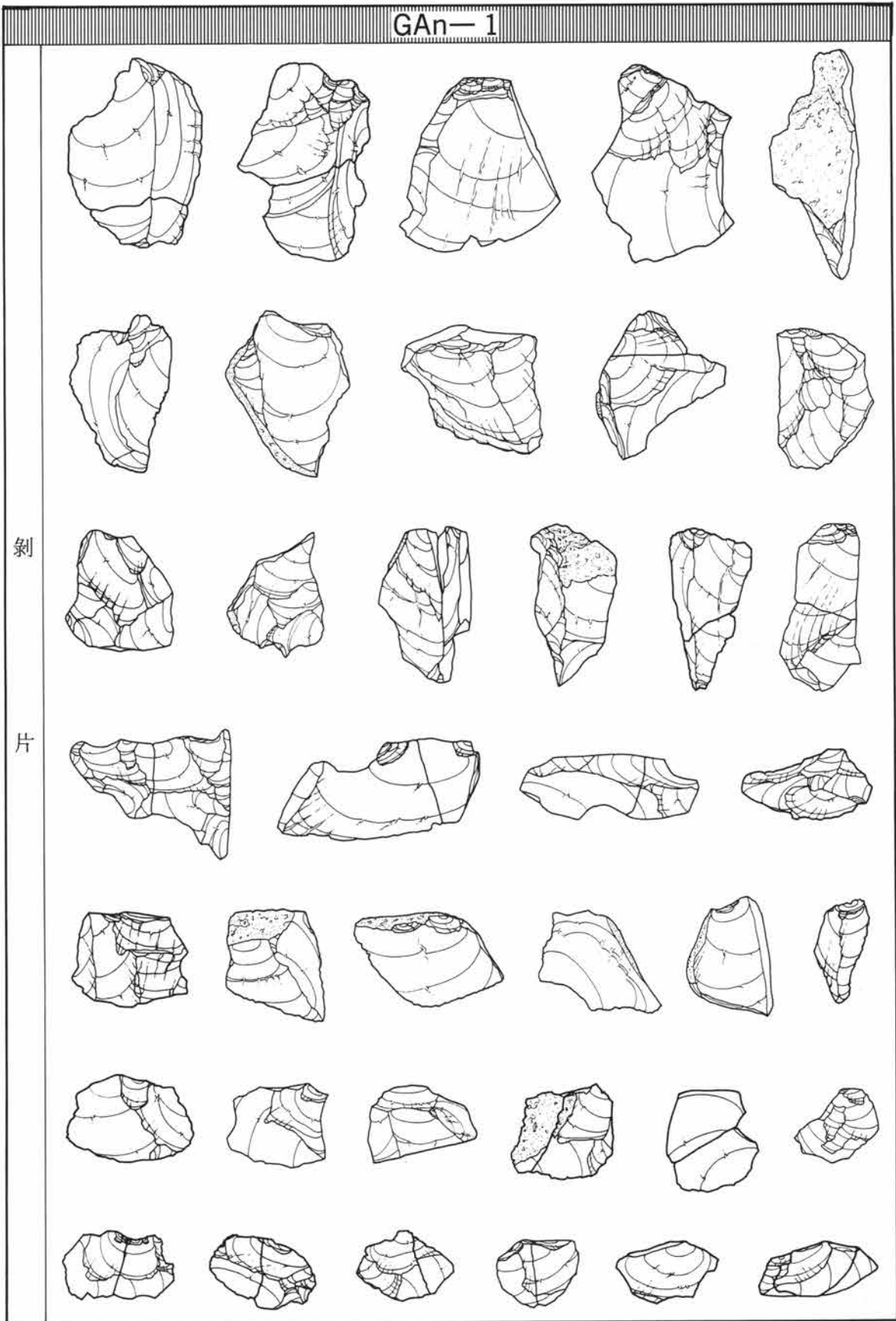
第100図 ブロック別石器組成図(6)

9ブロック				
石核			敲石	
剥片				
R剥片		剥片		
楔形石器		剥片		
ナイフ形石器		楔形石器		スクレイパー
台形様石器		剥片		

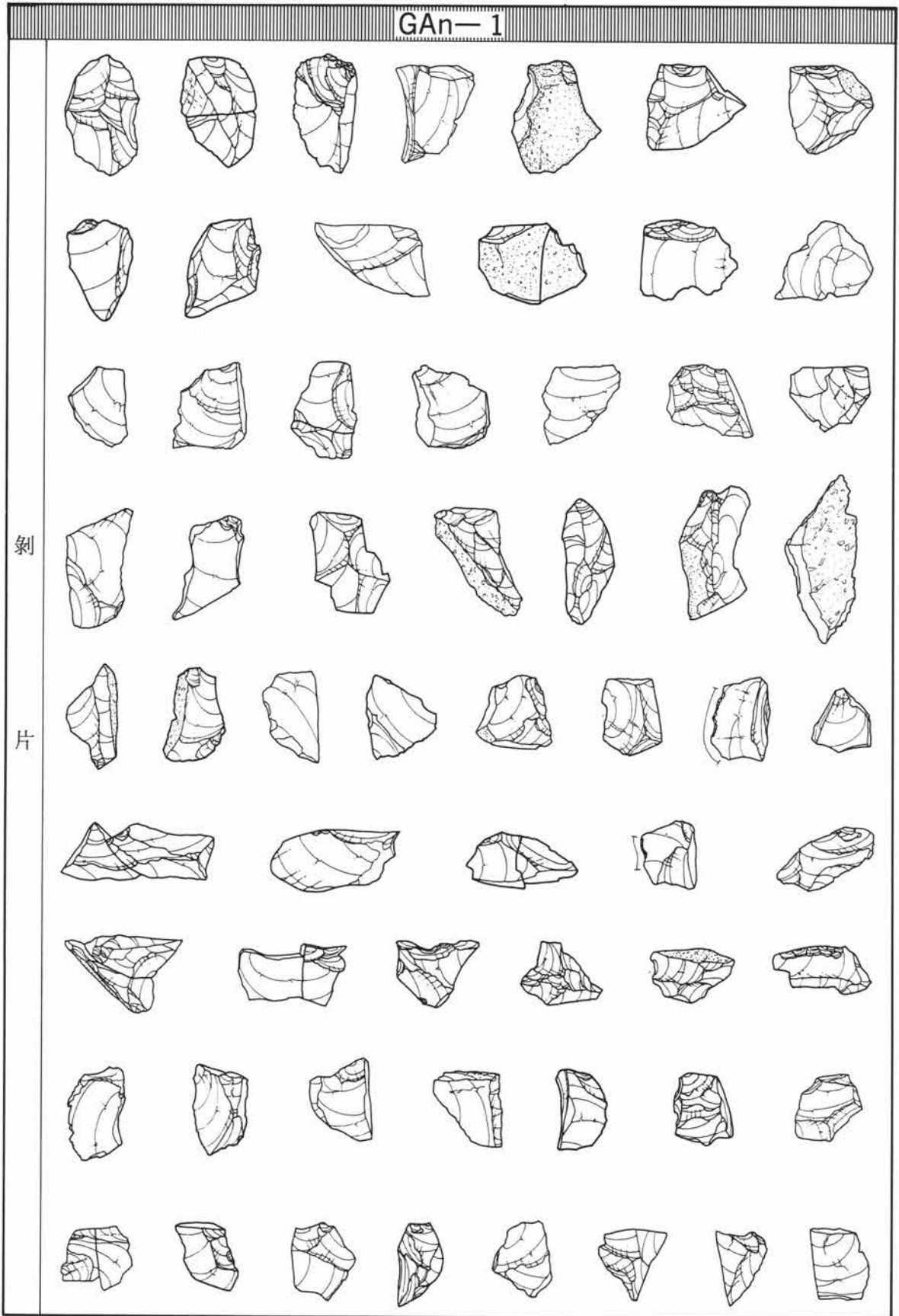
第101図 ブロック別石器組成図(7)



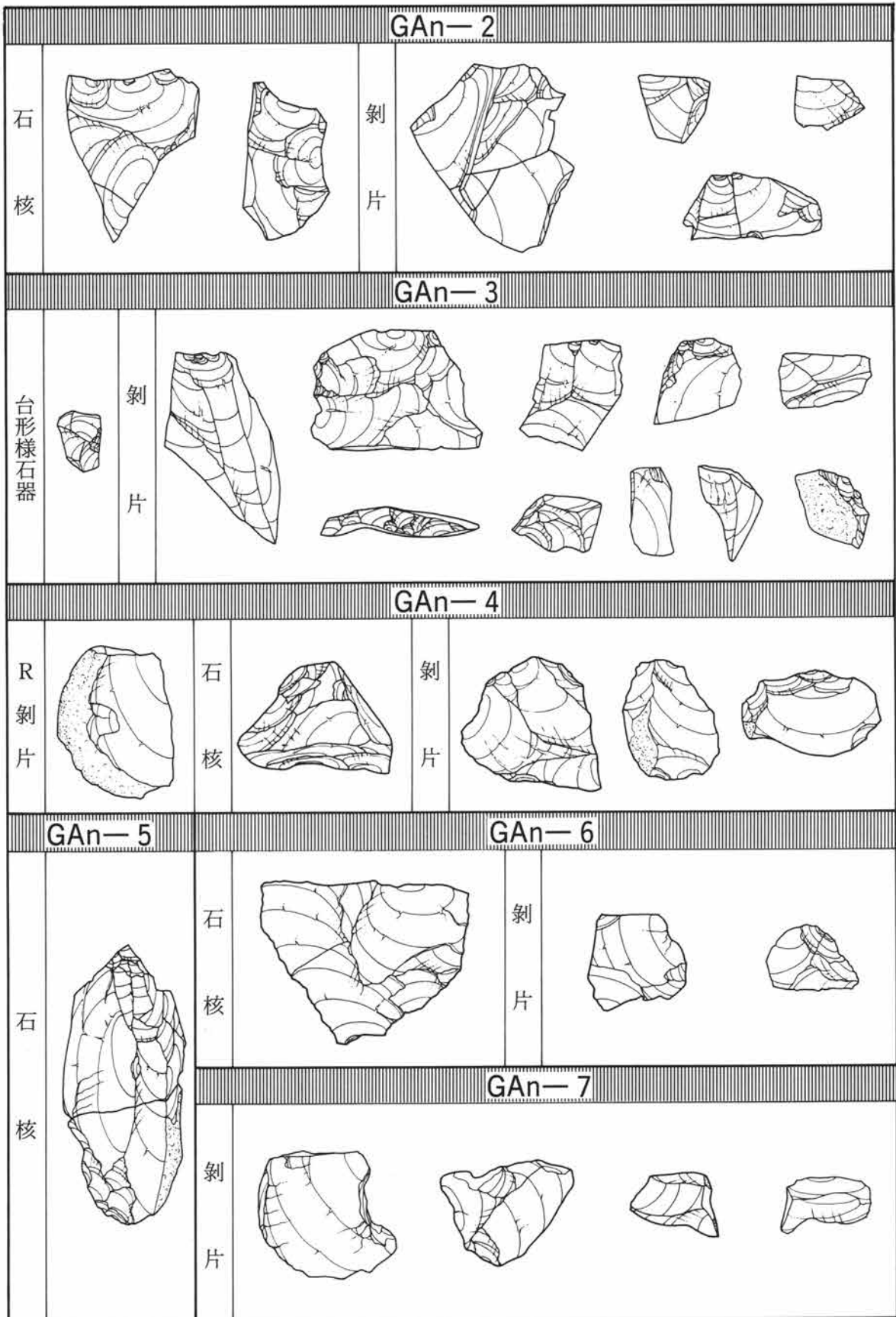
第102図 母岩別石器組成図(1)



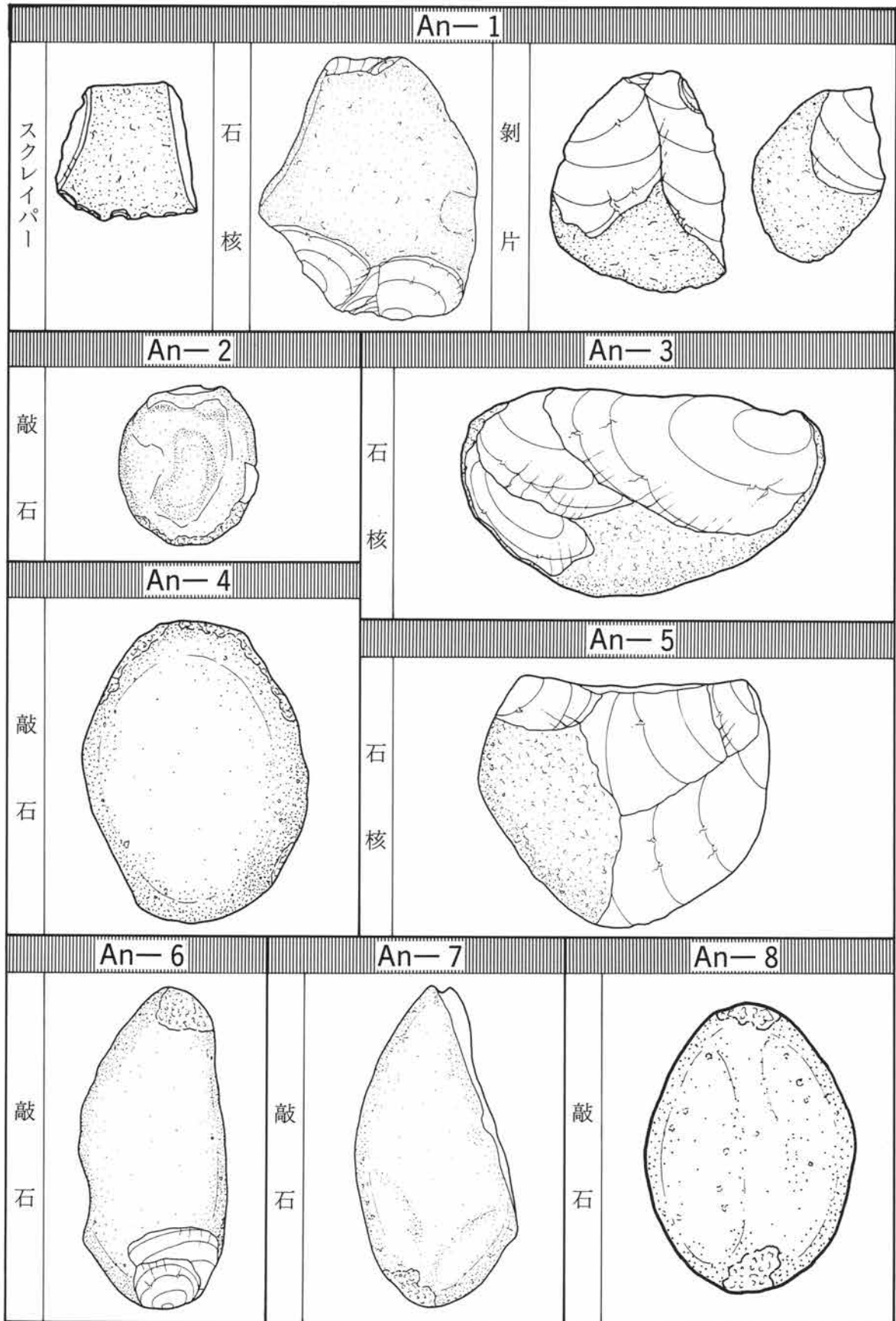
第103図 母岩別石器組成図(2)



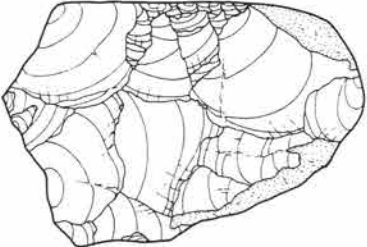
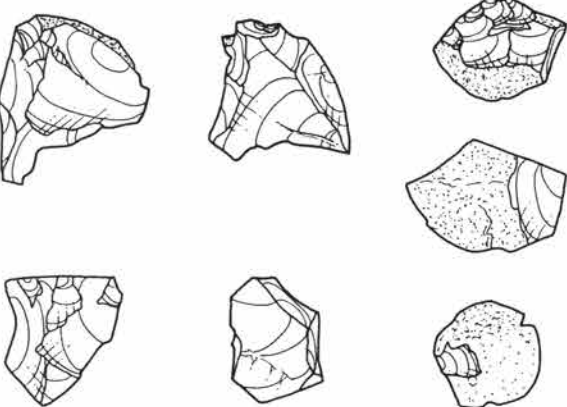

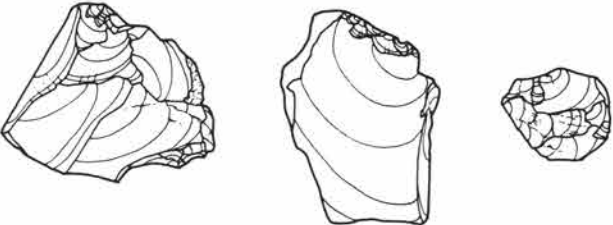
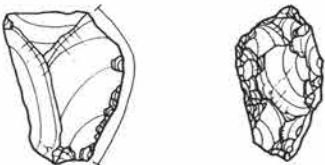
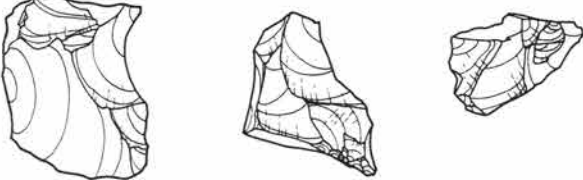




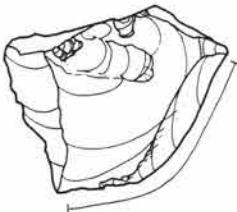

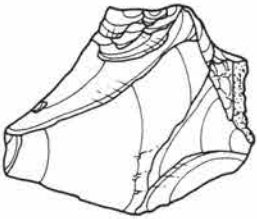

第104図 母岩別石器組成図(3)



第105図 母岩別石器組成図(4)



第106図 母岩別石器組成図(5)

Ch-1				
石核		剥片 		
Ch-2				
R剥片		台形様石器 		
Ch-3				
剥片		台形様石器 		
Ch-4	Ch-5	Ch-6	Ch-7	Ch-8
台形様石器		台形様石器	R剥片	剥片
				
Ch-9		Ch-10		Ch-11
剥片		剥片		剥片
				

第107図 母岩別石器組成図(6)

HSh— 1		HSh— 2		HSh— 3		HSh— 4	
ナイフ形石器		スクレイパー		台形様石器		楔形石器	
Ob— 1		BSh— 1		HMs— 1			
スクレイパー		ナイフ形石器		剥片			
Ms— 1		CS— 1					
敲石		敲石		台石			

第108図 母岩別石器組成図(7)

第4表 天引狐崎遺跡石器一覧表(1)

No	器種	折石材	母岩No	個体No	プロック	接合	X	Y	No	S-N	W-E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	挿図No
1	ナイフ形石器	— 黒色頁岩	BSh-1	—	外	—	21	62	1	421	452	109.21	314.52	171.15	6.8	2.4	0.7	11.38	6-1
2	ナイフ形石器	— 硬質頁岩	HSh-1	—	6	—	22	67	1	234	372	112.34	338.72	172.47	5.1	1.5	0.6	3.86	6-2
3	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	6	—	22	67	2	418	486	114.18	339.86	172.48	3.0	2.9	0.6	4.24	22-111
4	剥片	— チャート	Ch-2	—	6	—	22	67	3	439	479	114.39	339.79	172.48	4.1	2.8	1.4	13.41	17-67
5	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	6	—	22	67	4	482	493	114.82	339.93	172.34	2.5	2.3	0.4	2.44	23-116
6	剥片	— チャート	Ch-2	—	6	—	22	67	5	490	410	114.90	339.10	172.23	1.9	2.6	0.7	2.36	17-65
7	剥片	— チャート	Ch-9	—	6	—	22	68	1	428	74	114.28	340.74	172.53	4.5	3.2	1.3	18.50	18-73
8	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	3	489	409	114.89	344.09	172.53	1.1	1.6	0.4	0.87	
9	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	5	459	440	114.59	344.40	172.54	1.7	0.7	0.3	0.47	
10	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	6	409	467	114.09	344.67	172.55	1.2	1.9	0.5	1.69	
11	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	7	454	441	114.54	344.41	172.54	1.6	1.6	0.4	0.89	
12	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	22	68	8	459	495	114.59	344.95	172.55	3.3	3.0	1.0	8.24	19-83
13	台形様石器	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	9	489	482	114.89	344.82	172.54	2.8	1.8	0.6	3.54	7-17
14	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-IH	1	○	22	68	10	52	287	110.52	342.87	172.40	1.7	3.3	1.4	5.80	43-3
15	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	11	60	65	110.60	340.65	172.41	5.2	4.3	1.6	30.96	21-103
16	剥片	— 黒色安山岩	GAn-3	—	1	—	22	68	13	473	445	114.73	344.45	172.49	2.0	1.6	0.7	1.88	
17	剥片	— チャート	Ch-2	—	6	—	22	68	14	415	10	114.15	340.10	172.35	3.9	3.0	1.0	11.26	17-64
18	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-IH	1	○	22	68	15	90	235	110.90	342.35	172.30	4.5	3.7	1.0	19.30	44-2
19	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-IH	1	○	22	68	16	144	255	111.44	342.55	172.37	3.1	1.5	1.3	5.43	43-4
20	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-IH	1	○	22	68	17	196	210	111.96	342.10	172.33	4.5	4.7	1.8	41.18	43-3
21	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	18	228	212	112.28	342.12	172.39	1.4	1.1	0.4	0.39	
22	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-IH	1	○	22	68	19	204	155	112.04	341.55	172.32	7.2	5.6	2.6	115.17	44-1
23	台形様石器	— 黒色安山岩	GAn-3	—	1	—	22	68	20	198	136	111.98	341.36	172.37	2.1	1.5	0.5	1.10	7-21
24	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	21	226	131	112.26	341.31	172.42	1.4	0.9	1.0	1.23	
25	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-IH	1	○	22	68	22	228	128	112.28	341.28	172.25	5.0	8.7	2.1	61.66	43-1
26	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	23	278	120	112.78	341.20	172.43	1.4	1.0	0.2	0.32	
27	R剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	22	68	24	272	150	112.72	341.50	172.34	2.3	1.9	0.5	2.05	10-31
28	砥石	— 安山岩	—	—	1	—	22	68	25	278	263	112.78	342.63	172.35	22.8	10.0	4.0	1377.10	29-179
29	石核	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-IH	1	○	22	68	26	303	246	113.03	342.46	172.36	7.0	9.4	3.0	158.27	15-52
30	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	28	328	284	113.28	342.84	172.40	0.5	0.4	0.1	0.02	
31	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	29	326	291	113.26	342.91	172.39	0.7	0.9	0.1	0.04	
32	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	31	435	266	114.35	342.66	172.39	0.9	1.8	0.3	0.42	
33	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	32	470	287	114.70	342.87	172.37	1.3	2.7	0.6	2.73	
34	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	34	373	331	113.73	343.31	172.47	4.7	2.2	0.6	7.89	20-94
35	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	35	496	264	114.96	342.64	172.44	2.0	1.5	0.3	1.06	
36	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	36	493	404	114.93	344.04	172.46	2.4	3.7	0.6	6.04	22-108
37	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	37	457	400	114.57	344.00	172.43	1.0	1.5	0.2	0.26	
38	R剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-II	1	○	22	68	38	450	465	114.50	344.65	172.34	3.0	2.2	0.8	4.84	10-33
39	台形様石器	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	39	391	383	113.91	343.83	172.49	3.6	2.6	0.6	5.20	7-15
40	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	40	394	430	113.94	344.30	172.43	1.0	1.2	0.2	0.21	
41	碎片	— 黒色安山岩	GAn-3	—	1	—	22	68	42	303	349	113.03	343.49	172.40	0.7	1.2	0.1	0.11	
42	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	44	263	313	112.63	343.13	172.41	1.3	2.0	0.6	1.46	
43	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-IH	1	○	22	68	47	174	423	111.74	344.23	172.36	3.4	3.7	1.0	10.53	44-2
44	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	48	270	458	112.70	344.58	172.37	1.0	1.0	0.3	0.21	
45	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	68	52	230	223	112.30	342.23	172.32	1.3	0.9	0.2	0.24	
46	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-3	—	1	—	22	68	53	400	392	114.00	343.92	172.39	3.3	2.0	0.8	2.29	26-157
47	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	1	282	121	112.82	346.21	172.44	1.7	0.8	0.3	0.43	
48	碎片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	2	347	83	113.47	345.83	172.50	1.5	0.9	0.3	0.46	
49	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	3	379	123	113.79	346.23	172.49	1.7	0.5	0.4	0.34	
50	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	4	383	160	113.83	346.60	172.48	1.9	2.6	0.8	4.67	24-140
51	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	5	393	174	113.93	346.74	172.49	0.8	1.8	0.5	1.00	
52	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	6	410	168	114.10	346.68	172.50	1.1	1.2	0.2	0.34	
53	R剥片	— チャート	Ch-7	—	1	—	22	69	7	444	138	114.44	346.38	172.60	5.6	3.7	1.5	24.76	9-29
54	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	8	460	112	114.60	346.12	172.61	1.4	1.8	0.3	0.63	
55	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	9	464	95	114.64	345.95	172.54	2.0	2.8	0.5	2.01	
56	R剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	22	69	10	445	87	114.45	345.87	172.53	2.4	1.7	0.5	2.19	10-31
57	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	11	429	54	114.29	345.54	172.53	1.2	1.3	0.4	0.60	
58	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	12	477	31	114.77	345.31	172.62	2.0	3.2	0.5	3.44	24-144
59	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	13	490	48	114.90	345.48	172.56	1.3	1.3	0.4	0.78	
60	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	22	69	14	491	114	114.91	346.14	172.61	2.5	1.5	1.1	4.42	37-1
61	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	22	69	15	479	137	114.79	346.37	172.54	2.4	3.1	0.7	4.84	33-1
62	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	16	476	212	114.76	347.12	172.51	1.6	1.2	0.3	0.66	
63	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	17	454	15	114.54	345.15	172.51	1.3	1.5	0.3	0.47	
64	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1B	1	○	22	69	18	443	218	114.43	347.18	172.56	2.0	1.5	0.4	1.20	34-5
65	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1B	1	○	22	69	19	410	235	114.10	347.35	172.47	5.3	2.0	2.6	24.50	34-3
66	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	20	316	238	113.16	347.38	172.42	2.8	1.0	0.6	1.64	
67	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	22	69	22	440	133	114.40	346.33	172.59	3.3	2.4	0.9	6.76	19-83
68	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	23	456	136	114.56	346.36	172.49	1.4	1.2	0.5	0.85	
69	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	22	69	24	447	135	114.47	346.35	172.54	5.4	4.0	1.9	31.99	33-3
70	剥片(微細剥離)	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	25	428	101	114.28	346.01	172.46	1.8	2.1	0.8	2.56	18-77

第5表 天引狐崎遺跡石器一覽表(2)

No	器種	折石材	母岩No.	個体No.	ブ ッ ク	接合	X	Y	No	S-N	W-E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	挿図No
71	剝片	— 黑色安山岩	GAn-3	—	1	—	22	69	26	305	45	113.05	345.45	172.48	0.7	2.4	0.3	0.50	
72	剝片	— 黑色安山岩	GAn-3	—	1	—	22	69	27	451	161	114.51	346.61	172.47	1.0	5.8	0.9	4.25	27-171
73	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	29	449	6	114.49	345.06	172.51	1.9	3.1	0.6	3.09	20-91
74	碎片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	30	455	62	114.55	345.62	172.43	1.2	1.5	0.8	0.80	
75	石核	— 安山岩	An-5	—	1	—	22	69	32	414	120	114.14	346.20	172.41	8.0	9.8	5.0	510.40	16-55
76	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	22	69	38	234	249	112.34	347.49	172.33	3.0	2.9	0.7	6.06	21-97
77	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	1	○	22	69	39	439	66	114.39	345.66	172.34	2.6	3.3	1.1	11.75	25-145
78	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	1	282	420	117.82	339.20	172.23	2.3	2.2	1.4	7.02	22-107
79	台形様石器	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	2	271	122	117.71	336.22	172.29	2.4	1.8	0.5	2.42	7-14
80	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	6	—	23	67	3	8	456	115.08	339.56	172.35	2.2	1.5	0.7	1.96	
81	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	4	488	364	119.88	338.64	172.25	2.1	1.9	0.6	1.85	
82	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	5	458	364	119.58	338.64	172.30	2.3	2.6	0.6	2.43	25-148
83	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	6	428	376	119.28	338.76	172.26	1.7	1.9	0.8	2.60	
84	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	5	○	23	67	7	412	338	119.12	338.38	172.27	3.4	2.6	1.5	11.61	45-1
85	台形様石器	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	8	380	332	118.80	338.32	172.17	3.2	1.9	0.8	3.69	6-9
86	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	9	456	314	119.56	338.14	172.17	3.7	2.2	0.9	7.17	22-105
87	敲石	— 結晶片岩	CS-1	—	5	—	23	67	11	288	282	117.88	337.82	172.10	13.8	5.3	3.4	324.70	28-173
88	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	14	426	292	119.26	337.92	172.03	2.0	1.4	0.4	1.03	
89	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	16	390	264	118.90	337.64	172.03	2.8	2.0	0.4	2.73	23-126
90	碎片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	17	349	291	118.49	337.91	172.07	0.9	0.7	0.2	0.12	
91	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	18	344	299	118.44	337.99	172.06	3.0	1.4	0.4	1.31	
92	碎片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	19	360	228	118.60	337.28	172.02	1.9	1.1	0.3	0.38	
93	碎片	— チャート	Ch-12	—	5	—	23	67	20	354	226	118.54	337.26	172.02	1.6	1.1	0.8	1.03	
94	碎片	— チャート	Ch-2	—	5	○	23	67	21	344	206	118.44	337.06	171.97	1.5	1.0	0.6	0.51	17-71
95	剝片	— チャート	Ch-2	—	5	○	23	67	22	356	210	118.56	337.10	172.03	2.0	1.6	1.1	3.95	17-71
96	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	23	388	188	118.88	336.88	172.19	2.9	4.5	1.0	12.64	18-81
97	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	24	358	160	118.58	336.60	172.05	1.4	2.0	0.5	1.24	
98	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	5	○	23	67	25	441	174	119.41	336.74	172.08	3.8	3.2	0.8	17.53	45-2
99	碎片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	5	—	23	67	26	446	50	119.46	335.50	172.02	1.2	1.0	0.3	0.32	
100	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	5	○	23	67	27	355	110	118.55	336.10	172.11	3.6	2.4	1.4	9.84	45-1
101	敲石	— 安山岩	An-4	—	5	—	23	67	28	406	264	119.06	337.64	172.03	10.5	7.8	3.1	333.50	28-177
102	台形様石器	— チャート	Ch-5	—	6	—	23	67	30	3	488	115.03	339.88	172.29	3.2	1.9	0.7	4.06	6-5
103	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-3	—	5	—	23	67	31	357	104	118.57	336.04	172.03	3.4	2.9	1.2	14.48	27-163
104	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	23	68	3	270	499	117.70	344.99	172.61	1.1	2.0	0.5	2.19	36-3
105	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	68	4	98	408	115.98	344.08	172.57	2.2	2.2	1.1	4.22	25-151
106	碎片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	5	102	430	116.02	344.30	172.61	1.3	2.4	0.4	0.97	
107	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	6	83	454	115.83	344.54	172.53	3.0	2.0	0.6	3.70	23-123
108	碎片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	7	69	455	115.69	344.55	172.61	1.5	0.8	0.1	0.21	
109	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	68	8	61	480	115.61	344.80	172.53	3.2	2.6	0.9	5.16	25-145
110	碎片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	9	54	458	115.54	344.58	172.55	1.4	1.8	0.5	0.90	
111	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	68	10	12	498	115.12	344.98	172.53	2.4	4.5	1.2	11.51	25-151
112	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	11	4	459	115.04	344.59	172.61	2.2	1.9	0.4	1.39	
113	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	12	32	424	115.32	344.24	172.58	2.2	1.9	0.3	0.80	
114	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	14	13	390	115.13	343.90	172.53	1.8	1.5	0.5	1.38	
115	碎片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	15	20	497	115.20	344.97	172.51	1.2	1.6	0.8	0.77	
116	台形様石器	— チャート	Ch-3	—	1	—	23	68	16	278	471	117.78	344.71	172.57	3.0	1.7	0.6	2.78	6-3
117	台形様石器	— 黑色安山岩	GAn-1	—	7	—	23	68	17	268	74	117.68	340.74	172.25	3.4	1.8	0.6	3.18	7-13
118	敲石	— 安山岩	An-2	—	7	—	23	68	22	395	247	118.95	342.47	172.34	6.8	5.9	2.0	99.39	28-176
119	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	7	—	23	68	24	366	386	118.66	343.86	172.45	3.0	3.6	0.7	8.32	21-101
120	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	7	○	23	68	25	372	417	118.72	344.17	172.46	2.3	1.9	0.3	1.63	20-89
121	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	27	144	445	116.44	344.45	172.48	2.1	1.8	0.6	2.10	24-137
122	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	30	25	406	115.25	344.06	172.39	2.2	2.9	1.0	4.54	
123	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	31	15	436	115.15	344.36	172.38	2.5	2.5	0.7	3.52	18-78
124	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	32	48	470	115.48	344.70	172.43	2.5	2.6	0.9	5.34	21-104
125	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	68	33	74	497	115.74	344.97	172.39	2.5	1.6	0.7	2.28	
126	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	1	44	92	115.44	345.92	172.68	2.5	2.0	0.4	1.97	23-128
127	剝片	— 黑色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	2	120	111	116.20	346.11	172.66	3.0	1.5	0.9	4.42	27-164
128	剝片	— 黑色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	3	133	136	116.33	346.36	172.65	2.5	3.2	0.6	3.02	26-155
129	剝片	— 黑色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	5	138	171	116.38	346.71	172.65	6.4	3.5	1.2	26.64	26-158
130	剝片	— 黑色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	6	152	178	116.52	346.78	172.66	1.9	2.9	1.3	6.85	27-162
131	剝片	— 黑色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	7	209	192	117.09	346.92	172.67	2.3	3.3	0.9	6.60	26-159
132	碎片	— 黑色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	8	128	208	116.28	347.08	172.65	2.3	0.6	0.6	0.81	
133	剝片	— 黑色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	9	75	210	115.75	347.10	172.70	2.0	3.2	0.5	3.01	27-161
134	剝片	— 黑色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	10	117	297	116.17	347.97	172.67	1.6	1.6	0.6	2.25	
135	剝片	○ 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	11	123	499	116.23	349.99	172.50	2.1	1.4	0.5	1.08	
136	碎片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	12	208	483	117.08	349.83	172.59	1.4	0.7	0.4	0.29	
137	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	13	154	154	116.54	346.54	172.64	2.0	1.5	0.6	1.51	
138	剝片	— チャート	Ch-1	—	1	○	23	69	14	278	432	117.78	349.32	172.61	3.2	2.2	1.0	5.77	16-58
139	碎片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	15	207	427	117.07	349.27	172.59	1.3	2.3	0.4	1.03	
140	剝片	— 黑色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	16	188	420	116.88	349.20	172.62	3.0	2.3	0.9	3.55	

第6表 天引狐崎遺跡石器一覧表(3)

No.	器種	折石材	母岩No	個体No	フック	接合	X	Y	No.	S-N	W-E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	挿図No
141	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	17	196	379	116.96	348.79	172.64	1.0	1.4	0.7	0.88	
142	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	18	190	362	116.90	348.62	172.57	1.1	0.6	0.4	0.30	
143	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	19	170	382	116.70	348.82	172.56	3.0	1.7	0.9	4.32	24-142
144	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	20	172	360	116.72	348.60	172.55	1.3	0.8	0.4	0.37	
145	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	21	160	382	116.60	348.82	172.61	1.2	1.3	0.2	0.34	
146	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	22	147	408	116.47	349.08	172.57	1.0	1.9	0.9	1.33	
147	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	23	116	412	116.16	349.12	172.62	1.2	2.7	0.7	1.59	
148	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	24	111	388	116.11	348.88	172.60	1.2	1.5	0.2	0.26	
149	剝片	— チャート	Ch-1	—	1	○	23	69	25	144	358	116.44	348.58	172.54	2.6	2.0	0.6	2.35	16-60
150	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	27	10	465	115.10	349.65	172.45	2.2	1.5	0.5	1.53	
151	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	28	28	440	115.28	349.40	172.51	1.7	0.8	0.2	0.29	
152	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1E	1	○	23	69	29	83	367	115.83	348.67	172.52	2.2	2.9	0.7	4.12	37-5
153	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	30	120	378	116.20	348.78	172.53	1.2	1.6	0.2	0.37	
154	石核	— 黒色安山岩	GAn-5	—	1	—	23	69	31	122	362	116.22	348.62	172.61	4.0	4.1	1.6	39.36	12-43
155	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	32	178	322	116.78	348.22	172.56	1.3	1.6	0.5	1.38	
156	剝片	— 黒色安山岩	GAn-7	—	1	—	23	69	33	167	304	116.67	348.04	172.65	1.9	2.9	0.5	2.92	27-166
157	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	34	184	318	116.84	348.18	172.66	3.4	1.6	1.3	5.36	21-96
158	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	35	200	291	117.00	347.91	172.66	3.7	3.2	2.8	18.45	19-86
159	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	36	197	287	116.97	347.87	172.65	2.5	1.8	1.1	3.52	23-118
160	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	37	221	323	117.21	348.23	172.59	2.3	1.6	0.5	2.01	23-125
161	碎片	— チャート	Ch-1	—	1	○	23	69	38	230	320	117.30	348.20	172.60	1.5	0.8	0.6	0.61	16-62
162	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	39	244	333	117.44	348.33	172.68	1.5	2.7	0.5	2.31	
163	碎片	— 黒色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	40	200	199	117.00	346.99	172.67	2.6	1.0	0.5	0.90	27-168
164	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	41	270	313	117.70	348.13	172.61	1.6	1.7	0.3	0.80	
165	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	42	303	310	118.03	348.10	172.67	2.1	2.1	0.5	2.58	24-138
166	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	43	312	302	118.12	348.02	172.67	1.3	2.5	0.7	1.96	21-96
167	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	44	233	272	117.33	347.72	172.59	0.8	1.4	0.2	0.44	
168	台形様石器	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	45	264	258	117.64	347.58	172.66	4.6	1.9	0.7	5.11	7-11
169	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	46	282	248	117.82	347.48	172.65	1.3	2.5	0.9	2.24	
170	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	47	288	250	117.88	347.50	172.66	1.9	1.1	0.5	0.97	
171	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	48	303	186	118.03	346.86	172.67	3.4	3.5	0.5	4.77	21-102
172	碎片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	49	121	189	116.21	346.89	172.65	1.0	2.3	0.2	0.55	24-143
173	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1D	1	○	23	69	50	279	138	117.79	346.38	172.64	1.2	2.2	1.1	5.91	35-4
174	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	51	241	143	117.41	346.43	172.62	1.1	0.7	0.2	0.15	
175	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	52	234	144	117.34	346.44	172.62	1.9	2.5	0.8	3.67	22-110
176	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	53	218	204	117.18	347.04	172.69	1.6	1.9	0.5	1.71	
177	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	54	210	197	117.10	346.97	172.63	1.1	1.5	0.3	0.70	
178	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	55	168	218	116.68	347.18	172.61	1.6	2.5	0.4	1.77	33-1
179	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	56	211	230	117.11	347.30	172.59	1.8	1.0	0.2	0.43	
180	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	57	186	143	116.86	346.43	172.64	3.3	4.6	1.2	17.33	20-92
181	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	58	171	248	116.71	347.48	172.57	7.4	3.1	1.6	33.92	19-85
182	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	59	159	249	116.59	347.49	172.64	4.2	4.0	2.9	36.64	20-90
183	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	60	158	229	116.58	347.29	172.55	1.2	0.5	0.1	0.10	
184	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	61	144	270	116.44	347.70	172.62	1.6	2.0	0.7	1.76	
185	碎片	— 黒色安山岩	GAn-7	—	1	—	23	69	62	130	247	116.30	347.47	172.65	1.2	0.9	0.4	0.49	
186	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	63	124	254	116.24	347.54	172.56	1.6	2.1	0.3	1.15	20-89
187	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	64	128	276	116.28	347.76	172.56	1.9	1.2	0.2	0.55	
188	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	65	127	286	116.27	347.86	172.62	1.9	2.3	0.7	2.91	24-135
189	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1G	1	○	23	69	66	112	291	116.12	347.91	172.62	3.7	3.0	1.2	16.69	42-1
190	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	67	93	281	115.93	347.81	172.61	2.9	1.4	0.6	2.08	
191	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	68	88	310	115.88	348.10	172.61	2.0	2.7	0.5	1.81	23-120
192	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	69	60	284	115.60	347.84	172.59	2.6	1.9	0.4	1.72	24-132
193	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	70	70	268	115.70	347.68	172.61	0.9	2.4	0.1	0.40	
194	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	71	44	300	115.44	348.00	172.60	2.1	2.3	0.6	3.84	24-131
195	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	72	20	286	115.20	347.86	172.56	3.2	2.7	0.6	3.79	22-109
196	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	73	23	241	115.23	347.41	172.51	1.2	1.3	0.6	0.90	
197	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	74	17	222	115.17	347.22	172.51	4.7	3.3	1.6	21.23	19-84
198	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	75	38	217	115.38	347.17	172.51	2.2	2.2	0.5	2.46	24-143
199	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	76	80	118	115.80	346.18	172.51	0.9	1.3	0.7	0.49	
200	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	77	102	233	116.02	347.33	172.61	1.8	2.6	1.0	4.32	13-45
201	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	78	102	204	116.02	347.04	172.62	3.5	3.1	0.7	5.34	39-1
202	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	79	120	198	116.20	346.98	172.54	4.0	3.4	3.1	26.21	20-88
203	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	80	135	216	116.35	347.16	172.62	1.7	2.3	0.5	2.47	
204	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	81	116	186	116.16	346.86	172.55	0.9	1.0	0.4	0.34	
205	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1D	1	○	23	69	82	151	205	116.51	347.05	172.58	1.9	2.5	1.3	6.42	35-2
206	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	23	69	83	151	202	116.51	347.02	172.58	1.6	3.0	1.0	4.98	36-1
207	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	84	156	192	116.56	346.92	172.55	1.1	1.4	0.2	0.29	
208	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1D	1	○	23	69	85	171	169	116.71	346.69	172.55	5.6	3.5	1.2	16.77	35-1
209	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1G	1	○	23	69	86	170	154	116.70	346.54	172.56	2.1	3.2	0.3	2.46	42-3
210	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	87	162	150	116.62	346.50	172.56	1.1	0.6	0.1	0.09	

第7表 天引狐崎遺跡石器一覽表(4)

No.	器種	折石材	母岩No.	個体No.	ブロック	接合	X	Y	No.	S-N	W-E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	挿図No.
211	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1B	1	○	23	69	88	210	120	117.10	346.20	172.58	1.6	2.1	1.6	4.03	34-4
212	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	89	207	95	117.07	345.95	172.56	2.3	1.2	0.3	0.99	
213	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	90	165	122	116.65	346.22	172.54	1.5	2.5	0.3	1.23	40-1
214	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	91	148	125	116.48	346.25	172.54	4.0	1.9	1.6	16.05	40-5
215	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	23	69	92	143	150	116.43	346.50	172.56	3.3	4.2	1.2	14.06	37-1
216	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	93	122	155	116.22	346.55	172.60	1.8	1.1	0.1	0.27	
217	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	94	114	126	116.14	346.26	172.52	1.9	3.0	0.5	2.28	39-5
218	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	95	102	133	116.02	346.33	172.54	1.3	1.3	0.3	0.48	
219	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	96	100	112	116.00	346.12	172.52	1.7	2.1	0.2	0.89	
220	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	97	108	180	116.08	346.80	172.65	0.7	1.5	0.2	0.33	
221	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	98	116	90	116.16	345.90	172.62	2.1	1.8	0.4	1.31	
222	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	99	130	78	116.30	345.78	172.63	1.6	4.0	1.9	7.72	33-3
223	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	100	86	94	115.86	345.94	172.62	1.0	1.2	0.5	0.65	
224	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	101	94	27	115.94	345.27	172.54	3.5	1.8	0.6	2.58	24-139
225	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	102	87	133	115.87	346.33	172.60	3.1	1.5	0.6	1.95	
226	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1D	1	○	23	69	103	82	148	115.82	346.48	172.52	1.4	1.4	0.5	1.26	35-3
227	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	104	52	184	115.52	346.84	172.59	3.0	1.8	0.6	2.76	24-136
228	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1B	1	○	23	69	105	36	168	115.36	346.68	172.58	2.9	2.1	0.5	3.50	34-1
229	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	106	33	163	115.33	346.63	172.59	1.3	1.7	0.3	0.60	
230	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	107	32	152	115.32	346.52	172.60	2.4	0.7	0.8	1.24	
231	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	108	4	173	115.04	346.73	172.51	2.0	1.2	0.3	0.86	
232	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1B	1	○	23	69	109	47	129	115.47	346.29	172.53	5.0	2.6	1.6	20.03	34-2
233	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	110	105	148	116.05	346.48	172.65	0.6	1.1	0.4	0.23	
234	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	111	30	132	115.30	346.32	172.53	1.0	1.2	0.3	0.30	
235	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	112	32	120	115.32	346.20	172.52	0.9	0.9	0.2	0.27	
236	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	113	16	126	115.16	346.26	172.60	1.9	0.9	0.5	0.72	
237	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	114	7	123	115.07	346.23	172.54	1.6	1.0	0.3	0.43	
238	剝片	— チャート	Ch-1	—	1	○	23	69	115	493	147	119.93	346.47	172.70	2.7	3.4	1.2	5.70	16-57
239	石核	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1E	1	○	23	69	116	103	188	116.03	346.88	172.53	1.2	6.0	3.4	27.86	11-39
240	石核	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1E	1	○	23	69	117	111	188	116.11	346.88	172.52	1.3	4.7	3.2	23.14	11-39
241	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	118	121	208	116.21	347.08	172.52	6.7	4.2	2.4	57.97	39-9
242	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	119	131	217	116.31	347.17	172.54	6.2	5.1	1.2	38.28	39-2
243	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1D	1	○	23	69	120	136	190	116.36	346.90	172.55	3.5	2.8	1.0	9.04	35-8
244	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	23	69	121	140	191	116.40	346.91	172.55	4.4	4.1	1.7	18.26	15-53
245	石核	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	23	69	122	141	187	116.41	346.87	172.51	4.8	7.0	2.3	68.23	15-53
246	剝片(微細剝離)	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	123	58	204	115.58	347.04	172.51	2.6	2.0	0.8	3.65	18-75
247	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	23	69	124	68	203	115.68	347.03	172.51	3.2	2.5	0.8	5.98	36-5
248	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	125	57	160	115.57	346.60	172.48	0.8	0.8	0.2	0.14	
249	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	126	57	143	115.57	346.43	172.45	2.5	1.0	0.6	2.22	
250	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	127	113	185	116.13	346.85	172.52	0.7	0.4	0.3	0.09	
251	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	128	113	150	116.13	346.50	172.47	1.0	1.1	0.2	0.26	
252	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	129	90	104	115.90	346.04	172.54	2.5	1.1	0.5	1.24	
253	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	130	77	79	115.77	345.79	172.50	1.2	0.7	0.3	0.39	
254	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	131	143	146	116.43	346.46	172.54	3.1	3.8	1.1	14.67	40-2
255	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	132	141	157	116.41	346.57	172.50	0.9	1.4	0.3	0.64	
256	R剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	23	69	133	143	173	116.43	346.73	172.50	3.3	3.5	0.6	8.23	9-30
257	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	134	161	160	116.61	346.60	172.50	9.0	7.0	1.7	142.25	33-5
258	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	23	69	135	170	159	116.70	346.59	172.51	5.8	5.2	0.9	33.57	36-6
259	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	23	69	136	175	145	116.75	346.45	172.50	1.1	1.5	0.9	1.23	36-6
260	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	137	160	184	116.60	346.84	172.55	1.2	1.3	0.2	0.31	
261	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	138	137	222	116.37	347.22	172.52	1.9	1.2	0.3	0.66	
262	碎片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1E	1	○	23	69	139	150	248	116.50	347.48	172.53	1.5	1.7	0.7	1.54	37-5
263	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	140	190	172	116.90	346.72	172.55	2.3	1.1	0.4	0.96	
264	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	141	47	373	115.47	348.73	172.45	3.2	2.1	0.5	2.80	
265	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	142	141	323	116.41	348.23	172.50	2.3	1.6	0.6	2.11	23-125
266	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1G	1	○	23	69	143	174	326	116.74	348.26	172.53	5.0	4.1	1.6	41.77	42-1
267	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	144	193	313	116.93	348.13	172.60	1.0	2.9	0.8	2.11	21-96
268	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	145	207	287	117.07	347.87	172.59	0.7	1.0	0.4	0.35	
269	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	146	210	381	117.10	348.81	172.25	1.4	2.6	0.9	2.90	
270	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	147	242	340	117.42	348.40	172.62	0.9	1.2	0.8	1.12	
271	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	148	273	331	117.73	348.31	172.61	0.8	0.8	0.6	0.87	
272	石核	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1B	1	○	23	69	149	283	329	117.83	348.29	172.54	3.7	9.7	6.5	278.00	14-49
273	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	150	105	168	116.05	346.68	172.65	1.6	0.8	0.2	0.27	
274	石核	— 黒色安山岩	GAn-5	—	1	—	23	69	151	281	293	117.81	347.93	172.58	4.9	2.3	4.0	59.53	12-43
275	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	152	96	266	115.96	347.66	172.50	2.0	2.5	0.6	2.71	24-134
276	石核	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	153	188	188	116.88	346.88	172.52	3.9	6.3	2.5	62.31	13-45
277	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	154	211	168	117.11	346.68	172.53	1.4	5.5	1.2	9.27	39-6
278	石核	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1A	1	○	23	69	155	180	177	116.80	346.77	172.52	6.0	10.0	4.5	207.80	15-51
279	石核	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1G	1	○	23	69	156	168	172	116.68	346.72	172.49	3.9	7.0	4.3	124.88	14-50
280	石核	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1D	1	○	23	69	157	168	175	116.68	346.75	172.50	3.5	5.6	2.3	63.35	10-37

第8表 天引狐崎遺跡石器一覽表(5)

No.	器種	折石材	母岩No.	個体No.	フック	接合	X	Y	No.	S	N	W	E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	挿図No.
281	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	158	147	183	116.47	346.83	172.50	9.1	7.1	2.5	137.65	40-4		
282	石核	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1D	1	○	23	69	159	135	176	116.35	346.76	172.49	4.7	6.6	2.0	58.16	13-46		
283	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	160	117	175	116.17	346.75	172.49	9.0	6.0	2.3	86.31	39-8		
284	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	161	123	165	116.23	346.65	172.49	8.5	7.5	3.7	163.82	40-3		
285	R剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	162	184	65	116.84	345.65	172.48	1.3	1.5	0.4	1.35	10-35		
286	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	163	236	95	117.36	345.95	172.52	1.5	2.0	1.0	2.38			
287	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	164	278	133	117.78	346.33	172.60	2.2	1.3	0.9	2.99			
288	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	165	162	182	116.62	346.82	172.50	1.8	1.1	0.5	1.00			
289	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	166	68	78	115.68	345.78	172.65	0.9	0.4	0.2	0.10			
290	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	167	222	276	117.22	347.76	172.51	1.9	1.3	0.5	0.78			
291	碎片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	168	156	421	116.56	349.21	172.47	3.0	2.0	0.4	2.10	24-130		
292	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	169	188	407	116.88	349.07	172.48	1.5	2.3	0.7	2.30			
293	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	170	242	439	117.42	349.39	172.50	2.6	1.9	0.6	3.58			
294	剥片	— チャート	Ch-1	—	1	○	23	69	171	257	405	117.57	349.05	172.49	2.1	2.0	0.9	4.66	16-61		
295	剥片	— 黒色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	172	53	97	115.53	345.97	172.65	5.1	5.6	1.2	32.24	26-156		
296	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	173	402	357	119.02	348.57	172.47	2.2	1.9	0.5	2.69			
297	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	174	376	241	118.76	347.41	172.50	2.3	2.5	1.2	7.07	21-98		
298	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	175	241	317	117.41	348.17	172.46	0.9	0.8	0.3	0.26			
299	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1E	1	○	23	69	176	168	264	116.68	347.64	172.65	4.6	6.5	1.4	41.93	37-3		
300	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	177	212	306	117.12	348.06	172.48	0.8	0.8	0.1	0.09			
301	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	178	172	300	116.72	348.00	172.48	1.8	2.0	0.2	0.98			
302	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	179	135	311	116.35	348.11	172.42	2.0	1.3	0.4	1.11			
303	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	180	123	278	116.23	347.78	172.44	1.5	3.0	0.5	2.30	25-150		
304	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	181	97	261	115.97	347.61	172.38	0.8	1.2	0.6	0.68			
305	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	182	105	254	116.05	347.54	172.39	1.9	1.3	0.3	0.83			
306	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	183	156	269	116.56	347.69	172.46	2.0	3.0	0.9	5.03	20-93		
307	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	184	182	259	116.82	347.59	172.49	2.0	1.6	0.5	1.22	23-119		
308	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	185	188	244	116.88	347.44	172.50	1.1	0.3	0.1	0.04			
309	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	186	196	246	116.96	347.46	172.45	2.0	3.0	0.5	2.22	18-76		
310	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	187	216	209	117.16	347.09	172.46	1.6	1.2	0.4	0.69			
311	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	188	179	226	116.79	347.26	172.45	0.9	0.9	0.3	0.53			
312	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	189	170	234	116.70	347.34	172.50	0.8	0.7	0.1	0.13			
313	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	190	167	231	116.67	347.31	172.49	0.8	0.7	0.2	0.13			
314	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	191	137	224	116.37	347.24	172.50	1.2	1.5	0.2	0.54			
315	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	192	126	214	116.26	347.14	172.48	1.6	1.5	0.6	1.00			
316	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	193	136	192	116.36	346.92	172.48	2.5	3.7	1.0	9.57	39-3		
317	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	194	125	181	116.25	346.81	172.49	1.0	2.2	0.4	0.63			
318	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	195	117	222	116.17	347.22	172.47	1.3	0.8	0.2	0.26			
319	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	196	152	175	116.52	346.75	172.41	1.9	1.0	0.3	0.46			
320	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	197	182	195	116.82	346.95	172.44	2.2	2.8	1.0	3.81	23-124		
321	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	198	177	182	116.77	346.82	172.49	1.2	1.6	0.5	0.87	39-9		
322	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	199	171	168	116.71	346.68	172.65	1.4	0.6	0.3	0.20			
323	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	200	185	171	116.85	346.71	172.51	0.9	1.1	0.3	0.28			
324	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	201	175	155	116.75	346.55	172.50	1.6	1.2	0.5	0.82			
325	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	202	165	151	116.65	346.51	172.49	0.6	0.8	0.2	0.13			
326	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	203	143	149	116.43	346.49	172.47	2.4	2.6	0.8	4.90	39-5		
327	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	204	137	142	116.37	346.42	172.48	1.0	2.0	0.6	1.13			
328	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	205	148	134	116.48	346.34	172.65	0.6	0.9	0.4	0.16			
329	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	206	158	131	116.58	346.31	172.48	2.7	1.3	0.5	1.73	33-3		
330	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	207	143	115	116.43	346.15	172.45	1.8	3.0	1.0	4.04	25-146		
331	台形様石器	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	208	89	163	115.89	346.63	172.40	2.6	1.1	0.5	1.44	6-10		
332	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1D	1	○	23	69	209	89	98	115.89	345.98	172.45	2.3	1.9	0.6	1.89	35-8		
333	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	210	36	74	115.36	345.74	172.40	1.3	0.7	0.2	0.21			
334	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	211	14	222	115.14	347.22	172.35	1.8	2.5	0.7	4.20	22-112		
335	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1D	1	○	23	69	212	30	240	115.30	347.40	172.44	1.3	2.7	0.5	1.62	35-7		
336	敲石	— 安山岩	An-6	—	1	—	23	69	213	230	325	117.30	348.25	172.53	16.2	8.5	5.8	1030.40	28-172		
337	石核	— 安山岩	An-3	—	1	—	23	69	214	168	183	116.68	346.83	172.48	5.3	9.5	4.0	226.40	15-54		
338	敲石	— 安山岩	An-7	—	1	—	23	69	215	190	40	116.90	345.40	172.45	16.2	8.0	6.4	1083.60	28-174		
339	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	216	129	397	116.29	348.97	172.37	1.6	0.8	0.2	0.15			
340	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	217	210	353	117.10	348.53	172.65	0.4	0.6	0.1	0.03			
341	剥片	— チャート	Ch-2	—	1	—	23	69	220	297	398	117.97	348.98	172.43	1.8	1.3	0.5	1.07	17-70		
342	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1G	1	○	23	69	221	242	326	117.42	348.26	172.45	2.0	1.8	0.5	1.61	42-2		
343	剥片	— チャート	Ch-1	—	1	○	23	69	222	314	360	118.14	348.60	172.36	2.8	3.1	1.2	7.39	16-59		
344	剥片	— チャート	Ch-1	—	1	○	23	69	223	376	362	118.76	348.62	172.36	2.1	2.0	0.5	2.10	16-63		
345	碎片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	224	135	410	116.35	349.10	172.65	1.7	1.4	0.3	0.63	23-121		
346	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	226	143	384	116.43	348.84	172.65	0.7	2.2	0.6	0.89			
347	碎片	— 黒色安山岩	GAn-3	—	1	—	23	69	227	161	400	116.61	349.00	172.65	1.6	0.7	0.4	0.39			
348	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	228	62	425	115.62	349.25	172.65	0.7	0.5	0.2	0.05			
349	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	229	49	460	115.49	349.60	172.65	0.6	0.6	0.3	0.06			
350	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	230	85	406	115.85	349.06	172.65	1.0	1.5	0.4	0.44			

第9表 天引狐崎遺跡石器一覽表(6)

No.	器種	折石材	母岩No	個体No	フロッグ	接合	X	Y	No	S-N	W-E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	挿図No
351	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	231	190	164	116.90	346.64	172.42	1.9	2.2	0.8	2.29	
352	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1C	1	○	23	69	232	180	192	116.80	346.92	172.35	2.9	2.1	1.3	4.80	39-4
353	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	233	160	178	116.60	346.78	172.41	1.3	1.1	0.7	1.23	
354	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	234	140	215	116.40	347.15	172.42	1.7	1.2	0.4	0.74	
355	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	235	62	23	115.62	345.23	172.39	2.1	1.6	0.4	1.30	
356	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	237	151	8	116.51	345.08	172.38	2.0	1.6	0.6	1.16	
357	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	238	73	395	115.73	348.95	172.65	0.9	1.1	0.3	0.28	
358	石核	— チャート	Ch-1	—	1	○	23	69	239	348	384	118.48	348.84	172.35	6.4	9.3	7.0	495.60	14-48
359	台形様石器	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	240	156	180	116.56	346.80	172.27	4.8	2.5	0.7	8.60	7-12
360	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	241	116	251	116.16	347.51	172.65	1.4	1.0	0.1	0.36	
361	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	242	95	118	115.95	346.18	172.65	3.2	2.7	0.5	5.60	23-129
362	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	243	105	90	116.05	345.90	172.65	0.5	0.8	0.1	0.07	
363	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	244	130	104	116.30	346.04	172.65	2.0	1.4	0.5	1.47	
364	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	69	245	44	178	115.44	346.78	172.65	1.1	2.6	0.9	4.10	33-3
365	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	246	48	151	115.48	346.51	172.65	1.5	1.0	0.2	0.32	
366	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	247	245	197	117.45	346.97	172.65	0.8	1.1	0.3	0.18	
367	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	248	109	160	116.09	346.60	172.65	0.6	0.7	0.2	0.06	
368	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	249	75	90	115.75	345.90	172.65	0.9	0.6	0.4	0.13	
369	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	250	90	71	115.90	345.71	172.65	0.6	0.7	0.1	0.05	
370	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	69	251	176	387	116.76	348.87	172.56	0.7	1.5	0.2	0.22	
371	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	70	1	123	27	116.23	350.27	172.49	2.8	2.7	0.5	3.47	23-127
372	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	70	2	330	29	118.30	350.29	172.59	2.2	1.2	0.6	1.87	
373	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	○	23	70	3	2	53	115.02	350.53	172.41	2.1	1.4	0.3	0.71	23-121
374	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	70	4	84	18	115.84	350.18	172.43	1.5	1.0	0.5	0.38	
375	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	70	5	294	55	117.94	350.55	172.52	2.7	2.1	0.6	3.35	23-115
376	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	1	—	23	70	6	132	39	116.32	350.39	172.49	2.2	2.6	0.6	2.40	
377	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	5	—	24	67	1	216	180	122.16	336.80	172.03	3.9	2.9	1.0	10.48	18-80
378	台形様石器	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	5	—	24	67	4	93	118	120.93	336.18	171.95	4.0	3.0	0.7	8.60	7-16
379	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	7	—	24	68	1	29	86	120.29	340.86	172.32	4.1	2.2	1.2	7.81	22-106
380	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	7	○	24	68	2	29	224	120.29	342.24	172.48	3.8	1.9	0.6	4.63	25-147
381	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	7	—	24	68	3	176	358	121.76	343.58	172.37	3.1	0.9	0.5	1.23	
382	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	7	—	24	68	4	179	382	121.79	343.82	172.36	2.3	2.3	0.6	2.31	20-95
383	台形様石器	— 珪質頁岩	HSh-3	—	7	—	24	68	5	98	263	120.98	342.63	172.40	3.4	1.5	0.5	2.72	6-7
384	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1I	2	○	24	69	1	217	422	122.17	349.22	172.73	3.2	2.4	0.7	6.58	44-6
385	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	○	24	69	2	290	420	122.90	349.20	172.68	3.3	2.3	1.0	6.03	33-4
386	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	3	303	432	123.03	349.32	172.71	2.7	2.3	0.7	4.07	41-7
387	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	4	334	376	123.34	348.76	172.70	1.1	1.9	0.4	1.05	
388	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	5	332	359	123.32	348.59	172.65	1.0	2.5	0.6	0.95	
389	剥片(微細刻線)	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1I	2	○	24	69	6	308	362	123.08	348.62	172.72	2.8	3.4	1.2	1.17	44-8
390	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1I	2	○	24	69	7	291	377	122.91	348.77	172.72	2.0	1.8	0.8	2.70	44-9
391	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	8	279	366	122.79	348.66	172.70	3.8	3.8	0.9	14.73	21-100
392	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	○	24	69	9	266	382	122.66	348.82	172.73	2.7	4.2	1.1	12.56	33-7
393	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	10	315	375	123.15	348.75	172.70	1.3	0.7	0.3	0.26	
394	石核	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	11	161	349	121.61	348.49	172.70	4.4	3.5	1.9	25.97	12-44
395	台形様石器	— チャート	Ch-4	—	2	—	24	69	12	184	360	121.84	348.60	172.69	3.4	1.3	0.6	3.21	6-6
396	碎片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	13	201	358	122.01	348.58	172.69	2.0	1.2	0.5	0.78	41-6
397	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	14	199	350	121.99	348.50	172.73	0.8	1.1	0.3	0.29	
398	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	15	199	345	121.99	348.45	172.73	3.2	1.8	0.7	3.67	41-2
399	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	16	230	341	122.30	348.41	172.69	0.9	1.1	0.4	0.40	
400	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	17	228	340	122.28	348.40	172.70	0.7	1.3	0.4	0.20	
401	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	18	229	337	122.29	348.37	172.69	2.7	2.1	0.4	1.72	23-117
402	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	○	24	69	19	214	319	122.14	348.19	172.72	2.6	1.7	0.5	2.46	45-4
403	碎片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	20	220	316	122.20	348.16	172.72	1.3	1.9	0.5	0.98	41-4
404	R剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	21	261	322	122.61	348.22	172.70	2.6	1.6	0.6	3.13	10-34
405	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	22	284	326	122.84	348.26	172.71	1.7	2.4	0.4	1.34	
406	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	23	304	311	123.04	348.11	172.69	2.0	1.5	0.5	1.31	
407	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	24	332	333	123.32	348.33	172.70	2.0	2.0	0.5	1.74	41-5
408	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1I	2	○	24	69	25	334	330	123.34	348.30	172.70	1.9	2.6	0.8	4.69	44-4
409	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	26	340	334	123.40	348.34	172.65	0.8	1.5	0.4	0.54	
410	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	27	325	378	123.25	348.78	172.70	1.1	1.0	0.3	0.26	
411	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	28	378	286	123.78	347.86	172.69	1.6	2.1	0.5	2.29	41-5
412	剥片	— 黒色安山岩	GAn-3	—	2	—	24	69	29	356	262	123.56	347.62	172.70	2.0	1.2	0.4	0.73	
413	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	○	24	69	30	346	286	123.46	347.86	172.70	1.8	2.4	0.6	1.75	33-2
414	剥片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	31	328	278	123.28	347.78	172.69	2.4	2.9	0.9	3.93	21-99
415	台形様石器	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	32	300	273	123.00	347.73	172.70	3.1	1.3	0.6	1.62	7-20
416	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	33	298	272	122.98	347.72	172.69	1.8	1.5	0.4	1.10	
417	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	34	348	264	123.48	347.64	172.70	1.7	1.1	0.3	0.46	
418	台形様石器	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	35	266	286	122.66	347.86	172.70	2.8	1.2	0.6	2.17	7-19
419	剥片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1I	2	○	24	69	36	213	302	122.13	348.02	172.70	1.5	2.2	1.1	2.80	44-9
420	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	37	209	286	122.09	347.86	172.70	1.1	2.6	0.3	0.61	

第10表 天引狐崎遺跡石器一覽表 (7)

No.	器種	折石材	母岩No.	個体No.	フック	接合	X	Y	No.	S-N	W-E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	挿図No.
421	台形椽石器	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	38	203	264	122.03	347.64	172.69	2.7	1.4	0.6	2.25	7-22
422	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	39	251	243	122.51	347.43	172.70	1.4	1.3	0.5	0.86	
423	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	40	241	243	122.41	347.43	172.69	0.9	1.0	0.2	0.21	
424	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	41	104	300	121.04	348.00	172.70	0.8	2.4	0.5	0.94	
425	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	42	140	207	121.40	347.07	172.70	1.7	1.8	0.3	1.22	
426	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	43	196	166	121.96	346.66	172.69	1.0	1.7	0.3	0.51	
427	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	44	295	314	122.95	348.14	172.69	1.7	1.7	0.4	0.74	
428	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	45	305	176	123.05	346.76	172.56	2.0	1.3	0.4	0.64	
429	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	46	344	199	123.44	346.99	172.51	0.9	1.4	0.3	0.23	
430	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	47	378	282	123.78	347.82	172.69	1.9	1.6	0.3	0.77	
431	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	48	338	252	123.38	347.52	172.70	1.2	0.7	0.2	0.15	
432	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	49	366	173	123.66	346.73	172.67	2.0	2.6	1.0	3.08	
433	石核	— 安山岩	An-1	—	3	○	24	69	50	456	92	124.56	345.92	172.14	18.4	15.5	6.5	2165.00	13-47
434	剝片	— 安山岩	An-1	—	3	○	24	69	51	430	80	124.30	345.80	172.16	4.7	4.7	1.8	43.65	48-3
435	石核	— 黒色安山岩	GAn-6	—	2	○	24	69	52	216	262	122.16	347.62	172.54	5.5	7.1	3.6	108.68	11-41
436	R剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	53	104	421	121.04	349.21	172.69	3.5	2.4	0.9	6.00	10-32
437	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	54	160	450	121.60	349.50	172.69	1.1	1.5	0.4	0.56	
438	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	55	163	446	121.63	349.46	172.70	1.2	2.3	0.8	1.95	
439	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	56	37	359	120.37	348.59	172.55	1.9	0.9	0.5	0.83	
440	剝片	— チャート	Ch-1	—	2	—	24	69	57	5	253	120.05	347.53	172.60	2.5	2.5	0.7	3.05	16-56
441	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	58	101	285	121.01	347.85	172.62	1.2	0.4	0.3	0.13	
442	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	59	114	132	121.14	346.32	172.55	2.2	1.5	0.7	2.11	41-1
443	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	60	320	253	123.20	347.53	172.70	1.2	0.7	0.4	0.16	
444	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-II	2	○	24	69	61	148	229	121.48	347.29	172.57	3.6	2.7	0.8	5.73	44-7
445	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	62	192	177	121.92	346.77	172.53	1.6	1.3	0.4	0.65	41-8
446	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	63	161	285	121.61	347.85	172.69	3.6	2.4	1.1	9.02	41-3
447	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	64	163	298	121.63	347.98	172.18	0.8	0.5	0.1	0.03	
448	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	65	168	304	121.68	348.04	172.27	1.3	2.0	0.5	1.93	
449	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	66	180	287	121.80	347.87	172.69	1.6	1.6	0.4	0.75	
450	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	○	24	69	67	187	290	121.87	347.90	172.69	1.9	4.1	0.9	6.86	45-3
451	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	68	193	275	121.93	347.75	172.54	0.9	1.3	0.5	0.46	
452	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	69	193	307	121.93	348.07	172.56	1.2	0.8	0.2	0.12	
453	剝片	— 黒色安山岩	GAn-7	—	2	—	24	69	70	26	484	120.26	349.84	172.53	4.5	4.1	0.8	17.17	27-160
454	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	71	61	465	120.61	349.65	172.55	1.9	1.5	0.7	1.50	
455	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	○	24	69	72	89	460	120.89	349.60	172.69	1.4	2.1	0.6	2.61	25-147
456	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	73	188	376	121.88	348.76	172.66	2.0	2.2	0.9	2.66	41-7
457	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	74	215	381	122.15	348.81	172.69	1.6	1.3	0.4	0.72	
458	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	75	212	374	122.12	348.74	172.55	3.8	2.5	0.9	8.45	22-114
459	石核	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	76	199	334	121.99	348.34	172.69	5.3	4.0	2.1	53.05	12-44
460	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	77	206	338	122.06	348.38	172.64	1.4	0.9	0.3	0.27	
461	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	78	240	338	122.40	348.38	172.63	2.4	2.5	0.5	2.43	41-6
462	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	○	24	69	79	259	363	122.59	348.63	172.69	2.1	3.2	1.1	5.04	45-3
463	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	80	261	380	122.61	348.80	172.60	1.4	1.5	0.2	0.44	
464	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	81	284	382	122.84	348.82	172.55	2.1	1.5	0.5	1.44	
465	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	82	283	374	122.83	348.74	172.59	1.5	0.9	0.3	0.31	
466	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	83	198	308	121.98	348.08	172.58	2.1	1.1	0.8	0.85	
467	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	84	229	320	122.29	348.20	172.61	1.4	1.4	0.4	0.57	
468	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	85	261	336	122.61	348.36	172.63	2.0	1.1	0.5	1.16	
469	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	86	268	338	122.68	348.38	172.58	1.1	0.6	0.4	0.13	
470	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	87	242	316	122.42	348.16	172.55	3.4	1.9	0.9	3.61	41-3
471	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	88	250	316	122.50	348.16	172.58	1.4	0.8	0.2	0.17	
472	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	89	318	330	123.18	348.30	172.52	2.5	1.4	0.4	1.31	
473	剝片	— 黒色安山岩	GAn-3	—	2	—	24	69	90	215	306	122.15	348.06	172.53	2.7	1.1	0.6	1.21	27-170
474	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	91	268	316	122.68	348.16	172.61	1.4	1.2	0.5	0.47	
475	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	92	272	320	122.72	348.20	172.55	3.1	1.6	0.7	1.93	24-133
476	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	93	285	330	122.85	348.30	172.68	2.0	1.5	0.6	1.38	
477	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	94	255	301	122.55	348.01	172.61	0.6	1.0	0.2	0.07	
478	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	95	278	303	122.78	348.03	172.58	1.1	0.9	0.4	0.32	
479	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	96	216	272	122.16	347.72	172.63	0.7	0.5	0.3	0.05	
480	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	97	216	259	122.16	347.59	172.52	1.3	1.5	0.3	0.45	
481	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	98	258	285	122.58	347.85	172.54	1.4	1.6	0.5	0.67	
482	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	99	256	273	122.56	347.73	172.60	2.3	1.3	0.4	0.59	
483	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	100	266	273	122.66	347.73	172.59	1.7	0.1	0.3	0.55	
484	碎片	— 黒色安山岩	GAn-3	—	2	—	24	69	101	271	267	122.71	347.67	172.69	1.8	1.8	0.3	0.71	
485	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	102	279	284	122.79	347.84	172.69	2.7	1.5	0.3	1.02	
486	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	103	238	212	122.38	347.12	172.54	1.3	2.1	0.4	1.43	24-141
487	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	104	281	224	122.81	347.24	172.53	1.3	1.7	0.4	0.98	
488	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	105	286	244	122.86	347.44	172.53	2.0	2.0	1.3	2.93	
489	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	2	—	24	69	106	245	151	122.45	346.51	172.56	1.9	2.6	0.3	1.09	23-122
490	碎片	○ 黒色安山岩	GAn-1	GAn-1F	2	○	24	69	107	297	201	122.97	347.01	172.51	1.3	1.4	0.4	0.57	41-4

第11表 天引狐崎遺跡石器一覧表 (8)

No.	器種	折石	材	母岩No	個体No	ブック	接合	X	Y	No.	S-N	W-E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	挿図No.
491	剥片	○	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	108	287	250	122.87	347.50	172.55	1.7	1.6	0.5	1.52	
492	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	109	305	268	123.05	347.68	172.60	1.8	1.4	0.6	0.85	
493	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	110	313	277	123.13	347.77	172.51	1.7	1.1	0.4	0.58	
494	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	111	336	291	123.36	347.91	172.51	1.4	2.3	1.1	1.45	
495	剥片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	112	340	317	123.40	348.17	172.55	1.5	2.6	0.9	3.84	
496	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	113	389	336	123.89	348.36	172.57	1.6	0.8	0.4	0.33	
497	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	114	369	357	123.69	348.57	172.52	0.7	1.0	0.3	0.25	
498	剥片	○	黒色安山岩	GAn-1	-	2	○	24	69	115	9	389	120.09	348.89	172.53	3.2	5.6	0.9	11.50	25-149
499	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	117	185	166	121.85	346.66	172.69	1.1	1.5	0.4	0.90	
500	敲石	-	泥岩	Ms-1	-	2	-	24	69	120	257	418	122.57	349.18	172.57	17.0	3.9	3.1	255.30	28-175
501	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	123	194	383	121.94	348.83	172.53	1.6	0.9	0.3	0.36	
502	剥片	○	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	124	196	336	121.96	348.36	172.53	2.0	1.9	0.4	1.78	
503	剥片	○	黒色安山岩	GAn-1	-	2	○	24	69	126	171	301	121.71	348.01	172.55	2.8	2.4	1.1	4.94	33-6
504	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	127	162	288	121.62	347.88	172.60	1.2	1.2	0.3	0.30	
505	碎片	-	チャート	Ch-2	-	2	-	24	69	129	214	268	122.14	347.68	172.49	1.5	0.9	0.4	0.38	
506	剥片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	130	237	275	122.37	347.75	172.48	1.2	2.5	1.1	3.13	
507	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	131	240	279	122.40	347.79	172.48	0.7	1.0	0.1	0.07	
508	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	132	243	281	122.43	347.81	172.47	1.4	0.7	0.2	0.24	
509	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	133	265	282	122.65	347.82	172.57	0.9	0.6	0.4	0.16	
510	剥片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	134	275	288	122.75	347.88	172.52	1.2	2.6	0.9	2.12	
511	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	135	290	282	122.90	347.82	172.52	0.7	0.9	0.2	0.08	
512	剥片	-	黒色安山岩	GAn-1	GAn-II	2	○	24	69	136	300	264	123.00	347.64	172.50	4.2	1.7	0.8	5.14	44-5
513	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	137	281	244	122.81	347.44	172.48	0.7	0.8	0.1	0.08	
514	剥片	○	黒色安山岩	GAn-1	GAn-II	2	○	24	69	138	256	325	122.56	348.25	172.54	2.0	2.4	0.6	2.38	44-4
515	スクレイパー	○	安山岩	An-1	-	3	○	24	69	139	445	51	124.45	345.51	172.14	4.4	4.9	1.5	31.73	9-25
516	台石	-	安山岩	-	-	3	-	24	69	144	380	26	123.80	345.26	172.12	21.0	16.3	6.5	3000.00	29-180
517	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	145	293	174	122.93	346.74	172.56	1.1	1.0	0.3	0.42	
518	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	147	315	194	123.15	346.94	172.56	1.2	1.3	0.3	0.37	
519	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	148	333	205	123.33	347.05	172.51	0.9	1.0	0.2	0.17	
520	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	149	285	340	122.85	348.40	172.68	1.2	1.0	0.3	0.29	
521	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	150	273	348	122.73	348.48	172.68	0.7	0.5	0.2	0.08	
522	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	151	244	298	122.44	347.98	172.68	0.4	0.6	0.1	0.02	
523	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	152	278	252	122.78	347.52	172.55	0.7	0.6	0.1	0.06	
524	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	153	310	288	123.10	347.88	172.51	0.9	0.5	0.2	0.08	
525	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	154	354	356	123.54	348.56	172.52	1.1	0.5	2.0	0.09	
526	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	69	155	364	369	123.64	348.69	172.52	1.0	0.7	0.1	0.07	
527	剥片	○	黒色安山岩	GAn-6	-	2	-	24	69	156	210	414	122.10	349.14	172.52	3.9	2.0	0.7	3.27	
528	剥片	○	黒色安山岩	GAn-1	-	1	山側	24	70	2	465	498	124.65	354.98	172.58	2.6	1.1	0.6	1.36	
529	剥片	○	黒色安山岩	GAn-1	-	2	○	24	70	3	47	57	120.47	350.57	172.56	3.2	2.3	0.7	4.80	25-149
530	台形様石器	○	黒色安山岩	GAn-1	-	2	-	24	70	4	172	54	121.72	350.54	172.57	1.1	1.6	0.5	1.12	7-18
531	スクレイパー	-	硬質頁岩	HSh-2	-	外	-	24	72	1	86	223	120.86	362.23	171.88	11.3	3.4	2.3	54.70	8-23
532	スクレイパー	-	黒曜石	Ob-1	-	外	○	25	65	1	95	61	125.95	325.61	171.49	5.0	1.8	1.1	8.46	8-24
533	スクレイパー	-	黒曜石	Ob-1	-	外	○	25	65	2	134	15	126.34	325.15	171.42	5.0	1.8	1.7	10.87	8-24
534	楔形石器	-	珪質頁岩	HSh-4	-	5	溝	25	66	1	116	453	126.16	334.53	171.92	4.9	3.8	1.1	19.07	9-26
535	剥片	○	黒色安山岩	GAn-1	-	4	溝	25	67	1	6	86	125.06	335.86	171.96	4.0	3.8	0.9	12.21	19-87
536	剥片	○	黒色安山岩	GAn-6	-	4	○	25	68	1	99	300	125.99	343.00	172.38	3.3	3.3	0.6	7.79	47-1
537	剥片	-	チャート	Ch-11	-	4	-	25	68	2	10	35	125.10	340.35	172.25	2.0	3.4	0.7	3.97	17-68
538	剥片	-	硬質泥岩	HMs-1	-	4	-	25	68	6	68	166	125.68	341.66	172.47	3.5	4.5	0.7	12.86	18-79
539	剥片	-	安山岩	An-1	-	3	○	25	69	3	52	30	125.52	345.30	172.26	7.7	5.9	2.8	108.19	48-1
540	台形様石器	-	チャート	Ch-6	-	8	溝	25	70	1	466	84	129.66	350.84	172.26	3.5	2.0	0.8	4.98	6-4
541	碎片	-	黒色安山岩	GAn-6	-	11	山側	25	70	2	27	387	125.27	353.87	172.70	2.5	0.8	0.6	0.83	27-165
542	剥片	-	黒色安山岩	GAn-4	-	11	○	25	71	1	212	347	127.12	358.47	172.36	3.6	3.2	1.1	15.07	46-3
543	剥片	○	黒色安山岩	GAn-4	-	11	○	25	71	2	217	200	127.17	357.00	172.19	5.0	4.6	1.2	25.77	46-2
544	剥片	○	黒色安山岩	GAn-1	-	11	-	25	71	3	233	222	127.33	357.22	172.19	2.5	4.3	0.9	8.55	22-113
545	楔形石器	-	黒色安山岩	GAn-1	-	11	-	25	71	4	215	314	127.15	358.14	172.36	2.5	2.7	1.2	10.15	9-27
546	剥片	○	黒色安山岩	GAn-2	-	8	○	26	69	2	437	246	134.37	347.46	172.37	2.4	2.1	0.5	2.82	25-153
547	剥片	○	黒色安山岩	GAn-4	-	8	○	26	69	3	402	204	134.02	347.04	172.38	3.0	4.9	0.4	7.48	46-4
548	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	8	-	26	69	4	382	171	133.82	346.71	172.33	1.3	1.6	0.3	0.53	
549	剥片	○	黒色安山岩	GAn-2	-	8	○	26	69	5	351	142	133.51	346.42	172.34	2.3	2.9	0.5	5.73	25-153
550	剥片	-	黒色安山岩	GAn-7	-	8	○	26	69	6	314	108	133.14	346.08	172.39	3.8	3.3	1.4	19.71	47-4
551	剥片	-	黒色安山岩	GAn-7	-	8	○	26	69	7	311	106	133.11	346.06	172.39	2.4	2.9	0.6	4.49	47-3
552	剥片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	8	-	26	69	8	358	269	133.58	347.69	172.32	1.5	2.1	0.6	1.87	
553	碎片	-	黒色安山岩	GAn-4	-	8	-	26	69	9	292	248	132.92	347.48	172.39	1.1	1.4	0.3	0.47	
554	碎片	-	黒色安山岩	GAn-4	-	8	-	26	69	10	280	226	132.80	347.26	172.41	1.0	1.2	0.3	0.39	
555	碎片	-	黒色安山岩	GAn-4	-	8	-	26	69	11	272	246	132.72	347.46	172.40	1.3	1.3	0.3	0.75	
556	碎片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	8	-	26	69	12	246	230	132.46	347.30	172.40	1.9	0.9	0.4	0.51	
557	剥片	-	黒色安山岩	GAn-4	-	8	-	26	69	13	266	333	132.66	348.33	172.33	2.3	1.6	0.4	1.95	27-167
558	碎片	-	黒色安山岩	GAn-4	-	8	-	26	69	14	291	342	132.91	348.42	172.36	1.5	0.9	0.3	0.42	
559	剥片	-	黒色安山岩	GAn-1	-	8	○	26	69	15	282	357	132.82	348.57	172.34	1.6	4.1	0.9	6.84	19-82
560	碎片	-	黒色安山岩	GAn-4	-	8	-	26	69	16	302	384	133.02	348.84	172.35	1.6	2.0	0.3	1.13	

第12表 天引狐崎遺跡石器一覧表(9)

No.	器種	折石材	母岩No.	個体No.	ブ ッ ク	接合	X	Y	No.	S-N	W-E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	挿図No.
561	碎片	— 黒色安山岩	GAn-4	—	8	—	26	69	17	234	425	132.34	349.25	172.23	1.4	1.7	0.3	0.69	
562	碎片	— 黒色安山岩	GAn-4	—	8	—	26	69	19	234	309	132.34	348.09	172.24	1.3	1.7	0.6	0.92	
563	碎片	— 黒色安山岩	GAn-4	—	8	—	26	69	21	331	366	133.31	348.66	172.28	1.3	2.0	0.6	1.43	
564	剝片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	8	—	26	69	22	324	274	133.24	347.74	172.28	3.0	2.0	0.5	2.83	
565	碎片	— 黒色安山岩	GAn-2	—	8	—	26	69	23	321	271	133.21	347.71	172.29	1.5	0.6	0.1	0.14	
566	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	8	—	26	69	24	332	254	133.32	347.54	172.31	1.3	1.8	0.3	0.76	
567	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	8	—	26	69	25	353	270	133.53	347.70	172.27	1.4	1.1	0.3	0.28	
568	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	8	—	26	69	26	411	235	134.11	347.35	172.26	1.7	1.2	0.3	0.53	
569	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-1	—	8	○	26	69	27	453	240	134.53	347.40	172.30	5.4	2.6	1.0	12.22	19-82
570	R剝片	— 黒色安山岩	GAn-4	—	8	—	26	69	30	414	406	134.14	349.06	172.21	5.0	4.0	1.5	33.48	9-28
571	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-2	—	8	—	26	69	32	393	301	133.93	348.01	172.28	1.3	2.3	0.3	1.70	25-152
572	碎片	— 黒色安山岩	GAn-2	—	8	—	26	69	33	403	241	134.03	347.41	172.22	1.2	0.6	0.3	0.35	
573	碎片	— 黒色安山岩	GAn-2	—	8	—	26	69	34	365	210	133.65	347.10	172.23	1.0	0.9	0.2	0.17	
574	碎片	— チャート	Ch-13	—	8	—	26	69	37	122	240	131.22	347.40	172.16	1.1	0.9	0.4	0.42	
575	台形様石器	— チャート	Ch-3	—	8	調	26	70	1	193	311	131.93	353.11	172.24	3.0	2.0	0.7	3.93	6-8
576	剝片	— チャート	Ch-10	—	9	—	26	70	3	129	154	134.48	350.73	172.24	3.9	3.9	1.5	24.67	18-74
577	剝片	— チャート	Ch-2	—	10	—	26	71	1	418	130	134.18	356.30	172.03	3.5	4.1	2.2	21.35	17-69
578	石核	— 黒色安山岩	GAn-4	—	9	○	27	70	1	142	87	136.42	350.87	172.31	2.5	5.1	3.8	50.30	10-38
579	碎片	○ 黒色安山岩	GAn-2	GAn-2C	9	○	27	70	2	15	163	135.15	351.63	172.21	1.0	1.6	0.4	0.71	26-154
580	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	9	—	27	70	3	129	154	136.29	351.54	172.27	0.6	0.6	0.3	0.15	
581	碎片	— 黒色安山岩	GAn-2	—	9	—	27	70	4	134	167	136.34	351.67	172.26	1.4	2.0	0.3	0.73	
582	碎片	— 黒色安山岩	GAn-2	—	9	—	27	70	5	170	152	136.70	351.52	172.24	1.4	1.6	0.4	0.62	
583	碎片	— 黒色安山岩	GAn-2	—	9	—	27	70	6	216	173	137.16	351.73	172.19	2.0	1.6	0.6	0.91	
584	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	9	—	27	70	7	283	173	137.83	351.73	172.18	0.8	1.5	0.5	0.98	
585	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-2	GAn-2C	9	○	27	70	8	366	210	138.66	352.10	172.21	3.1	5.3	1.1	20.64	26-154
586	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-2	GAn-2B	9	○	27	70	9	313	160	138.13	351.60	172.18	2.5	1.2	0.7	1.67	11-42
587	石核	○ 黒色安山岩	GAn-2	GAn-2A	9	○	27	70	10	369	135	138.69	351.35	172.29	5.4	3.0	1.1	15.54	11-40
588	剝片	— 黒色安山岩	GAn-6	—	9	—	27	70	11	364	26	138.64	350.26	172.31	3.2	2.5	0.6	4.11	27-169
589	石核	○ 黒色安山岩	GAn-2	GAn-2B	9	○	27	70	12	232	77	137.32	350.77	172.27	4.8	5.1	1.1	25.71	11-42
590	碎片	— 黒色安山岩	GAn-1	—	9	—	27	70	13	193	55	136.93	350.55	172.30	0.8	1.4	0.3	0.18	
591	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-2	GAn-2C	9	○	27	70	15	88	127	135.88	351.27	172.18	3.1	4.3	0.7	7.19	26-154
592	剝片	○ 黒色安山岩	GAn-2	GAn-2A	9	○	27	70	18	318	132	138.18	351.32	172.18	2.4	2.6	0.8	3.57	45-7
593	敲石	— 安山岩	An-8	—	9	—	27	70	20	350	14	138.50	350.14	172.22	7.3	5.5	3.4	170.42	28-178
594	剝片(微細剝片)	— チャート	Ch-8	—	10	—	27	71	1	17	57	135.17	355.57	172.08	3.7	4.2	1.3	16.22	17-72
595	R剝片	— チャート	Ch-2	—	10	—	27	71	2	33	151	135.33	356.51	172.05	2.5	1.8	0.9	4.30	10-36
596	碎片	— チャート	Ch-2	—	10	—	27	71	3	87	167	135.87	356.67	171.90	0.9	1.6	0.3	0.34	
597	剝片	— チャート	Ch-2	—	10	—	27	71	4	87	114	135.87	356.14	171.89	3.3	2.6	0.7	5.32	17-66

第13表 天引狐崎遺跡礫一覧表(1)

No.	石 材	ブ ッ ク	接合	X	Y	No.	S-N	W-E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	完形	赤化	付着物
1	結晶片岩	1	—	22	68	27	332	250	113.32	342.50	172.33	13.8	7.8	5.0	867.10	○	—	—
2	結晶片岩	1	—	22	68	30	364	291	113.64	342.91	172.35	15.3	7.6	5.1	1004.00	—	—	—
3	結晶片岩	1	—	22	68	41	310	340	113.10	343.40	172.36	22.5	8.9	6.3	1633.90	○	—	—
4	結晶片岩	1	—	22	68	45	270	336	112.70	343.36	172.38	12.5	6.9	2.6	341.70	—	—	—
5	砂石	1	—	22	68	46	228	398	112.28	343.98	172.27	15.0	11.4	9.5	1665.30	○	—	—
6	泥岩	1	—	22	69	33	475	188	114.75	346.88	172.33	3.2	2.6	0.8	7.30	—	—	—
7	泥岩	1	—	22	69	34	426	222	114.26	347.22	172.35	8.0	5.7	2.9	126.17	○	—	—
8	泥岩	1	—	22	69	35	442	230	114.42	347.30	172.31	7.1	5.5	3.0	135.07	—	—	—
9	泥岩	1	—	22	69	36	432	282	114.32	347.82	172.25	9.5	6.8	6.5	403.10	○	—	—
10	安山岩	5	—	23	67	10	284	272	117.84	337.72	172.05	23.3	10.5	9.8	2445.00	○	○	—
11	チャート	5	—	23	67	12	194	308	116.94	338.08	172.20	8.5	11.3	3.3	563.90	○	—	—
12	結晶片岩	5	—	23	67	13	200	300	117.00	338.00	172.18	8.8	6.5	5.2	327.70	○	—	—
13	チャート	5	—	23	67	29	368	280	118.68	337.80	172.01	8.7	6.8	5.8	336.50	○	—	—
14	結晶片岩	7	—	23	68	20	463	288	119.63	342.88	172.36	13.3	4.4	2.3	192.30	○	—	—
15	結晶片岩	7	—	23	68	21	456	310	119.56	343.10	172.31	15.5	9.2	6.1	1282.30	○	—	—
16	チャート	7	—	23	68	26	268	327	117.68	343.27	172.48	8.4	5.7	4.7	359.70	○	—	—
17	泥岩	1	—	23	69	218	216	370	117.16	348.70	172.32	8.4	5.5	1.8	92.14	○	—	—
18	結晶片岩	1	—	23	69	219	304	422	118.04	349.22	172.37	16.7	4.7	4.1	343.00	○	—	—
19	砂石	1	—	23	69	225	445	135	119.45	346.35	172.40	10.7	10.5	4.5	569.20	—	—	—
20	泥岩	1	—	23	69	236	49	6	115.49	345.06	172.33	8.8	5.9	2.3	122.89	○	—	—
21	安山岩	5	—	24	67	2	195	130	121.95	336.30	171.85	15.0	10.9	7.2	1813.40	○	—	—
22	安山岩	5	—	24	67	3	191	112	121.91	336.12	171.99	4.4	1.9	0.7	5.80	—	—	—
23	結晶片岩	4	—	24	68	6	455	60	124.55	340.60	172.43	12.6	4.6	2.7	227.90	○	—	—
24	結晶片岩	4	—	24	68	7	440	120	124.40	341.20	172.18	11.5	7.9	4.3	688.40	○	—	—
25	結晶片岩	4	—	24	68	8	424	150	124.24	341.50	172.19	13.1	3.5	2.2	172.77	○	—	—
26	結晶片岩	3	—	24	68	9	384	486	123.84	344.86	172.17	11.0	5.0	3.6	269.80	○	—	—
27	安山岩	3	—	24	68	10	460	484	124.60	344.84	172.21	13.7	7.8	7.0	610.50	○	—	—

第14表 天引狐崎遺跡磔一覽表(2)

No	石 材	ブ ロ ック	接合	X	Y	No	S-N	W-E	X座標	Y座標	Z座標	長さ	幅	厚さ	重量	完形	赤化	付着物
28	緑色片岩	7	—	24	68	11	38	126	120.38	341.26	172.25	13.3	7.2	3.2	981.30	○	—	—
29	緑色片岩	7	—	24	68	12	12	208	120.12	342.08	172.35	17.0	9.2	7.0	1531.00	○	—	—
30	結晶片岩	2	—	24	69	116	133	460	121.33	349.60	172.53	14.7	9.5	5.5	1471.60	○	—	—
31	結晶片岩	2	—	24	69	118	204	454	122.04	349.54	172.52	14.3	9.3	4.3	795.20	○	—	—
32	結晶片岩	2	—	24	69	119	230	446	122.30	349.46	172.57	19.7	13.2	2.6	1094.80	○	—	—
33	結晶片岩	2	—	24	69	121	229	402	122.29	349.02	172.56	13.6	5.5	4.4	508.30	○	—	—
34	結晶片岩	2	—	24	69	122	240	393	122.40	348.93	172.54	10.8	6.7	6.0	559.40	○	—	—
35	結晶片岩	2	—	24	69	125	152	316	121.52	348.16	172.53	17.9	4.6	3.6	438.10	○	—	—
36	結晶片岩	2	—	24	69	128	194	272	121.94	347.72	172.53	16.8	6.4	5.3	995.80	○	—	—
37	結晶片岩	2	—	24	69	140	314	335	123.14	348.35	172.46	7.2	9.2	5.8	612.30	○	—	—
38	結晶片岩	2	—	24	69	141	196	192	121.96	346.92	172.53	14.8	6.8	4.9	931.30	○	—	—
39	結晶片岩	3	—	24	69	142	474	84	124.74	345.84	172.17	18.6	8.5	3.8	800.30	—	—	—
40	安山岩	3	—	24	69	143	400	20	124.00	345.20	172.10	16.7	12.8	6.5	2020.00	○	—	—
41	泥岩	2	—	24	69	146	82	236	120.82	347.36	172.37	6.0	6.2	4.2	138.10	○	—	—
42	結晶片岩	4	—	25	68	3	30	83	125.30	340.83	172.49	10.6	7.1	3.8	438.40	○	—	—
43	結晶片岩	4	—	25	68	4	16	174	125.16	341.74	172.51	14.5	5.3	3.3	272.40	○	—	—
44	チャート	4	—	25	68	5	44	188	125.44	341.88	172.48	15.0	12.3	11.2	2570.00	○	—	—
45	結晶片岩	4	—	25	68	7	104	255	126.04	342.55	172.43	16.8	8.0	7.1	1122.80	○	—	—
46	結晶片岩	4	—	25	68	8	128	116	126.28	341.16	172.45	11.9	3.8	2.1	158.20	○	—	—
47	結晶片岩	4	—	25	68	9	120	104	126.20	341.04	172.40	19.0	6.3	4.2	669.20	○	—	—
48	安山岩	3	—	25	69	2	88	52	125.88	345.52	172.24	16.8	10.6	8.7	2370.00	○	—	—
49	安山岩	8	○	26	69	28	388	224	133.88	347.24	172.23	12.9	10.9	7.8	1319.90	—	—	—
50	安山岩	8	○	26	69	29	378	192	133.78	346.92	172.26	9.2	3.9	3.7	99.38	—	—	—
51	安山岩	8	○	26	69	35	316	228	133.16	347.28	172.22	7.4	11.3	6.0	414.40	—	—	—
52	砂石	9	—	27	70	17	274	136	137.74	351.36	172.10	11.5	5.0	3.8	294.80	○	—	—
53	砂石	9	—	27	70	19	351	158	138.51	351.58	172.11	8.3	4.5	1.9	70.14	○	—	—

単 位

m = X座標、Y座標、Z座標 (標高)

cm = S-N、W-E、長さ、幅、厚さ

g = 重量

報告書抄録

フリガナ	アマビキキツネザキイセキ
書名	天引狐崎遺跡 I
副書名	関越自動車道（上越線）地域埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第21集
シリーズ名	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告
シリーズ番号	第161集
編集者名	関口博幸
編集機関	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒377 群馬県勢多郡北橘村大字下箱田784-2
発行年月日	西暦1994年3月25日

フリガナ 所収遺跡	フリガナ 所在地	コード		北緯 °'"	東経 °'"	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
アマビキキツネザキ 天引狐崎	カンラゴン 甘楽郡 カンラマチ 甘楽町 オオアザアマビキ 大字天引	103845	10005- 00292	36°14'13" } 36°14'21"	138°56'56" } 138°57'27"	19900301- 19910331	1,250 旧石器時代の 調査対象 面積 試掘調査面 積も含む	道路建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
天引狐崎	石器ブロック	旧石器時代	石器ブロック 合計11ヶ所。こ のうち、7ヶ所 のブロックが環 状ブロック群を 構成。	ナイフ形石器 台形様石器 楔形石器 スクレイパー 石核、剥片 砥石	AT下層から 出土。 環状ブロック 群を構成する旧 石器時代の集落 跡。

写 真 图 版

天引狐崎遺跡



全 景 (西から)



試掘坑の設定と調査風景



同 左



全 景 (東から)



全 景 (西から)



調査風景



調査風景



調査風景



調査風景



調査風景（東から）



調査風景（東から）



基本層序



同 左



石器出土状況



石器出土状況



石器出土状況



石器出土状況



石器出土状況



石器出土状況



石器出土状況



石器出土状況



石器出土状況



石器出土状況 (石核)



石器出土状況 (石核)



石器出土状況 (台石)



石器出土状況 (ナイフ形石器)



石器出土状況



石器出土状況



石器出土状況 (スクレイパー)



石器出土状況



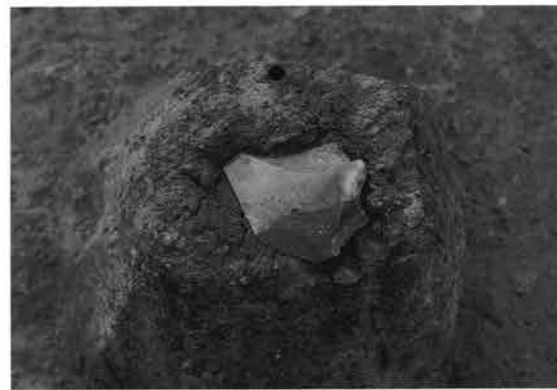
石器出土状況



石器出土状況 (スクレイパー)



石器出土状況



石器出土状況



6-1



6-2



6-3



6-4



6-5



6-6



6-7



6-8



6-9



6-10



7-11



7-12



7-13



7-14



7-15

石 器



7-16



7-17



7-18



7-19



7-20



7-21



7-22



8-23



8-24



9-25



9-26



9-27



9-28

石器



9-29



9-30



10-31



10-32



10-33



10-34



10-35



10-36



10-37



10-38



11-39

石 器



11-40



11-41



11-42



12-43



12-44

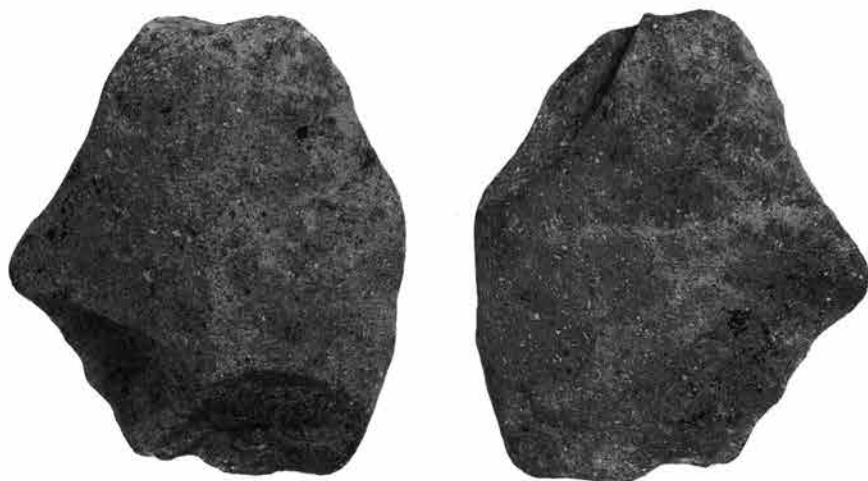


13-46



13-45

石 器



13-47



14-48



14-49



14-50

石 器



15-51



16-56



15-52



17-64



15-53



17-65



15-54



17-66



16-55



17-67



17-68

石器



17-69



17-72



17-70



17-71



18-75



18-76



18-73



18-74



18-77



18-78



18-79



18-80



18-81



18-82



19-83



19-84





19-85



19-86



19-87



20-88



20-89



20-90



20-91



20-92



20-93



20-94



20-95



21-96



21-97



21-98



21-99



21-100



21-101



21-102

石 器



21-103



21-104



22-105



22-106



22-107



22-108



22-109



22-110



22-111



22-112



22-113



22-114



23-115



23-116



23-117



23-118



23-119



23-120

石 器



23-121



23-122



23-123



23-124



23-125



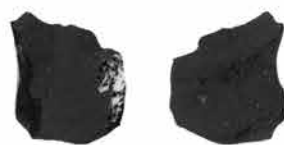
23-126



23-127



23-128



23-129



24-130



24-131



24-132



24-133



24-134



24-135



24-136



24-137



24-138



24-139



24-140



24-141

石 器



24-142



24-143



24-144



25-145



25-146



25-147



25-148



25-149



25-150



25-151



25-152



25-153



26-155



26-154



26-156



26-157



26-159



26-158



27-160



27-161



27-162



27-163



27-164



27-165



27-166



27-167



27-168



27-169



27-170



27-171

石器



28-172



28-173



28-175



28-174



29-179



28-177



28-178



28-176



29-180



石器



30-1



Ch-1(1)



49-1



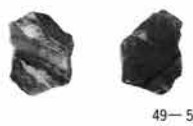
49-2



49-3



49-4



49-5



Ch-1(2)



49-7



49-8

接合資料

PL 20

GA n-1(1)





PL 22

G A n-1(1)



個体B



個体D



個体E



個体A

接合資料

GA n-1(1)



個体C

GA n-1(1) 個体外



33-1



33-2



33-3



33-4



33-5



33-6



33-7

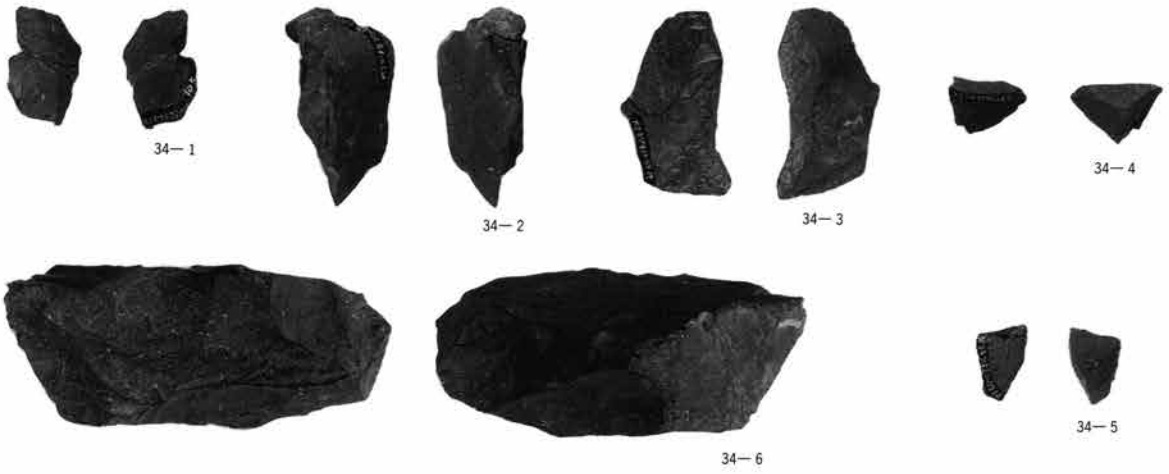
GA n-1(1) 個体B



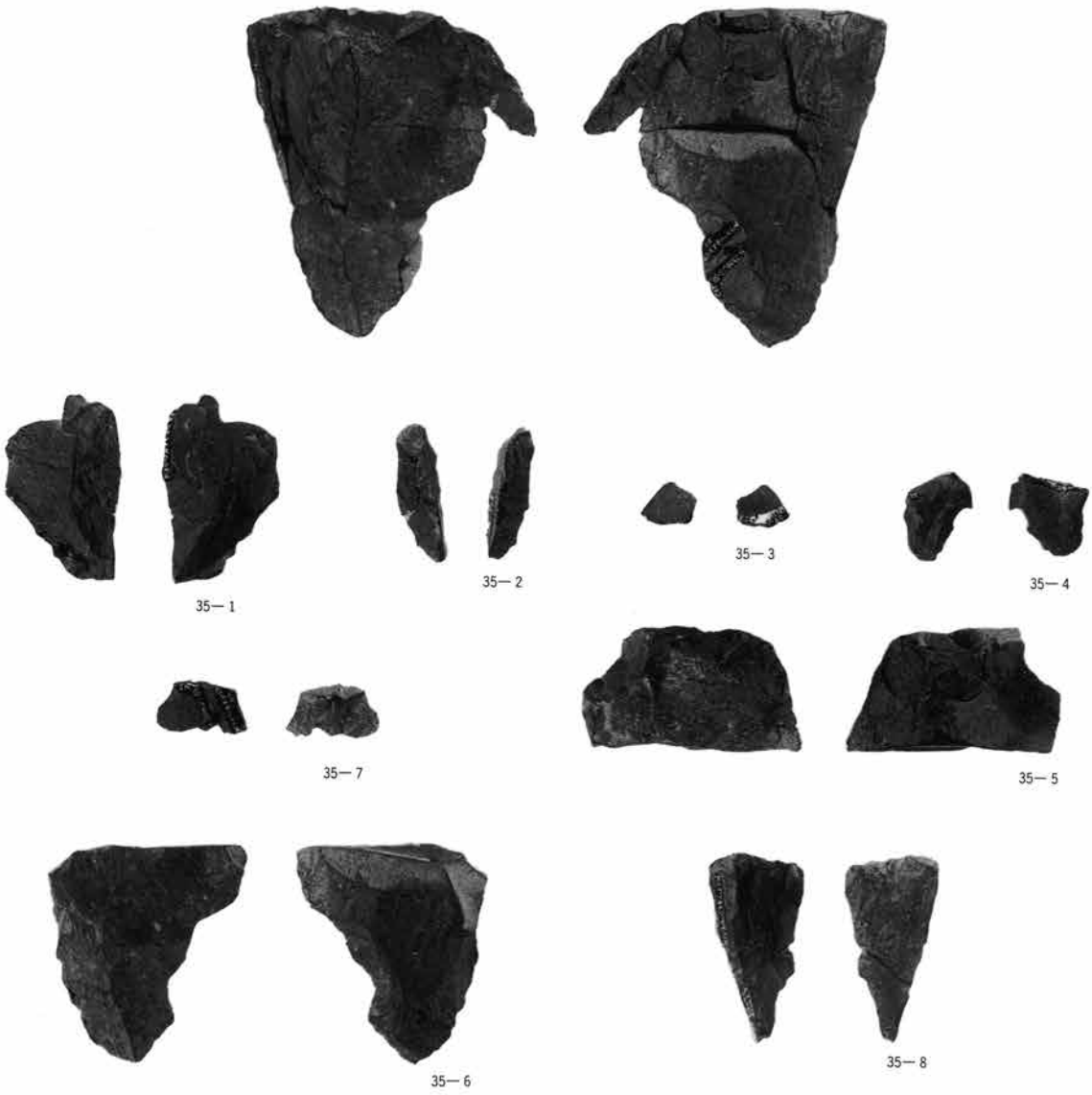
接合資料

PL 24

G A n-1(1) 个体B



G A n-1(1) 个体D



G A n-1(1)個体A



36-1



36-2



36-3



36-5



36-4



36-6



37-1



37-2

G A n-1(1)個体E



37-5

接合資料

PL 26

G A n-1(1)個体E



37-3



37-4

G A n-1(1)個体C



39-1



39-5



39-2



39-6



39-3



39-7



39-4

接合資料

G A n-1(1)个体C



39-9



39-8



40-1



40-2



40-3



40-4



40-5

接合資料



41-1



41-2



41-3



41-4



41-5



41-6



41-7



41-9



41-8

G A n-1 (3) 个体 G



42-1



42-2



42-3



42-4

接合資料

PL 30

G A n - 1 (4) 個体 H



43-1



43-2



43-3



43-4



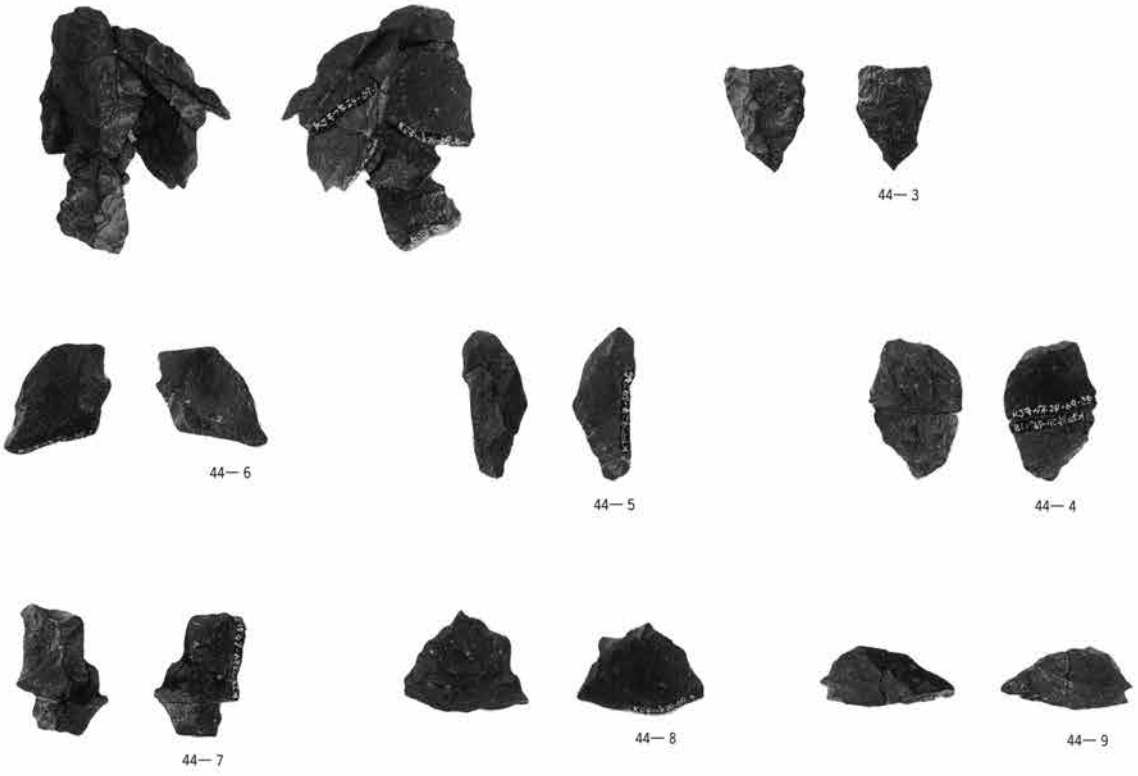
44-1



44-2

接合資料

G A n-1(5)個体 I



G A n-1(6)その他



G A n-1(7)その他



接合資料

PL 32

G A n-2



個体A



45-5

個体B



45-7



45-6

G A n-4(1)



46-1



46-2

G A n-4(2)



46-3



46-4

接合資料

GA n-6



47-1



47-2

GA n-7



47-3



47-4

接合資料

PL 34

A n-1



48-1

48-2

48-3



48-4

接合資料

群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告第163集

天引狐崎遺跡 I 関越自動車道(上越線)地域埋蔵
文化財発掘調査報告書第21集

平成6年3月18日 印刷
平成6年3月25日 発行

編集/群馬県埋蔵文化財調査事業団
勢多郡北橘村大字下箱田784-2
電話 (0279) 52-2511(代表)

発行/群馬県考古資料普及会
勢多郡北橘村大字下箱田784-2
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷/朝日印刷工業株式会社
